別記様式第２号（その１の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

基　本　計　画　書

基	本	計	画
事　　項	記　　入　　欄		備　　考
計　画　の　区　分	大学の収容定員に係る学則変更		
フ　リ　ガ　ナ 設　置　者	ガッコウホウジン　リュウコクダイガク 学校法人　龍谷大学		
フ　リ　ガ　ナ 大　学　の　名　称	リュウコクダイガク 龍谷大学　（Ryukoku University）		
大　学　本　部　の　位　置	京都府京都市伏見区深草塚本町67番地		
大　学　の　目　的	本学は教育基本法及び学校教育法にしたがい、浄土真宗の精神に基づく大学として、広く知識を授けるとともに、深く専門の諸学科を教授研究し、併せて有為の人材を養成することを目的とする。		
新　設　学　部　等　の　目　的	本学の中長期計画「龍谷大学基本構想400」に基づき、全学的な教学改革に取り組んでおり、文学部臨床心理学科の教育・研究機能の更なる発展を目的に、令和5年4月に心理学部を設置することとした。また併せて農学部4学科の3年次編入学定員及び収容定員の変更を行う。これらに伴い、大学全体の収容定員を変更する。		

新設学部等の概要

新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	
	年	人	年次 人	人		年　月 第　年次		
文学部							（1,2年次） 京都市伏見区深草塚本町67番地 （3,4年次） 京都市下京区七条通大宮東入ル大工町125番地の1	※令和5年度より学生募集停止
真宗学科	4	145	3年次 6	592	学士（文学） 【BACHELOR OF ARTS】	平成4年4月 第1年次		
仏教学科	4	118	3年次 5	482	学士（文学） 【BACHELOR OF ARTS】	昭和24年4月 第1年次		
哲学科	4	148	3年次 4	600	学士（文学） 【BACHELOR OF ARTS】	昭和24年4月 第1年次		
臨床心理学科	4	0 （99）	3年次 0 （2）	0 （400）	学士（文学） 【BACHELOR OF ARTS】	平成24年4月 第1年次		
歴史学科	4	267	3年次 9	1,086	学士（文学） 【BACHELOR OF ARTS】	昭和24年4月 第1年次		
日本語日本文学科	4	101	3年次 2	408	学士（文学） 【BACHELOR OF ARTS】	平成4年4月 第1年次		
英語英米文学科	4	101	3年次 2	408	学士（文学） 【BACHELOR OF ARTS】	平成4年4月 第1年次		
経済学部							京都市伏見区深草塚本町67番地	
現代経済学科	4	360	3年次 7	1,454	学士（経済学） 【BACHELOR OF ECONOMICS】	平成18年4月 第1年次		
国際経済学科	4	240	3年次 5	970	学士（経済学） 【BACHELOR OF ECONOMICS】	平成18年4月 第1年次		
経営学部							京都市伏見区深草塚本町67番地	
経営学科	4	519	3年次 5	2,086	学士（経営学） 【BACHELOR OF ARTS IN BUSINESS ADMINISTRATION】	昭和41年4月 第1年次		
法学部							京都市伏見区深草塚本町67番地	
法律学科	4	445	3年次 5	1,790	学士（法学） 【BACHELOR OF LAWS】	昭和43年4月 第1年次		
社会学部							滋賀県大津市瀬田大江町横谷1番5	
コミュニティマネジメント学科	4	153	3年次 3	618	学士（社会学） 【BACHELOR OF SOCIOLOGY】	平成16年4月 第1年次		
現代福祉学科	4	195	3年次 30	840	学士（社会福祉学） 【BACHELOR OF SOCIAL WELFARE】	平成28年4月 第1年次		
政策学部							京都市伏見区深草塚本町67番地	
政策学科	4	308	3年次 5	1,242	学士（政策学） 【BACHELOR OF POLICY SCIENCE】	平成23年4月 第1年次		

新設学部等の概要	国際学部 国際文化学科	4	372	3年次 20	1,528	学士（国際文化学） 【BACHELOR OF INTERCULTURAL COMMUNICATION】	平成27年4月 第1年次	京都市伏見区深草塚本町67番地	
	グローバルスタディーズ学科	4	135	3年次 10	560	学士（グローバルスタディーズ） 【BACHELOR OF GLOBAL STUDIES】	平成27年4月 第1年次		
	農学部 植物生命科学科	4	90	3年次 8 （10）	376 （380）	学士（農学） 【BACHELOR OF AGRICULTURE】	平成27年4月 第1年次 令和5年4月 第3年次	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1番5	
	資源生物科学科	4	134	3年次 9 （10）	554 （556）	学士（農学） 【BACHELOR OF AGRICULTURE】	平成27年4月 第1年次 令和5年4月 第3年次		
	食品栄養学科	4	80	3年次 4 （－）	328 （320）	学士（農学） 【BACHELOR OF AGRICULTURE】	平成27年4月 第1年次 令和5年4月 第3年次		
	食料農業システム学科	4	134	3年次 9 （10）	554 （556）	学士（農学） 【BACHELOR OF AGRICULTURE】	平成27年4月 第1年次 令和5年4月 第3年次		
	先端理工学部 数理・情報科学課程	4	103	3年次 2	416	学士（理学） 【BACHELOR OF SCIENCE】	令和2年4月 第1年次	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1番5	
	知能情報メディア課程	4	103	3年次 2	416	学士（工学） 【BACHELOR OF ENGINEERING】	令和2年4月 第1年次		
	電子情報通信課程	4	103	3年次 2	416	学士（工学） 【BACHELOR OF ENGINEERING】	令和2年4月 第1年次		
	機械工学・ロボティクス課程	4	113	3年次 2	456	学士（工学） 【BACHELOR OF ENGINEERING】	令和2年4月 第1年次		
	応用化学課程	4	103	3年次 2	416	学士（工学） 【BACHELOR OF ENGINEERING】	令和2年4月 第1年次		
	環境生態工学課程	4	103	3年次 2	416	学士（工学） 【BACHELOR OF ENGINEERING】	令和2年4月 第1年次		
	心理学部 心理学科	4	255 （0）	3年次 10 （0）	1,040 （0）	学士（心理学） 【BACHELOR OF PSYCHOLOGY】	令和5年4月 第1年次	（1,2年次） 京都市伏見区深草塚本町67番地 （3,4年次） 京都市下京区七条通大宮東入ル大工町125番地の1	令和4年4月 設置届出予定
	計		5,138 （4,982）	175 （167）	20,902 （20,262）				

同一設置者内における変更状況 （定員の移行，名称の変更等）	龍谷大学 ○学部の設置（令和4年4月届出予定） 心理学部 心理学科　（255）（令和5年4月） （3年次編入学定員）（10）（令和7年4月） ○学生募集停止（令和3年12月報告） 文学部 臨床心理学科（廃止）（△99） （3年次編入学定員）（△2） ※令和5年4月学生募集停止 （3年次編入学定員は、令和7年4月学生募集停止） ○学科名称の変更（令和4年4月届出予定） 農学部 植物生命科学科　→　生命科学科（令和5年4月） 資源生物科学科　→　農学科　（令和5年4月）

教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数	
		講義	演習	実験・実習	計		
	－	－ 科目	－ 科目	－ 科目	－ 科目	－ 単位	

教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等 教授	准教授	講師	助教	計	助手	兼任教員等	
新設分	文学部	真宗学科	12 (11)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	16 (15)	1 (1)	386 (386)	
		仏教学科	4 (6)	5 (4)	0 (0)	0 (0)	9 (10)	0 (0)	390 (390)	
		哲学科	10 (7)	6 (7)	0 (2)	0 (0)	16 (16)	0 (0)	385 (385)	
		歴史学科	17 (16)	7 (7)	2 (3)	0 (0)	26 (26)	0 (0)	420 (420)	
		日本語日本文学科	7 (6)	4 (3)	1 (3)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	381 (381)	
		英語英米文学科	6 (6)	6 (5)	0 (0)	0 (0)	12 (11)	0 (0)	377 (377)	
	経済学部	現代経済学科	9 (11)	16 (16)	8 (8)	0 (0)	33 (35)	0 (0)	431 (431)	
		国際経済学科	11 (13)	9 (7)	1 (1)	0 (0)	21 (21)	0 (0)	449 (449)	
	経営学部	経営学科	20 (22)	22 (16)	3 (1)	0 (0)	45 (39)	0 (0)	469 (469)	
	法学部	法律学科	34 (38)	12 (9)	3 (3)	0 (0)	49 (50)	0 (0)	487 (487)	
	社会学部	社会学科	10 (11)	6 (6)	4 (3)	0 (0)	20 (20)	2 (2)	156 (156)	
		コミュニティマネジメント学科	6 (7)	5 (6)	2 (2)	0 (0)	13 (15)	2 (2)	156 (156)	
		現代福祉学科	11 (11)	4 (4)	5 (3)	0 (0)	20 (18)	2 (2)	156 (156)	
	政策学部	政策学科	18 (16)	10 (10)	2 (4)	0 (0)	30 (30)	2 (0)	434 (434)	
	国際学部	国際文化学科	16 (20)	7 (5)	3 (1)	0 (0)	26 (26)	0 (0)	243 (243)	
		グローバルスタディーズ学科	7 (8)	7 (6)	1 (1)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	165 (165)	
	農学部	植物生命科学科	6 (6)	4 (4)	1 (1)	0 (0)	11 (11)	3 (3)	227 (227)	
		資源生物科学科	8 (8)	2 (2)	4 (4)	0 (0)	14 (14)	4 (4)	241 (241)	
		食品栄養学科	10 (10)	1 (1)	3 (3)	0 (0)	14 (14)	8 (8)	223 (223)	
		食料農業システム学科	6 (5)	4 (5)	3 (3)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	223 (223)	
	先端理工学部	数理・情報科学課程	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	
		知能情報メディア課程	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	
		電子情報通信課程	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	
		機械工学・ロボティクス課程	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	
		応用化学課程	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	
		環境生態工学課程	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	
		先端理工学部 計	43 (47)	18 (18)	21 (18)	10 (9)	92 (92)	16 (16)	189 (189)	
	心理学部	心理学科	14 (14)	6 (6)	3 (1)	0 (0)	23 (21)	1 (1)	332 (332)	令和4年4月設置届出予定
	計		285 (299)	165 (151)	70 (65)	10 (9)	530 (524)	41 (39)	— (—)	
既設分	龍谷ミュージアム		1 (1)	3 (3)	0 (0)	0 0	4 (4)	0 0	— (—)	
	計		1 (1)	3 (3)	0 (0)	0 0	4 (4)	0 (0)	— (—)	
要	合計		286 (300)	168 (154)	70 (65)	10 (9)	534 (528)	41 (39)	— (—)	

教員以外の職員の概要	職種	専任	兼任	計
	事務職員	407 人 (407)	67 人 (67)	474 人 (474)
	技術職員	16 (16)	0 (0)	16 (16)
	図書館専門職員	14 (14)	4 (4)	18 (18)
	その他の職員	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	計	437 (437)	71 (71)	508 (508)

校地等	区　　分	専　　用	共　　用	共用する他の学校等の専用	計	龍谷大学短期大学部と共用 （法令上の必要面積：4,400㎡）
	校　舎　敷　地	176,588.96 ㎡	89,512.56 ㎡	0.00 ㎡	266,101.52 ㎡	（借用地） ○「校舎敷地／専用」内 ・面積：3,418.00㎡ 期間：永代借用 ・面積：292.87㎡ 期間：20年間 ○「その他／専用」内 ・面積：1,681.64㎡ 期間：20年間 ・面積：27,411.00㎡ 期間：20年間
	運　動　場　用　地	43,900.00 ㎡	65,481.05 ㎡	0.00 ㎡	109,381.05 ㎡	
	小　　計	220,488.96 ㎡	154,993.61 ㎡	0.00 ㎡	375,482.57 ㎡	
	そ　の　他	229,654.31 ㎡	3,949.68 ㎡	0.00 ㎡	233,603.99 ㎡	
	合　　計	450,143.27 ㎡	158,943.29 ㎡	0.00 ㎡	609,086.56 ㎡	

校　舎	専　用	共　用	共用する他の学校等の専用	計	龍谷大学短期大学部と共用 （法令上の必要面積：4,150㎡）
	175,162.31 ㎡ （ 172,063.48 ㎡ ）	69,239.97 ㎡ （ 69,239.97 ㎡ ）	7,062.04 ㎡ （ 6,062.41 ㎡ ）	251,464.32 ㎡ （ 247,365.86 ㎡ ）	

教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体
	184 室	326 室	243 室	39 室 （補助職員　16人）	7 室 （補助職員　16人）	

専任教員研究室	新設学部等の名称	室　数	
	大学全体	630 室	

図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	大学全体
	大学全体	2,379,997〔732,303〕 （2,329,384〔721,959〕）	16,818〔4,466〕 （16,818〔4,466〕）	3,199〔3,101〕 （ 3,199〔3,101〕）	57,367 （57,115）	127,925 （127,923）	353 （353）	
	計	2,379,997〔732,303〕 （2,329,384〔721,959〕）	16,818〔4,466〕 （16,818〔4,466〕）	3,199〔3,101〕 （ 3,199〔3,101〕）	57,367 （57,115）	127,925 （127,923）	353 （353）	

図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数
	25,595.83 ㎡	2,621 席	3,178,470 冊

体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要	大学全体
	17,110.21 ㎡	テニスコート　3 面 / 投球練習場　1 面 SETA DOME　1 面	

経費の見積り	区　分		開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	大学全体 図書費には電子ｼﾞｬｰﾅﾙ・ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽの整備費（運用ｺｽﾄを含む）を含む。
	教員1人当り研究費等			425千円	425千円	425千円	425千円	－　千円	－　千円	
	共　同　研　究　費　等			189,292千円	189,292千円	189,292千円	189,292千円	－　千円	－　千円	
	図　書　購　入　費		478,851千円	478,851千円	478,851千円	478,851千円	478,851千円	－　千円	－　千円	
	設　備　購　入　費		509,270千円	509,015千円	821,340千円	509,066千円	509,092千円	－　千円	－　千円	
経費の見積り及び維持方法の概要	学生１人当り納付金		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	1年次入学	文（歴史学科文化遺産学専攻を除く）・経済・経営・法学部	1,021千円	1,021千円	1,021千円	1,021千円	－　千円	－　千円		
		文学部 歴史学科文化遺産学専攻	1,056.9千円	1,056.9千円	1,056.9千円	1,056.9千円	－　千円	－　千円		
		政策学部	1,036千円	1,036千円	1,036千円	1,036千円	－　千円	－　千円		
		国際学部 国際文化学科	1,076千円	1,076千円	1,076千円	1,076千円	－　千円	－　千円		
		国際学部 グローバルスタディーズ学科	1,391千円	1,391千円	1,391千円	1,391千円	－　千円	－　千円		
		社会学部	1,056.9千円	1,056.9千円	1,056.9千円	1,056.9千円	－　千円	－　千円		
		農学部 植物生命科学科 資源生物科学科	1,512.6千円	1,512.6千円	1,512.6千円	1,512.6千円	－　千円	－　千円		
		農学部 食品栄養学科	1,612.6千円	1,612.6千円	1,612.6千円	1,612.6千円	－　千円	－　千円		
		農学部 食料農業システム学科	1,274.9千円	1,274.9千円	1,274.9千円	1,274.9千円	－　千円	－　千円		
		先端理工学部 （数理・情報科学課程を除く）	1,562.6千円	1,562.6千円	1,562.6千円	1,562.6千円	－　千円	－　千円		
		先端理工学部 数理・情報科学課程	1,512.6千円	1,512.6千円	1,512.6千円	1,512.6千円	－　千円	－　千円		
		心理学部	1,267千円	1,267千円	1,267千円	1,267千円	－　千円	－　千円		
	3年次編・転入学　※	文（歴史学科文化遺産学専攻を除く）・経済・経営・法学部	－　千円	－　千円	1,121千円	1,021千円	－　千円	－　千円		※ 編・転入学で、本学他学部出身の場合、入学金100千円を減免 編・転入学で、本学短期大学部出身の場合、入学金100千円及び施設費50千円を減免
		（本学学部出身者）	－　千円	－　千円	（1,021千円）	（1,021千円）	－　千円	－　千円		
		（本学短大出身者）	－　千円	－　千円	（971千円）	（971千円）	－　千円	－　千円		
		文学部歴史学科文化遺産学専攻	－　千円	－　千円	1,156.9千円	1,056.9千円	－　千円	－　千円		
		（本学学部出身者）	－　千円	－　千円	（1,056.9千円）	（1,056.9千円）	－　千円	－　千円		
		（本学短大出身者）	－　千円	－　千円	（1,006.9千円）	（1,006.9千円）	－　千円	－　千円		
		政策学部	－　千円	－　千円	1,136千円	1,036千円	－　千円	－　千円		
		（本学学部出身者）	－　千円	－　千円	（1,036千円）	（1,036千円）	－　千円	－　千円		
		（本学短大出身者）	－　千円	－　千円	（986千円）	（986千円）	－　千円	－　千円		
		国際学部国際文化学科	－　千円	－　千円	1,176千円	1,076千円	－　千円	－　千円		
		（本学学部出身者）	－　千円	－　千円	（1,076千円）	（1,076千円）	－　千円	－　千円		
		（本学短大出身者）	－　千円	－　千円	（10,26千円）	（10,26千円）	－　千円	－　千円		

経費の見積り及び維持方法の概要	学生１人当り納付金		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	※ 編・転入学で、本学他学部出身の場合、入学金100千円を減免 編・転入学で、本学短期大学部出身の場合、入学金100千円及び施設費50千円を減免
	3年次編・転入学 ※	国際学部 グローバルスタディーズ学科	― 千円	― 千円	1,491千円	1,391千円	― 千円	― 千円	
		（本学学部出身者）	― 千円	― 千円	（1,391千円）	（1,391千円）	― 千円	― 千円	
		（本学短大出身者）	― 千円	― 千円	（1,341千円）	（1,341千円）	― 千円	― 千円	
		社会学部	― 千円	― 千円	1,156.9千円	1,056.9千円	― 千円	― 千円	
		（本学学部出身者）	― 千円	― 千円	（1,056.9千円）	（1,056.9千円）	― 千円	― 千円	
		（本学短大出身者）	― 千円	― 千円	（1,006.9千円）	（1,006.9千円）	― 千円	― 千円	
		農学部 植物生命科学科 資源生物科学科	― 千円	― 千円	1,612.6千円	1,512.6千円	― 千円	― 千円	
		（本学学部出身者）	― 千円	― 千円	（1,512.6千円）	（1,512.6千円）	― 千円	― 千円	
		（本学短大出身者）	― 千円	― 千円	（1,462.6千円）	（1,462.6千円）	― 千円	― 千円	
		農学部 食品栄養学科	― 千円	― 千円	1,712.6千円	1,612.6千円	― 千円	― 千円	
		（本学学部出身者）	― 千円	― 千円	（1,612.6千円）	（1,612.6千円）	― 千円	― 千円	
		（本学短大出身者）	― 千円	― 千円	（1,562.6千円）	（1,562.6千円）	― 千円	― 千円	
		農学部 食料農業システム学科	― 千円	― 千円	1,374.9千円	1,274.9千円	― 千円	― 千円	
		（本学学部出身者）	― 千円	― 千円	（1,274.9千円）	（1,274.9千円）	― 千円	― 千円	
		（本学短大出身者）	― 千円	― 千円	（1,224.9千円）	（1,224.9千円）	― 千円	― 千円	
		先端理工学部 （数理・情報科学課程除く）	― 千円	― 千円	1,662.6千円	1,562.6千円	― 千円	― 千円	
		（本学学部出身者）	― 千円	― 千円	（1,562.6千円）	（1,562.6千円）	― 千円	― 千円	
		（本学短大出身者）	― 千円	― 千円	（1,512.6千円）	（1,512.6千円）	― 千円	― 千円	
		先端理工学部 数理・情報科学課程	― 千円	― 千円	1,612.6千円	1,512.6千円	― 千円	― 千円	
		（本学学部出身者）	― 千円	― 千円	（1,512.6千円）	（1,512.6千円）	― 千円	― 千円	
		（本学短大出身者）	― 千円	― 千円	（1,462.6千円）	（1,462.6千円）	― 千円	― 千円	
		心理学部	― 千円	― 千円	1,367千円	1,267千円	― 千円	― 千円	
		（本学学部出身者）	― 千円	― 千円	（1,267千円）	（1,267千円）	― 千円	― 千円	
		（本学短大出身者）	― 千円	― 千円	（1,217千円）	（1,217千円）	― 千円	― 千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要		手数料，寄付金，私立大学等経常経費補助金，受取利息・配当金収入，雑収入　等						大学全体

	大学の名称	龍谷大学								
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
		年	人	年次 人	人		倍			
既設大学等の状況	文学部						0.98		（1,2年次） 京都市伏見区深草塚本町67番地	
	真宗学科	4	145	3年次 13	589	学士（文学）	1.01	平成4年度		令和2年度入学定員増（10名）
	仏教学科	4	118	3年次 8	477	学士（文学）	0.94	昭和24年度		令和2年度入学定員増（8名）
	哲学科	4	148	3年次 6	592	学士（文学）	0.95	昭和24年度	（3,4年次） 京都市下京区七条通大宮東入ル大工町125番地の1	令和2年度入学定員増（10名）
	臨床心理学科	4	99	3年次 3	394	学士（文学）	1.01	平成24年度		令和2年度入学定員増（7名） ※令和5年度より学生募集停止予定（臨床心理学科）
	歴史学科	4	267	3年次 13	1,071	学士（文学）	0.99	昭和24年度		令和2年度入学定員増（19名）
	日本語日本文学科	4	101	3年次 3	402	学士（文学）	0.98	平成4年度		令和2年度入学定員増（7名）
	英語英米文学科	4	101	3年次 3	402	学士（文学）	0.97	平成4年度		令和2年度入学定員増（7名）
	経済学部						0.96		京都市伏見区深草塚本町67番地	令和2年度現代経済学科入学定員増（18名） 令和2年度国際経済学科入学定員増（12名） 経済学部現代経済学科と国際経済学科は入学時一括募集（600名）を行う
	現代経済学科	4	360	3年次 7	1,436	学士（経済学）	0.96	平成18年度		
	国際経済学科	4	240	3年次 5	958	学士（経済学）	0.96	平成18年度		
	経営学部								京都市伏見区深草塚本町67番地	
	経営学科	4	519	3年次 5	2,060	学士（経営学）	0.97	昭和41年度		令和2年度入学定員増（26名）
	法学部								京都市伏見区深草塚本町67番地	
	法律学科	4	445	3年次 5	1,765	学士（法学）	0.98	昭和43年度		令和2年度入学定員増（25名）
	理工学部						ー		滋賀県大津市瀬田大江町横谷1番5	※令和2年度より学生募集停止（理工学部）
	数理情報学科	4	ー	ー	ー	学士（理学）	ー	平成元年度		
	電子情報学科	4	ー	ー	ー	学士（工学）	ー	平成元年度		
	機械システム工学科	4	ー	ー	ー	学士（工学）	ー	平成元年度		
	物質化学科	4	ー	ー	ー	学士（工学）	ー	平成元年度		
	情報メディア学科	4	ー	ー	ー	学士（工学）	ー	平成15年度		
	環境ソリューション工学科	4	ー	ー	ー	学士（工学）	ー	平成15年度		

	学　部　等　の　名　称	修業年限	入学定員	編入学定　員	収容定員	学位又は称号	定　員超過率	開設年度	所　在　地	
		年	人	年次 人	人		倍			
既設大学等の状況	社会学部						0.98		滋賀県大津市瀬田大江町横谷1番5	
	社会学科	4	210	3年次 5	840	学士(社会学)	1.00	平成元年度		令和2年度入学定員増（10名）
	コミュニティマネジメント学科	4	153	3年次 3	610	学士(社会学)	0.98	平成16年度		令和2年度入学定員増（8名）
	現代福祉学科	4	195	3年次 30	830	学士(社会福祉学)	0.98	平成28年度		令和2年度入学定員増（10名）
	臨床福祉学科	4	―	―	―	学士(社会福祉学)	―	平成10年度		※平成28年度より学生募集停止（臨床福祉学科）
	国際文化学部								滋賀県大津市瀬田大江町横谷1番5	※平成27年度より学生募集停止（国際文化学部）
	国際文化学科	4	―	―	―	学士(国際文化学)	―	平成8年度		
	政策学部								京都市伏見区深草塚本町67番地	
	政策学科	4	308	3年次 5	1,226	学士(政策学)	0.98	平成23年度		令和2年度入学定員増（16名）
	国際学部						0.98		京都市伏見区深草塚本町67番地	
	国際文化学科	4	372	3年次 20	1,509	学士(国際文化学)	0.99	平成27年度		令和2年度入学定員増（19名）
	グローバルスタディーズ学科	4	135	3年次 10	553	学士(グローバルスタディーズ)	0.96	平成27年度		令和2年度入学定員増（7名）
	農学部						0.99		滋賀県大津市瀬田大江町横谷1番5	
	植物生命科学科	4	90	3年次 10	374	学士(農学)	0.97	平成27年度		令和2年度入学定員増（6名）
	資源生物科学科	4	134	3年次 10	548	学士(農学)	0.97	平成27年度		令和2年度入学定員増（8名）
	食品栄養学科	4	80	―	320	学士(農学)	0.99	平成27年度		
	食料農業システム学科	4	134	3年次 10	548	学士(農学)	1.01	平成27年度		令和2年度入学定員増（8名）
	先端理工学部						0.98		滋賀県大津市瀬田大江町横谷1番5	令和2年4月先端理工学部開設
	数理・情報科学課程	4	95	3年次 2	295	学士(理学)	0.97	令和2年度		令和4年度入学定員増（8名）
	知能情報メディア課程	4	95	3年次 2	295	学士(工学)	1.05	令和2年度		令和4年度入学定員増（8名）
	電子情報通信課程	4	95	3年次 2	295	学士(工学)	0.99	令和2年度		令和4年度入学定員増（8名）
	機械工学・ロボティクス課程	4	105	3年次 2	325	学士(工学)	0.99	令和2年度		令和4年度入学定員増（8名）
	応用化学課程	4	95	3年次 2	295	学士(工学)	1.00	令和2年度		令和4年度入学定員増（8名）
	環境生態工学課程	4	95	3年次 2	295	学士(工学)	0.89	令和2年度		令和4年度入学定員増（8名）

	大学の名称	龍谷大学大学院								
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
		年	人	年次人	人		倍			
既設大学等の状況	修士課程									
	文学研究科						0.53		京都市下京区七条通大宮東入ル大工町125番地の1	
	真宗学専攻	2	20	－	40	修士(文学)	0.45	昭和28年度		
	仏教学専攻	2	20	－	40	修士(文学)	0.25	昭和28年度		
	哲学専攻	2	7	－	14	修士(文学)	0.21	昭和41年度		
	教育学専攻	2	7	－	14	修士(教育学)	0.00	平成6年度		
	臨床心理学専攻	2	10	－	20	修士(臨床心理学)	1.60	平成24年度		
	日本史学専攻	2	7	－	14	修士(文学)	1.49	昭和41年度		
	東洋史学専攻	2	7	－	14	修士(文学)	0.56	昭和41年度		
	日本語日本文学専攻	2	7	－	14	修士(文学)	0.35	昭和41年度		
	英語英米文学専攻	2	7	－	14	修士(文学)	0.07	昭和42年度		
	法学研究科								京都市伏見区深草塚本町67番地	
	法律学専攻	2	25	－	50	修士(法学)	0.26	昭和47年度		
	経済学研究科								京都市伏見区深草塚本町67番地	
	経済学専攻	2	30	－	60	修士(経済学)	0.11	昭和57年度		
	経営学研究科								京都市伏見区深草塚本町67番地	
	経営学専攻	2	30	－	60	修士(経営学)	0.08	昭和57年度		
	社会学研究科						0.55		滋賀県大津市瀬田大江町横谷1番5	
	社会学専攻	2	10	－	20	修士(社会学)	0.65	平成3年度		
	社会福祉学専攻	2	10	－	20	修士(社会福祉学)	0.45	平成3年度		
	理工学研究科						0.60		滋賀県大津市瀬田大江町横谷1番5	
	数理情報学専攻	2	25	－	50	修士(理学)	0.42	平成5年度		
	電子情報学専攻	2	25	－	50	修士(工学)	0.62	平成5年度		
	機械システム工学専攻	2	25	－	50	修士(工学)	0.46	平成5年度		
	物質化学専攻	2	25	－	50	修士(工学)	1.16	平成5年度		
	情報メディア学専攻	2	20	－	40	修士(工学)	0.47	平成19年度		
	環境ソリューション工学専攻	2	20	－	40	修士(工学)	0.42	平成19年度		
	国際文化学研究科								京都市伏見区深草塚本町67番地	※平成31年度より学生募集停止（国際文化学研究科国際文化学専攻）
	国際文化学専攻	2	－	－	－	修士(国際文化学)	－	平成12年度		
	実践真宗学研究科								京都市下京区七条通大宮東入ル大工町125番地の1	
	実践真宗学専攻	3	30	－	90	修士(実践真宗学)	0.33	平成21年度		

	学　部　等　の　名　称	修業年限	入学定員	編入学定　員	収容定員	学位又は称号	定　員超過率	開設年度	所　在　地	
		年	人	年次人	人		倍			
	政策学研究科								京都市伏見区深草塚本町67番地	
	政策学専攻	2	20	－	40	修士(政策学)	0.90	平成23年度		
	農学研究科								滋賀県大津市瀬田大江町横谷1番5	
	食農科学専攻	2	30	－	60	修士(食農科学)	0.66	平成30年度		
	国際学研究科						0.69		京都市伏見区深草塚本町67番地	
	国際文化学専攻	2	7	－	14	修士(国際文化学)	0.64	平成31年度		
	グローバルスタディーズ専攻	2	4	－	8	修士(グローバルスタディーズ)	0.62	平成31年度		
	言語コミュニケーション専攻	2	4	－	8	修士(言語コミュニケーション)	0.87	平成31年度		
既	博士後期課程									
	文学研究科						0.45		京都市下京区七条通大宮東入ル大工町125番地の1	
設	真宗学専攻	3	5	－	15	博士(文学)	0.40	昭和30年度		
大	仏教学専攻	3	5	－	15	博士(文学)	0.80	昭和30年度		
学	哲学専攻	3	2	－	6	博士(文学)	0.00	昭和41年度		
等	教育学専攻	3	3	－	9	博士(教育学)	0.11	平成12年度		
の	臨床心理学専攻	3	2	－	6	博士(臨床心理学)	1.00	平成24年度		
状	日本史学専攻	3	2	－	6	博士(文学)	0.66	昭和41年度		
況	東洋史学専攻	3	2	－	6	博士(文学)	0.33	昭和41年度		
	日本語日本文学専攻	3	2	－	6	博士(文学)	0.33	昭和41年度		
	英語英米文学専攻	3	2	－	6	博士(文学)	0.16	昭和42年度		
	法学研究科								京都市伏見区深草塚本町67番地	
	法律学専攻	3	5	－	15	博士(法学)	0.13	昭和49年度		
	経済学研究科								京都市伏見区深草塚本町67番地	
	経済学専攻	3	3	－	9	博士(経済学)	0.66	昭和60年度		
	経営学研究科								京都市伏見区深草塚本町67番地	
	経営学専攻	3	3	－	9	博士(経営学)	0.00	昭和60年度		
	社会学研究科						0.32		滋賀県大津市瀬田大江町横谷1番5	
	社会学専攻	3	3	－	9	博士(社会学)	0.22	平成3年度		
	社会福祉学専攻	3	3	－	9	博士(社会福祉学)	0.44	平成3年度		

既設大学等の状況

学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
理工学研究科						0.10		滋賀県大津市瀬田大江町横谷1番5	
数理情報学専攻	3	3	－	9	博士(理学)	0.00	平成7年度		
電子情報学専攻	3	3	－	9	博士(工学)	0.00	平成7年度		
機械システム工学専攻	3	3	－	9	博士(工学)	0.11	平成7年度		
物質化学専攻	3	3	－	9	博士(工学)	0.11	平成7年度		
情報メディア学専攻	3	2	－	6	博士(工学)	0.16	平成21年度		
環境ソリューション工学専攻	3	2	－	6	博士(工学)	0.33	平成21年度		
国際文化学研究科								京都市伏見区深草塚本町67番地	※平成31年度より学生募集停止（国際文化学研究科国際文化学専攻）
国際文化学専攻	3	－	－	－	博士(国際文化学)	－	平成14年度		
政策学研究科								京都市伏見区深草塚本町67番地	
政策学専攻	3	3	－	9	博士(政策学)	0.55	平成23年度		
農学研究科								滋賀県大津市瀬田大江町横谷1番5	
食農科学専攻	3	5	－	15	博士(食農科学)	0.80	平成30年度		
国際学研究科						0.62		京都市伏見区深草塚本町67番地	
国際文化学専攻	3	2	－	6	博士(国際文化学)	0.25	平成31年度		
グローバルスタディーズ専攻	3	2	－	6	博士(グローバルスタディーズ)	1.00	平成31年度		

大学の名称	龍谷大学短期大学部								
学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
短期大学部								京都市伏見区深草塚本町67番地	
社会福祉学科	2	85	－	170	短期大学士(社会福祉学)	0.94	昭和37年度		
こども教育学科	2	135	－	270	短期大学士(こども教育学)	0.85	平成23年度		

附属施設の概要	名　称：社会科学研究所 目　的：社会科学における各分野の枠にとらわれず、様々な分野の研究者との共同研究を推進することで、新たな社会科学の創造と発展に寄与することを目的とする。 所在地：京都市伏見区深草塚本町67番地　紫英館2階 設　立：昭和44（1969）年4月 規　模：634.17㎡	
	名　称：人間・科学・宗教総合研究センター 目　的：本学の所有する資源を活かし、人間・科学・宗教に関連する高度な研究成果を国内外に発信し、本学が戦略的に行う研究を推進することを目的とする。 所在地：京都市伏見区深草塚本町67番地　紫光館3階 設　立：平成13（2001）年9月 規　模：158.40㎡	
	名　称：世界仏教文化研究センター 目　的：龍谷大学の建学の精神に基づき，仏教を機軸とした国際的な研究拠点を形成し，現代世界の切実な諸課題に応え得る指針を提示することで，国際交流の推進，教育への還元と社会への貢献を目的とする。 所在地：京都市伏見区深草塚本町67番地　紫光館3階 京都市下京区七条通大宮東入大工町125番の1　西黌123研究室 白亜館2階 設　立：平成27（2015）年4月1日 規　模：386.96㎡	
	名　称：Ryukoku Extention Center 目　的：各学問分野の発展を基礎に、本学に対する社会的要請に応えるため、本学の教育・研究機能の公開の拠点とすることを目的とする。 所在地：滋賀県大津市瀬田大江町横谷1番5　REC-HALL 京都市伏見区深草塚本町67　紫光館5階 東大阪市荒本北50-5　クリエイション・コア東大阪内 設　立：平成3（1991）年4月 規　模：3,045.75㎡	
	名　称：龍谷ミュージアム 目　的：仏教文化を中心とした学術資料の収集、整理、保存、調査、研究及び展示公開等の博物館活動を継続的に行うとともに、本学における教育・研究の成果を広く社会に公開することを目的とする。 所在地：京都市下京区西中辻通正面下ル丸屋町117 設　立：平成23（2011）年4月 規　模：4,166,99㎡	
	名　称：科学技術共同研究センター 目　的：科学技術及びその関連分野に関する研究・開発を行い、科学技術の創造と発展に寄与し、あわせて研究成果の社会還元を図ることを目的とする。 所在地：滋賀県大津市瀬田大江町横谷1番5　3号館3階 設　立：平成元（1989）年4月 規　模：28.35㎡	
	名　称：国際社会文化研究所 目　的：地域、社会、福祉、国際文化、国際共生及びその他の人文社会系に関する総合的学術研究並びに国際的研究交流を推進し，これらの分野における学術研究の向上に寄与するとともに研究成果の社会還元をはかることを目的とする。 所在地：滋賀県大津市瀬田大江町横谷1番5　3号館3階 設　立：平成9（1997）年4月 規　模：26.25㎡	
	名　称：食と農の総合研究所 目　的：食と農に関する農学を中心とした複合的・学際的・国際的な研究を推進する。また、地域社会との連携をも視野に入れた研究を推進し、これらの分野における学術の向上に寄与するとともに研究成果の社会還元を図ることを目的とする。 所在地：滋賀県大津市瀬田大江町横谷1番5　4号館3階 設　立：平成27（2015）年4月 規　模：55.00㎡	
	名　称：牧農場 目　的：農学部・農学研究科の教育・研究に資することを目的とする。 所在地：滋賀県大津市牧二丁目字牧 設　立：平成27（2015）年4月 規　模：27,411.00 ㎡	

（注）

1　共同学科等の認可の申請及び届出の場合，「計画の区分」，「新設学部等の目的」，「新設学部等の概要」，「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず，斜線を引くこと。

2　「教員組織の概要」の「既設分」については，共同学科等に係る数を除いたものとすること。

3　私立の大学又は高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は，「教育課程」，「教室等」，「専任教員研究室」，「図書・設備」，「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず，斜線を引くこと。

4　大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は，「教育課程」，「校地等」，「校舎」，「教室等」，「専任教員研究室」，「図書・設備」，「図書館」，「体育館」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず，斜線を引くこと。

5　「教育課程」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。

6　空欄には，「－」又は「該当なし」と記入すること。

（基本計画書・補足資料）

学校法人龍谷大学　設置認可等に関わる組織の移行表

令和4（2022）年度				令和5（2023）年度				
学部・学科等	入学定員	編入学定員	収容定員	学部・学科等	入学定員	編入学定員	収容定員	変更の事由
龍谷大学				龍谷大学				
文学部				文学部				
真宗学科	145	3年次 6	592	真宗学科	145	3年次 6	592	
仏教学科	118	3年次 5	482	仏教学科	118	3年次 5	482	
哲学科	148	3年次 4	600	哲学科	148	3年次 4	600	
臨床心理学科	99	3年次 2	400		0	3年次 0	0	令和5年4月学生募集停止
歴史学科	267	3年次 9	1,086	歴史学科	267	3年次 9	1,086	
日本語日本文学科	101	3年次 2	408	日本語日本文学科	101	3年次 2	408	
英語英米文学科	101	3年次 2	408	英語英米文学科	101	3年次 2	408	
経済学部				経済学部				
現代経済学科	360	3年次 7	1,454	現代経済学科	360	3年次 7	1,454	
国際経済学科	240	3年次 5	970	国際経済学科	240	3年次 5	970	
経営学部				経営学部				
経営学科	519	3年次 5	2,086	経営学科	519	3年次 5	2,086	
法学部				法学部				
法律学科	445	3年次 5	1,790	法律学科	445	3年次 5	1,790	
社会学部				社会学部				
社会学科	210	3年次 5	850	社会学科	210	3年次 5	850	
コミュニティマネジメント学科	153	3年次 3	618	コミュニティマネジメント学科	153	3年次 3	618	
現代福祉学科	195	3年次 30	840	現代福祉学科	195	3年次 30	840	
政策学部				政策学部				
政策学科	308	3年次 5	1,242	政策学科	308	3年次 5	1,242	
国際学部				国際学部				
国際文化学科	372	3年次 20	1,528	国際文化学科	372	3年次 20	1,528	
グローバルスタディーズ学科	135	3年次 10	560	グローバルスタディーズ学科	135	3年次 10	560	
農学部				農学部				
植物生命科学科	90	3年次 10	380	生命科学科	90	3年次 8	376	名称変更 3年次編入学定員の変更（△2）
資源生物科学科	134	3年次 10	556	農学科	134	3年次 9	554	名称変更 3年次編入学定員の変更（△1）
食品栄養学科	80	―	320	食品栄養学科	80	3年次 4	328	3年次編入学定員の変更（4）
食料農業システム学科	134	3年次 10	556	食料農業システム学科	134	3年次 9	554	3年次編入学定員の変更（△1）
先端理工学部				先端理工学部				
数理・情報科学課程	103	3年次 2	416	数理・情報科学課程	103	3年次 2	416	
知能情報メディア課程	103	3年次 2	416	知能情報メディア課程	103	3年次 2	416	
電子情報通信課程	103	3年次 2	416	電子情報通信課程	103	3年次 2	416	
機械工学・ロボティクス課程	113	3年次 2	456	機械工学・ロボティクス課程	113	3年次 2	456	
応用化学課程	103	3年次 2	416	応用化学課程	103	3年次 2	416	
環境生態工学課程	103	3年次 2	416	環境生態工学課程	103	3年次 2	416	
				心理学部				
				心理学科	255	3年次 10	1,040	学部の設置（届出）
龍谷大学　合計	4,982	167	20,262	龍谷大学　合計	5,138	175	20,902	

令和4（2022）年度				令和5（2023）年度				
研究科・専攻	入学定員	編入学定員	収容定員	研究科・専攻	入学定員	編入学定員	収容定員	変更の事由
龍谷大学大学院				龍谷大学大学院				
文学研究科				文学研究科				
真宗学専攻（M）	20	—	40	真宗学専攻（M）	20	—	40	
仏教学専攻（M）	20	—	40	仏教学専攻（M）	20	—	40	
哲学専攻（M）	7	—	14	哲学専攻（M）	7	—	14	
教育学専攻（M）	7	—	14	教育学専攻（M）	7	—	14	
臨床心理学専攻（M）	10	—	20	臨床心理学専攻（M）	10	—	20	
日本史学専攻（M）	7	—	14	日本史学専攻（M）	7	—	14	
東洋史学専攻（M）	7	—	14	東洋史学専攻（M）	7	—	14	
日本語日本文学専攻（M）	7	—	14	日本語日本文学専攻（M）	7	—	14	
英語英米文学専攻（M）	7	—	14	英語英米文学専攻（M）	7	—	14	
法学研究科				法学研究科				
法律学専攻（M）	25	—	50	法律学専攻（M）	25	—	50	
経済学研究科				経済学研究科				
経済学専攻（M）	30	—	60	経済学専攻（M）	30	—	60	
経営学研究科				経営学研究科				
経営学専攻（M）	30	—	60	経営学専攻（M）	30	—	60	
社会学研究科				社会学研究科				
社会学専攻（M）	10	—	20	社会学専攻（M）	10	—	20	
社会福祉学専攻（M）	10	—	20	社会福祉学専攻（M）	10	—	20	
理工学研究科				理工学研究科				
数理情報学専攻（M）	25	—	50	数理情報学専攻（M）	25	—	50	
電子情報学専攻（M）	25	—	50	電子情報学専攻（M）	25	—	50	
機械システム工学専攻（M）	25	—	50	機械システム工学専攻（M）	25	—	50	
物質化学専攻（M）	25	—	50	物質化学専攻（M）	25	—	50	
情報メディア学専攻（M）	20	—	40	情報メディア学専攻（M）	20	—	40	
環境ソリューション工学専攻（M）	20	—	40	環境ソリューション工学専攻（M）	20	—	40	
国際学研究科				国際学研究科				
国際文化学専攻（M）	7	—	14	国際文化学専攻（M）	7	—	14	
グローバルスタディーズ専攻（M）	4	—	8	グローバルスタディーズ専攻（M）	4	—	8	
言語コミュニケーション専攻（M）	4	—	8	言語コミュニケーション専攻（M）	4	—	8	
実践真宗学研究科				実践真宗学研究科				
実践真宗学専攻（M）	30	—	90	実践真宗学専攻（M）	30	—	90	
政策学研究科				政策学研究科				
政策学専攻（M）	20	—	40	政策学専攻（M）	20	—	40	
農学研究科				農学研究科				
食農科学専攻（M）	30	—	60	食農科学専攻（M）	30	—	60	

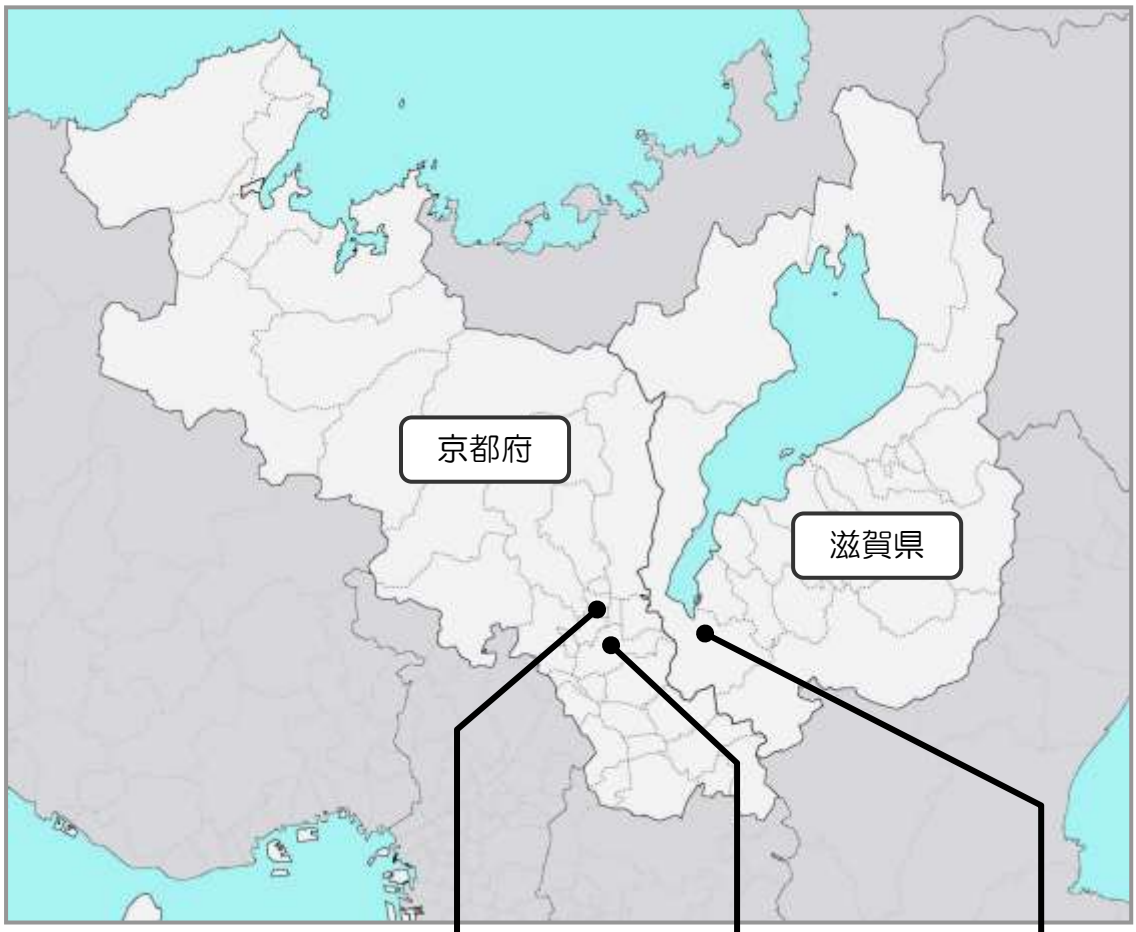
令和4（2022）年度			
研究科・専攻	入学定員	編入学定員	収容定員
文学研究科			
真宗学専攻（D）	5	ー	15
仏教学専攻（D）	5	ー	15
哲学専攻（D）	2	ー	6
教育学専攻（D）	3	ー	9
臨床心理学専攻（D）	2	ー	6
日本史学専攻（D）	2	ー	6
東洋史学専攻（D）	2	ー	6
日本語日本文学専攻（D）	2	ー	6
英語英米文学専攻（D）	2	ー	6
法学研究科			
法律学専攻（D）	5	ー	15
経済学研究科			
経済学専攻（D）	3	ー	9
経営学研究科			
経営学専攻（D）	3	ー	9
社会学研究科			
社会学専攻（D）	3	ー	9
社会福祉学専攻（D）	3	ー	9
理工学研究科			
数理情報学専攻（D）	3	ー	9
電子情報学専攻（D）	3	ー	9
機械システム工学専攻（D）	3	ー	9
物質化学専攻（D）	3	ー	9
情報メディア学専攻（D）	2	ー	6
環境ソリューション工学専攻（D）	2	ー	6
国際学研究科			
国際文化学専攻（D）	2	ー	6
グローバルスタディーズ専攻（D）	2	ー	6
政策学研究科			
政策学専攻（D）	3	ー	9
農学研究科			
食農科学専攻（D）	5	ー	15
龍谷大学大学院　合計	**502**	**ー**	**1,104**

令和5（2023）年度				
研究科・専攻	入学定員	編入学定員	収容定員	変更の事由
文学研究科				
真宗学専攻（D）	5	ー	15	
仏教学専攻（D）	5	ー	15	
哲学専攻（D）	2	ー	6	
教育学専攻（D）	3	ー	9	
臨床心理学専攻（D）	2	ー	6	
日本史学専攻（D）	2	ー	6	
東洋史学専攻（D）	2	ー	6	
日本語日本文学専攻（D）	2	ー	6	
英語英米文学専攻（D）	2	ー	6	
法学研究科				
法律学専攻（D）	5	ー	15	
経済学研究科				
経済学専攻（D）	3	ー	9	
経営学研究科				
経営学専攻（D）	3	ー	9	
社会学研究科				
社会学専攻（D）	3	ー	9	
社会福祉学専攻（D）	3	ー	9	
理工学研究科				
数理情報学専攻（D）	3	ー	9	
電子情報学専攻（D）	3	ー	9	
機械システム工学専攻（D）	3	ー	9	
物質化学専攻（D）	3	ー	9	
情報メディア学専攻（D）	2	ー	6	
環境ソリューション工学専攻（D）	2	ー	6	
国際学研究科				
国際文化学専攻（D）	2	ー	6	
グローバルスタディーズ専攻（D）	2	ー	6	
政策学研究科				
政策学専攻（D）	3	ー	9	
農学研究科				
食農科学専攻（D）	5	ー	15	
龍谷大学大学院　合計	**502**	**ー**	**1,104**	

令和4（2022）年度			
学部・学科	入学定員	編入学定員	収容定員
龍谷大学短期大学部			
社会福祉学科	85	ー	170
こども教育学科	135	ー	270
龍谷大学短期大学部　合計	**220**	**ー**	**440**

令和5（2023）年度				
学部・学科	入学定員	編入学定員	収容定員	変更の事由
龍谷大学短期大学部				
社会福祉学科	85	ー	170	
こども教育学科	135	ー	270	
龍谷大学短期大学部　合計	**220**	**ー**	**440**	

京都府・滋賀県内における位置関係図



龍谷大学　大宮学舎

京都市下京区七条通大宮東入ル
大工町 125 番地の 1

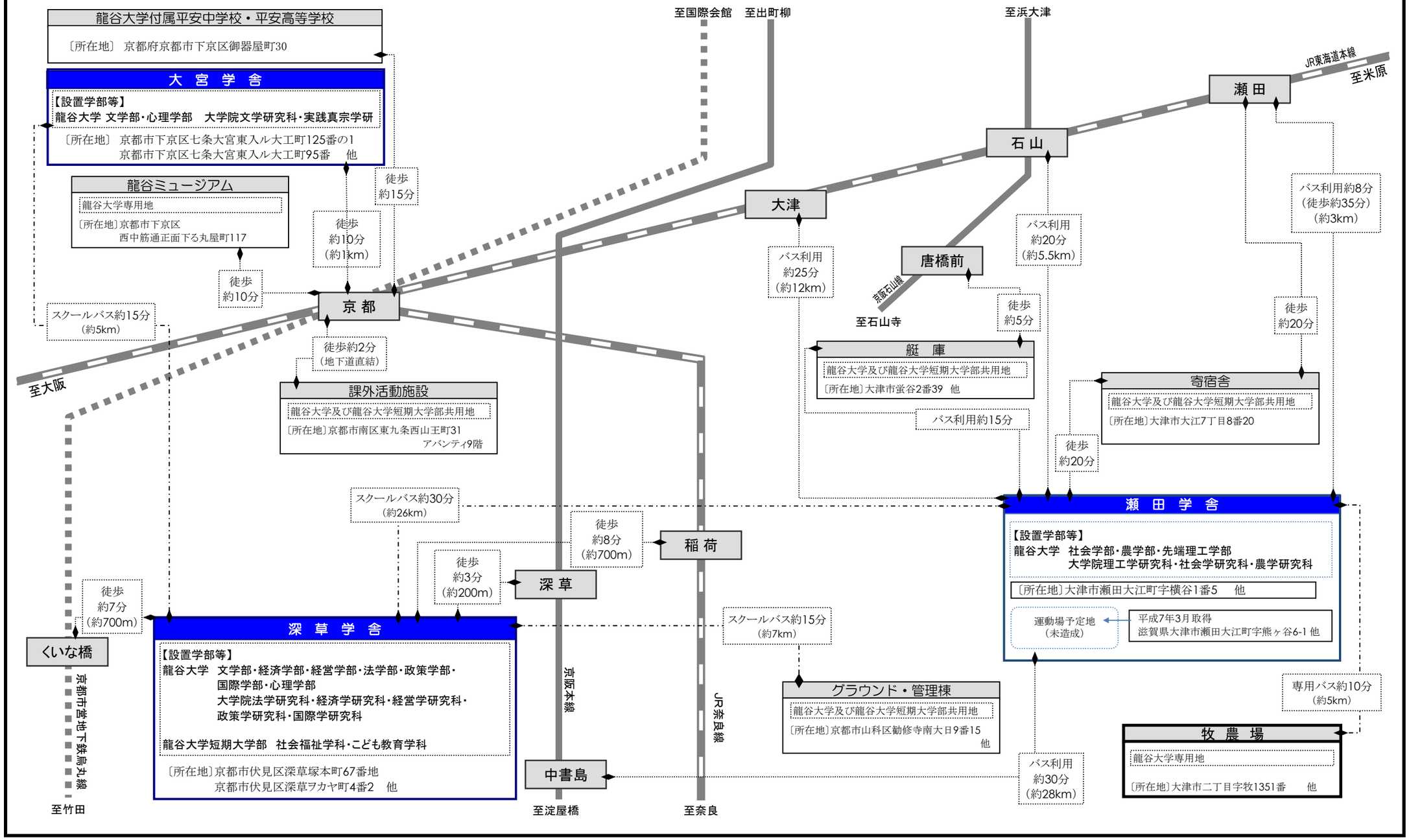
龍谷大学　深草学舎

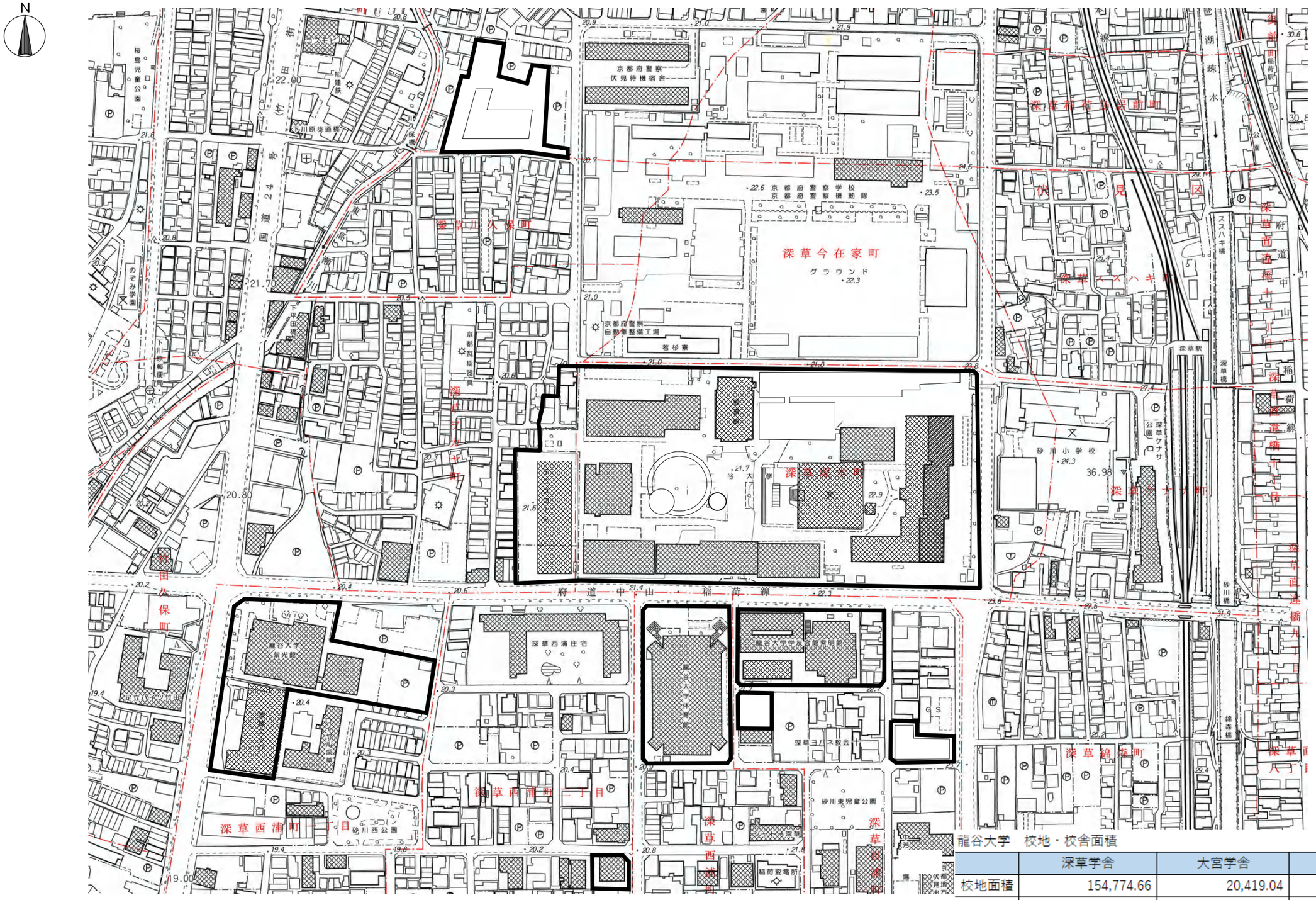
京都市伏見区深草塚本町 67 番地

龍谷大学　瀬田学舎

滋賀県大津市瀬田大江町横谷 1 番 5

最寄り駅からの距離や交通機関の概要





龍谷大学　校地・校舎面積　㎡

	深草学舎	大宮学舎	瀬田学舎
校地面積	154,774.66	20,419.04	200,288.87
校舎面積	121,729.00	33,880.31	95,855.01

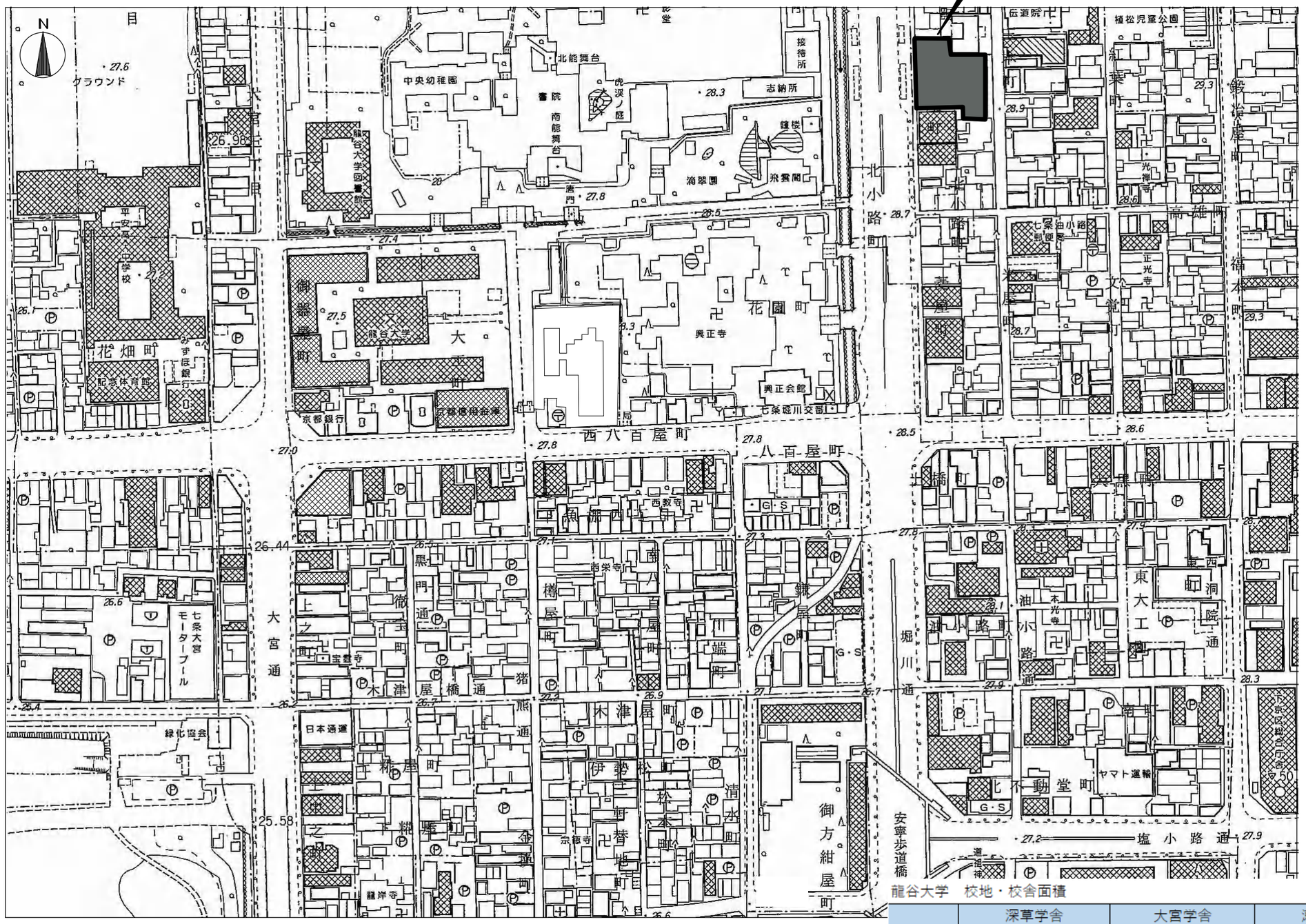
設計名称	学校法人　龍谷大学　深草学舎　校地・校舎	学校法人　龍谷大学　財務部		図面名称	付近見取図
				縮　尺	
				図面番号	



龍谷大学　校地・校舎面積　㎡

	深草学舎	大宮学舎	瀬田学舎
校地面積	154,774.66	20,419.04	200,288.87
校舎面積	121,729.00	33,880.31	95,855.01

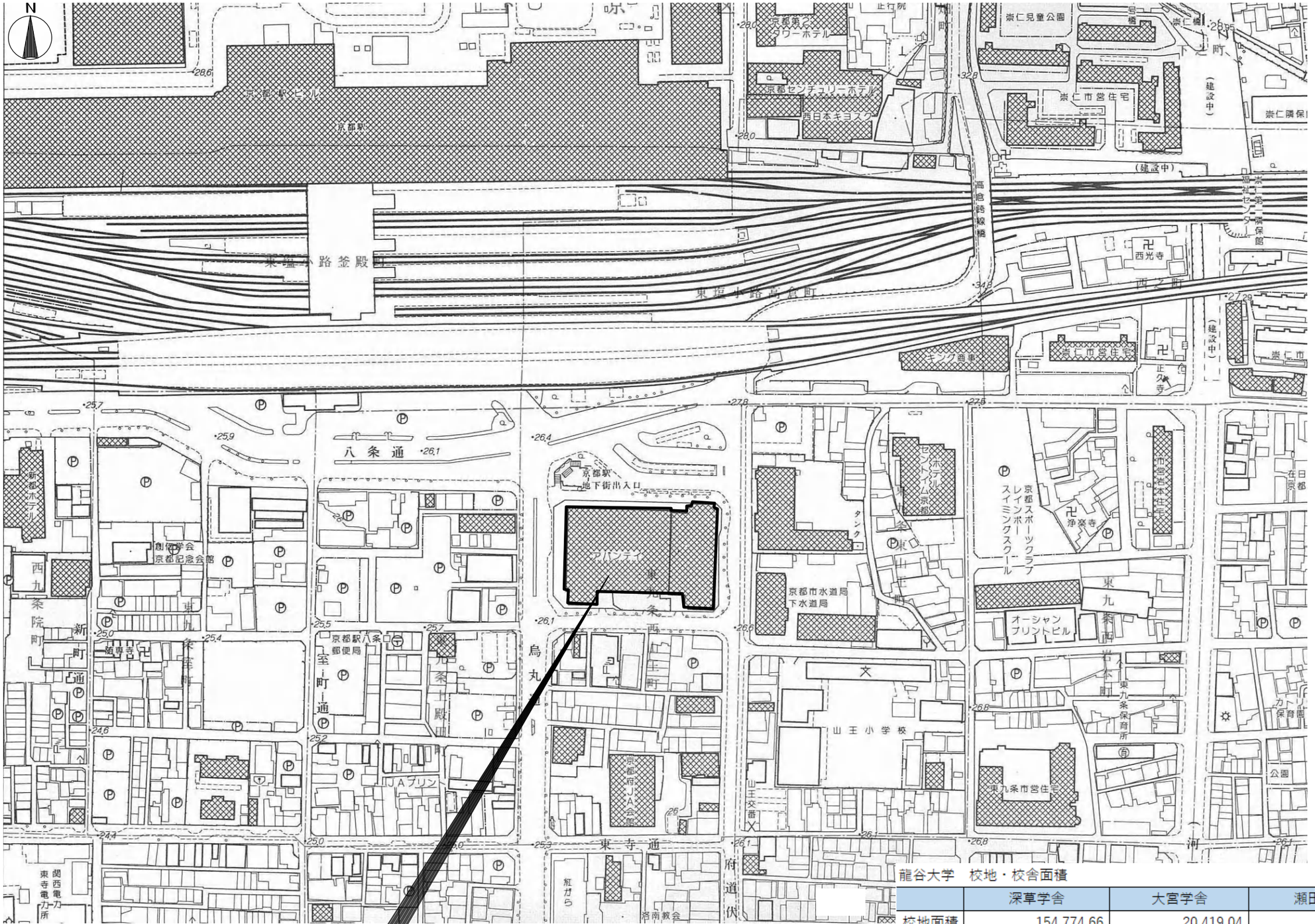
設計名称	学校法人　龍谷大学　大宮学舎　校地・校舎	学校法人　龍谷大学　財務部		図面名称	付近見取図
				縮　尺	図面番号



龍谷大学　校地・校舎面積　㎡

	深草学舎	大宮学舎	瀬田学舎
校地面積	154,774.66	20,419.04	200,288.87
校舎面積	121,729.00	33,880.31	95,855.01

設計名称	学校法人　龍谷大学　大宮学舎　校地・校舎	学校法人　龍谷大学　財務部		図面名称	付近見取図
				縮　尺	図面番号

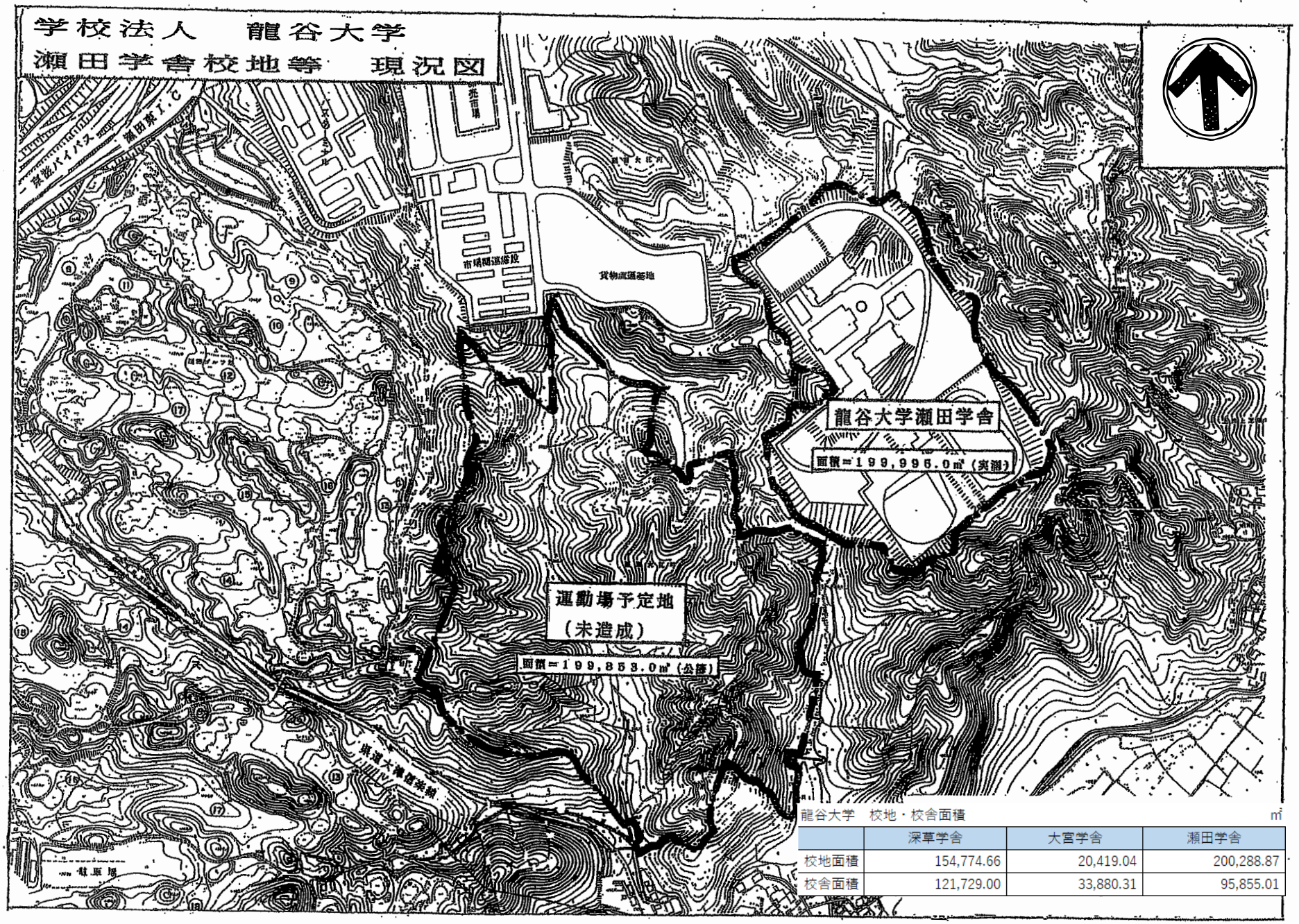


アバンティ

龍谷大学　校地・校舎面積　㎡

	深草学舎	大宮学舎	瀬田学舎
校地面積	154,774.66	20,419.04	200,288.87
校舎面積	121,729.00	33,880.31	95,855.01

設計名称	学校法人　龍谷大学　アバンティ　校地・校舎	学校法人　龍谷大学　財務部		図面名称	付近見取図
				縮　尺	図面番号



龍谷大学　校地・校舎面積　㎡

	深草学舎	大宮学舎	瀬田学舎
校地面積	154,774.66	20,419.04	200,288.87
校舎面積	121,729.00	33,880.31	95,855.01

龍谷大学　校地・校舎面積　㎡

	深草学舎	大宮学舎	瀬田学舎
校地面積	154,774.66	20,419.04	200,288.87
校舎面積	121,729.00	33,880.31	95,855.01

設計名称	学校法人　龍谷大学　南大日校地（運動場）校舎	学校法人　龍谷大学　財務部		図面名称	付近見取図
				縮　尺	図面番号

○龍谷大学学則（案）

昭和24年２月21日

第１章　総則

第１条　本学は教育基本法及び学校教育法にしたがい,浄土真宗の精神に基づく大学として,広く知識を授けるとともに，深く専門の諸学科を教授研究し，併せて有為の人材を養成することを目的とする。

第１条の２　本学は教育研究の向上をはかり，前条の目的を達成するため，自らの点検・評価を行う。

２　前項の目的を達成するため，点検の項目，実施体制は別に定める。

第２条　本学に次の学部を置き，各学部にはそれぞれに掲げる学科，課程及び専攻を置く。

学部	学科・課程	専攻
文学部	真宗学科	
	仏教学科	
	哲学科	哲学専攻
		教育学専攻
	歴史学科	日本史学専攻
		東洋史学専攻
		仏教史学専攻
		文化遺産学専攻
	日本語日本文学科	
	英語英米文学科	
経済学部	現代経済学科	
	国際経済学科	
経営学部	経営学科	
法学部	法律学科	
社会学部	社会学科	
	コミュニティマネジメント学科	
	現代福祉学科	
政策学部	政策学科	
国際学部	国際文化学科	
	グローバルスタディーズ学科	

農学部	植物生命科学科	
	資源生物科学科	
	食品栄養学科	
	食料農業システム学科	
先端理工学部	数理・情報科学課程	
	知能情報メディア課程	
	電子情報通信課程	
	機械工学・ロボティクス課程	
	応用化学課程	
	環境生態工学課程	
心理学部	心理学科	

第２条の２　各学部の教育理念・目的は，次のとおりとする。

学部名	教育理念・目的
文学部	建学の精神に基づいて，人文学の知的体系の研究・教授を通じ，現代社会の複雑な変化や諸問題に，自己を見失うことなく積極的・主体的に対応しつつ，社会に貢献できる教養及び専門性を備えた人間を育成することを目的とする。
経済学部	建学の精神に基づいて，経済学が培ってきた基礎的理論や社会の経済的諸現象を論理的に分析する能力を修得し，さらに国際的・地域的な多様性を理解して，課題の発見と解決に努める人間を育成することを目的とする。
経営学部	建学の精神に基づいて，経営学の理論を修得させることに加えて，実践的かつ実学的素養を身につけさせることを教育理念とする。また，激しい時代の変化に対応でき，社会から信頼される経営人を育成することを目的とする。
法学部	建学の精神に基づいて，日本国憲法の理念を基礎に，法学と政治学の教育・研究を通じて，広い教養と専門的な知識をもって主体的に行動し，鋭い人権感覚と正義感のもとに自ら発見した問題を社会と連携して解決できる，自立的な市民を育成することを目的とする。
社会学部	建学の精神に基づいて，多様な価値観が錯綜する現代におい

	て，人が営む共同体である「社会」のあり方を学び，人と人，人と組織や社会との関わり方やそこで発生する諸問題の分析・解決の視点と手法を身につけた人間を育成することを目的とする。
政策学部	建学の精神に基づいて，共生の哲学を基礎に，政策学の教育と研究を通じて広い教養と専門的な知識を身につけ，社会の持続可能な発展のために主体的に行動するとともに，自ら発見した問題を社会と連携して解決できる，公共性を深く理解し，高い市民性を持つ自立的な人材を育成することを目的とする。
国際学部	建学の精神に基づいて，異文化への理解と敬意を深めるとともに，自文化についての発信力を養い，グローバル化が加速する時代において，柔軟な思考と批判的精神をもって対応できるコミュニケーション能力と問題解決能力を備えた人間を育成することを目的とする。
農学部	建学の精神に基づいて，人類が直面する「食」と「農」に関する国内外の諸問題に対して真摯に向き合い，農学の立場から正しい判断ができる力を備えた，持続可能な社会の実現に貢献しうる人の育成を目的とする。
先端理工学部	建学の精神に基づいて，自然・社会と科学との調和を重視し，幅広い教養と理工学の各専門分野における基礎知識・技能を身に着け，持続可能な社会の発展に貢献できる高い倫理観を持った技術者・研究者を育成することを目的とする。
心理学部	建学の精神に基づいて，現代社会が抱える諸課題に対し，心理学の教育と研究を通じて得られる対人支援や良好な人間関係の構築に必要なコミュニケーション・スキルを身につけ，主体的かつ実践的に対応できる人間を育成することを目的とする。

第３条　本学に大学院を置く。大学院の学則は別にこれを定める。

２　本学に留学生別科を置く。留学生別科については別に定める。

第４条　本学学部の収容定員は，次のとおりとする。

学部・学科・課程・専攻			入学定員	編入学定員	収容定員
文学部	真宗学科		145名	6名	592名
	仏教学科		118名	5名	482名
	哲学科	哲学専攻	74名	2名	300名
		教育学専攻	74名	2名	300名
	歴史学科	日本史学専攻	81名	3名	330名
		東洋史学専攻	74名	2名	300名
		仏教史学専攻	65名	2名	264名
		文化遺産学専攻	47名	2名	192名
	日本語日本文学科		101名	2名	408名
	英語英米文学科		101名	2名	408名
	小計		979名	30名	3,976名
経済学部	現代経済学科		360名	7名	1,454名
	国際経済学科		240名	5名	970名
	小計		600名	12名	2,424名
経営学部		経営学科	519名	5名	2,086名
法学部		法律学科	445名	5名	1,790名
社会学部	社会学科		210名	5名	850名
	コミュニティマネジメント学科		153名	3名	618名
	現代福祉学科		195名	30名	840名
	小計		558名	38名	2,308名
政策学部		政策学科	308名	5名	1,242名
国際学部	国際文化学科		372名	20名	1,528名
	グローバルスタディーズ学科		135名	10名	560名
	小計		507名	30名	2,088名
農	植物生命科学科		90名	8名	376名

学部	資源生物科学科	134名	9名	554名
	食品栄養学科	80名	4名	328名
	食料農業システム学科	134名	9名	554名
	小計	438名	30名	1,812名
先端理工学部	数理・情報科学課程	103名	2名	416名
	知能情報メディア課程	103名	2名	416名
	電子情報通信課程	103名	2名	416名
	機械工学・ロボティクス課程	113名	2名	456名
	応用化学課程	103名	2名	416名
	環境生態工学課程	103名	2名	416名
	小計	628名	12名	2,536名
心理学部	心理学科	255名	10名	1,040名
合計		5,138名	175名	20,902名

第５条　本学学部の修業年限は４年とし，８年を超えて在学することはできない。

第６条　本学学部に４年以上在学し，所定の科目を履修しその単位を修得した者に対し，学長は各学部教授会の議を経て卒業を認定する。ただし，学長は，所定の科目を特別に優秀な成績で修得したと教授会が認めた者については，３年以上の在学で卒業を認定することができる。その取扱いについては別にこれを定める。

２　学長は，前項により卒業の認定を受けた者に対し，卒業証書及び本学学位規程に定める学士の学位を授与する。

３　卒業認定の時期は，学年末とする。ただし，学長が特別の事情があると認める者に対しては，学期の末とすることができる。

第７条　削除

第２章　通則

第１節　学年・学期・休業日

第８条　学年は，４月１日に始まり翌年３月31日に終る。

第９条　学年を原則として次の２学期に分ける。

第１学期　４月１日から９月30日まで

第２学期　10月１日から翌年３月31日まで

第10条　休業日は，次のとおりとする。

(1)　日曜日

(2)　「国民の祝日に関する法律」に規定する休日

(3)　創立記念日（５月21日）

(4)　春期休業（３月１日から３月31日まで）

(5)　夏期休業（８月１日から９月20日まで）

(6)　冬期休業（12月24日から翌年１月７日まで）

２　前項の休業日については，事情により変更することがあり，授業を行うことができる。

３　臨時の休業については，学長がそのつど定める。

第２節　学籍の取得，喪失，異動

第11条　入学は，毎学年の始めとする。ただし，特別の事情のある場合は，学期の始めとすることができる。

第12条　次の各号の１に該当する者は，学部第１学年に入学することができる。ただし，必要と認めたときは，高等学校卒業程度の選抜試験を行う。

(1)　高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者

(2)　通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）

(3)　外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずるもので文部科学大臣の指定した者

(4)　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

(5)　専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

(6)　文部科学大臣の指定した者

(7)　高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）

(8)　本学において，個別の入学資格審査により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，18歳に達した者

第13条　本学の第３年次及び第２年次に転入学又は編入学を希望する者については，選考の上これを許可することがある。

２　第３年次に入学できる者は，次の各号の１に該当する者とする。

(1)　大学に２年以上在学した者

(2)　短期大学を卒業した者

(3)　高等専門学校を卒業した者

３　第２年次に入学できる者は，次の各号の１に該当する者とする。

(1)　大学に１年以上在学した者

(2)　短期大学を卒業した者

(3)　高等専門学校を卒業した者

第14条　第19条の規定により本学を中途退学をした者が，再び入学を願出たときは，その事情を調査のうえ，入学を許可することがある。

第14条の２　第20条第１項第１号により除籍された者が，再び入学を願出たときは，その事情を調査のうえ，入学を許可することがある。

第14条の３　前３条の規定により入学した者の在学すべき年数及び在学し得る年数については，第６条及び第５条の規定にかかわらず教授会が定める。

第15条　入学志願者は，所定の書式にしたがい入学願書，履歴書及び修学証明書を提出しなければならない。

第16条　入学の許可を得た者は，所定の入学誓書，保証書及び住民票記載事項証明書を指定の期日までに提出しなければならない。

第17条　保証人は１名とする。

２　保証人は,その学生の在学中にかかる一切の事件について責任を負わなければならない。

３　保証人が死亡したとき又はその資格を失ったときは,新たに保証人を定めて保証書を提出しなければならない。

４　保証人が転居等をしたときは，ただちにその旨を届けなければならない。

第18条　学生が疾病又はその他の事由により，３月以上修学を中止しようとするときは，学長の許可を得て１学期間又は１学年間休学することができる。

２　休学中の者が引き続き休学を希望するときは，休学期間の延長をすることができる。

３　休学期間は連続して２年，通算して４年を超えることはできない。

４　休学期間は在学期間に算入しない。

第18条の２　休学した者が復学しようとするときは，所定の様式により，学長に願出なければならない。

第18条の３　他の大学へ転学を希望する学生は，学長に願出てその許可を受けなければな

らない。

第18条の４　本学先端理工学部において，第３年次及び第２年次に転課程を希望する者については，先端理工学部教授会の議を経て，これを許可することがある。

２　第３年次に転課程できる者は，先端理工学部に２年以上在学した者とする。

３　第２年次に転課程できる者は，先端理工学部に１年以上在学した者とする。

第19条　疾病又はその他の事由で退学しようとするときは，保証人と連署して願出なければならない。

第19条の２　外国の大学又は短期大学等で学修することを志願する者は，学長の許可を得て留学することができる。

第20条　学生が次の各号の１に該当するときは，これを除籍する。

(1)　定められた期間内に学費を納入しない者

(2)　第５条に定める期間に修了できない者

(3)　第18条に定める休学期間を終えても復学できない者

２　前項に規定するほか，死亡したときも除籍する。

第３節　受験料，学費（入学金・授業料・実験実習料・実習料・留学実習料・施設費）及びその他納付金

第21条　入学試験の受験料・併願審査料は，別に定める。

第22条　学費は，次のとおりとする。

（単位　円）

	金額												備考
	文学部（歴史学科文化遺産学専攻を除く。）経済学部経営学部	文学部歴史学科文化遺産学専攻	政策学部	社会学部	国際学部国際文化学科	国際学部グローバルスタディーズ学科	農学部植物生命科学科資源生物科学科	農学部食品栄養学科	農学部食料農業システム学科	先端理工学部数理・情報科学課程	先端理工学部知能情報メディア課程電子情報通信	心理学部	

	法学部										課程 機械工学・ロボティクス課程 応用化学課程 環境生態工学課程		
入学金	260,000	260,000	260,000	260,000	260,000	260,000	260,000	260,000	260,000	260,000	260,000	260,000	編入学生及び転入学生の入学金は，160,000円を減免する。ただし，本学出身者（短期大学部出身者含む）が本学へ編入学する場合又は本学の
授業料	761,000	761,000	761,000	761,000	806,000	961,000	979,000	979,000	979,000	1,029,000	1,029,000	1,007,000	

													学生が転学部，転学科，転課程及び転専攻する場合は，入学金全額を免除する。 　再入学生の入学金は，全額免除とする。
実験実習料	—	—	—	35,900	—	—	143,600	193,600	35,900	143,600	143,600	—	
実習料	—	35,900	15,000	—	10,000	—	—	—	—	—	—	—	
留学実習料	—	—	—	—	—	170,000	—	—	—	—	—	—	
施設費	260,000	260,000	260,000	260,000	260,000	260,000	390,000	440,000	260,000	340,000	390,000	260,000	入学初年度（1年次）の施設費は260,000円を減免する。 　本学短

													期大学部出身者が本学へ編入学する場合は，編入初年度及び2年度目（3年次・4年次）の施設費をそれぞれ50,000円減免する。

2　前項のほか，教職課程及び教育実習等実習を履修する者の履修料及び実習費については，学費等納入規程に定めるところによる。

第22条の２　学年の中途で退学する者は，当該学期分の学費は納入しなければならない。

2　停学期間においても，学費は納入しなければならない。

第22条の３　休学者の学費は，当該学期の休学在籍料を納入しなければならない。休学在籍料は，200,000円とする。

第22条の４　本節に規定するほか，受験料，学費及びその他の納付金については別に定める学費等納入規程による。

第４節　懲戒

第23条　学生が本学の秩序を乱し，その他学生の本分に反した場合，その内容，軽重等を考慮し，別に定める学生懲戒規程により，次の懲戒を加える。

(1)　戒告

(2)　停学

(3)　退学

第24条　削除

第３章　教育課程

第１節　通則

第25条　文学部，経済学部，経営学部，法学部，社会学部，政策学部，国際学部，農学部，先端理工学部及び心理学部の教育課程における授業科目は，専攻科目と教養教育科目とし，学修方法によりそれぞれ必修科目，選択必修科目，選択科目に区分する。

２　前項に規定するほか，経済学部，経営学部，法学部及び政策学部の教育課程に，専攻科目として学部共通コース科目を置く。

３　前２項に規定するほか，各学部において，教育上必要があるときは寄付講座科目等を設けることができる。

４　第54条に規定する外国人留学生のために，前３項に規定する授業科目の他に，日本語科目を置く。

第25条の２　授業は，講義，演習，実験，実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

２　前項の授業は，多様なメディアを高度に利用して，当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

３　第34条の規定により卒業の要件として修得すべき単位数のうち，前項の授業の方法により修得する単位数は60単位を超えないものとする。

第26条　各授業科目の単位数を定めるにあたっては，１単位の授業科目につき45時間の学修を必要とする内容をもつものとして構成し，次の基準によって計算する。

(1)　講義及び演習については，15時間から30時間までの範囲で教授会が定める時間の授業をもって１単位とする。

(2)　実験，実習及び実技については，30時間から45時間までの範囲で教授会が定める時間の授業をもって１単位とする。

(3)　１つの授業科目について，講義，演習，実験，実習又は実技のうち２以上の方法の併用により行う場合については，その組み合わせに応じ，前２号に規定する基準を考慮して教授会が定める時間の授業をもって１単位とする。

２　前項の規定にかかわらず，卒業論文，卒業研究，特別研究等の授業科目については，これらの学修の成果を評価して単位を認定することが適切と教授会が認める場合には，これらに必要な学修等を考慮して，単位数を定めることができる。

第26条の２　各授業科目の授業は，原則として15週にわたる期間を単位として行うものとする。ただし，教育上必要があり，かつ，十分な教育効果をあげることができると教授会

が認める場合は，この限りでない。

第27条　授業科目を履修し，その試験に合格した者には所定の単位を与える。

第28条　試験は100点を満点とし，60点以上を合格とする。

第29条　本学において教育職員免許状授与の所要資格を取得しようとする者は，教育職員免許法及び同法施行規則に定める単位を修得しなければならない。

２　本学各学部において取得できる教育職員免許状の種類は，次のとおりとする。

学部	学科・課程	教科	免許状の種類
文学部	真宗学科	宗教	中学校教諭一種免許状
	仏教学科		高等学校教諭一種免許状
	哲学科	社会	中学校教諭一種免許状
		地理歴史	高等学校教諭一種免許状
		公民	
	歴史学科	社会	中学校教諭一種免許状
		地理歴史	高等学校教諭一種免許状
	日本語日本文学科	国語	中学校教諭一種免許状
			高等学校教諭一種免許状
	英語英米文学科	英語	中学校教諭一種免許状
			高等学校教諭一種免許状
経済学部	現代経済学科	社会	中学校教諭一種免許状
		公民	高等学校教諭一種免許状
	国際経済学科	社会	中学校教諭一種免許状
		地理歴史	高等学校教諭一種免許状
経営学部	経営学科	社会	中学校教諭一種免許状
		地理歴史	高等学校教諭一種免許状
		公民	
		商業	
法学部	法律学科	社会	中学校教諭一種免許状
		地理歴史	高等学校教諭一種免許状
		公民	
社会学部	社会学科	社会	中学校教諭一種免許状

		地理歴史	高等学校教諭一種免許状
		公民	
	コミュニティマネジメント学科	社会	中学校教諭一種免許状
		公民	高等学校教諭一種免許状
	現代福祉学科	社会	中学校教諭一種免許状
		公民	高等学校教諭一種免許状
政策学部	政策学科	社会	中学校教諭一種免許状
		公民	高等学校教諭一種免許状
国際学部	国際文化学科	英語	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状
	グローバルスタディーズ学科	英語	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状
農学部	植物生命科学科	理科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状
		農業	高等学校教諭一種免許状
	資源生物科学科	理科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状
		農業	高等学校教諭一種免許状
	食品栄養学科	栄養教諭一種免許状	
	食料農業システム学科	農業	高等学校教諭一種免許状
先端理工学部	数理・情報科学課程	数学	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状
		情報	高等学校教諭一種免許状
	知能情報メディア課程	情報	高等学校教諭一種免許状
	電子情報通信課程	工業	高等学校教諭一種免許状
	機械工学･ロボティクス課程	工業	高等学校教諭一種免許状
	応用化学課程	理科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状
	環境生態工学課程	理科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状

心理学部	心理学科	公民	高等学校教諭一種免許状

第29条の２　削除

第２節　開設科目

第30条　本学各学部で開設する授業科目及び単位数は，別表１のとおりとする。

第30条の２　経済学部，経営学部，法学部及び政策学部において，学部共通コース科目として開設する授業科目及び単位数は，別表２のとおりとする。

第31条　本学において，日本語及び日本事情に関する科目として開設する授業科目及び単位数は，別表３のとおりとする。

第32条　本学において，教育職員免許状取得に関する科目として開設する授業科目は，別表４のとおりとする。

２　削除

第33条　文学部，国際学部，農学部及び先端理工学部において，博物館学芸員資格取得に関する科目として開設する授業科目は，別表６のとおりとする。

第33条の２　本学において，本願寺派教師資格取得に関する科目として開設する授業科目は，別表７のとおりとする。

第33条の３　削除

第33条の４　削除

第33条の５　削除

第33条の６　本学において，図書館司書資格取得に関する科目として開設する授業科目は，別表10のとおりとする。

第33条の７　本学において，学校図書館司書教諭資格取得に関する科目として開設する授業科目は，別表11のとおりとする。

第33条の８　農学部食品栄養学科において，栄養士資格取得に関する科目として開設する授業科目は，別表12のとおりとする。

第33条の９　農学部食品栄養学科において，管理栄養士受験資格取得に関する科目として開設する授業科目は，別表13のとおりとする。

第33条の10　農学部食品栄養学科において，食品衛生管理者及び食品衛生監視員資格取得に関する科目として開設する授業科目は，別表14のとおりとする。

第33条の11　社会学部現代福祉学科において，社会福祉士受験資格取得に関する科目として開設する授業科目は，別表15のとおりとする。

第33条の12　社会学部現代福祉学科において，精神保健福祉士受験資格取得に関する科目

として開設する授業科目は，別表16のとおりとする。

第33条の13　心理学部において，公認心理師受験資格取得に関する科目として開設する授業科目は，別表17のとおりとする。

第33条の14　社会学部において，社会教育主事資格取得に関する科目として開設する授業科目は，別表18のとおりとする。

第３節　履修方法

第34条　本学各学部において，卒業の認定を受けるために必要な単位数は以下のとおりとする。

(1)　文学部

真宗学科　124単位以上

仏教学科　124単位以上

哲学科　124単位以上

歴史学科　124単位以上

日本語日本文学科　124単位以上

英語英米文学科　124単位以上

(2)　経済学部

現代経済学科　124単位以上

国際経済学科　124単位以上

(3)　経営学部

経営学科　125単位以上

(4)　法学部

法律学科　124単位以上

(5)　社会学部

社会学科　124単位以上

コミュニティマネジメント学科　124単位以上

現代福祉学科　124単位以上

(6)　政策学部

政策学科　124単位以上

(7)　国際学部

国際文化学科　124単位以上

グローバルスタディーズ学科　124単位以上

(8)　農学部

植物生命科学科　124単位以上

資源生物科学科　124単位以上

食品栄養学科　124単位以上

食料農業システム学科　124単位以上

(9)　先端理工学部

数理・情報科学課程　124単位以上

知能情報メディア課程　124単位以上

電子情報通信課程　124単位以上

機械工学・ロボティクス課程　124単位以上

応用化学課程　124単位以上

環境生態工学課程　124単位以上

（10）心理学部

心理学科　124単位以上

２　授業科目等の学修にあたっては，各学部教授会が定める教育課程に従い，履修すること。

３　履修しようとする授業科目については必ず履修登録をしなければならない。

４　国際学部グローバルスタディーズ学科については，本条第１項第７号に定める単位数に加え，別に定める英語運用能力測定テストの基準スコアを取得しなければならない。

第35条　開設科目について，学生の専攻との関係で，教授会が教育上有益であると認めるときは，当該授業科目の区分以外の区分に係る授業科目として履修させることがある。

第36条　教授会が教育上有益と認めるときは，他学部専攻科目を，当該学部専攻科目として履修させることができる。

２　教授会が必要と認めるときは，前項の規定とは別に他の学科・課程・専攻の専攻科目を，当該学科・課程・専攻の専攻科目として履修させることができる。

第37条　教授会が教育上有益と認めるときは，学生に他大学の授業を履修させることができる。

２　前項の規定により履修した授業科目について修得した単位については，教授会の議に基づき，第38条第２項の規定により認定した単位数と合わせて60単位を限度として認定する。

３　前項の規定は，第19条の２により学生が外国の大学等に留学する場合に準用する。

第38条　教授会が教育上有益と認めるときは，学生が入学前に大学又は短期大学において

履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む）を本学において修得したものとして認定することができる。

２　前項の単位認定は，編入学の場合を除き，前条第１項及び第３項により認定した単位と合わせて60単位を限度として認定する。

３　前２項の既修得単位の取扱いについては，別に定める。

第39条　第13条の規定により編入学した者が，編入学の条件となった学校において修得した単位は，本学において修得したものとして認定することができる。

２　前項の規定において，認定すべき授業科目，単位数等必要な事項はそのつど教授会が個別に定める。

第40条　本節に規定するほか授業科目の配当年次等，履修すべき科目等履修に必要な事項は，各学部履修要項で定める。

第41条　削除

第42条　削除

第43条　削除

第44条　削除

第45条　削除

第46条　削除

第47条　削除

第48条　削除

第49条　削除

第50条　削除

第51条　削除

第52条　削除

第53条　削除

第４章　外国人留学生・科目等履修生等

第54条　外国人で，大学において教育を受ける目的をもって入国し，本学に入学を志願する者があるときは，選考のうえ，外国人留学生として入学を許可することができる。

第55条　削除

第56条　本学以外の機関等の長で，その職員等を本学に派遣して特定の事項について研修又は研究させることを希望する者のある時は，受託研修員又は受託研究員として入学を許可することがある。

第56条の２　本学において，特定の事項について研究することを志願する者があるときは，学術研究生として入学を許可することがある。

第57条　削除

第58条　削除

第58条の２　一又は複数の授業科目を履修することを志願する者があるときは，科目等履修生として履修を許可することがある。

２　科目等履修生に対し，学則第27条の規定を準用し単位を認定する。

第59条　他の大学の学生で，本学において授業科目を履修することを志願する者があるときは，当該他大学との協議に基づき，科目等特別履修生として履修を許可することがある。

第60条　外国人留学生，受託研修員，受託研究員，学術研究生，科目等履修生及び科目等特別履修生については，別に定める。

第５章　公開講座

第61条　教授会で必要と認めたときは公開講座を開設する。ただし，公開講座規程は別にこれを定める。

第６章　職員組織

第62条　本学に学長，事務局長，副学長，学部長及び総務局長を置く。

２　学長は，校務をつかさどり，所属職員を統督する。

第62条の２　本学に専任の教育職員（教授，准教授，講師，助教及び助手），事務職員（事務員，医務員，技能員，守衛及び用務員）及び学医を置く。

２　事務組織に関する規程は別に定める。

第７章　教授会・評議会・事務協議機関

第63条　教授会は各学部に置き，専任の教授，准教授，講師，助教，助手をもって組織する。ただし，教授会の議により構成員を変更することができる。

第64条　教授会は次の各号を審議決定する。ただし，全学的に決定を要する事項を除く。

(1)　学生の入学，卒業及び課程の修了

(2)　学位の授与

(3)　前２号に掲げるもののほか，教育研究に関する重要な事項で，教授会の審議決定が必要なものとして学長が定めるもの

２　前項第３号に基づく事項は，次のとおりとする。

(1)　教育職員の人事に関する事項

(2)　学部長及び評議員の選考に関する事項

(3)　研究及び教授に関する事項
(4)　教育課程の編成，履修の方法及び試験に関する事項
(5)　学業評価に関する事項
(6)　学生の退学，休学，復学及び留学に関する事項
(7)　学生の補導厚生に関する事項
(8)　学部内諸規程の制定改廃に関する事項
(9)　学位称号に関する事項
(10)　その他学部における重要な事項

3　教授会は，前２項に規定するもののほか，学長及び学部長がつかさどる教育研究に関する事項並びに学長から諮問された事項について，審議決定することができる。

第65条　評議会は，学長，事務局長，副学長，総務局長，学部長，学長室長，各学部の教授会から選出された者各２名及び事務職員の中から選出された者10名をもって構成する。

第66条　前条に規定する役職者以外の評議員の任期は２年とする。ただし，重任を妨げない。

第67条　評議会は，次の各号の事項を審議決定する。
(1)　学長の選考基準に関する事項
(2)　学則の改正及び大学内規の制定改廃に関する事項
(3)　学部，学科・課程その他重要な施設の設置廃止に関する事項
(4)　学部，その他学内諸機関の連絡・調整に関する事項
(5)　職員の採用及び昇任についての基準に関する事項
(6)　職員の休職に関する事項
(7)　職員の定年に関する事項
(8)　職員の処分の審査に関する事項
(9)　名誉教授の承認に関する事項
(10)　給与に関する事項
(11)　予算・決算に関する事項
(12)　その他大学における重要事項

第68条　削除

第69条　事務協議機関は，事務遂行に必要な事項について協議する。

第８章　付属施設

第70条　本学に次の付属施設を置く。

(1)　図書館

(2)　世界仏教文化研究センター

(3)　社会科学研究所，科学技術共同研究センター，国際社会文化研究所，食と農の総合研究所

(4)　人間・科学・宗教総合研究センター

(5)　Ryukoku Extension Center

(6)　龍谷ミュージアム

(7)　診療所

２　前項付属施設に関する規程は別に定める。

付　則

第71条　省略

付　則（昭和50年９月26日第４条改正）

この学則は，昭和51年度の入学生から適用する。

付　則（昭和51年２月23日第19条，第20条改正）

この学則は，昭和51年２月23日から施行する。

付　則（昭和51年３月24日第22条改正）

この学則は，昭和51年４月１日から施行する。ただし，第22条の改正規定は，昭和49年度以前の入学者及び昭和50年度並びに昭和51年度の編入学者，転入学者には適用しない。

付　則（昭和51年３月９日第10条，第22条，第30条，第31条改正，第19条の２，第54条新設）

この学則は，昭和52年４月１日から施行する。

付　則（昭和53年３月24日第22条改正）

この学則は，昭和53年４月１日から施行する。

付　則（昭和54年２月９日第２節，第13条，第22条，第26条，第30条，第33条，第34条，第37条，第38条，第41条，第42条，第65条，第68条改正）

第１条　この学則は，昭和54年４月１日から施行する。ただし，第22条の改正規定は，昭和54年度以降の入学者から適用する。

付　則（昭和55年４月１日第12条，第３節，第21条，第22条，第26条の２改正）

第１条　この学則は，昭和55年４月１日から施行する。ただし，第22条の改正規定は，昭和49年度以前の入学生については，なお従前の規定を適用する。

付　則（昭和56年４月１日第12条，第18条，第22条，第37条，第41条改正，第18

条の２新設）

第１条　この学則は，昭和56年４月１日から施行する。ただし，第22条の改正規定は，昭和49年度以前の入学生については，なお従前の規定を適用する。

付　則（昭和57年４月１日第16条，第22条，第29条，第33条，第34条，第37条，第41条，第42条改正）

第１条　この学則は，昭和57年４月１日から施行する。ただし，第22条の改正規定中昭和49年度以前入学者の授業料及び昭和56年度以前入学者の施設費については，なお従前の規定を適用する。

２　第33条，第34条，第41条及び第42条の改正規定は，昭和56年度以前の入学者については，なお従前の規定を適用する。

付　則（昭和58年４月１日第４条，第18条，第22条，第22条の３，第27条，第30条，第33条，第34条，第37条，第38条，第41条，第42条改正，第27条の２新設）

この学則は，昭和58年４月１日から施行する。ただし，第22条の改正規定は，昭和49年度以前入学生については，なお従前の規定を適用し，第30条第１項第３号及び第４号（宗教教育学，教育方法学を除く。），第33条第１項第３号，第34条第３号，第37条第１項第３号及び第４号，第38条第３号，第41条第１項第３号，第42条第３号の改正規定は，昭和57年度以前入学生については，なお従前の規定を適用する。

付　則（昭和59年４月１日第18条，第22条，第30条，第33条，第34条改正）

この学則は，昭和59年４月１日から施行する。ただし，第30条第１項第４号，同号オの（ア），第33条第１項第４号，第34条第４号の改正規定は，昭和58年度以前入学生については，なお従前の規定を適用する。

付　則（昭和60年４月１日第２条，第22条第１項，第41条第１項第４号，第42条第４号，第57条，第59条，第60条，第65条，第68条改正，第54条第２項追加）

第１条　この学則は，昭和60年４月１日から施行する。ただし，第２条第２項は，留学生別科設置認可の日（昭和59年12月20日）から適用する。

第２条　第41条第１項第４号及び第42条第４号の改正規定は，昭和58年度以後の入学者から適用する。

付　則（昭和60年６月27日第21条，第30条，第31条，第33条，第34条，第35条，第37条，第38条，第39条，第41条，第42条及び第43条改正）

第１条　この学則の第21条は，昭和60年６月27日から施行する。

第２条　この学則の第30条第１項第１号，第31条，第33条第１項第１号，第34条第１号，

第35条，第37条第１項第１号，第38条第１号，第39条，第41条第１項第１号，第42条第１号及び第43条は，昭和61年４月１日より施行する。ただし，昭和60年度以前の入学生については，なお従前の規定を適用する。

付　則（昭和61年３月26日第22条，第30条，第33条，第34条，第37条，第38条，第41条，第42条，第65条及び第68条改正）

第１条　この学則は，昭和61年４月１日から施行する。

第２条　第４条の規定にかかわらず昭和61年度から昭和74年度までの間の入学定員は，次のとおりとする。

学部・学科等			入学定員
文学部	仏教学科	真宗学専攻	90人
		仏教学〃	90
	哲学科	哲学〃	50
		教育学〃	50
	史学科	国史学〃	50
		東洋史学〃	50
		仏教史学〃	50
	文学科	国文学〃	50
		英文学〃	50
	社会学科	社会学〃	60
		社会福祉学〃	60
	小計		650
経済学部経済学科			500
経営学部経営学科			500
法学部法律学科			500
合計			2,150

２　前項の規定については，前条の規定にかかわらず期間付入学定員関係学則の変更が，文部大臣により認可された日（昭和60年12月25日）から施行する。

第３条　第30条第１項第３号，第33条第１項第３号，第34条第１項，第34条第３号，第37条第１項第３号第４号，第38条第１項，第38条第３号，第41条第１項第３号，第42条第１項及び第42条第３号の改正規定は，昭和61年度入学生から適用する。

付　則（昭和61年７月31日第22条第１項改正）

第１条　この学則は，昭和61年７月31日から施行し，昭和62年度入学生から適用する。

第２条　昭和61年度以前の入学者については，なお従前の規定による。ただし，昭和62年度以降の授業料については，この改正規定を適用する。

付　則（昭和63年４月１日全部改正）

１　この学則は，昭和63年４月１日から施行する。

２　昭和62年度以前の入学生に対して，教授会が履修を認める必要があると判断するときは，教授会が決めるところにより，この学則に定める授業科目の履修を認めることができるものとする。

付　則（抄）（平成元年４月１日第２条，第４条，第７条，第２章第３節，第22条，第３章，第29条，第31条～第34条，第４章，第56条，第60条，第62条，第63条，第70条，別表１～別表３，別表５～別表８，別表11改正，別表９，別表10新設）

１　この学則は，平成元年４月１日から施行する。

２　昭和63年度以前の入学生に対して，教授会が履修を認める必要があると判断するときは，教授会が決めるところにより，この学則に定める授業科目の履修を認めることができるものとする。

３　第４条の規定にかかわらず平成元年度から平成11年度までの間の入学定員は，次のとおりとする。

学部・学科等			入学定員
文学部	仏教学科	真宗学専攻	90名
		仏教学〃	90名
	哲学科	哲学〃	50名
		教育学〃	50名
	史学科	国史学〃	50名
		東洋史学〃	50名
		仏教史学〃	50名
	文学科	国文学〃	50名
		英文学〃	50名
	小計		530名
経済学部		経済学科	470名

経営学部	経営学科	470名
法学部	法律学科	480名
理工学部	数理情報学科	100名
	電子情報学科	80名
	機械システム工学科	80名
	物質化学科	80名
	小計	340名
社会学部	社会学科	120名
	社会福祉学科	80名
	小計	200名
合計		2,490名

付　則（平成２年３月27日第22条第１項，第29条，第32条，別表５～別表８，別表11改正，第29条の２，別表13新設）

１　この学則は，平成２年４月１日から施行する。

付　則（平成３年３月25日第22条，第29条第２項，別表１―１，別表２―１，別表３―１，別表４，別表５～別表８，別表10～別表11，別表13改正）

１　この学則は，平成３年４月１日から施行する。

２　平成２年度以前の入学生に対して，教授会が履修を認める必要があると判断するときは，教授会が決めるところにより，この学則に定める授業科目の履修を認めることができるものとする。

３　第４条の規定にかかわらず平成３年度から平成11年度までの入学定員は，次のとおりとする。

学部・学科等			入学定員
文学部	仏教学科	真宗学専攻	120名
		仏教学〃	120名
	哲学科	哲学〃	90名
		教育学〃	90名
	史学科	国史学〃	80名
		東洋史学〃	80名
		仏教史学〃	80名

	文学科	国文学〃	100名
		英文学〃	100名
	小計		860名
経済学部		経済学科	600名
経営学部		経営学科	600名
法学部		法律学科	600名
理工学部		数理情報学科	115名
		電子情報学科	90名
		機械システム工学科	90名
		物質化学科	90名
		小計	385名
社会学部		社会学科	220名
		社会福祉学科	120名
		小計	340名
合計			3,385名

付　則（平成４年３月21日第２条第１項，第４条，第６条第１項，第６条第２項，第22条，第29条第２項，第34条第１項第１号，第65条，第70条第１項，別表４～別表８改正，第１条の２新設，第７条削除）

１　この学則は，平成４年４月１日から施行する。ただし，第６条第２項については，平成３年７月１日から施行する。

２　平成３年度以前の入学生に対して，教授会が履修を認める必要があると判断するときは，教授会が決めるところにより，この学則に定める授業科目の履修を認めることができるものとする。

３　第６条第２項の規定は，学校教育法第68条の２第１項の改正により平成３年度以前の卒業生についても適用する。

４　第４条の規定にかかわらず平成４年度から平成11年度までの入学定員は，次のとおりとする。

学部・学科等		入学定員
文学部	真宗学科	120名
	仏教学科	120名

	哲学科	哲学専攻	90名
		教育学専攻	90名
	史学科	国史学専攻	80名
		東洋史学専攻	80名
		仏教史学専攻	80名
	日本語日本文学科		100名
	英語英米文学科		100名
	小計		860名
経済学部		経済学科	600名
経営学部		経営学科	600名
法学部		法律学科	450名
		政治学科	150名
		小計	600名
理工学部		数理情報学科	115名
		電子情報学科	90名
		機械システム工学科	90名
		物質化学科	90名
		小計	385名
社会学部		社会学科	220名
		社会福祉学科	120名
		小計	340名
合計			3,385名

付　則（平成４年５月25日第21条改正）

この学則は，平成４年５月25日から施行する。

付　則（平成５年３月25日第４条，第９条，第10条第２項，第21条，第22条，第25条第１項，第25条第２項，第26条，第26条の２，第30条～第36条，第38条第２項，第４章，第59条，第60条，別表１―１～別表13改正，第58条の２新設，第34条第３項追加）

１　この学則は，平成５年４月１日から施行する。

２　平成４年度以前の入学生に対して，教授会が履修を認める必要があると判断するときは，

教授会が定めるところにより，この学則の定める授業科目の履修を認めることができるものとする。

付　則（平成６年３月24日第22条第１項，第22条の３，第60条，第62条，第７章，第65条，第67条，第69条，別表１～別表８改正，第33条の２，第62条の２，別表11新設，第58条削除）

1　この学則は，平成６年４月１日から施行する。

2　第62条及び第65条の副学長に関する規定は，学校法人龍谷大学寄附行為の変更が文部大臣により認可された日（平成６年５月12日）から施行する。

3　平成５年度以前の入学生に対して，教授会が履修を認める必要があると判断するときは，教授会が定めるところにより，この学則の定める授業科目の履修を認めることができるものとする。

付　則（平成７年３月27日第22条第１項，第22条の３，第25条第３項，第31条，別表１～別表７改正）

1　この学則は，平成７年４月１日から施行する。

2　平成６年度以前の入学生に対して，教授会が履修を認める必要があると判断するときは，教授会が定めるところにより，この学則の定める授業科目の履修を認めることができるものとする。

付　則（平成８年３月25日第２条第１項，第４条，第22条第１項，第25条第１項，第30条～第33条の２，第34条第１項第１号及び同項第４号，第65条，別表１～別表５改正，別表７，別表８，別表11繰下・改正，別表９，別表10繰下，別表７新設，第34条第１項第７号追加）

1　この学則は，平成８年４月１日から施行する。

2　平成７年度以前の入学生に対して，教授会が履修を認める必要があると判断するときは，教授会が定めるところにより，この学則の定める授業科目の履修を認めることができるものとする。

3　第４条の規定にかかわらず平成８年度から平成11年度までの入学定員は，次のとおりとする。

	学部・学科等		入学定員
文学部	真宗学科		111名
	仏教学科		111名
	哲学科	哲学専攻	87名

		教育学専攻	87名
	史学科	国史学専攻	77名
		東洋史学専攻	77名
		仏教史学専攻	77名
	日本語日本文学科		96名
	英語英米文学科		97名
	小計		820名
経済学部		経済学科	560名
経営学部		経営学科	560名
法学部		法律学科	425名
		政治学科	135名
		小計	560名
理工学部		数理情報学科	115名
		電子情報学科	90名
		機械システム工学科	90名
		物質化学科	90名
		小計	385名
社会学部		社会学科	220名
		社会福祉学科	120名
		小計	340名
国際文化学部		国際文化学科	360名
合計			3,585名

付　則（平成９年３月25日第４条，第17条第１項，第22条第１項，第29条第２項，第33条，第34条第１項第１号～第３号，別表１～別表４，別表９，別表11，別表12改正，第２条の２，第36条の２新設，第68条削除）

１　この学則は，平成９年４月１日から施行する。

２　平成８年度以前の入学生に対して，教授会が履修を認める必要があると判断するときは，教授会が定めるところにより，この学則の定める授業科目の履修を認めることができるものとする。

３　第４条の規定にかかわらず平成９年度から平成11年度までの入学定員は，次のとおり

とする。

学部・学科・専攻			入学定員	編入学定員	入学定員
			昼間・昼間主コース		夜間主コース
文学部	真宗学科		111名		60名
	仏教学科		111名		60名
	哲学科	哲学専攻	87名		15名
		教育学専攻	87名		15名
	史学科	国史学専攻	77名		15名
		東洋史学専攻	77名		15名
		仏教史学専攻	77名		15名
	日本語日本文学科		96名		20名
	英語英米文学科		97名		20名
	小計		820名		235名
経済学部		経済学科	560名		100名
経営学部		経営学科	560名		100名
法学部	法律学科		425名		
	政治学科		135名		
	小計		560名		
理工学部	数理情報学科		115名		
	電子情報学科		90名		
	機械システム工学科		90名		
	物質化学科		90名		
	小計		385名		
社会学部	社会学科		220名		
	社会福祉学科		120名		
	小計		340名		
国際文化学部		国際文化学科	360名	50名	
合計			3,585名	50名	435名

付　則（平成10年３月26日第２条第１項，第４条，第22条第１項，第29条第２項，

第34条第１項第６号，別表５，別表６，別表９，別表10改正）

１　この学則は平成10年４月１日から施行する。

２　平成９年度以前の入学生に対して，教授会が履修を認める必要があると判断するときは，教授会が定める授業科目の履修を認めることができるものとする。

３　第４条の規定にかかわらず平成10年度から平成11年度までの入学定員は，次のとおりとする。

学部・学科・専攻			入学定員	編入学定員	入学定員
			昼間・昼間主コース		夜間主コース
文学部	真宗学科		111名		60名
	仏教学科		111名		60名
	哲学科	哲学専攻	87名		15名
		教育学専攻	87名		15名
	史学科	国史学専攻	77名		15名
		東洋史学専攻	77名		15名
		仏教史学専攻	77名		15名
	日本語日本文学科		96名		20名
	英語英米文学科		97名		20名
	小計		820名		235名
経済学部		経済学科	560名		100名
経営学部		経営学科	560名		100名
法学部		法律学科	425名		
		政治学科	135名		
		小計	560名		
理工学部	数理情報学科		115名		
	電子情報学科		90名		
	機械システム工学科		90名		
	物質化学科		90名		
	小計		385名		
社会	社会学科		220名	30名	
	地域福祉学科		140名	30名	

学	臨床福祉学科		130名	30名	
部	小計		490名	90名	
国際文化学部		国際文化学科	360名	50名	
計			3,735名	140名	435名

付　則（平成11年３月25日第22条第１項，別表２，別表４，別表５改正，第33条の３，別表13新設）

１　この学則は平成11年４月１日から施行する。

２　平成10年度以前の入学生に対して，教授会が履修を認める必要があると判断するときは，教授会が定める授業科目の履修を認めることができるものとする。

付　則（平成12年３月23日第６条第１項，第22条第１項，第34条第１項第６号，第37条第１項，第37条第２項，第38条第２項，別表３～別表７，別表９，別表10改正）

１　この学則は，平成12年４月１日から施行する。

２　平成11年度以前の入学生に対して，教授会が履修を認める必要があると判断するときは，教授会が定める授業科目の履修を認めることができるものとする。

３　第６条の改正規定は，短期大学，高等専門学校及び専修学校専門課程からの編入学者には適用しない。また，再入学者及び転入学者で，平成12年３月31日以前の期間が，本学の修業年限に通算される者には適用しない。

４　第37条第２項及び第38条第２項の改正規定は，教授会が認めた場合に限って，平成11年度以前の入学生に対しても適用できるものとする。

５　第４条の規定にかかわらず平成12年度から平成16年度までの入学定員は，次のとおりとする。

学部・学科・専攻			昼間・昼間主コース						夜間主コース
			入学定員					編入学定員	入学定員
			平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度		
文学部	真宗学科		111名	91名	91名	91名	91名		60名
	仏教学科		111名	91名	91名	91名	91名		60名
	哲学科	哲学専攻	87名	72名	72名	57名	57名		15名
		教育学専攻	87名	72名	72名	57名	57名		15名

	史学科	国史学専攻	77名	62名	62名	52名	52名		15名
		東洋史学専攻	77名	62名	62名	52名	52名		15名
		仏教史学専攻	77名	62名	62名	52名	52名		15名
	日本語日本文学科		96名	86名	86名	61名	61名		20名
	英語英米文学科		97名	87名	87名	62名	62名		20名
	小計		820名	685名	685名	575名	575名		235名
経済学部		経済学科	500名	500名	445名	445名	445名		100名
経営学部		経営学科	500名	500名	445名	445名	445名		100名
法学部		法律学科	380名	380名	340名	340名	340名		
		政治学科	120名	120名	110名	110名	110名		
		小計	500名	500名	450名	450名	450名		
理工学部	数理情報学科		115名	115名	115名	115名	107名		
	電子情報学科		90名	90名	90名	90名	85名		
	機械システム工学科		90名	90名	90名	90名	85名		
	物質化学科		90名	90名	90名	90名	85名		
	小計		385名	385名	385名	385名	362名		
社会学部	社会学科		220名	220名	220名	220名	155名	30名	
	地域福祉学科		140名	140名	140名	140名	120名	30名	
	臨床福祉学科		130名	130名	130名	130名	115名	30名	
	小計		490名	490名	490名	490名	390名	90名	
国際文化学部		国際文化学科	360名	360名	360名	360名	360名	50名	
合計			3,555名	3,420名	3,260名	3,150名	3,027名	140名	435名

付　則（平成13年３月23日第２条の２第１項及び同条第２項，第４条，第12条第３号～第６号，第13条第１項及び同条第２項，第22条第１項，第25条第１項，第29条第２項，第34条第１項第３号，第36条第１項及び同条第２項，第36条の２，第70条第１項第１号，別表１～別表７，別表９，別表10，別表12改正，第33条の４，別表14新設，第13条第３項追加）

１　この学則は，平成13年４月１日から施行する。

2　平成12年度以前の入学生に対して，教授会が履修を認める必要があると判断するときは，教授会が定める授業科目の履修を認めることができるものとする。

3　経営学部夜間主コース在学生の学費については，第22条夜間主コースを適用する。

4　第29条第２項の理工学部数理情報学科，電子情報学科の高等学校一種免許状「情報」については，平成12年度入学生から適用する。

5　第４条の規定にかかわらず平成13年度から平成16年度までの入学定員は，次のとおりとする。

学部・学科・専攻			昼間・昼間主コース					夜間主コース
			入学定員				編入学定員	入学定員
			平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度		
文学部	真宗学科		91名	91名	91名	91名		60名
	仏教学科		91名	91名	91名	91名		60名
	哲学科	哲学専攻	72名	57名	57名	57名		15名
		教育学専攻	72名	57名	57名	57名		15名
	史学科	国史学専攻	62名	52名	52名	52名		15名
		東洋史学専攻	62名	52名	52名	52名		15名
		仏教史学専攻	62名	52名	52名	52名		15名
	日本語日本文学科		86名	61名	61名	61名		20名
	英語英米文学科		87名	62名	62名	62名		20名
	小計		685名	575名	575名	575名		235名
経済学部		経済学科	445名	445名	445名	445名		100名
経営学部		経営学科	445名	445名	445名	445名		
法学部		法律学科	340名	340名	340名	340名		
		政治学科	110名	110名	110名	110名		
		小計	450名	450名	450名	450名		
理工学	数理情報学科		115名	115名	115名	107名		
	電子情報学科		90名	90名	90名	85名		
	機械システム工学科		90名	90名	90名	85名		

部	物質化学科		90名	90名	90名	85名		
	小計		385名	385名	385名	362名		
社	社会学科		220名	220名	220名	155名	30名	
会	地域福祉学科		140名	140名	140名	120名	30名	
学	臨床福祉学科		130名	130名	130名	115名	30名	
部	小計		490名	490名	490名	390名	90名	
国際文化学部		国際文化学科	360名	360名	360名	360名	50名	
合計			3,260名	3,150名	3,150名	3,027名	140名	335名

付　則（平成14年３月25日第22条第１項，第25条第１項，第38条第１項及び同条第２項，第70条第１項第４号及び同条同項第５号，別表１，別表３～別表７，別表９改正，第70条第１項第３号追加，第33条の３，別表13削除）

１　この学則は，平成14年４月１日から施行する。ただし，第70条第１項の改正規定は，人間・科学・宗教総合研究センター規程の施行日（平成13年９月27日）から適用する。

２　平成13年度以前の入学生に対して，教授会が履修を認める必要があると判断するときは，教授会が定める授業科目の履修を認めることができるものとする。

３　文学部夜間主コース生（平成13年度以前の入学者）及び経営学部夜間主コース在学生の学費については，第22条夜間主コース（経済学部）を適用する。

４　別表５（第30条関係）(2)の改正規定については，平成13年度入学生から適用する。

５　別表９（第32条関係）(5)の改正規定については，平成13年度入学生から適用する。

６　前項の規定にかかわらず平成14年４月１日現在理工学部に在籍する者が旧教育職員免許法によって教育職員免許状を取得する場合は，以下の表を適用する。

	授業科目	単位数
教職に関する科目	教育原論	4
	発達と教育	4
	教育制度論	2
	教育情報技術演習	1
	教育情報処理基礎講座	1
	数学科教育法	4
	工業科教育法	4

	理科教育法	4
	道徳教育の研究	2
	教育指導論Ⅰ	2
	教育指導論Ⅱ	2
	教育実践研究Ⅰ	1
	教育実践研究Ⅱ	2
	教育実践研究Ⅲ	2
	教育社会学	4
	同和教育論	2
教科に関する科目	職業指導	4

付　則（平成15年３月26日第２条第１項，第２条の２第１項及び同条第２項，第４条，第22条第１項及び同条第３項，第25条第１項，第29条第２項，第34条第１項第２号，同条同項第４号及び同条同項第５号，第36条の２，別表２～別表７，別表９，別表12改正，第33条の５，別表15新設，第22条第２項追加）

１　この学則は，平成15年４月１日から施行する。

２　平成14年度以前の入学生に対して，教授会が履修を認める必要があると判断するときは，教授会が定める授業科目の履修を認めることができるものとする。

３　経済学部夜間主コース及び経営学部夜間主コースについては，変更後の規定にかかわらず，当該学生が在学している間は存続することとし，教育課程は従前の規定を適用する。

４　第22条の規定にかかわらず，平成14年度以前入学生の学費については，次のとおりとする。ただし，文学部社会人特別コース入学試験による入学生については，この限りではない。

①昼間・昼間主コース生

文学部夜間主コース生（平成14年度の入学者）

（単位：円）

	文学部 経済学部 経営学部 法学部 国際文化学部	理工学部	社会学部

入学金	200,000	200,000	200,000
授業料	731,000	949,000	731,000
実験実習料	—	143,600	35,900
施設費	200,000	280,000	200,000

②文学部夜間主コース生（平成13年度以前の入学者）

経済学部・経営学部の夜間主コース在学生

（単位：円）

入学金	50,000
授業料	657,000
施設費	180,000

5　第22条の規定にかかわらず，第２年次，第３年次又は第４年次に入学（編入学，転入学，再入学）する場合は，前項の規定を適用する。ただし，文学部夜間主コース（文学部社会人特別コース入学試験による入学生は除く）については，第２年次の場合は前項第１号を，第３年次，第４年次の場合は前項第２号を適用させる。

6　第34条第１項第４号の改正規定については，平成13年度入学生から適用させる。

7　第４条の規定にかかわらず平成15年度から平成16年度までの入学定員は，次のとおりとする。

学部・学科・専攻			昼間・昼間主コース			夜間主コース
			入学定員		編入学定員	
			平成15年度	平成16年度		入学定員
文学部	真宗学科		91名	91名		60名
	仏教学科		91名	91名		60名
	哲学科	哲学専攻	57名	57名		15名
		教育学専攻	57名	57名		15名
	史学科	国史学専攻	52名	52名		15名
		東洋史学専攻	52名	52名		15名
		仏教史学専攻	52名	52名		15名
	日本語日本文学科		61名	61名		20名
	英語英米文学科		62名	62名		20名

	小計		575名	575名		235名
経済学部		経済学科	445名	445名		
経営学部		経営学科	445名	445名		
法学部		法律学科	340名	340名		
		政治学科	110名	110名		
		小計	450名	450名		
理工学部	数理情報学科		100名	100名		
	電子情報学科		80名	80名		
	機械システム工学科		80名	80名		
	物質化学科		80名	80名		
	情報メディア学科		80名	80名		
	環境ソリューション工学科		80名	80名		
	小計		500名	500名		
社会学部	社会学科		220名	155名	30名	
	地域福祉学科		140名	120名	30名	
	臨床福祉学科		130名	115名	30名	
	小計		490名	390名	90名	
国際文化学部		国際文化学科	360名	360名	50名	
合計			3,265名	3,165名	140名	235名

付　則（平成16年３月12日第２条第１項，第４条，第12条第１号，第22条第１項，第25条第１項，第29条第２項，第34条第１項第６号，別表１～別表７，別表９改正）

１　この学則は平成16年４月１日から施行する。

２　平成15年度以前の入学生に対して，教授会が履修を認める必要があると判断するときは，教授会が定める授業科目の履修を認めることができるものとする。

３　第22条の規定にかかわらず，平成14年度以前入学生の学費については，次のとおりとする。ただし，文学部社会人特別コース入学試験による入学生については，この限りではない。

①　昼間・昼間主コース生

文学部夜間主コース生（平成14年度の入学者）

（単位：円）

	文学部 経済学部 経営学部 法学部 国際文化学部	理工学部	社会学部
入学金	200,000	200,000	200,000
授業料	731,000	949,000	731,000
実験実習料	―	143,600	35,900
施設費	200,000	280,000	200,000

② 文学部夜間主コース生（平成13年度以前の入学者）

経済学部・経営学部の夜間主コース在学生

（単位：円）

入学金	50,000
授業料	657,000
施設費	180,000

4 第22条の規定にかかわらず，第３年次又は第４年次に入学（編入学，転入学，再入学）する場合は，前項の規定を適用する。ただし，文学部夜間主コース（文学部社会人特別コース入学試験による入学生は除く）については，第３年次の場合は前項第１号を，第４年次の場合は前項第２号を適用する。

5 前項の規定にかかわらず，再入学の場合，本学出身者（短期大学部出身者含む）が本学へ編入学する場合又は本学の学生が転学部，転学科及び転専攻する場合は，入学金全額を免除する。

付 則（平成17年３月25日第22条第２項，第22条の３，第65条，別表１，別表３～別表６，別表９改正）

1 この学則は平成17年４月１日から施行する。

2 平成16年度以前の入学生に対して，教授会が履修を認める必要があると判断するときは，教授会が定める授業科目の履修を認めることができるものとする。

3 第22条の規定にかかわらず，平成14年度以前入学生の学費については，次のとおりとする。ただし，文学部社会人特別コース学生については，この限りではない。

①昼間・昼間主コース生

文学部夜間主コース生（平成14年度の入学者）

（単位：円）

	文学部 経済学部 経営学部 法学部 国際文化学部	理工学部	社会学部
授業料	731,000	949,000	731,000
実験実習料	—	143,600	35,900
施設費	200,000	280,000	200,000

②文学部夜間主コース生（平成13年度以前の入学者）

経済学部・経営学部の夜間主コース在学生

（単位：円）

授業料	657,000
施設費	180,000

4　第22条の規定にかかわらず，第４年次に再入学する場合は，前項の規定を運用する。ただし，文学部社会人特別コース学生はこの限りではない。

付　則（平成18年３月27日第２条第１項，第４条，第12条第６号～第８号，第29条第２項，第34条，別表１～別表７，別表９改正，第33条の６及び第33条の７新設，第12条第５号，別表16，別表17追加）

1　この学則は平成18年４月１日から施行する。

2　平成17年度以前の入学生に対して，教授会が履修を認める必要があると判断するときは，教授会が定める授業科目の履修を認めることができるものとする。

3　経済学部経済学科については，変更後の規定にかかわらず，当該学生が在学している間は存続することとし，教育課程は従前の規程を適用する。

付　則（平成18年12月21日第62条の２第１項，第63条改正）

この学則は，平成19年４月１日から施行する。

付　則（平成19年３月27日第４条，第22条第１項及び同条第２項，第４節，第23条，第25条第１項，第29条第１項及び同条第２項，第33条，第33条の４，第34条第１項第１号，別表１～別表７，別表９，別表11，別表12改正，第23条第１号～第３号追加，第２条の２，第24条，第36条の２削除）

1　この学則は平成19年４月１日から施行する。

2　平成18年度以前の入学生に対して，教授会が履修を認める必要があると判断するときは，教授会が定める授業科目の履修を認めることができるものとする。

3　文学部昼間主コース及び夜間主コースについては，変更後の規定にかかわらず，当該学生が在学している間は存続することとし，教育課程は従前の規定を適用する。

付　則（平成20年３月26日第４条，第25条，別表１～別表７，別表９改正，第２条の２新設，第３条第２項追加，第２条第２項削除）

1　この学則は平成20年４月１日から施行する。

2　平成19年度以前の入学生に対して，教授会が履修を認める必要があると判断するときは，教授会が定める授業科目の履修を認めることができるものとする。

付　則（平成21年３月26日第26条第１項第１号及び同条同項第２号，同条第２項，第34条第１項第３号，別表１～別表４，別表６，別表７改正，第26条第１項第３号追加）

1　この学則は平成21年４月１日から施行する。

2　平成20年度以前の入学生に対して，教授会が履修を認める必要があると判断するときは，教授会が定める授業科目の履修を認めることができるものとする。

3　第34条第１項第３号の改正規定については，平成20年度入学生から適用する。

付　則（平成22年３月24日第２条の２第１項，第25条第２項及び同条第３項，第30条，第31条～第33条の２，第33条の４～第33条の７，第70条第１項第５号，別表１改正，別表８，別表11，別表12，別表14～17繰上，別表９，別表10繰上・改正，第30条の２，別表２新設，第25条第２項，第70条第１項第５号追加，別表２～別表７，別表13削除）

1　この学則は平成22年４月１日から施行する。

2　平成21年度以前の入学生に対して，教授会が履修を認める必要があると判断するときは，教授会が定める授業科目の履修を認めることができるものとする。

付　則（平成22年４月28日第21条改正）

この学則は平成22年５月20日から施行する。

付　則（平成23年３月28日第２条，第２条の２，第４条，第22条第１項及び同条第３項，第22条の３，第25条第１項及び同条第２項，第29条第２項，第30条の２，第34条第１項第４号，第65条，別表１～別表５，別表７改正，第34条第１項第８号追加，第22条第２項削除）

1　この学則は平成23年４月１日から施行する。

2　平成22年度以前の入学生に対して，教授会が履修を認める必要があると判断するときは，教授会が定める授業科目の履修を認めることができるものとする。

3　文学部社会人特別コースについては，変更後の規定にかかわらず，当該学生が在学している間は存続することとし，教育課程は従前の規定を適用する。

4　文学部社会人特別コースの在学生の学費等については，次のとおりとする。

（単位：円）

授業料	施設費	休学在籍料
365,500	100,000	100,000

5　法学部政治学科については，変更後の規定にかかわらず，当該学生が在学している間は存続することとし，教育課程は従前の規程を適用する。

付　則（平成24年３月26日第２条，第４条，第29条第２項，第34条第１項第１号，別表１，別表４，別表６，別表８，別表10改正，第29条の２，第32条第２項，別表５削除）

1　この学則は平成24年４月１日から施行する。

2　平成23年度以前の入学生に対して，教授会が履修を認める必要があると判断するときは，教授会が定める授業科目の履修を認めることができるものとする。

3　文学部史学科については，変更後の規定にかかわらず，当該学生が在学している間は存続することとし，教育課程は従前の規定を適用する。

4　経済学部については，変更後の規定にかかわらず，平成24年度の教育課程は従前の規定を適用する。

付　則（平成25年３月25日第22条第１項，別表１，別表２改正）

1　この学則は，平成25年４月１日から施行する。

2　平成24年度以前の入学生に対して，教授会が履修を認める必要があると判断するときは，教授会が定める授業科目の履修を認めることができるものとする。

3　第22条中の施設費にかかる改正規定については，平成25年度の編入学生から適用する。

付　則（平成25年５月27日第26条の２改正）

この学則は平成25年５月27日から施行し，平成25年４月１日から適用する。

付　則（平成26年３月28日第６条第１項，第34条第１項第５号，別表１，別表２改正）

1　この学則は平成26年４月１日から施行する。

2　平成25年度以前の入学生に対して，教授会が履修を認める必要があると判断するとき

は，教授会が定める授業科目の履修を認めることができるものとする。

付　則（平成26年３月28日第２条，第２条の２，第４条，第22条第１項，第25条第１項，第29条第２項，第33条の４，別表１，別表４，別表７改正，第33条の８，第33条の９，別表12，別表13新設，第34条第９号及び同条第10号追加）

この学則は，平成27年４月１日から施行する。

付　則（平成26年12月15日別表１改正）

この学則は，平成27年４月１日から施行する。

付　則（平成26年12月15日第２条，第４条，第29条第２項，第34条第１項第６号，別表１，別表４改正）

この学則は平成28年４月１日から施行する。

付　則（平成27年３月25日第２条，第２条の２，第４条，第22条第１項，第25条第１項，第29条第２項，第33条の４，第34条第１項，第64条第１項，第70条第１項，別表１，別表２，別表４，別表７改正，第33条の10，別表14新設，第62条第２項，第64条第２項及び同条第３項追加）

改正　平成28年３月23日

1　この学則は平成27年４月１日から施行する。

2　平成26年度以前の入学生に対して，教授会が履修を認める必要があると判断するときは，教授会が定める授業科目の履修を認めることができるものとする。

3　国際文化学部については，変更後の規定にかかわらず，当該学生が在学している間は存続することとし，教育課程は従前の規定を適用する。

付　則（平成27年３月25日別表１，別表４改正，第33条の５，別表９削除）

この学則は，平成28年４月１日から施行する。

付　則（平成27年３月25日別表１改正）

この学則は，平成28年４月１日から施行する。

付　則（平成27年３月25日別表１改正）

この学則は，平成28年４月１日から施行する。

付　則（平成27年４月20日第21条改正）

この学則は，制定日（平成27年４月20日）から施行する。

付　則（平成27年４月20日第４条改正）

この学則は，平成28年４月１日から施行する。

付　則（平成27年12月10日第４条改正）

この学則は，平成29年４月１日から施行する。

付　則（平成28年３月23日第２条の２，第65条改正，付則（平成27年３月25日）旧第２項繰下，第33条の11，第33条の12，別表15，別表16新設，付則（平成27年３月25日）第２項追加）

1　この学則は，制定日（平成28年３月23日）から施行し，平成27年４月１日から適用する。

2　第33条の11の改正規定については，平成21年度以降の入学生及び編入学生から適用する。

3　第33条の12の改正規定については，平成24年度以降の入学生及び編入学生から適用する。

付　則（平成28年３月23日第２条，第２条の２，第４条，第２章第３節，第22条第１項，第22条の４，第29条第２項，第33条の11，第33条の12，第34条第１項第６号，別表１，別表４，別表15，別表16改正）

1　この学則は，平成28年４月１日から施行する。

2　平成27年度以前の入学生については，なお従前の規定による。

3　平成27年度以前の入学生に対して，教授会が履修を認める必要があると判断するときは，教授会が定める授業科目の履修を認めることができるものとする。

付　則（平成29年３月22日第65条，別表１，別表２改正）

1　この学則は，平成29年４月１日から施行する。

2　平成28年度以前の入学生については，なお従前の規定による。

3　平成28年度以前の入学生に対して，教授会が履修を認める必要があると判断するときは，教授会が定める授業科目の履修を認めることができるものとする。

付　則（平成30年３月22日第22条第２項，第25条第１項，第70条第１項第３号，別表１，別表２，別表４改正，第33条の13，別表17新設）

1　この学則は，平成30年４月１日から施行する。

2　平成29年度以前の入学生については，なお従前の規定による。

3　平成29年度以前の入学生に対して，教授会が履修を認める必要があると判断するときは，教授会が定める授業科目の履修を認めることができるものとする。

付　則（平成30年３月22日第29条第２項，別表４改正）

この学則は平成31年４月１日から施行する。

付　則（平成30年12月20日第２条，第２条の２，第４条，第22条第１項，第25条第

１項，第29条第２項，第33条の４，第34条第１項，第36条第１項及び同条第２項，第67条第１項第３号，別表１，別表４，別表７改正）

1　この学則は，平成32年４月１日から施行する。

2　理工学部数理情報学科，電子情報学科，機械システム工学科，物質化学科，情報メディア学科，環境ソリューション工学科については，変更後の規定にかかわらず，当該学生が在学している間は存続することとし，教育課程は従前の規定を適用する。

付　則（平成31年３月20日別表１，別表２，別表14改正，第34条第４項追加）

1　この学則は，平成31年４月１日から施行する。ただし，別表１政策学部開設科目（第30条関係）第１号中，特別講座に係る改正規定は，平成23年度入学生から適用する。

2　平成30年度以前の入学生については，前項ただし書きを除き，なお従前の規定による。

3　平成30年度以前の入学生に対して，教授会が履修を認める必要があると判断するときは，教授会が定める授業科目の履修を認めることができるものとする。

付　則（平成31年３月20日別表４改正）

この学則は平成31年４月１日から施行する。

付　則（平成31年３月20日第22条第１項改正）

1　この学則は，平成31年４月１日から施行する。

2　平成30年度以前の入学生については，なお従前の規定による。

付　則（平成31年３月20日第４条改正）

この学則は，平成32年４月１日から施行する。

付　則（平成31年３月20日別表１，別表４改正，第13条の２新設）

この学則は，平成32年４月１日から施行する。

付　則（令和元年５月23日第４条改正）

この学則は，令和２年４月１日から施行する。

付　則（令和元年７月26日第22条第１項改正）

この学則は，令和２年４月１日から施行し，令和２年度入学生から適用する。

付　則（令和２年３月19日第２条の２，第29条第２項，第33条，別表１，別表２，別表４，別表６，別表15，別表16改正，第33条の14，別表18新設，別表５削除）

1　この学則は，令和２年４月１日から施行する。

2　令和元年度以前の入学生については，なお従前の規定による。

3　令和元年度以前の入学生に対して，教授会が履修を認める必要があると判断するときは，教授会が定める授業科目の履修を認めることができるものとする。

付　則（令和３年３月16日別表１，別表２，別表７，別表15，別表16改正，第25条の２新設）

1　この学則は，令和３年４月１日から施行する。

2　令和２年度以前の入学生については，第25条の２の改正規定を除き，なお従前の規定による。

3　令和２年度以前の入学生に対して，教授会が履修を認める必要があると判断するときは，教授会が定める授業科目の履修を認めることができるものとする。

付　則（令和３年３月16日第４条改正）

この学則は，令和４年４月１日から施行する。

付　則（令和３年12月20日第33条，別表1改正，第33条の４，別表8削除）

1　この学則は，令和４年４月１日から施行する。

2　令和３年度以前の入学生については，なお従前の規定による。

3　令和３年度以前の入学生に対して，教授会が履修を認める必要があると判断するときは，教授会が定める授業科目の履修を認めることができるものとする。

付　則（令和３年12月20日第２条，第２条の２，第４条，第22条第１項，第25条第１項，第29条第２項，第33条の13，第34条第１項第１号，別表１，別表４，別表７，別表17改正，第34条第１項第10号新設）

1　この学則は，令和**5**年４月１日から施行する。

2　令和**4**年度以前の入学生については，なお従前の規定による。

3　文学部臨床心理学科については，変更後の規定にかかわらず，当該学生が在学している間は存続することとし，教育課程は従前の規定を適用する。

付　則（令和４年３月15日第29条第２項，第34条第４項，別表１，別表２，別表４改正，第18条の４新設，第13条の２削除）

1　この学則は，令和４年４月１日から施行する。

2　令和３年度以前の入学生については，なお従前の規定による。

3　令和３年度以前の入学生に対して，教授会が履修を認める必要があると判断するときは，教授会が定める授業科目の履修を認めることができるものとする。

別表１

文学部開設科目（第30条関係）

(1)　教養教育科目

授業科目	単位数

仏教の思想A	2
仏教の思想B	2
歎異抄の思想Ⅰ	2
歎異抄の思想Ⅱ	2
英語総合1(A)	1
英語総合1(B)	1
英語総合2(A)	1
英語総合2(B)	1
英語総合3(A)	1
英語総合3(B)	1
英語総合4(A)	1
英語総合4(B)	1
英語セミナーA1	2
英語セミナーA2	2
英語セミナーB1	2
英語セミナーB2	2
英語セミナーC1	2
英語セミナーC2	2
英語セミナーD1	2
英語セミナーD2	2
英語セミナーE1	2
英語セミナーE2	2
英語セミナーF1	2
英語セミナーF2	2
英語セミナーG1	2
英語セミナーG2	2
英語セミナーH1	2
英語セミナーH2	2
英語セミナーI1	2
英語セミナーI2	2
英語セミナーJ1	2

英語セミナーJ2	2	
英語資格試験セミナー	2	
海外英語研修	2	
ドイツ語Ⅰ	2	
ドイツ語Ⅱ	2	
ドイツ語ⅢA	1	
ドイツ語ⅢB	1	
ドイツ語ⅢC	1	
ドイツ語ⅢD	1	
フランス語Ⅰ	2	
フランス語Ⅱ	2	
フランス語ⅢA	1	
フランス語ⅢB	1	
フランス語ⅢC	1	
フランス語ⅢD	1	
中国語Ⅰ	2	
中国語Ⅱ	2	
中国語ⅢA	1	
中国語ⅢB	1	
中国語ⅢC	1	
中国語ⅢD	1	
スペイン語Ⅰ	2	
スペイン語Ⅱ	2	
スペイン語ⅢA	1	
スペイン語ⅢB	1	
スペイン語ⅢC	1	
スペイン語ⅢD	1	
コリア語Ⅰ	2	
コリア語Ⅱ	2	
コリア語ⅢA	1	
コリア語ⅢB	1	

コリア語ⅢC	1
コリア語ⅢD	1
ドイツ語セミナーＩA	2
ドイツ語セミナーＩB	2
ドイツ語セミナーＩC	2
ドイツ語セミナーＩD	2
ドイツ語セミナーⅡA	2
ドイツ語セミナーⅡB	2
ドイツ語セミナーⅡC	2
ドイツ語セミナーⅡD	2
ドイツ語コミュニケーションⅠ	2
ドイツ語コミュニケーションⅡ	2
フランス語セミナーＩA	2
フランス語セミナーＩB	2
フランス語セミナーＩC	2
フランス語セミナーＩD	2
フランス語セミナーⅡA	2
フランス語セミナーⅡB	2
フランス語セミナーⅡC	2
フランス語セミナーⅡD	2
フランス語コミュニケーションⅠ	2
フランス語コミュニケーションⅡ	2
中国語セミナーＩA	2
中国語セミナーＩB	2
中国語セミナーＩC	2
中国語セミナーＩD	2
中国語セミナーⅡA	2
中国語セミナーⅡB	2
中国語セミナーⅡC	2
中国語セミナーⅡD	2
中国語コミュニケーションⅠ	2

中国語コミュニケーションⅡ	2	
スペイン語セミナーＩA	2	
スペイン語セミナーＩB	2	
スペイン語セミナーＩC	2	
スペイン語セミナーＩD	2	
スペイン語セミナーⅡA	2	
スペイン語セミナーⅡB	2	
スペイン語セミナーⅡC	2	
スペイン語セミナーⅡD	2	
スペイン語コミュニケーションＩ	2	
スペイン語コミュニケーションⅡ	2	
コリア語セミナーＩA	2	
コリア語セミナーＩB	2	
コリア語セミナーＩC	2	
コリア語セミナーＩD	2	
コリア語セミナーⅡA	2	
コリア語セミナーⅡB	2	
コリア語セミナーⅡC	2	
コリア語セミナーⅡD	2	
コリア語コミュニケーションＩ	2	
コリア語コミュニケーションⅡ	2	
海外中国語研修講座	2	
ポルトガル語Ｉ	2	
ポルトガル語Ⅱ	2	
ポルトガル語ⅢA	2	
ポルトガル語ⅢB	2	
ロシア語Ｉ	2	
ロシア語Ⅱ	2	
ロシア語ⅢA	2	
ロシア語ⅢB	2	
ラテン語Ｉ	1	

ラテン語Ⅱ	1	
ギリシア語Ⅰ	1	
ギリシア語Ⅱ	1	
ペルシア語ⅠA	2	
ペルシア語ⅠB	2	
ペルシア語ⅡA	2	
ペルシア語ⅡB	2	
トルコ語Ⅰ	2	
トルコ語Ⅱ	2	
アラビア語Ⅰ	2	
アラビア語Ⅱ	2	
哲学入門	2	
哲学A	2	
哲学B	2	
倫理学入門	2	
倫理学A	2	
倫理学B	2	
クリティカル・シンキング	2	
論理学	2	
宗教学入門	4	
宗教の世界A	2	
宗教の世界B	2	
中国の思想A	2	
中国の思想B	2	
芸術の世界A	2	
芸術の世界B	2	
日本の文学A	4	
日本の文学B	4	
日本の文学C	2	
アジアの文学A	2	
アジアの文学B	2	

西洋の文学A	2	
西洋の文学B	2	
文章表現法A	2	
文章表現法B	2	
言語と文化	2	
歴史学入門	2	
日本の歴史A	4	
日本の歴史B	4	
日本の文化	4	
アジアの歴史A	4	
アジアの歴史B	4	
アジアの文化	2	
西洋の歴史A	4	
西洋の歴史B	2	
西洋の歴史C	2	
現代世界の歴史A	2	
現代世界の歴史B	2	
心理学	4	
心の科学A	2	
心の科学B	2	
応用心理学A	2	
応用心理学B	2	
教育学のすすめA	2	
教育学のすすめB	2	
現代社会と教育A	2	
現代社会と教育B	2	
教育原論A	2	
教育原論B	2	
学習・発達論A	2	
学習・発達論B	2	
人文科学セミナー	4	

大学論	2	
日本国憲法	2	
法学のすすめ	2	
政治学のすすめ	2	
社会学のすすめ	2	
地理学のすすめ	2	
経済学のすすめ	2	
経営学のすすめ	2	
国際学のすすめ	2	
文化人類学のすすめ	2	
社会調査のすすめ	2	
社会統計学のすすめ	2	
人権論A	2	
人権論B	2	
現代社会とメディア	2	
現代社会と福祉	2	
現代社会と法	2	
環境と社会	2	
平和学A	2	
ジェンダー論	2	
国際社会論	2	
現代社会の諸問題	2	
地域論	2	
企業と会計	2	
現代社会と労働	2	
社会思想史	2	
英語で学ぶ日本の社会A	2	
英語で学ぶ日本の社会B	2	
データサイエンス・ＡＩ入門	2	
数学入門	2	
数学への旅	2	

確率・統計入門	2	
微分と積分	4	
行列と行列式	4	
数理統計学	4	
数理と計算	2	
数学の世界	4	
数理と論証	2	
宇宙の科学Ⅰ	4	
宇宙の科学Ⅱ	2	
地球科学のすすめ	2	
地球科学	2	
物理科学の世界	4	
時間と空間の科学	2	
エネルギー入門	2	
自然科学史Ⅰ	2	
自然科学史Ⅱ	2	
科学論	2	
技術論	2	
平和学B	2	
里山学	2	
生物科学のすすめ	4	
生命科学のすすめ	2	
生命科学	2	
生態学のすすめ	4	
人類学のすすめ	4	
日本の自然	4	
生命誌	2	
植物の自然誌	2	
動物の自然誌	2	
民族の自然誌	2	
人類進化学	2	

人間の生物学Ⅰ	2
人間の生物学Ⅱ	2
自然誌実習	4
野外観察法	2
環境学	4
情報科学入門	2
情報科学Ⅰ	2
情報科学Ⅱ	2
情報科学実習	4
健康とスポーツ	2
現代社会とスポーツ	2
スポーツ技術学演習	2
人間とスポーツ	2
スポーツと人権・平和	2
スポーツ文化史	2
スポーツ科学最前線	2
教養教育科目特別講義	4
特別講座	12
放送大学科目	4
バークレー語学	12
バークレー講義	6
バークレーボランティア	6

(2) 専攻科目

① 真宗学科

授業科目	単位数
真宗学概論A1	2
真宗学概論A2	2
真宗学の世界A	2
真宗学の世界B	2
真宗学概論B1	2
真宗学概論B2	2

浄土教理史A	2	
浄土教理史B	2	
真宗教学史A	2	
真宗教学史B	2	
真宗伝道学A	2	
真宗伝道学B	2	
真宗聖典学A	2	
真宗聖典学B	2	
浄土教概論	2	
比較思想論	2	
教理史特殊講義A1	2	
教理史特殊講義A2	2	
教理史特殊講義B1	2	
教理史特殊講義B2	2	
教学史特殊講義A1	2	
教学史特殊講義A2	2	
教学史特殊講義B1	2	
教学史特殊講義B2	2	
教義学特殊講義A1	2	
教義学特殊講義A2	2	
教義学特殊講義B1	2	
教義学特殊講義B2	2	
教義学特殊講義C1	2	
教義学特殊講義C2	2	
伝道学特殊講義A1	2	
伝道学特殊講義A2	2	
伝道学特殊講義B1	2	
伝道学特殊講義B2	2	
伝道学特殊講義C1	2	
伝道学特殊講義C2	2	
教理史講読A1	2	

教理史講読A2	2
教理史講読B1	2
教理史講読B2	2
教理史講読C1	2
教理史講読C2	2
教学史講読A1	2
教学史講読A2	2
教学史講読B1	2
教学史講読B2	2
教義学講読A1	2
教義学講読A2	2
教義学講読B1	2
教義学講読B2	2
教義学講読C1	2
教義学講読C2	2
教義学講読D1	2
教義学講読D2	2
教義学講読E1	2
教義学講読E2	2
伝道学講読A1	2
伝道学講読A2	2
伝道学講読B1	2
伝道学講読B2	2
伝道学講読C1	2
伝道学講読C2	2
真宗学基礎演習ＩA	2
真宗学基礎演習ＩB	2
真宗学基礎演習ⅡA	2
真宗学基礎演習ⅡB	2
教理史演習ＩA	2
教理史演習ＩB	2

教学史演習ＩA	2
教学史演習ＩB	2
教義学演習ＩA	2
教義学演習ＩB	2
伝道学演習ＩA	2
伝道学演習ＩB	2
教理史演習ⅡA	2
教理史演習ⅡB	2
教学史演習ⅡA	2
教学史演習ⅡB	2
教義学演習ⅡA	2
教義学演習ⅡB	2
伝道学演習ⅡA	2
伝道学演習ⅡB	2
卒業論文	4
布教伝道論Ⅰ	2
布教伝道論Ⅱ	2
文書伝道論Ⅰ	2
文書伝道論Ⅱ	2
真宗教団史	4
哲学概論	2
宗教学概説A	2
宗教学概説B	2
宗教史A	2
宗教史B	2
キャリア形成論	2
放送大学科目	30
特別講座	30

② 仏教学科

授業科目	単位数
仏教学概論A1	2

仏教学概論A2	2
仏教学概論B1	2
仏教学概論B2	2
仏教聖典学概論A	2
仏教聖典学概論B	2
仏教文化学概論A	2
仏教文化学概論B	2
インド哲学概論A	2
インド哲学概論B	2
インド仏教教学史A	2
インド仏教教学史B	2
中国仏教教学史A	2
中国仏教教学史B	2
日本仏教教学史A	2
日本仏教教学史B	2
仏教学特殊講義A1	2
仏教学特殊講義A2	2
仏教学特殊講義B1	2
仏教学特殊講義B2	2
仏教学特殊講義C1	2
仏教学特殊講義C2	2
仏教学特殊講義D1	2
仏教学特殊講義D2	2
仏教学特殊講義E1	2
仏教学特殊講義E2	2
仏教学特殊講義F1	2
仏教学特殊講義F2	2
仏教学特殊講義G1	2
仏教学特殊講義G2	2
仏教学特殊講義H1	2
仏教学特殊講義H2	2

仏教学特殊講義I1	2
仏教学特殊講義I2	2
仏教学特殊講義J1	2
仏教学特殊講義J2	2
仏教学基礎演習A	2
仏教学基礎演習B	2
仏教学基礎演習C	2
仏教学基礎演習D	2
仏教漢文入門A	2
仏教漢文入門B	2
仏教学講読A1	2
仏教学講読A2	2
仏教学講読B1	2
仏教学講読B2	2
仏教学講読C1	2
仏教学講読C2	2
仏教学講読D1	2
仏教学講読D2	2
仏教学講読E1	2
仏教学講読E2	2
仏教学講読F1	2
仏教学講読F2	2
仏教学講読G1	2
仏教学講読G2	2
仏教学講読H1	2
仏教学講読H2	2
仏教学講読I1	2
仏教学講読I2	2
仏教学演習Ⅰ	4
仏教学演習Ⅱ	4
卒業論文	4

インドの仏教と文化A	2
インドの仏教と文化B	2
仏教と異思想A	2
仏教と異思想B	2
現代アジアの仏教と社会A	2
現代アジアの仏教と社会B	2
サンスクリット語仏典入門A1	2
サンスクリット語仏典入門A2	2
サンスクリット語仏典入門B1	2
サンスクリット語仏典入門B2	2
パーリ語仏典入門A	2
パーリ語仏典入門B	2
チベット語仏典入門A1	2
チベット語仏典入門A2	2
チベット語仏典入門B1	2
チベット語仏典入門B2	2
仏典情報研究論A	2
仏典情報研究論B	2
仏教美術（イコノロジー）入門A	2
仏教美術（イコノロジー）入門B	2
アジアの仏教と文化	2
日本の仏教と文化	2
仏教と日本の文化A	4
仏教と日本の文化B	2
仏教と日本の文化C	2
仏教と日本の文化D	2
仏教漢文の世界A	2
仏教漢文の世界B	2
古都の仏教	2
世界の仏教	2
仏教と人生の課題	2

哲学概論	2
宗教学概説A	2
宗教学概説B	2
宗教史A	2
宗教史B	2
キリスト教神学	2
キャリア形成論	2
放送大学科目	30
特別講座	30

③　哲学科

専攻	授業科目	単位数
哲学	哲学概論	2
	倫理学概論	2
	宗教学概説A	2
	宗教学概説B	2
	哲学特殊講義(A)A	2
	哲学特殊講義(A)B	2
	哲学特殊講義(B)A	2
	哲学特殊講義(B)B	2
	哲学特殊講義(C)A	2
	哲学特殊講義(C)B	2
	哲学特殊講義(D)A	2
	哲学特殊講義(D)B	2
	哲学特殊講義(E)A	2
	哲学特殊講義(E)B	2
	哲学基礎演習ⅠA	2
	哲学基礎演習ⅠB	2
	哲学基礎演習ⅡA	2
	哲学基礎演習ⅡB	2
	哲学講読A1	2

	哲学講読A2	2
	哲学講読B1	2
	哲学講読B2	2
	哲学講読C1	2
	哲学講読C2	2
	哲学講読D1	2
	哲学講読D2	2
	哲学講読E1	2
	哲学講読E2	2
	哲学講読F1	2
	哲学講読F2	2
	哲学講読G1	2
	哲学講読G2	2
	哲学講読H1	2
	哲学講読H2	2
	哲学講読I1	2
	哲学講読I2	2
	哲学講読J1	2
	哲学講読J2	2
	哲学演習ＩA	2
	哲学演習ＩB	2
	哲学演習ⅡA	2
	哲学演習ⅡB	2
	卒業論文	4
	古代哲学史	2
	中世哲学史	2
	近世哲学史A	2
	近世哲学史B	2
	現代哲学史	2
	宗教史A	2

	宗教史B	2
	科学哲学	2
	社会哲学	2
	現代倫理学特論	2
	美学概説	2
	キリスト教神学	2
	聖書研究	2
	論理学特論	2
	形而上学特論	2
	現代哲学特論	2
	社会学概説	4
	社会活動ボランティア	4
	日本史A	2
	日本史B	2
	東洋史A	2
	東洋史B	2
	西洋史	4
	社会事業概説	4
	人文地理学	4
	自然地理学	4
	地理学（地誌）	4
	法学概論	4
	政治学原理	4
	経済原論	4
	心理学概論	2
	キャリア形成論	2
	放送大学科目	30
	特別講座	30
教育学	教育学概論	4
	西洋教育史	4

	日本教育史	4
	教育心理学	2
	特別支援教育論	2
	教育社会学	4
	教育学特殊講義(A)A	2
	教育学特殊講義(A)B	2
	教育学特殊講義(B)A	2
	教育学特殊講義(B)B	2
	教育学特殊講義(C)A	2
	教育学特殊講義(C)B	2
	教育学特殊講義(D)A	2
	教育学特殊講義(D)B	2
	教育学特殊講義(E)A	2
	教育学特殊講義(E)B	2
	教育学特殊講義(F)A	2
	教育学特殊講義(F)B	2
	教育学特殊講義(G)A	2
	教育学特殊講義(G)B	2
	教育学特殊講義(H)A	2
	教育学特殊講義(H)B	2
	教育学特殊講義(I)A	2
	教育学特殊講義(I)B	2
	教育学特殊講義(J)A	2
	教育学特殊講義(J)B	2
	教育学特殊講義(K)A	2
	教育学特殊講義(K)B	2
	教育学基礎演習ⅠA	2
	教育学基礎演習ⅠB	2
	教育学基礎演習ⅡA	2
	教育学基礎演習ⅡB	2

	教育学講読A1	2
	教育学講読A2	2
	教育学講読B1	2
	教育学講読B2	2
	教育学講読C1	2
	教育学講読C2	2
	教育学講読D1	2
	教育学講読D2	2
	教育学演習ＩA	2
	教育学演習ＩB	2
	教育心理学演習ＩA	2
	教育心理学演習ＩB	2
	教育学演習ⅡA	2
	教育学演習ⅡB	2
	教育心理学演習ⅡA	2
	教育心理学演習ⅡB	2
	卒業論文	4
	心理学概論	2
	社会教育概論	4
	生涯学習概論	4
	比較教育学	4
	教育行政学A	2
	教育行政学B	2
	社会教育計画	4
	社会教育特講Ⅰ	4
	社会教育特講Ⅱ	4
	社会教育特講Ⅲ	4
	教育心理学研究法	2
	矯正教育論Ⅰ	2
	矯正教育論Ⅱ	2

	学習・言語心理学	2
	発達心理学概論	2
	知覚・認知心理学	2
	心理学史	2
	現代社会論	4
	経済原論	4
	法学概論	4
	政治学原理	4
	教育情報処理演習	2
	地理学（地誌）	4
	人文地理学	4
	自然地理学	4
	日本史A	2
	日本史B	2
	東洋史A	2
	東洋史B	2
	西洋史	4
	社会学概説	4
	倫理学概論	2
	宗教学概説A	2
	宗教学概説B	2
	社会事業概説	4
	文化人類学概論	4
	キリスト教神学	2
	キャリア形成論	2
	放送大学科目	30
	特別講座	30

④　歴史学科

専攻	授業科目	単位数
日本史学	史学概論A	2

	史学概論B	2
	史学概論C	2
	史学概論D	2
	史学概論E	2
	日本史概説ⅠA	2
	日本史概説ⅠB	2
	日本史概説ⅡA	2
	日本史概説ⅡB	2
	日本宗教史A	2
	日本宗教史B	2
	日本史学特殊講義(A)A	2
	日本史学特殊講義(A)B	2
	日本史学特殊講義(B)A	2
	日本史学特殊講義(B)B	2
	日本史学特殊講義(C)A	2
	日本史学特殊講義(C)B	2
	日本史学特殊講義(D)A	2
	日本史学特殊講義(D)B	2
	日本史学特殊講義(E)A	2
	日本史学特殊講義(E)B	2
	日本史学特殊講義(F)A	2
	日本史学特殊講義(F)B	2
	日本史学特殊講義(G)A	2
	日本史学特殊講義(G)B	2
	日本史学特殊講義(H)A	2
	日本史学特殊講義(H)B	2
	日本史学特殊講義(I)A	2
	日本史学特殊講義(I)B	2
	日本史学特殊講義(J)A	2
	日本史学特殊講義(J)B	2

	日本史学特殊講義(K)A	2
	日本史学特殊講義(K)B	2
	日本史学講読A1	2
	日本史学講読A2	2
	日本史学講読B1	2
	日本史学講読B2	2
	日本史学講読C1	2
	日本史学講読C2	2
	日本史学講読D1	2
	日本史学講読D2	2
	日本史学講読E1	2
	日本史学講読E2	2
	日本史学講読F1	2
	日本史学講読F2	2
	日本史学講読G1	2
	日本史学講読G2	2
	日本史学講読H1	2
	日本史学講読H2	2
	日本史学基礎演習ⅠA	2
	日本史学基礎演習ⅠB	2
	日本史学基礎演習ⅡA	2
	日本史学基礎演習ⅡB	2
	日本史学演習Ⅰ	4
	日本史学演習Ⅱ	4
	卒業論文	4
	日本文化史Ⅰ	2
	日本文化史Ⅱ	2
	人文地理学	4
	自然地理学	4
	地理学（地誌）	4

	歴史地理学	4
	考古学（日本）A	2
	考古学（日本）B	2
	民俗学（日本）A	2
	民俗学（日本）B	2
	美術史（日本）A	2
	美術史（日本）B	2
	史料学（日本）A	2
	史料学（日本）B	2
	古文書学	4
	古文書学入門	4
	社会事業史	4
	西洋史	4
	法学概論	4
	政治学原理	4
	経済原論	4
	東洋史A	2
	東洋史B	2
	社会学概説	4
	倫理学概論	2
	宗教学概説A	2
	宗教学概説B	2
	キャリア形成論	2
	放送大学科目	30
	特別講座	30
東洋史学	史学概論A	2
	史学概論B	2
	史学概論C	2
	史学概論D	2
	史学概論E	2

	東洋史概説Ⅰ	4
	東洋史概説Ⅱ	4
	インド仏教史A	2
	インド仏教史B	2
	西域仏教史A	2
	西域仏教史B	2
	中国仏教史A	2
	中国仏教史B	2
	東洋史学特殊講義(A)A	2
	東洋史学特殊講義(A)B	2
	東洋史学特殊講義(B)A	2
	東洋史学特殊講義(B)B	2
	東洋史学特殊講義(C)A	2
	東洋史学特殊講義(C)B	2
	東洋史学特殊講義(D)A	2
	東洋史学特殊講義(D)B	2
	東洋史学特殊講義(E)A	2
	東洋史学特殊講義(E)B	2
	東洋史学特殊講義(F)A	2
	東洋史学特殊講義(F)B	2
	東洋史学特殊講義(G)A	2
	東洋史学特殊講義(G)B	2
	東洋史学特殊講義(H)A	2
	東洋史学特殊講義(H)B	2
	東洋史学講読(A)	4
	東洋史学講読(B)	4
	東洋史学講読(C)A	2
	東洋史学講読(C)B	2
	東洋史学講読(D)A	2
	東洋史学講読(D)B	2

	東洋史学講読(E)A	2
	東洋史学講読(E)B	2
	東洋史学講読(H)	4
	東洋史学講読(I)A	2
	東洋史学講読(I)B	2
	東洋史学文献読解入門A	2
	東洋史学文献読解入門B	2
	東洋史学基礎演習Ⅰ	4
	東洋史学基礎演習Ⅱ	4
	東洋史学演習Ⅰ	4
	東洋史学演習Ⅱ	4
	卒業論文	4
	西洋史	4
	中国文化史Ⅰ	2
	中国文化史Ⅱ	2
	人文地理学	4
	自然地理学	4
	考古学（アジア）A	2
	考古学（アジア）B	2
	民俗学（アジア）A	2
	民俗学（アジア）B	2
	美術史（アジア）A	2
	美術史（アジア）B	2
	史料学（アジア）A	2
	史料学（アジア）B	2
	文化人類学概論	4
	倫理学概論	2
	宗教学概説A	2
	宗教学概説B	2
	地理学（地誌）	4

	日本史A	2
	日本史B	2
	法学概論	4
	政治学原理	4
	社会学概説	4
	経済原論	4
	キャリア形成論	2
	放送大学科目	30
	特別講座	30
仏教史学	史学概論A	2
	史学概論B	2
	史学概論C	2
	史学概論D	2
	史学概論E	2
	仏教史概説A1	2
	仏教史概説A2	2
	仏教史概説B1	2
	仏教史概説B2	2
	仏教史学入門A	2
	仏教史学入門B	2
	仏教文化史概論A	2
	仏教文化史概論B	2
	インド仏教史A	2
	インド仏教史B	2
	西域仏教史A	2
	西域仏教史B	2
	中国仏教史A	2
	中国仏教史B	2
	日本仏教史A1	2
	日本仏教史A2	2

	日本仏教史B1	2
	日本仏教史B2	2
	仏教美術史A	2
	仏教美術史B	2
	仏教史学特殊講義A1	2
	仏教史学特殊講義A2	2
	仏教史学特殊講義B1	2
	仏教史学特殊講義B2	2
	仏教史学特殊講義C1	2
	仏教史学特殊講義C2	2
	仏教史学特殊講義D1	2
	仏教史学特殊講義D2	2
	仏教史学特殊講義E1	2
	仏教史学特殊講義E2	2
	仏教史学特殊講義F1	2
	仏教史学特殊講義F2	2
	仏教史学特殊講義G1	2
	仏教史学特殊講義G2	2
	仏教史学特殊講義H1	2
	仏教史学特殊講義H2	2
	仏教史学特殊講義I1	2
	仏教史学特殊講義I2	2
	仏教史学講読A1	2
	仏教史学講読A2	2
	仏教史学講読B1	2
	仏教史学講読B2	2
	仏教史学講読C1	2
	仏教史学講読C2	2
	仏教史学講読D1	2
	仏教史学講読D2	2

	仏教史学講読E1	2
	仏教史学講読E2	2
	仏教史学講読F1	2
	仏教史学講読F2	2
	仏教史学講読G1	2
	仏教史学講読G2	2
	仏教史学講読H1	2
	仏教史学講読H2	2
	仏教史学基礎演習ⅠA	2
	仏教史学基礎演習ⅠB	2
	仏教史学基礎演習ⅡA	2
	仏教史学基礎演習ⅡB	2
	仏教史学演習ⅠA	2
	仏教史学演習ⅠB	2
	仏教史学演習ⅡA	2
	仏教史学演習ⅡB	2
	卒業論文	4
	西洋史	4
	人文地理学	4
	自然地理学	4
	地理学（地誌）	4
	真宗史A	2
	真宗史B	2
	倫理学概論	2
	宗教学概説A	2
	宗教学概説B	2
	日本史A	2
	日本史B	2
	東洋史A	2
	東洋史B	2

	法学概論	4
	政治学原理	4
	社会学概説	4
	経済原論	4
	キャリア形成論	2
	放送大学科目	30
	特別講座	30
文化遺産学	文化遺産学基礎演習A	2
	文化遺産学基礎演習B	2
	文化遺産学基礎演習C	2
	文化遺産学基礎演習D	2
	文化遺産学演習ＩA	2
	文化遺産学演習ＩB	2
	文化遺産学演習ⅡA	2
	文化遺産学演習ⅡB	2
	卒業論文	4
	文化遺産学概論A	2
	文化遺産学概論B	2
	考古学実習	2
	文化遺産学概説	4
	文化財実習	2
	日本史概説ＩA	2
	日本史概説ＩB	2
	日本史概説ⅡA	2
	日本史概説ⅡB	2
	東洋史概説Ⅰ	4
	東洋史概説Ⅱ	4
	仏教史概説A1	2
	仏教史概説A2	2
	仏教史概説B1	2

	仏教史概説B2	2
	史学概論A	2
	史学概論B	2
	史学概論C	2
	史学概論D	2
	史学概論E	2
	文献史学特殊講義A	2
	文献史学特殊講義B	2
	考古学特殊講義A	2
	考古学特殊講義B	2
	美術史特殊講義A	2
	美術史特殊講義B	2
	文化財科学特殊講義A	2
	文化財科学特殊講義B	2
	文化財行政特殊講義A	2
	文化財行政特殊講義B	2
	古文書学講読A	2
	古文書学講読B	2
	文化財資料講読A	2
	文化財資料講読B	2
	日本考古学講読A	2
	日本考古学講読B	2
	文化財科学講読A	2
	文化財科学講読B	2
	建築史概論	2
	工芸史概論	2
	博物館概論	2
	生涯学習概論	2
	博物館経営論	2
	博物館資料論	2

	博物館資料保存論	2
	博物館展示論	2
	博物館情報・メディア論	2
	西洋史	4
	人文地理学	4
	自然地理学	4
	歴史地理学	4
	地理学（地誌）	4
	社会学概説	4
	経済原論	4
	法学概論	4
	政治学原理	4
	哲学概論	2
	倫理学概論	2
	宗教学概説A	2
	宗教学概説B	2
	キャリア形成論	2
	放送大学科目	8
	特別講座	30

⑤　日本語日本文学科

授業科目	単位数
日本文学概論A	2
日本文学概論B	2
日本語学概論A	2
日本語学概論B	2
日本文学史（古典）A	2
日本文学史（古典）B	2
日本文学史（近代）A	2
日本文学史（近代）B	2
情報出版学概論A	2

情報出版学概論B	2
日本語教育概論A	2
日本語教育概論B	2
古典文学特殊講義(A)A	2
古典文学特殊講義(A)B	2
古典文学特殊講義(B)A	2
古典文学特殊講義(B)B	2
古典文学特殊講義(C)A	2
古典文学特殊講義(C)B	2
古典文学特殊講義(D)A	2
古典文学特殊講義(D)B	2
古典文学特殊講義(E)A	2
古典文学特殊講義(E)B	2
古典文学特殊講義(F)A	2
古典文学特殊講義(F)B	2
近代文学特殊講義(A)A	2
近代文学特殊講義(A)B	2
近代文学特殊講義(B)A	2
近代文学特殊講義(B)B	2
近代文学特殊講義(C)A	2
近代文学特殊講義(C)B	2
情報出版学特殊講義(A)A	2
情報出版学特殊講義(A)B	2
情報出版学特殊講義(B)A	2
情報出版学特殊講義(B)B	2
情報出版学特殊講義(C)A	2
情報出版学特殊講義(C)B	2
情報出版学特殊講義(D)A	2
情報出版学特殊講義(D)B	2
日本語学特殊講義(A)A	2
日本語学特殊講義(A)B	2

日本語学特殊講義(B)A	2
日本語学特殊講義(B)B	2
日本語学特殊講義(C)A	2
日本語学特殊講義(C)B	2
日本語学特殊講義(D)A	2
日本語学特殊講義(D)B	2
古典文学講読(A)A	2
古典文学講読(A)B	2
古典文学講読(B)A	2
古典文学講読(B)B	2
古典文学講読(C)A	2
古典文学講読(C)B	2
古典文学講読(D)A	2
古典文学講読(D)B	2
近代文学講読(A)A	2
近代文学講読(A)B	2
近代文学講読(B)A	2
近代文学講読(B)B	2
近代文学講読(C)A	2
近代文学講読(C)B	2
情報出版学講読(A)A	2
情報出版学講読(A)B	2
情報出版学講読(B)A	2
情報出版学講読(B)B	2
情報出版学講読(C)A	2
情報出版学講読(C)B	2
日本語学講読(A)A	2
日本語学講読(A)B	2
日本語学講読(B)A	2
日本語学講読(B)B	2
日本語日本文学基礎演習A	2

日本語日本文学基礎演習B	2
日本語日本文学基礎演習C	2
日本語日本文学基礎演習D	2
古典文学演習ＩA	2
古典文学演習ＩB	2
近代文学演習ＩA	2
近代文学演習ＩB	2
情報出版学演習ＩA	2
情報出版学演習ＩB	2
日本語学演習ＩA	2
日本語学演習ＩB	2
古典文学演習Ⅱ	4
近代文学演習Ⅱ	4
情報出版学演習Ⅱ	4
日本語学演習Ⅱ	4
卒業論文	4
中国文学ＩA	2
中国文学ＩB	2
中国文学ⅡA	2
中国文学ⅡB	2
中国文学史A	2
中国文学史B	2
仏教文学A	2
仏教文学B	2
書道（書写を含む）A	2
書道（書写を含む）B	2
メディア論A	2
メディア論B	2
日本語教授法Ⅰ	2
日本語教授法Ⅱ	2
言語習得（発達）論A	2

言語習得（発達）論B	2
情報処理法Ⅰ	2
情報処理法Ⅱ	2
画像映像処理法Ⅰ	2
画像映像処理法Ⅱ	2
キャリア形成論	2
放送大学科目	30
特別講座	30

⑥　英語英米文学科

授業科目	単位数
英語圏文学概論A	2
英語圏文学概論B	2
英語学概論A	2
英語学概論B	2
英米文化概論A	2
英米文化概論B	2
英米文学特殊講義(A)A	2
英米文学特殊講義(A)B	2
英米文学特殊講義(B)A	2
英米文学特殊講義(B)B	2
英米文学特殊講義(C)A	2
英米文学特殊講義(C)B	2
英米文学特殊講義(D)A	2
英米文学特殊講義(D)B	2
英語学特殊講義(A)A	2
英語学特殊講義(A)B	2
英米文化特殊講義(A)A	2
英米文化特殊講義(A)B	2
英米文化特殊講義(B)A	2
英米文化特殊講義(B)B	2
英語英米文学基礎演習A	2

英語英米文学基礎演習B	2
英語英米文学基礎演習C	2
英語英米文学基礎演習D	2
English Listening A	1
English Listening B	1
English Academic Writing　ＩA	1
English Academic Writing　ＩB	1
英米文学講読(A)A	2
英米文学講読(A)B	2
英米文学講読(B)A	2
英米文学講読(B)B	2
英米文学講読(C)A	2
英米文学講読(C)B	2
英米文学講読(D)A	2
英米文学講読(D)B	2
英米文学講読(E)A	2
英米文学講読(E)B	2
英語学講読(A)A	2
英語学講読(A)B	2
英語学講読(B)A	2
英語学講読(B)B	2
英米文化講読(A)A	2
英米文化講読(A)B	2
英米文化講読(B)A	2
英米文化講読(B)B	2
英文学演習ＩA	2
英文学演習ＩB	2
米文学演習ＩA	2
米文学演習ＩB	2
英語学演習ＩA	2
英語学演習ＩB	2

英米文化演習ＩA	2
英米文化演習ＩB	2
英文学演習ⅡA	2
英文学演習ⅡB	2
米文学演習ⅡA	2
米文学演習ⅡB	2
英語学演習ⅡA	2
英語学演習ⅡB	2
英米文化演習ⅡA	2
英米文化演習ⅡB	2
卒業論文	4
英文学史A	2
英文学史B	2
米文学史A	2
米文学史B	2
英語発達史A	2
英語発達史B	2
英国文化史A	2
英国文化史B	2
米国文化史A	2
米国文化史B	2
言語学概論A	2
言語学概論B	2
英語音声学A	2
英語音声学B	2
Oral Communication IA	1
Oral Communication IB	1
Oral Communication ⅡA	1
Oral Communication ⅡB	1
Oral Communication ⅢA	1
Oral Communication ⅢB	1

English Academic Writing ⅡA	1
English Academic Writing ⅡB	1
英語圏文化論A	2
英語圏文化論B	2
イングリッシュ・レクチャーⅠ	2
イングリッシュ・レクチャーⅡ	2
国際文化交流研修	8
海外研修	4
バークレー語学	10
バークレー講義	4
バークレーボランティア	6
キャリア形成論	2
放送大学科目	30
特別講座	30

以上に掲げる授業科目のほか，教授会が教育上必要であると認めるときは別になお，他の授業科目を設けることができる。

経済学部開設科目（第30条関係）

(1) 教養教育科目

授業科目	単位数
仏教の思想A	2
仏教の思想B	2
歎異抄の思想Ⅰ	2
歎異抄の思想Ⅱ	2
英語総合1(A)	1
英語総合1(B)	1
英語総合2(A)	1
英語総合2(B)	1
英語総合3(A)	1
英語総合3(B)	1
英語総合4(A)	1
英語総合4(B)	1

英語セミナーA1	2
英語セミナーA2	2
英語セミナーB1	2
英語セミナーB2	2
英語セミナーC1	2
英語セミナーC2	2
英語セミナーD1	2
英語セミナーD2	2
英語セミナーE1	2
英語セミナーE2	2
英語セミナーF1	2
英語セミナーF2	2
英語セミナーG1	2
英語セミナーG2	2
英語セミナーH1	2
英語セミナーH2	2
英語セミナーI1	2
英語セミナーI2	2
英語セミナーJ1	2
英語セミナーJ2	2
英語資格試験セミナー	2
海外英語研修	2
ドイツ語Ⅰ	2
ドイツ語Ⅱ	2
ドイツ語ⅢA	1
ドイツ語ⅢB	1
ドイツ語ⅢC	1
ドイツ語ⅢD	1
フランス語Ⅰ	2
フランス語Ⅱ	2
フランス語ⅢA	1

フランス語ⅢB	1
フランス語ⅢC	1
フランス語ⅢD	1
中国語Ⅰ	2
中国語Ⅱ	2
中国語ⅢA	1
中国語ⅢB	1
中国語ⅢC	1
中国語ⅢD	1
スペイン語Ⅰ	2
スペイン語Ⅱ	2
スペイン語ⅢA	1
スペイン語ⅢB	1
スペイン語ⅢC	1
スペイン語ⅢD	1
コリア語Ⅰ	2
コリア語Ⅱ	2
コリア語ⅢA	1
コリア語ⅢB	1
コリア語ⅢC	1
コリア語ⅢD	1
ドイツ語セミナーⅠA	2
ドイツ語セミナーⅠB	2
ドイツ語セミナーⅠC	2
ドイツ語セミナーⅠD	2
ドイツ語セミナーⅡA	2
ドイツ語セミナーⅡB	2
ドイツ語セミナーⅡC	2
ドイツ語セミナーⅡD	2
ドイツ語コミュニケーションⅠ	2
ドイツ語コミュニケーションⅡ	2

フランス語セミナーＩA	2
フランス語セミナーＩB	2
フランス語セミナーＩC	2
フランス語セミナーＩD	2
フランス語セミナーⅡA	2
フランス語セミナーⅡB	2
フランス語セミナーⅡC	2
フランス語セミナーⅡD	2
フランス語コミュニケーションⅠ	2
フランス語コミュニケーションⅡ	2
中国語セミナーＩA	2
中国語セミナーＩB	2
中国語セミナーＩC	2
中国語セミナーＩD	2
中国語セミナーⅡA	2
中国語セミナーⅡB	2
中国語セミナーⅡC	2
中国語セミナーⅡD	2
中国語コミュニケーションⅠ	2
中国語コミュニケーションⅡ	2
スペイン語セミナーＩA	2
スペイン語セミナーＩB	2
スペイン語セミナーＩC	2
スペイン語セミナーＩD	2
スペイン語セミナーⅡA	2
スペイン語セミナーⅡB	2
スペイン語セミナーⅡC	2
スペイン語セミナーⅡD	2
スペイン語コミュニケーションⅠ	2
スペイン語コミュニケーションⅡ	2
コリア語セミナーＩA	2

コリア語セミナーＩＢ	2	
コリア語セミナーＩＣ	2	
コリア語セミナーＩＤ	2	
コリア語セミナーⅡＡ	2	
コリア語セミナーⅡＢ	2	
コリア語セミナーⅡＣ	2	
コリア語セミナーⅡＤ	2	
コリア語コミュニケーションⅠ	2	
コリア語コミュニケーションⅡ	2	
海外中国語研修講座	2	
ポルトガル語Ⅰ	2	
ポルトガル語Ⅱ	2	
ポルトガル語ⅢA	2	
ポルトガル語ⅢB	2	
ロシア語Ⅰ	2	
ロシア語Ⅱ	2	
ロシア語ⅢA	2	
ロシア語ⅢB	2	
ラテン語Ⅰ	1	
ラテン語Ⅱ	1	
ギリシア語Ⅰ	1	
ギリシア語Ⅱ	1	
ペルシア語ＩＡ	2	
ペルシア語ＩＢ	2	
ペルシア語ⅡＡ	2	
ペルシア語ⅡＢ	2	
トルコ語Ⅰ	2	
トルコ語Ⅱ	2	
アラビア語Ⅰ	2	
アラビア語Ⅱ	2	
哲学入門	2	

哲学A	2
哲学B	2
倫理学入門	2
倫理学A	2
倫理学B	2
クリティカル・シンキング	2
論理学	2
宗教学入門	4
宗教の世界A	2
宗教の世界B	2
中国の思想A	2
中国の思想B	2
芸術の世界A	2
芸術の世界B	2
日本の文学A	4
日本の文学B	4
日本の文学C	2
アジアの文学A	2
アジアの文学B	2
西洋の文学A	2
西洋の文学B	2
文章表現法A	2
文章表現法B	2
言語と文化	2
歴史学入門	2
日本の歴史A	4
日本の歴史B	4
日本の文化	4
アジアの歴史A	4
アジアの歴史B	4
アジアの文化	2

西洋の歴史A	4
西洋の歴史B	2
西洋の歴史C	2
現代世界の歴史A	2
現代世界の歴史B	2
心理学	4
心の科学A	2
心の科学B	2
応用心理学A	2
応用心理学B	2
教育学のすすめA	2
教育学のすすめB	2
現代社会と教育A	2
現代社会と教育B	2
教育原論A	2
教育原論B	2
学習・発達論A	2
学習・発達論B	2
人文科学セミナー	4
大学論	2
日本国憲法	2
法学のすすめ	2
政治学のすすめ	2
社会学のすすめ	2
地理学のすすめ	2
経営学のすすめ	2
国際学のすすめ	2
文化人類学のすすめ	2
社会調査のすすめ	2
社会統計学のすすめ	2
人権論A	2

人権論B	2
現代社会とメディア	2
現代社会と福祉	2
現代社会と法	2
環境と社会	2
平和学A	2
ジェンダー論	2
国際社会論	2
現代社会の諸問題	2
地域論	2
企業と会計	2
現代社会と労働	2
社会思想史	2
英語で学ぶ日本の社会A	2
英語で学ぶ日本の社会B	2
データサイエンス・ＡＩ入門	2
数学入門	2
数学への旅	2
確率・統計入門	2
微分と積分	4
行列と行列式	4
数理統計学	4
数理と計算	2
数学の世界	4
数理と論証	2
宇宙の科学Ⅰ	4
宇宙の科学Ⅱ	2
地球科学のすすめ	2
地球科学	2
物理科学の世界	4
時間と空間の科学	2

エネルギー入門	2	
自然科学史Ⅰ	2	
自然科学史Ⅱ	2	
科学論	2	
技術論	2	
平和学B	2	
里山学	2	
生物科学のすすめ	4	
生命科学のすすめ	2	
生命科学	2	
生態学のすすめ	4	
人類学のすすめ	4	
日本の自然	4	
生命誌	2	
植物の自然誌	2	
動物の自然誌	2	
民族の自然誌	2	
人類進化学	2	
人間の生物学Ⅰ	2	
人間の生物学Ⅱ	2	
自然誌実習	4	
野外観察法	2	
環境学	4	
情報科学入門	2	
情報科学Ⅰ	2	
情報科学Ⅱ	2	
情報科学実習	4	
健康とスポーツ	2	
現代社会とスポーツ	2	
スポーツ技術学演習	2	
人間とスポーツ	2	

スポーツと人権・平和	2
スポーツ文化史	2
スポーツ科学最前線	2
教養教育科目特別講義	4
特別講座	4
放送大学科目	4
バークレー語学	12
バークレー講義	6

(2) 専攻科目

① 現代経済学科

授業科目	単位数
現代と経済	2
ミクロ経済学入門Ⅰ	2
ミクロ経済学入門Ⅱ	2
マクロ経済学入門Ⅰ	2
マクロ経済学入門Ⅱ	2
統計学入門	2
社会経済学入門	2
経済数学	4
日本経済論	4
経済史	4
統計学	4
ミクロ経済学Ａ	2
ミクロ経済学Ｂ	2
マクロ経済学	4
社会経済学	4
財政学	4
金融論	4
経済政策	4
国際経済学	4
経済学史	4

入門演習	2	
基礎演習Ⅰ	2	
基礎演習Ⅱ	2	
ゲーム理論	4	
経済成長と循環	2	
不確実性と情報の経済学	2	
行動経済学	2	
産業組織論	4	
ファイナンス理論	4	
企業金融論	4	
労働経済学	4	
ホスピタリティ・ビジネス論	2	
地域産業論	4	
観光経済論	2	
サービス経済論	4	
中小企業論	2	
地域産業活性化プロジェクトⅠ	4	
地域産業活性化プロジェクトⅡ	2	
環境経済学	4	
総合政策論	4	
公共経済学	4	
社会政策	4	
租税論	4	
都市経済学	2	
NPO論	2	
医療経済学	2	
生活福祉論	4	
地方財政論	4	
経済統計学	4	
計量経済学	4	
応用計量経済学	4	

データサイエンス入門	4	
データサイエンス	2	
データ分析と問題解決	2	
情報システム論	4	
国際政治経済学	4	
国際貿易政策	2	
比較経済論	4	
国際金融論	4	
国際ビジネス論	2	
中国経済論	4	
ヨーロッパ経済論	4	
アメリカ経済論	4	
開発経済学	4	
地域経済論	4	
国際協力論	4	
農業・資源経済学	4	
アジア経済論	4	
海外フィールド実習	4	
アジア経済史	4	
日本経済史	4	
経済地理学	4	
ヨーロッパ経済史	4	
アメリカ経済史	4	
経済思想史	2	
演習Ⅰ	4	
演習Ⅱ	4	
卒業研究	4	
経済英語Ⅰ	2	
経済英語Ⅱ	2	
経済英語Ⅲ	2	
留学英語Ⅰ	4	

留学英語Ⅱ	2
留学英語Ⅲ	4
留学英語Ⅳ	2
Business　Communication Ⅰ	2
Business　Communication Ⅱ	2
経済学の技法Ⅰ	2
経済学の技法Ⅱ	2
情報と経済	2
社会調査の技法	2
フィールドワークの技法	2
簿記論Ⅰ	2
簿記論Ⅱ	2
経営学総論	4
財務会計入門	2
財務会計論	2
商学総論	4
中級商業簿記	2
上級商業簿記	2
工業簿記	2
原価計算論	2
政治学原理	4
民法	2
経済法	2
行政法	4
憲法	4
労働法	2
商法	2
キャリア形成論Ⅰ	2
キャリア形成論Ⅱ	2
ファイナンシャル・プランニング入門Ⅰ	2
ファイナンシャル・プランニング入門Ⅱ	2

現代特別講義A	2
現代特別講義B	2
現代特別講義C	2
現代特別講義D	2
現代特別講義E	2
現代特別講義F	2
現代特別講義G	2
現代特別講義H	2
現代特別講義I	2
現代特別講義J	4
国際特別講義A	4
国際特別講義B	2
選択特別講義A	2
選択特別講義B	2
選択特別講義C	2
選択特別講義D	2
選択特別講義E	2
選択特別講義F	2
放送大学科目	8
特別講座	24

② 国際経済学科

授業科目	単位数
現代と経済	2
ミクロ経済学入門Ⅰ	2
ミクロ経済学入門Ⅱ	2
マクロ経済学入門Ⅰ	2
マクロ経済学入門Ⅱ	2
統計学入門	2
社会経済学入門	2
経済数学	4
日本経済論	4

経済史	4	
統計学	4	
ミクロ経済学Ａ	2	
ミクロ経済学Ｂ	2	
マクロ経済学	4	
社会経済学	4	
財政学	4	
金融論	4	
経済政策	4	
国際経済学	4	
経済学史	4	
入門演習	2	
基礎演習Ⅰ	2	
基礎演習Ⅱ	2	
国際政治経済学	4	
国際貿易政策	2	
比較経済論	4	
国際金融論	4	
国際ビジネス論	2	
中国経済論	4	
ヨーロッパ経済論	4	
アメリカ経済論	4	
開発経済学	4	
地域経済論	4	
国際協力論	4	
農業・資源経済学	4	
アジア経済論	4	
海外フィールド実習	4	
アジア経済史	4	
日本経済史	4	
経済地理学	4	

ヨーロッパ経済史	4	
アメリカ経済史	4	
経済思想史	2	
ゲーム理論	4	
経済成長と循環	2	
不確実性と情報の経済学	2	
行動経済学	2	
産業組織論	4	
ファイナンス理論	4	
企業金融論	4	
労働経済学	4	
ホスピタリティ・ビジネス論	2	
地域産業論	4	
観光経済論	2	
サービス経済論	4	
中小企業論	2	
地域産業活性化プロジェクトⅠ	4	
地域産業活性化プロジェクトⅡ	2	
環境経済学	4	
総合政策論	4	
公共経済学	4	
社会政策	4	
租税論	4	
都市経済学	2	
NPO論	2	
医療経済学	2	
生活福祉論	4	
地方財政論	4	
経済統計学	4	
計量経済学	4	
応用計量経済学	4	

データサイエンス入門	4	
データサイエンス	2	
データ分析と問題解決	2	
情報システム論	4	
演習Ⅰ	4	
演習Ⅱ	4	
卒業研究	4	
経済英語Ⅰ	2	
経済英語Ⅱ	2	
経済英語Ⅲ	2	
留学英語Ⅰ	4	
留学英語Ⅱ	2	
留学英語Ⅲ	4	
留学英語Ⅳ	2	
Business　Communication Ⅰ	2	
Business　Communication Ⅱ	2	
経済学の技法Ⅰ	2	
経済学の技法Ⅱ	2	
情報と経済	2	
社会調査の技法	2	
フィールドワークの技法	2	
簿記論Ⅰ	2	
簿記論Ⅱ	2	
経営学総論	4	
財務会計入門	2	
財務会計論	2	
商学総論	4	
中級商業簿記	2	
上級商業簿記	2	
工業簿記	2	
原価計算論	2	

政治学原理	4
民法	2
経済法	2
行政法	4
憲法	4
労働法	2
商法	2
キャリア形成論Ⅰ	2
キャリア形成論Ⅱ	2
ファイナンシャル・プランニング入門Ⅰ	2
ファイナンシャル・プランニング入門Ⅱ	2
現代特別講義A	2
現代特別講義B	2
現代特別講義C	2
現代特別講義D	2
現代特別講義E	2
現代特別講義F	2
現代特別講義G	2
現代特別講義H	2
現代特別講義I	2
現代特別講義J	4
国際特別講義A	4
国際特別講義B	2
選択特別講義A	2
選択特別講義B	2
選択特別講義C	2
選択特別講義D	2
選択特別講義E	2
選択特別講義F	2
放送大学科目	8
特別講座	24

以上に掲げる授業科目のほか，教授会が教育上必要であると認めるときは別になお，他の授業科目を設けることができる。

経営学部開設科目（第30条関係）

(1) 教養教育科目

授業科目	単位数
仏教の思想A	2
仏教の思想B	2
歎異抄の思想Ⅰ	2
歎異抄の思想Ⅱ	2
英語総合1(A)	1
英語総合1(B)	1
英語総合2(A)	1
英語総合2(B)	1
英語総合3(A)	1
英語総合3(B)	1
英語総合4(A)	1
英語総合4(B)	1
英語セミナーA1	2
英語セミナーA2	2
英語セミナーB1	2
英語セミナーB2	2
英語セミナーC1	2
英語セミナーC2	2
英語セミナーD1	2
英語セミナーD2	2
英語セミナーE1	2
英語セミナーE2	2
英語セミナーF1	2
英語セミナーF2	2
英語セミナーG1	2
英語セミナーG2	2

英語セミナーH1	2
英語セミナーH2	2
英語セミナーI1	2
英語セミナーI2	2
英語セミナーJ1	2
英語セミナーJ2	2
英語資格試験セミナー	2
海外英語研修	2
ドイツ語Ⅰ	2
ドイツ語Ⅱ	2
ドイツ語ⅢA	1
ドイツ語ⅢB	1
ドイツ語ⅢC	1
ドイツ語ⅢD	1
フランス語Ⅰ	2
フランス語Ⅱ	2
フランス語ⅢA	1
フランス語ⅢB	1
フランス語ⅢC	1
フランス語ⅢD	1
中国語Ⅰ	2
中国語Ⅱ	2
中国語ⅢA	1
中国語ⅢB	1
中国語ⅢC	1
中国語ⅢD	1
スペイン語Ⅰ	2
スペイン語Ⅱ	2
スペイン語ⅢA	1
スペイン語ⅢB	1
スペイン語ⅢC	1

スペイン語ⅢD	1
コリア語Ⅰ	2
コリア語Ⅱ	2
コリア語ⅢA	1
コリア語ⅢB	1
コリア語ⅢC	1
コリア語ⅢD	1
ドイツ語セミナーⅠA	2
ドイツ語セミナーⅠB	2
ドイツ語セミナーⅠC	2
ドイツ語セミナーⅠD	2
ドイツ語セミナーⅡA	2
ドイツ語セミナーⅡB	2
ドイツ語セミナーⅡC	2
ドイツ語セミナーⅡD	2
ドイツ語コミュニケーションⅠ	2
ドイツ語コミュニケーションⅡ	2
フランス語セミナーⅠA	2
フランス語セミナーⅠB	2
フランス語セミナーⅠC	2
フランス語セミナーⅠD	2
フランス語セミナーⅡA	2
フランス語セミナーⅡB	2
フランス語セミナーⅡC	2
フランス語セミナーⅡD	2
フランス語コミュニケーションⅠ	2
フランス語コミュニケーションⅡ	2
中国語セミナーⅠA	2
中国語セミナーⅠB	2
中国語セミナーⅠC	2
中国語セミナーⅠD	2

中国語セミナーⅡA	2
中国語セミナーⅡB	2
中国語セミナーⅡC	2
中国語セミナーⅡD	2
中国語コミュニケーションⅠ	2
中国語コミュニケーションⅡ	2
スペイン語セミナーⅠA	2
スペイン語セミナーⅠB	2
スペイン語セミナーⅠC	2
スペイン語セミナーⅠD	2
スペイン語セミナーⅡA	2
スペイン語セミナーⅡB	2
スペイン語セミナーⅡC	2
スペイン語セミナーⅡD	2
スペイン語コミュニケーションⅠ	2
スペイン語コミュニケーションⅡ	2
コリア語セミナーⅠA	2
コリア語セミナーⅠB	2
コリア語セミナーⅠC	2
コリア語セミナーⅠD	2
コリア語セミナーⅡA	2
コリア語セミナーⅡB	2
コリア語セミナーⅡC	2
コリア語セミナーⅡD	2
コリア語コミュニケーションⅠ	2
コリア語コミュニケーションⅡ	2
海外中国語研修講座	2
ポルトガル語Ⅰ	2
ポルトガル語Ⅱ	2
ポルトガル語ⅢA	2
ポルトガル語ⅢB	2

ロシア語Ⅰ	2	
ロシア語Ⅱ	2	
ロシア語ⅢA	2	
ロシア語ⅢB	2	
ラテン語Ⅰ	1	
ラテン語Ⅱ	1	
ギリシア語Ⅰ	1	
ギリシア語Ⅱ	1	
ペルシア語ⅠA	2	
ペルシア語ⅠB	2	
ペルシア語ⅡA	2	
ペルシア語ⅡB	2	
トルコ語Ⅰ	2	
トルコ語Ⅱ	2	
アラビア語Ⅰ	2	
アラビア語Ⅱ	2	
哲学入門	2	
哲学A	2	
哲学B	2	
倫理学入門	2	
倫理学A	2	
倫理学B	2	
クリティカル・シンキング	2	
論理学	2	
宗教学入門	4	
宗教の世界A	2	
宗教の世界B	2	
中国の思想A	2	
中国の思想B	2	
芸術の世界A	2	
芸術の世界B	2	

日本の文学A	4
日本の文学B	4
日本の文学C	2
アジアの文学A	2
アジアの文学B	2
西洋の文学A	2
西洋の文学B	2
文章表現法A	2
文章表現法B	2
言語と文化	2
歴史学入門	2
日本の歴史A	4
日本の歴史B	4
日本の文化	4
アジアの歴史A	4
アジアの歴史B	4
アジアの文化	2
西洋の歴史A	4
西洋の歴史B	2
西洋の歴史C	2
現代世界の歴史A	2
現代世界の歴史B	2
心理学	4
心の科学A	2
心の科学B	2
応用心理学A	2
応用心理学B	2
教育学のすすめA	2
教育学のすすめB	2
現代社会と教育A	2
現代社会と教育B	2

教育原論A	2	
教育原論B	2	
学習・発達論A	2	
学習・発達論B	2	
人文科学セミナー	4	
大学論	2	
日本国憲法	2	
法学のすすめ	2	
政治学のすすめ	2	
社会学のすすめ	2	
地理学のすすめ	2	
経済学のすすめ	2	
国際学のすすめ	2	
文化人類学のすすめ	2	
社会調査のすすめ	2	
社会統計学のすすめ	2	
人権論A	2	
人権論B	2	
現代社会とメディア	2	
現代社会と福祉	2	
現代社会と法	2	
環境と社会	2	
平和学A	2	
ジェンダー論	2	
国際社会論	2	
現代社会の諸問題	2	
地域論	2	
現代社会と労働	2	
社会思想史	2	
英語で学ぶ日本の社会A	2	
英語で学ぶ日本の社会B	2	

データサイエンス・ＡＩ入門	2	
数学入門	2	
数学への旅	2	
確率・統計入門	2	
微分と積分	4	
行列と行列式	4	
数理統計学	4	
数理と計算	2	
数学の世界	4	
数理と論証	2	
宇宙の科学Ⅰ	4	
宇宙の科学Ⅱ	2	
地球科学のすすめ	2	
地球科学	2	
物理科学の世界	4	
時間と空間の科学	2	
エネルギー入門	2	
自然科学史Ⅰ	2	
自然科学史Ⅱ	2	
科学論	2	
技術論	2	
平和学B	2	
里山学	2	
生物科学のすすめ	4	
生命科学のすすめ	2	
生命科学	2	
生態学のすすめ	4	
人類学のすすめ	4	
日本の自然	4	
生命誌	2	
植物の自然誌	2	

動物の自然誌	2
民族の自然誌	2
人類進化学	2
人間の生物学Ⅰ	2
人間の生物学Ⅱ	2
自然誌実習	4
野外観察法	2
環境学	4
情報科学入門	2
情報科学Ⅰ	2
情報科学Ⅱ	2
情報科学実習	4
健康とスポーツ	2
現代社会とスポーツ	2
スポーツ技術学演習	2
人間とスポーツ	2
スポーツと人権・平和	2
スポーツ文化史	2
スポーツ科学最前線	2
教養教育科目特別講義	4
特別講座	12
バークレー語学	12
バークレー講義	6

(2) 専攻科目

授業科目	単位数
情報リテラシー	1
現代のビジネス	2
簿記入門	2
経営と情報	2
現代の企業会計	2
現代企業の成り立ち	2

現代社会と企業	2
経営とコンピュータ利用	2
マーケティングの基礎	2
企業の国際化	2
企業経営の管理	2
日本と世界の経済	2
初級商業簿記	2
経営管理論	2
経営戦略論	2
国際経営論	2
オペレーションズ・マネジメント	2
マーケティング論	2
マーケティング・リサーチ	2
人的資源管理論	2
組織行動論	2
経営組織論	2
商品学	2
商品開発論	2
経営学原理	2
中小企業経営論	2
ロジスティクス	2
国際経営戦略論	2
経営立地論	2
アジア企業経営論	2
経営意思決定論	2
企業経営を視る	2
財務会計入門	2
財務会計論	2
中級商業簿記	2
上級商業簿記	2
工業簿記	2

原価計算論	2	
管理会計論	2	
会計監査論	2	
国際会計論	2	
キャッシュフロー会計論	2	
会計情報解読論	2	
財務管理論	2	
連結会計論	2	
所得税法	2	
法人税法	2	
証券市場論	2	
現代金融論	2	
現代銀行論	2	
株式会社論	2	
企業統治論	2	
企業倫理論	2	
産業技術論	2	
マクロ経済学	2	
経済原論	2	
経営史	2	
流通システム論	2	
日本経営史	2	
日本経済論	2	
多国籍企業論	2	
国際比較経営史	2	
国際比較社会論	2	
国際比較経営論	2	
国際流通論	2	
中国ビジネス論	2	
現代中国のビジネス	4	
起業論A	2	

起業論B	2
経営革新論	2
公共経営論	2
京都企業論	2
環境経営論	2
ものづくりの現場	2
地域と企業	4
民法	2
商法	2
会社法	2
労働法	2
経済法	2
経営データの分析A	2
経営データの分析B	2
経営情報システム論	2
経営数学	2
プログラミングおよび実習A1	2
プログラミングおよび実習A2	2
プログラミングおよび実習B1	2
プログラミングおよび実習B2	2
経営情報活用論	2
情報産業論	2
意思決定の科学	2
地域企業論	2
経営学基礎論	2
ビジネスコミュニケーションA（英）	2
ビジネスコミュニケーションB（英）	2
ビジネスコミュニケーションA（中国）	2
ビジネスコミュニケーションB（中国）	2
経営基礎総合	2
上級外国語A（ドイツ）	2

上級外国語B（ドイツ）	2
上級外国語C（ドイツ）	2
上級外国語D（ドイツ）	2
上級外国語A（フランス）	2
上級外国語B（フランス）	2
上級外国語C（フランス）	2
上級外国語D（フランス）	2
上級外国語A（中国）	2
上級外国語B（中国）	2
上級外国語C（中国）	2
上級外国語D（中国）	2
上級外国語A（スペイン）	2
上級外国語B（スペイン）	2
上級外国語C（スペイン）	2
上級外国語D（スペイン）	2
上級外国語A（コリア）	2
上級外国語B（コリア）	2
上級外国語C（コリア）	2
上級外国語D（コリア）	2
スポーツと経済	2
スポーツマネジメント論	2
スポーツ政策論	2
スポーツマーケティング論	2
特講・我が社の経営と京都	2
特講・映画・映像概論	2
特講・食農のビジネスフロンティア	4
実践・メディアと表現技法	2
実践・情報とセキュリティ	2
実践・マイ・キャリアデザイン	2
実践・グローバル時代の「多様性と調和」のマネジメント	2
実践・現場から学ぶ放送メディア論A	2

実践・現場から学ぶ放送メディア論B	4
実践・消費者問題を考える	2
事例を通じて学ぶリスク・マネジメント	2
Global Understanding and Communication	4
京都市の産業と産業政策	2
フレッシャーズゼミ	2
基礎演習	4
演習	12
応用演習	2
留学生入門演習A	2
留学生入門演習B	2
留学生入門演習C	2
特別講座	12
アジア政治論	4
中国政治論	2
アジア経済論	4
中国経済論	4
国際金融論	4
ファイナンス理論	4
統計学	4

以上に掲げる授業科目のほか，教授会が教育上必要であると認めるときは別になお，他の授業科目を設けることができる。

法学部開設科目（第30条関係）

(1) 教養教育科目

授業科目	単位数
仏教の思想A	2
仏教の思想B	2
歎異抄の思想Ⅰ	2
歎異抄の思想Ⅱ	2
英語総合1(A)	1
英語総合1(B)	1

英語総合2(A)	1
英語総合2(B)	1
英語総合3(A)	1
英語総合3(B)	1
英語総合4(A)	1
英語総合4(B)	1
英語セミナーA1	2
英語セミナーA2	2
英語セミナーB1	2
英語セミナーB2	2
英語セミナーC1	2
英語セミナーC2	2
英語セミナーD1	2
英語セミナーD2	2
英語セミナーE1	2
英語セミナーE2	2
英語セミナーF1	2
英語セミナーF2	2
英語セミナーG1	2
英語セミナーG2	2
英語セミナーH1	2
英語セミナーH2	2
英語セミナーI1	2
英語セミナーI2	2
英語セミナーJ1	2
英語セミナーJ2	2
英語資格試験セミナー	2
海外英語研修	2
ドイツ語Ⅰ	2
ドイツ語Ⅱ	2
ドイツ語ⅢA	1

ドイツ語ⅢB	1
ドイツ語ⅢC	1
ドイツ語ⅢD	1
フランス語Ⅰ	2
フランス語Ⅱ	2
フランス語ⅢA	1
フランス語ⅢB	1
フランス語ⅢC	1
フランス語ⅢD	1
中国語Ⅰ	2
中国語Ⅱ	2
中国語ⅢA	1
中国語ⅢB	1
中国語ⅢC	1
中国語ⅢD	1
スペイン語Ⅰ	2
スペイン語Ⅱ	2
スペイン語ⅢA	1
スペイン語ⅢB	1
スペイン語ⅢC	1
スペイン語ⅢD	1
コリア語Ⅰ	2
コリア語Ⅱ	2
コリア語ⅢA	1
コリア語ⅢB	1
コリア語ⅢC	1
コリア語ⅢD	1
ドイツ語セミナーⅠA	2
ドイツ語セミナーⅠB	2
ドイツ語セミナーⅠC	2
ドイツ語セミナーⅠD	2

ドイツ語セミナーⅡA	2
ドイツ語セミナーⅡB	2
ドイツ語セミナーⅡC	2
ドイツ語セミナーⅡD	2
ドイツ語コミュニケーションⅠ	2
ドイツ語コミュニケーションⅡ	2
フランス語セミナーⅠA	2
フランス語セミナーⅠB	2
フランス語セミナーⅠC	2
フランス語セミナーⅠD	2
フランス語セミナーⅡA	2
フランス語セミナーⅡB	2
フランス語セミナーⅡC	2
フランス語セミナーⅡD	2
フランス語コミュニケーションⅠ	2
フランス語コミュニケーションⅡ	2
中国語セミナーⅠA	2
中国語セミナーⅠB	2
中国語セミナーⅠC	2
中国語セミナーⅠD	2
中国語セミナーⅡA	2
中国語セミナーⅡB	2
中国語セミナーⅡC	2
中国語セミナーⅡD	2
中国語コミュニケーションⅠ	2
中国語コミュニケーションⅡ	2
スペイン語セミナーⅠA	2
スペイン語セミナーⅠB	2
スペイン語セミナーⅠC	2
スペイン語セミナーⅠD	2
スペイン語セミナーⅡA	2

スペイン語セミナーⅡB	2
スペイン語セミナーⅡC	2
スペイン語セミナーⅡD	2
スペイン語コミュニケーションⅠ	2
スペイン語コミュニケーションⅡ	2
コリア語セミナーⅠA	2
コリア語セミナーⅠB	2
コリア語セミナーⅠC	2
コリア語セミナーⅠD	2
コリア語セミナーⅡA	2
コリア語セミナーⅡB	2
コリア語セミナーⅡC	2
コリア語セミナーⅡD	2
コリア語コミュニケーションⅠ	2
コリア語コミュニケーションⅡ	2
海外中国語研修講座	2
ポルトガル語Ⅰ	2
ポルトガル語Ⅱ	2
ポルトガル語ⅢA	2
ポルトガル語ⅢB	2
ロシア語Ⅰ	2
ロシア語Ⅱ	2
ロシア語ⅢA	2
ロシア語ⅢB	2
ラテン語Ⅰ	1
ラテン語Ⅱ	1
ギリシア語Ⅰ	1
ギリシア語Ⅱ	1
ペルシア語ⅠA	2
ペルシア語ⅠB	2
ペルシア語ⅡA	2

ペルシア語ⅡB	2
トルコ語Ⅰ	2
トルコ語Ⅱ	2
アラビア語Ⅰ	2
アラビア語Ⅱ	2
哲学入門	2
哲学A	2
哲学B	2
倫理学入門	2
倫理学A	2
倫理学B	2
クリティカル・シンキング	2
論理学	2
宗教学入門	4
宗教の世界A	2
宗教の世界B	2
中国の思想A	2
中国の思想B	2
芸術の世界A	2
芸術の世界B	2
日本の文学A	4
日本の文学B	4
日本の文学C	2
アジアの文学A	2
アジアの文学B	2
西洋の文学A	2
西洋の文学B	2
文章表現法A	2
文章表現法B	2
言語と文化	2
歴史学入門	2

日本の歴史A	4
日本の歴史B	4
日本の文化	4
アジアの歴史A	4
アジアの歴史B	4
アジアの文化	2
西洋の歴史A	4
西洋の歴史B	2
西洋の歴史C	2
現代世界の歴史A	2
現代世界の歴史B	2
心理学	4
心の科学A	2
心の科学B	2
応用心理学A	2
応用心理学B	2
教育学のすすめA	2
教育学のすすめB	2
現代社会と教育A	2
現代社会と教育B	2
教育原論A	2
教育原論B	2
学習・発達論A	2
学習・発達論B	2
人文科学セミナー	4
大学論	2
社会学のすすめ	2
地理学のすすめ	2
経済学のすすめ	2
経営学のすすめ	2
国際学のすすめ	2

文化人類学のすすめ	2
社会調査のすすめ	2
社会統計学のすすめ	2
人権論A	2
人権論B	2
現代社会と福祉	2
環境と社会	2
平和学A	2
ジェンダー論	2
国際社会論	2
現代社会の諸問題	2
地域論	2
企業と会計	2
現代社会と労働	2
社会思想史	2
英語で学ぶ日本の社会A	2
英語で学ぶ日本の社会B	2
データサイエンス・ＡＩ入門	2
数学入門	2
数学への旅	2
確率・統計入門	2
微分と積分	4
行列と行列式	4
数理統計学	4
数理と計算	2
数学の世界	4
数理と論証	2
宇宙の科学Ⅰ	4
宇宙の科学Ⅱ	2
地球科学のすすめ	2
地球科学	2

物理科学の世界	4
時間と空間の科学	2
エネルギー入門	2
自然科学史Ⅰ	2
自然科学史Ⅱ	2
科学論	2
技術論	2
平和学B	2
里山学	2
生物科学のすすめ	4
生命科学のすすめ	2
生命科学	2
生態学のすすめ	4
人類学のすすめ	4
日本の自然	4
生命誌	2
植物の自然誌	2
動物の自然誌	2
民族の自然誌	2
人類進化学	2
人間の生物学Ⅰ	2
人間の生物学Ⅱ	2
自然誌実習	4
野外観察法	2
環境学	4
情報科学入門	2
情報科学Ⅰ	2
情報科学Ⅱ	2
情報科学実習	4
健康とスポーツ	2
現代社会とスポーツ	2

スポーツ技術学演習	2
人間とスポーツ	2
スポーツと人権・平和	2
スポーツ文化史	2
スポーツ科学最前線	2
教養教育科目特別講義	4
特別講座	4
バークレー語学	12
バークレー講義	6

(2) 専攻科目

授業科目	単位数
裁判と人権	2
法と裁判	2
法哲学Ⅰ	2
法哲学Ⅱ	2
法社会学A	2
法社会学B	2
日本法制史A	2
日本法制史B	2
西洋法制史A	2
西洋法制史B	2
外国法Ⅰ	2
外国法Ⅱ	2
現代中国の法と社会	2
生命倫理と法	2
憲法Ⅰ	4
憲法Ⅱ	4
憲法Ⅲ	2
行政法Ⅰ	4
行政法Ⅱ	2
行政法Ⅲ	2

税法	2	
労働と法	2	
労働法Ⅰ	4	
労働法Ⅱ	2	
社会保障法	4	
環境と法	2	
宗教法	2	
刑事法入門	2	
刑法Ⅰ―A	2	
刑法Ⅰ―B	2	
刑法Ⅱ―A	2	
刑法Ⅱ―B	2	
刑事政策	2	
刑事訴訟法Ⅰ	4	
刑事訴訟法Ⅱ	2	
少年法	2	
国際環境法	2	
国際法Ⅰ	4	
国際法Ⅱ	2	
国際法Ⅲ	2	
民法Ⅰ―A	2	
民法Ⅰ―B	2	
民法Ⅰ―C	2	
民法Ⅱ	4	
民法Ⅲ	4	
民法Ⅳ	2	
民法Ⅴ―A	2	
民法Ⅴ―B	2	
消費者法	2	
民事法発展ゼミⅠ	2	
民事法発展ゼミⅡ	2	

民事法発展ゼミⅢ	2	
民事法発展ゼミⅣ	2	
民事訴訟法Ⅰ	4	
民事訴訟法Ⅱ	2	
民事訴訟法Ⅲ	2	
知的財産法	2	
不動産登記法	2	
商法Ⅰ	4	
商法Ⅱ	2	
商法Ⅲ	2	
商法Ⅳ	2	
経済法	2	
国際取引法	2	
国際私法	4	
企業法務の実際	2	
法律実務論A	2	
法律実務論B	4	
キャリアデザイン	2	
司法実務特別講義	2	
ワークショップ司法実務	2	
法律事務実務Ⅰ	2	
法律事務実務Ⅱ	2	
法律事務実務Ⅲ	2	
法律事務実務Ⅳ	2	
特別講義A	4	
特別講義B	4	
特別講義C	4	
特別講義D	4	
特別講義E	2	
特別講義F	2	
特別講義G	2	

特別講義H	2
特別講義I	2
特別講義J	2
特別講義K	2
特別講義L	2
特別講義M	2
特別講義N	2
特別講義O	2
特別講義P	2
特別講義Q	2
特別講義R	2
現代社会と政治	2
現代世界の政治	2
現代世界の地域紛争	2
政治学原論	4
政治思想史A	2
政治思想史B	2
日本政治史	4
西洋政治史	4
マスコミ論Ⅰ	2
マスコミ論Ⅱ	2
行政学	2
現代公務員論	2
非営利非政府組織論	2
地方自治論	2
政策過程論	2
都市政策論	2
外交史	2
中国政治論	2
アメリカ政治論	2
ヨーロッパ政治論	2

中東政治論	2	
国際政治論	4	
アフリカ政治論A	2	
アフリカ政治論B	2	
開発援助論	2	
アジア政治論	4	
政治学特講A	2	
政治学特講B	2	
政治学特講C	2	
政治学特講D	2	
政治学特講E	2	
政治学特講F	4	
政治学特講G	2	
環境政策論Ⅰ	2	
環境政策論Ⅱ	2	
スポーツ法学	2	
スポーツ政策論	2	
地域スポーツ論	2	
国際関係論Ⅰ	2	
国際関係論Ⅱ	2	
現代国際関係史	2	
国際ジャーナリズム論	2	
ヨーロッパ研究A	2	
ヨーロッパ研究B	2	
ヨーロッパ研究C	2	
ヨーロッパ研究D	2	
東アジア研究A	2	
東アジア研究B	2	
東南アジア研究A	2	
東南アジア研究B	2	
北米研究A	2	

北米研究B	2
中南米研究A	2
中南米研究B	2
政策学研究発展ゼミⅠ	4
政策学研究発展ゼミⅡ	4
政策学研究発展ゼミⅢ	4
政策学研究発展ゼミⅣ	4
政策学研究発展ゼミⅤ	4
国際研究発展ゼミⅠ	2
国際研究発展ゼミⅡ	2
国際研究発展ゼミⅢ	2
国際研究発展ゼミⅣ	2
国際研究発展ゼミⅤ	2
法律文献購読A	2
法律文献購読B	2
政治文献購読A	2
政治文献購読B	2
時事英語入門	2
時事英語発展	2
法政応用英語入門A	2
法政応用英語入門B	2
法政応用英語発展A	2
法政応用英語発展B	2
コミュニケーション英語A	2
コミュニケーション英語B	2
コミュニケーション英語C	2
コミュニケーション英語D	2
発展コミュニケーション英語	2
バークレーボランティア	6
基礎演習	2
法政入門演習	2

法政ブリッジセミナー	2	
法政アクティブリサーチ	4	
アドヴァンスト司法セミナーA	2	
アドヴァンスト司法セミナーB	2	
アドヴァンスト司法セミナーC	2	
演習Ⅰ	4	
演習Ⅱ	6	
経済原論	4	
財政学	4	
社会政策	4	
経済政策	4	
地域経済論	4	
経済史	4	
公共経済学	4	
日本経済論	4	
地方財政論	4	
金融論	4	
アジア経済論	4	
国際経済学	4	
国際協力論	4	
日本経済史	4	
ヨーロッパ経済史	4	
政策立案論	4	
国際NGO論	4	
経営学総論	4	
財務会計入門	2	
財務会計論	2	
経営学原理	2	
経営組織論	2	
証券市場論	2	
多国籍企業論	2	

国際経営論	2
国際比較経営史	2
簿記論Ⅰ	2
簿記論Ⅱ	2
現代金融論	2
日本経営史	2
矯正概論	4
更生保護概論	4
成人矯正処遇	2
保護観察処遇	2
矯正教育学	4
矯正社会学	4
犯罪心理学	4
矯正医学	2
犯罪学	2
被害者学	4
青少年問題	2
日本史概説	4
外国史概説	4
倫理学概論	4
心理学概論	4
放送大学科目	8
特別講座	12

以上に掲げる授業科目のほか，教授会が教育上必要であると認めるときは別になお，他の授業科目を設けることができる。

社会学部開設科目（第30条関係）

(1) 教養教育科目

授業科目	単位数
仏教の思想A	2
仏教の思想B	2
歎異抄の思想Ⅰ	2

歎異抄の思想Ⅱ	2
英語総合1(A)	1
英語総合1(B)	1
英語総合2(A)	1
英語総合2(B)	1
英語総合3	1
英語総合4	1
英語セミナーA1	2
英語セミナーA2	2
英語セミナーB1	2
英語セミナーB2	2
英語セミナーC1	2
英語セミナーC2	2
英語セミナーD1	2
英語セミナーD2	2
英語セミナーE1	2
英語セミナーE2	2
英語セミナーF1	2
英語セミナーF2	2
英語セミナーG1	2
英語セミナーG2	2
海外英語研修	2
ドイツ語ＩA	1
ドイツ語ＩB	1
ドイツ語ⅡA	1
ドイツ語ⅡB	1
フランス語ＩA	1
フランス語ＩB	1
フランス語ⅡA	1
フランス語ⅡB	1
中国語ＩA	1

中国語ＩＢ	1
中国語ⅡＡ	1
中国語ⅡＢ	1
コリア語ＩＡ	1
コリア語ＩＢ	1
コリア語ⅡＡ	1
コリア語ⅡＢ	1
ドイツ語セミナーＩＡ	2
ドイツ語セミナーＩＢ	2
フランス語セミナーＩＡ	2
フランス語セミナーＩＢ	2
中国語セミナーＩＡ	2
中国語セミナーＩＢ	2
コリア語セミナーＩＡ	2
コリア語セミナーＩＢ	2
哲学入門	2
倫理学入門	2
倫理学A	2
倫理学B	2
クリティカル・シンキング	2
宗教学のすすめ	2
宗教の世界	2
日本の文学M	2
日本の文学N	2
アジアの文学A	2
アジアの文学B	2
西洋の文学A	2
西洋の文学B	2
言語学入門	2
歴史入門	2
日本の歴史M	2

日本の歴史N	2
日本の文化	2
アジアの歴史M	2
アジアの歴史N	2
アジアの文化	2
西洋の歴史M	2
西洋の歴史N	2
心理学入門	2
心理学A	2
心理学B	2
教育原論A	2
教育原論B	2
学習・発達論A	2
学習・発達論B	2
日本国憲法	2
法学のすすめ	2
政治学のすすめ	2
社会学のすすめ	2
地理学のすすめ	2
経済学のすすめ	2
経営学のすすめ	2
国際学のすすめ	2
文化人類学のすすめ	2
社会調査のすすめ	2
社会統計学のすすめ	2
人権論A	2
人権論B	2
現代社会とメディア	2
現代社会と福祉	2
現代社会と法	2
現代社会と労働	2

現代社会の諸問題	2
環境と社会	2
平和学A	2
ジェンダー論	2
国際社会論	2
地域論	2
企業と会計	2
社会思想史	2
情報倫理	2
情報社会とメディア	2
データサイエンス・ＡＩ入門	2
生活の中の数学	2
生活の中の統計技術	2
生活の中の化学	2
生活の中の物理	2
生活の中の生物学	2
生活の中の地学	2
現代の技術	2
生命と科学	2
自然観察法	2
里山学	2
植物の自然誌	2
環境の科学	2
人類の科学	2
情報と人間	2
現代社会と栄養	2
健康とスポーツ	2
現代社会とスポーツ	2
スポーツ技術学A	1
スポーツ技術学B	1
スポーツ文化論	2

教養教育科目特別講義	8
バークレー語学	12
バークレー講義	6
バークレーボランティア	6

(2) 専攻科目

① 社会学科

授業科目	単位数
社会学入門演習	2
社会学への招待	2
社会調査入門	2
社会学の成立	2
社会学概論	4
ライティング実習ⅠA	1
ライティング実習ⅠB	1
社会学基礎ゼミナール	2
ライティング実習ⅡA	1
ライティング実習ⅡB	1
社会学演習ⅠA	2
社会学演習ⅠB	2
社会学演習ⅡA	2
社会学演習ⅡB	2
卒業論文	4
近代社会史A	2
近代社会史B	2
近代社会史C	2
社会学の展開	2
社会学テーマ演習	2
外書講読A	2
外書講読B	2
社会人類学	2
比較社会論	2

宗教社会学	2
現代宗教論	2
宗教学概論	4
仏教学概論	4
真宗学概論	4
文化社会学	2
カルチュラルスタディーズ	2
社会問題の社会学	2
医療社会学	2
社会意識論	2
集団と組織の社会学	2
社会運動論	2
地域社会論	2
地域再生の社会学	2
自然地理学	4
人文地理学	4
地誌	4
環境社会学	2
エスニシティ論	2
逸脱の社会学	2
コミュニケーション論	2
心理学概論	4
家族社会学	2
教育社会学	2
子ども社会学	2
差別論	2
情報社会論	2
都市社会学	2
法社会学	2
法学概論	4
言語と社会	2

環境思想	2	
哲学概論	4	
観光社会学	2	
消費社会論	2	
スポーツ社会学	2	
マスメディア論	2	
びわ湖・滋賀学	2	
民俗学	2	
日本史概説	4	
歴史社会学	2	
グローバリゼーション論	2	
外国史概説	4	
労働社会学	2	
経済原論	4	
NPO・NGO論	2	
ジェンダーの社会学	2	
アイデンティティ論	2	
考現学	2	
市民社会論	2	
政治学概論	4	
社会学特殊講義	2	
社会統計学Ⅰ	2	
社会統計学Ⅱ	2	
質的調査法	2	
量的調査法	2	
社会調査実習	4	
社会調査情報処理実習A	1	
社会調査情報処理実習B	1	
生涯学習概論	4	
生涯学習支援論	4	
社会教育経営論	4	

社会教育実習	2	
社会教育演習	2	
社会教育課題研究	2	
矯正・保護入門	2	
矯正概論A	2	
矯正概論B	2	
矯正教育学A	2	
矯正教育学B	2	
矯正社会学A	2	
矯正社会学B	2	
犯罪心理学A	2	
犯罪心理学B	2	
成人矯正処遇	2	
更生保護概論A	2	
更生保護概論B	2	
保護観察処遇	2	
青少年問題	2	
現場主義入門	2	
協定型インターンシップ	2	
社会共生実習ＩA	2	
社会共生実習ＩB	2	
社会共生実習ⅡA	2	
社会共生実習ⅡB	2	
社会共生実習ⅢA	2	
社会共生実習ⅢB	2	
ジャーナリズム史	2	
心と身体と宗教	2	
コモンセンス論	2	
キャリアデザイン論	2	
多様性の倫理学	2	
性と人権	2	

デジタルメディア論Ⅰ	2	
デジタルメディア論Ⅱ	2	
プロジェクトマネジメント	2	
コミュニティ論	2	
リスクマネジメント	2	
まちづくり論	2	
地域発展学	2	
キャリアプランニング論	2	
地域と語り	2	
地域保健学	2	
比較宗教論	2	
ファシリテーション技法	2	
運動心理学	2	
寺院活動論	2	
レクリエーション運営	2	
レクリエーション実技A	1	
健康とライフスタイル	2	
仏教福祉活動論	2	
スポーツマネジメント論	2	
メディア特論A	2	
報道論Ⅰ	2	
報道論Ⅱ	2	
ジャーナリズム論Ⅰ	2	
現代ニュース論Ⅰ	2	
現代ニュース論Ⅱ	2	
地域社会とメディア	2	
メディア特論B	2	
世界とメディア	2	
メディアと倫理	2	
メディアと技術	2	
高齢者福祉論Ⅰ	2	

児童福祉論Ⅱ	2
障害者福祉論Ⅱ	2
精神保健福祉制度論	2
生活問題論	2
人間の心理と発達	2
障害児支援論	2
家族福祉論	2
支援コミュニケーション論	2
ライフコースとセーフティネット	2
民法	2
社会政策論	2
地方自治論	2
多文化共生論	2
社会企業論	2
ボランティア論	2
国際福祉論	2
社会貢献論	2
コミュニティデザイン	2
国際福祉英会話	2
特別講座	8

② コミュニティマネジメント学科

授業科目	単位数
入門ゼミナール	2
入門実習	2
基礎ゼミナールⅠ	2
基礎ゼミナールⅡ	2
参画ゼミナールⅠ	2
参画ゼミナールⅡ	2
参画ゼミナールⅢ	2
参画ゼミナールⅣ	2
卒業研究	4

コミュニティマネジメント実習Ⅰ	4
コミュニティマネジメント実習Ⅱ	4
コミュニティマネジメント実習Ⅲ	4
情報処理実習ⅠA	1
情報処理実習ⅠB	1
情報処理実習ⅡA	1
情報処理実習ⅡB	1
コミュニティマネジメント入門	2
リーディングとライティングⅠ	2
シティズンシップ論	2
多様性の倫理学	2
地域と語り	2
健康とライフスタイル	2
クラブ活動演習A	2
ジャーナリズム史	2
現代ニュース論Ⅰ	2
宗門法規	2
コミュニティマネジメント特論1A	2
コミュニティマネジメント特論1B	2
コミュニティマネジメント特論2A	2
コミュニティマネジメント特論2B	2
コミュニティマネジメント特論3A	2
コミュニティマネジメント特論3B	2
コミュニティマネジメント特論4A	2
コミュニティマネジメント特論4B	2
真宗史	4
日本仏教史	4
（本山教師）仏教史	1
（本山教師）宗教概説	1
勤式	4
教化法	4

リーディングとライティングⅡ	2
キャリアデザイン論	2
プロジェクトマネジメント	2
コミュニティ論	2
コモンセンス論	2
クラブ活動演習B	2
地域スポーツ論	2
現代ニュース論Ⅱ	2
メディアと倫理	2
メディアと技術	2
バークレーボランティア	4
哲学概論	4
地域と社会動態	2
地域と経済	2
自然地理学	4
地誌	4
質的調査法	2
ファシリテーション技法	2
日本の宗教論	2
運動心理学	2
レクリエーション運営	2
地域保健学	2
心と身体と宗教	2
はなし技法	2
日本史概説	4
地域社会とメディア	2
メディア表現技法Ⅰ	2
ビデオ制作演習Ⅰ	2
報道論Ⅰ	2
メディア特論A	2
デジタルメディア論Ⅰ	2

ジャーナリズム論Ⅰ	2	
まちづくり論	2	
寺院活動論	2	
比較宗教論	2	
真宗学概論	4	
宗教学概論	4	
仏教学概論	4	
リスクマネジメント	2	
性と人権	2	
文献講読	2	
外国史概説	4	
経済原論	4	
政治学概論	4	
メンタルトレーニング	2	
アウトドアスポーツ演習A	2	
アウトドアスポーツ演習B	2	
レクリエーション実技A	1	
人文地理学	4	
心理学概論	4	
メディア表現技法Ⅱ	2	
ビデオ制作演習Ⅱ	2	
報道論Ⅱ	2	
メディア特論B	2	
量的調査法	2	
報道写真入門	2	
ジャーナリズム論Ⅱ	2	
法学概論	4	
仏教福祉活動論	2	
キャリアプランニング論	2	
レクリエーション実技B	1	
レクリエーション演習	2	

スポーツマネジメント論	2	
ニュースライティング演習	2	
地域発展学	2	
スポーツマネジメント演習	2	
デジタルメディア論Ⅱ	2	
世界とメディア	2	
生涯学習概論	4	
生涯学習支援論	4	
社会教育経営論	4	
社会教育実習	2	
社会教育演習	2	
社会教育課題研究	2	
矯正・保護入門	2	
矯正概論A	2	
矯正概論B	2	
矯正教育学A	2	
矯正教育学B	2	
矯正社会学A	2	
矯正社会学B	2	
犯罪心理学A	2	
犯罪心理学B	2	
成人矯正処遇	2	
更生保護概論A	2	
更生保護概論B	2	
保護観察処遇	2	
青少年問題	2	
現場主義入門	2	
協定型インターンシップ	2	
社会共生実習ＩA	2	
社会共生実習ＩB	2	
社会共生実習ⅡA	2	

社会共生実習ⅡB	2	
社会共生実習ⅢA	2	
社会共生実習ⅢB	2	
差別論	2	
社会問題の社会学	2	
集団と組織の社会学	2	
子ども社会学	2	
エスニシティ論	2	
宗教社会学	2	
コミュニケーション論	2	
家族社会学	2	
逸脱の社会学	2	
環境社会学	2	
地域社会論	2	
社会人類学	2	
都市社会学	2	
社会意識論	2	
現代宗教論	2	
地域再生の社会学	2	
比較社会論	2	
情報社会論	2	
医療社会学	2	
法社会学	2	
社会運動論	2	
スポーツ社会学	2	
びわ湖・滋賀学	2	
NPO・NGO論	2	
高齢者福祉論Ⅰ	2	
児童福祉論Ⅱ	2	
障害者福祉論Ⅱ	2	
精神保健福祉制度論	2	

生活問題論	2
人間の心理と発達	2
障害児支援論	2
家族福祉論	2
支援コミュニケーション論	2
ライフコースとセーフティネット	2
民法	2
社会政策論	2
地方自治論	2
多文化共生論	2
社会企業論	2
ボランティア論	2
国際福祉論	2
社会貢献論	2
コミュニティデザイン	2
国際福祉英会話	2
放送大学科目	12
特別講座	12

③　現代福祉学科

授業科目	単位数
基礎ゼミナールA	2
基礎ゼミナールB	2
真宗学概論	4
仏教学概論	4
仏教福祉論	2
社会福祉原論	4
社会イノベーション実践論	2
ソーシャルワークの理論と方法	4
ソーシャルワークの理論と方法（専門）	4
ソーシャルワークの基盤と専門職	2
ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）	2

高齢者福祉論Ⅰ	2	
高齢者福祉論Ⅱ	2	
児童福祉論Ⅰ	2	
児童福祉論Ⅱ	2	
障害者福祉論Ⅰ	2	
障害者福祉論Ⅱ	2	
地域福祉論	4	
貧困に対する支援	2	
社会学と社会システム	2	
医学概論	2	
経済原論	4	
法学概論	4	
政治学概論	4	
ソーシャルワーク演習Ⅰ	2	
ソーシャルワーク演習Ⅱ	4	
精神保健福祉制度論	2	
精神医学と精神医療	4	
精神保健福祉の原理	4	
社会福祉史	2	
日本史概説	4	
生活問題論	2	
人間の心理と発達	2	
心理学概論	4	
哲学概論	4	
社会福祉実践論	2	
手話コミュニケーション論	2	
現代福祉学演習ⅠA	2	
現代福祉学演習ⅠB	2	
現代福祉学演習ⅡA	2	
現代福祉学演習ⅡB	2	
卒業研究	4	

保健医療と福祉	2
社会福祉調査の基礎	2
福祉サービスの組織と運営	2
社会保障論	4
刑事司法と福祉	2
権利擁護を支える法制度	2
心理学と心理的支援	2
ソーシャルワーク演習Ⅲ	4
現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	2
現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	2
精神障害リハビリテーション論	2
精神保健福祉援助技術論	4
精神保健福祉援助演習Ⅰ	2
精神保健福祉援助演習Ⅱ	4
医療ソーシャルワーク	2
家族福祉論	2
臨床心理学理論と方法	2
社会政策論	2
居住福祉論	2
地方自治論	2
多文化共生論	2
宗教学概論	4
社会企業論	2
支援コミュニケーション論	2
ボランティア論	2
社会貢献論	2
国際福祉論	2
国際福祉英会話	2
外国史概説	4
自然地理学	4
人文地理学	4

地誌	4	
ライフコースとセーフティネット	2	
民法	2	
コミュニティデザイン	2	
障害者教育総論	2	
障害者発達論	2	
スクールソーシャルワーク	2	
障害児支援論	2	
ソーシャルワーク実習Ⅰ	6	
ソーシャルワーク実習Ⅱ	2	
ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	2	
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	2	
ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	2	
情報処理実習ⅠA	1	
情報処理実習ⅠB	1	
情報処理実習ⅡA	1	
情報処理実習ⅡB	1	
精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	4	
精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	2	
精神保健福祉援助実習	6	
社会福祉調査実習	2	
ケアワーク実習	2	
生涯学習概論	4	
生涯学習支援論	4	
社会教育経営論	4	
社会教育実習	2	
社会教育演習	2	
社会教育課題研究	2	
矯正・保護入門	2	
矯正概論A	2	
矯正概論B	2	

矯正教育学A	2	
矯正教育学B	2	
矯正社会学A	2	
矯正社会学B	2	
犯罪心理学A	2	
犯罪心理学B	2	
成人矯正処遇	2	
更生保護概論A	2	
更生保護概論B	2	
保護観察処遇	2	
青少年問題	2	
現場主義入門	2	
協定型インターンシップ	2	
社会共生実習ＩA	2	
社会共生実習ＩB	2	
社会共生実習ⅡA	2	
社会共生実習ⅡB	2	
社会共生実習ⅢA	2	
社会共生実習ⅢB	2	
差別論	2	
社会問題の社会学	2	
集団と組織の社会学	2	
子ども社会学	2	
エスニシティ論	2	
宗教社会学	2	
コミュニケーション論	2	
家族社会学	2	
逸脱の社会学	2	
環境社会学	2	
地域社会論	2	
社会人類学	2	

都市社会学	2	
社会意識論	2	
現代宗教論	2	
地域再生の社会学	2	
比較社会論	2	
情報社会論	2	
医療社会学	2	
法社会学	2	
社会運動論	2	
スポーツ社会学	2	
びわ湖・滋賀学	2	
NPO・NGO論	2	
ジャーナリズム史	2	
心と身体と宗教	2	
コモンセンス論	2	
キャリアデザイン論	2	
多様性の倫理学	2	
性と人権	2	
デジタルメディア論Ⅰ	2	
デジタルメディア論Ⅱ	2	
プロジェクトマネジメント	2	
コミュニティ論	2	
リスクマネジメント	2	
まちづくり論	2	
地域発展学	2	
キャリアプランニング論	2	
地域と語り	2	
地域保健学	2	
比較宗教論	2	
ファシリテーション技法	2	
運動心理学	2	

寺院活動論	2
レクリエーション運営	2
レクリエーション実技A	1
健康とライフスタイル	2
仏教福祉活動論	2
スポーツマネジメント論	2
メディア特論A	2
報道論Ⅰ	2
報道論Ⅱ	2
ジャーナリズム論Ⅰ	2
現代ニュース論Ⅰ	2
現代ニュース論Ⅱ	2
地域社会とメディア	2
メディア特論B	2
世界とメディア	2
メディアと倫理	2
メディアと技術	2
特別講座	12

以上に掲げる授業科目のほか，教授会が教育上必要であると認めるときは別になお，他の授業科目を設けることができる。

政策学部開設科目（第30条関係）

(1) 教養教育科目

授業科目	単位数
仏教の思想A	2
仏教の思想B	2
歎異抄の思想Ⅰ	2
歎異抄の思想Ⅱ	2
英語総合1(A)	1
英語総合1(B)	1
英語総合2(A)	1
英語総合2(B)	1

英語総合3(A)	1
英語総合3(B)	1
英語総合4(A)	1
英語総合4(B)	1
英語セミナーA1	2
英語セミナーA2	2
英語セミナーB1	2
英語セミナーB2	2
英語セミナーC1	2
英語セミナーC2	2
英語セミナーD1	2
英語セミナーD2	2
英語セミナーE1	2
英語セミナーE2	2
英語セミナーF1	2
英語セミナーF2	2
英語セミナーG1	2
英語セミナーG2	2
英語セミナーH1	2
英語セミナーH2	2
英語セミナーI1	2
英語セミナーI2	2
英語セミナーJ1	2
英語セミナーJ2	2
英語資格試験セミナー	2
海外英語研修	2
ドイツ語Ⅰ	2
ドイツ語Ⅱ	2
ドイツ語ⅢA	1
ドイツ語ⅢB	1
ドイツ語ⅢC	1

ドイツ語ⅢD	1
フランス語Ⅰ	2
フランス語Ⅱ	2
フランス語ⅢA	1
フランス語ⅢB	1
フランス語ⅢC	1
フランス語ⅢD	1
中国語Ⅰ	2
中国語Ⅱ	2
中国語ⅢA	1
中国語ⅢB	1
中国語ⅢC	1
中国語ⅢD	1
スペイン語Ⅰ	2
スペイン語Ⅱ	2
スペイン語ⅢA	1
スペイン語ⅢB	1
スペイン語ⅢC	1
スペイン語ⅢD	1
コリア語Ⅰ	2
コリア語Ⅱ	2
コリア語ⅢA	1
コリア語ⅢB	1
コリア語ⅢC	1
コリア語ⅢD	1
ドイツ語セミナーⅠA	2
ドイツ語セミナーⅠB	2
ドイツ語セミナーⅠC	2
ドイツ語セミナーⅠD	2
ドイツ語セミナーⅡA	2
ドイツ語セミナーⅡB	2

ドイツ語セミナーⅡC	2
ドイツ語セミナーⅡD	2
ドイツ語コミュニケーションⅠ	2
ドイツ語コミュニケーションⅡ	2
フランス語セミナーⅠA	2
フランス語セミナーⅠB	2
フランス語セミナーⅠC	2
フランス語セミナーⅠD	2
フランス語セミナーⅡA	2
フランス語セミナーⅡB	2
フランス語セミナーⅡC	2
フランス語セミナーⅡD	2
フランス語コミュニケーションⅠ	2
フランス語コミュニケーションⅡ	2
中国語セミナーⅠA	2
中国語セミナーⅠB	2
中国語セミナーⅠC	2
中国語セミナーⅠD	2
中国語セミナーⅡA	2
中国語セミナーⅡB	2
中国語セミナーⅡC	2
中国語セミナーⅡD	2
中国語コミュニケーションⅠ	2
中国語コミュニケーションⅡ	2
スペイン語セミナーⅠA	2
スペイン語セミナーⅠB	2
スペイン語セミナーⅠC	2
スペイン語セミナーⅠD	2
スペイン語セミナーⅡA	2
スペイン語セミナーⅡB	2
スペイン語セミナーⅡC	2

スペイン語セミナーⅡD	2
スペイン語コミュニケーションⅠ	2
スペイン語コミュニケーションⅡ	2
コリア語セミナーⅠA	2
コリア語セミナーⅠB	2
コリア語セミナーⅠC	2
コリア語セミナーⅠD	2
コリア語セミナーⅡA	2
コリア語セミナーⅡB	2
コリア語セミナーⅡC	2
コリア語セミナーⅡD	2
コリア語コミュニケーションⅠ	2
コリア語コミュニケーションⅡ	2
海外中国語研修講座	2
ポルトガル語Ⅰ	2
ポルトガル語Ⅱ	2
ポルトガル語ⅢA	2
ポルトガル語ⅢB	2
ロシア語Ⅰ	2
ロシア語Ⅱ	2
ロシア語ⅢA	2
ロシア語ⅢB	2
ラテン語Ⅰ	1
ラテン語Ⅱ	1
ギリシア語Ⅰ	1
ギリシア語Ⅱ	1
ペルシア語ⅠA	2
ペルシア語ⅠB	2
ペルシア語ⅡA	2
ペルシア語ⅡB	2
トルコ語Ⅰ	2

トルコ語Ⅱ	2	
アラビア語Ⅰ	2	
アラビア語Ⅱ	2	
哲学入門	2	
哲学A	2	
哲学B	2	
倫理学入門	2	
倫理学A	2	
倫理学B	2	
クリティカル・シンキング	2	
論理学	2	
宗教学入門	4	
宗教の世界A	2	
宗教の世界B	2	
中国の思想A	2	
中国の思想B	2	
芸術の世界A	2	
芸術の世界B	2	
日本の文学A	4	
日本の文学B	4	
日本の文学C	2	
アジアの文学A	2	
アジアの文学B	2	
西洋の文学A	2	
西洋の文学B	2	
文章表現法A	2	
文章表現法B	2	
言語と文化	2	
歴史学入門	2	
日本の歴史A	4	
日本の歴史B	4	

日本の文化	4
アジアの歴史A	4
アジアの歴史B	4
アジアの文化	2
西洋の歴史A	4
西洋の歴史B	2
西洋の歴史C	2
現代世界の歴史A	2
現代世界の歴史B	2
心理学	4
心の科学A	2
心の科学B	2
応用心理学A	2
応用心理学B	2
教育学のすすめA	2
教育学のすすめB	2
現代社会と教育A	2
現代社会と教育B	2
教育原論A	2
教育原論B	2
学習・発達論A	2
学習・発達論B	2
人文科学セミナー	4
大学論	2
法学のすすめ	2
社会学のすすめ	2
地理学のすすめ	2
経営学のすすめ	2
国際学のすすめ	2
文化人類学のすすめ	2
社会調査のすすめ	2

社会統計学のすすめ	2
人権論A	2
人権論B	2
現代社会とメディア	2
現代社会と福祉	2
環境と社会	2
平和学A	2
ジェンダー論	2
国際社会論	2
現代社会の諸問題	2
地域論	2
企業と会計	2
現代社会と労働	2
社会思想史	2
英語で学ぶ日本の社会A	2
英語で学ぶ日本の社会B	2
データサイエンス・ＡＩ入門	2
数学入門	2
数学への旅	2
確率・統計入門	2
微分と積分	4
行列と行列式	4
数理統計学	4
数理と計算	2
数学の世界	4
数理と論証	2
宇宙の科学Ⅰ	4
宇宙の科学Ⅱ	2
地球科学のすすめ	2
地球科学	2
物理科学の世界	4

時間と空間の科学	2	
エネルギー入門	2	
自然科学史Ⅰ	2	
自然科学史Ⅱ	2	
科学論	2	
技術論	2	
平和学B	2	
里山学	2	
生物科学のすすめ	4	
生命科学のすすめ	2	
生命科学	2	
生態学のすすめ	4	
人類学のすすめ	4	
日本の自然	4	
生命誌	2	
植物の自然誌	2	
動物の自然誌	2	
民族の自然誌	2	
人類進化学	2	
人間の生物学Ⅰ	2	
人間の生物学Ⅱ	2	
自然誌実習	4	
野外観察法	2	
環境学	4	
情報科学入門	2	
情報科学Ⅰ	2	
情報科学Ⅱ	2	
情報科学実習	4	
健康とスポーツ	2	
現代社会とスポーツ	2	
スポーツ技術学演習	2	

人間とスポーツ	2
スポーツと人権・平和	2
スポーツ文化史	2
スポーツ科学最前線	2
教養教育科目特別講義	4
特別講座	6
バークレー語学	12
バークレー講義	6

(2) 専攻科目

授業科目	単位数
基礎演習Ⅰ	2
基礎演習Ⅱ	2
コミュニケーション・ワークショップ演習	2
演習Ⅰ	6
演習Ⅱ（卒業研究含む）	4
キャリア・コミュニケーション演習	2
グローカル戦略実践演習	2
企業のCSR実践演習	2
政策学研究発展演習Ⅰ	4
政策学研究発展演習Ⅱ	4
政策学研究発展演習Ⅲ	4
政策学研究発展演習Ⅳ	4
政策学研究発展演習Ⅴ	4
政策実践・探究演習ⅠA（国内）	4
政策実践・探究演習ⅠA（海外）	4
政策実践・探究演習ⅡA（国内）	4
政策実践・探究演習ⅡA（海外）	4
政策実践・探究演習ⅠB（国内）	4
政策実践・探究演習ⅠB（海外）	4
政策実践・探究演習ⅡB（国内）	4
政策実践・探究演習ⅡB（海外）	4

地域課題発見演習	4
政策学を学ぶ	2
現代社会の市民性を学ぶ	2
持続可能性と共生を学ぶ	2
情報処理を学ぶ	2
グローバル・シチズンシップ・エデュケーションA	2
グローバル・シチズンシップ・エデュケーションB	2
グローバル・シチズンシップ・エデュケーションC	2
グローバル・シチズンシップ・エデュケーションD	2
政策学入門（政治学）	2
政策学入門（経済学）	2
政策学入門（法律学）	2
行政学	2
政策学のための統計・数学	2
地方自治論	2
憲法Ⅰ	2
憲法Ⅱ	2
環境経済学	2
地域経済学	2
財政学	2
国際政治学	2
経済学A（ミクロ経済学）	2
経済学B（マクロ経済学）	2
地域・都市政策総論	2
環境政策総論	2
地域公共人材総論	2
地域ガバナンス論	2
地方自治法	2
都市計画論	2
政策コミュニケーション論	2
価値創造論	2

地場産業論	2
文章技法の基礎を学ぶ	2
開発援助論	2
地方財政論	2
地域経済政策	2
都市再生政策	2
健康政策	2
文化・観光政策	2
コミュニティメディア政策	2
景観・まちなみ保存政策	2
比較地域政策論	2
アジアの地域・都市政策	2
欧州の環境政策	2
アジアの環境政策	2
科学技術政策	2
政策史	2
非営利非政府組織論	2
国際法	2
キャリアデザインのための企業研究	2
政策学のための文章技法	2
環境社会政策論	2
環境法政策	2
国際政治史	2
グローカル・コミュニケーション英語A	2
グローカル・コミュニケーション英語B	2
政策総合英語A	2
政策総合英語B	2
政策評価論	2
地域コミュニティ政策	2
比較社会政策	2
欧州の地域・都市政策	2

北米・中南米の地域・都市政策	2	
交通運輸政策	2	
保全生態学	2	
環境社会学	2	
政策過程論	2	
公務員論	2	
公共政策学	2	
行政法	2	
農村地域再生政策	2	
環境エネルギー政策	2	
社会的企業論	2	
国際ビジネス論	2	
地球環境政策論	2	
言語政策	2	
地域レジリエンス論	2	
中国政治論	2	
刑事政策	2	
民法入門	2	
ヨーロッパ政治論	2	
国際環境法	2	
行政争訟法	2	
労働法入門	2	
国家補償法	2	
環境と法	2	
放送メディア論A	2	
放送メディア論B	4	
映画文化産業論	2	
初級商業簿記	2	
矯正概論	4	
更生保護概論	4	
更生保護制度	2	

成人矯正処遇	2
保護観察処遇	2
矯正教育学	4
矯正社会学	4
犯罪心理学	4
矯正医学	2
犯罪学	2
被害者学	4
矯正・保護入門	2
青少年問題	2
バークレーボランティア	6
国内インターンシップ	4
国内インターンシップ	2
留学生入門演習	2
地域公共人材特別講座	12
特別講座	12
放送大学科目	8

以上に掲げる授業科目のほか，教授会が教育上必要であると認めるときは別になお，他の授業科目を設けることができる。

国際学部開設科目（第30条関係）

(1) 教養教育科目

授業科目	単位数
仏教の思想A	2
仏教の思想B	2
歎異抄の思想Ⅰ	2
歎異抄の思想Ⅱ	2
哲学入門	2
哲学A	2
哲学B	2
倫理学入門	2
倫理学A	2

倫理学B	2
クリティカル・シンキング	2
論理学	2
宗教学入門	4
宗教の世界A	2
宗教の世界B	2
中国の思想A	2
中国の思想B	2
芸術の世界A	2
芸術の世界B	2
日本の文学A	4
日本の文学B	4
日本の文学C	2
アジアの文学A	2
アジアの文学B	2
西洋の文学A	2
西洋の文学B	2
文章表現法A	2
文章表現法B	2
言語と文化	2
歴史学入門	2
日本の歴史A	4
日本の歴史B	4
日本の文化	4
アジアの歴史A	4
アジアの歴史B	4
アジアの文化	2
西洋の歴史A	4
西洋の歴史B	2
西洋の歴史C	2
現代世界の歴史A	2

現代世界の歴史B	2
心理学	4
心の科学A	2
心の科学B	2
応用心理学A	2
応用心理学B	2
教育学のすすめA	2
教育学のすすめB	2
現代社会と教育A	2
現代社会と教育B	2
教育原論A	2
教育原論B	2
学習・発達論A	2
学習・発達論B	2
人文科学セミナー	4
大学論	2
日本国憲法	2
法学のすすめ	2
政治学のすすめ	2
社会学のすすめ	2
地理学のすすめ	2
経済学のすすめ	2
経営学のすすめ	2
文化人類学のすすめ	2
社会調査のすすめ	2
社会統計学のすすめ	2
人権論A	2
人権論B	2
現代社会とメディア	2
現代社会と福祉	2
現代社会と法	2

環境と社会	2	
平和学A	2	
ジェンダー論	2	
国際社会論	2	
現代社会の諸問題	2	
地域論	2	
企業と会計	2	
現代社会と労働	2	
社会思想史	2	
英語で学ぶ日本の社会A	2	
英語で学ぶ日本の社会B	2	
データサイエンス・ＡＩ入門	2	
数学入門	2	
数学への旅	2	
確率・統計入門	2	
微分と積分	4	
行列と行列式	4	
数理統計学	4	
数理と計算	2	
数学の世界	4	
数理と論証	2	
宇宙の科学Ⅰ	4	
宇宙の科学Ⅱ	2	
地球科学のすすめ	2	
地球科学	2	
物理科学の世界	4	
時間と空間の科学	2	
エネルギー入門	2	
自然科学史Ⅰ	2	
自然科学史Ⅱ	2	
科学論	2	

技術論	2	
平和学B	2	
里山学	2	
生物科学のすすめ	4	
生命科学のすすめ	2	
生命科学	2	
生態学のすすめ	4	
人類学のすすめ	4	
日本の自然	4	
生命誌	2	
植物の自然誌	2	
動物の自然誌	2	
民族の自然誌	2	
人類進化学	2	
人間の生物学Ⅰ	2	
人間の生物学Ⅱ	2	
自然誌実習	4	
野外観察法	2	
環境学	4	
情報科学入門	2	
情報科学Ⅰ	2	
情報科学Ⅱ	2	
情報科学実習	4	
健康とスポーツ	2	
現代社会とスポーツ	2	
スポーツ技術学演習	2	
人間とスポーツ	2	
スポーツと人権・平和	2	
スポーツ文化史	2	
スポーツ科学最前線	2	
海外英語研修	2	

教養教育科目特別講義	4

(2) 専攻科目

① 国際文化学科

授業科目	単位数
English Communication Ⅰ —Speaking	1
English Communication Ⅰ —Writing	1
English Communication Ⅰ —Reading	1
English Communication Ⅰ —Seminar A	2
English Communication Ⅰ —Seminar B	2
English Communication Ⅱ —Speaking	1
English Communication Ⅱ —Writing	1
English Communication Ⅱ —Reading	1
English Communication Ⅱ —Seminar A	2
English Communication Ⅱ —Seminar B	2
English Communication Ⅲ —Speaking	1
English Communication Ⅲ —Writing	1
English Communication Ⅲ —Reading	1
English Communication Ⅳ —Speaking	1
English Communication Ⅳ —Writing	1
English Communication Ⅳ —Reading	1
フランス語Ⅰ	3
フランス語Ⅱ	3
フランス語Ⅲ	3
フランス語Ⅳ	3
中国語Ⅰ	3
中国語Ⅱ	3
中国語Ⅲ	3
中国語Ⅳ	3
コリア語Ⅰ	3
コリア語Ⅱ	3
コリア語Ⅲ	3

コリア語Ⅳ	3
日本語Ⅰ	3
日本語Ⅱ	3
日本語Ⅲ	3
日本語Ⅳ	3
日本語セミナーA	2
日本語セミナーB	2
日本語セミナーC	2
日本語セミナーD	2
語学研修A（英語）	2
語学研修B（英語）	4
語学研修A（フランス語）	2
語学研修B（フランス語）	4
語学研修A（中国語）	2
語学研修B（中国語）	4
語学研修A（コリア語）	2
語学研修B（コリア語）	4
バークレー語学	12
基礎演習A	2
基礎演習B	2
国際文化学入門	2
調査分析の基礎A	2
調査分析の基礎B	2
キャリア・ガイダンス	2
多文化交流入門	2
宗教学概論	2
自然人類学概論	2
環境共生論入門	2
まちづくり入門	2
社会心理学	2
言語とこころ入門	2

歴史入門	2	
東アジアの地域交流	2	
現代経済と文化	2	
文化人類学入門	2	
日本語論文表現（初級）	2	
日本語論文表現（上級）	2	
映像文化入門	2	
大衆文化入門	2	
メディア文化入門	2	
比較演劇入門	2	
物語と文学	2	
比較文化入門	2	
インターンシップ・実習指導	2	
English Workshop A	2	
English Workshop B	2	
English Workshop C	2	
English Workshop D	2	
上級英語A	2	
上級英語B	2	
Advanced English A	2	
Advanced English B	2	
Advanced English C	2	
Advanced English D	2	
フランス語セミナーⅠ	4	
フランス語セミナーⅡ	4	
フランス語セミナーⅢ	4	
中国語セミナーⅠ	4	
中国語セミナーⅡ	4	
中国語セミナーⅢ	4	
コリア語セミナーⅠ	4	
コリア語セミナーⅡ	4	

コリア語セミナーⅢ	4	
日本語セミナーE	2	
日本語セミナーF	2	
日本語セミナーG	2	
日本語セミナーH	2	
ペルシア語セミナーⅠA	2	
ペルシア語セミナーⅠB	2	
ペルシア語セミナーⅡA	2	
ペルシア語セミナーⅡB	2	
トルコ語セミナーⅠ	2	
トルコ語セミナーⅡ	2	
アラビア語セミナーⅠ	2	
アラビア語セミナーⅡ	2	
スペイン語セミナーⅠ	2	
スペイン語セミナーⅡ	2	
ドイツ語セミナーⅠ	2	
ドイツ語セミナーⅡ	2	
ロシア語セミナーⅠ	2	
ロシア語セミナーⅡ	2	
ロシア語セミナーⅢ	2	
ロシア語セミナーⅣ	2	
ポルトガル語セミナーⅠ	2	
ポルトガル語セミナーⅡ	2	
ポルトガル語セミナーⅢ	2	
ポルトガル語セミナーⅣ	2	
実践フランス語A	2	
実践フランス語B	2	
実践フランス語C	2	
実践フランス語D	2	
実践中国語A	2	
実践中国語B	2	

実践中国語C	2	
実践中国語D	2	
実践コリア語A	2	
実践コリア語B	2	
実践コリア語C	2	
実践コリア語D	2	
住居学概論	2	
居住環境概論	2	
多文化交流論A	2	
多文化交流論B	2	
多文化共生と宗教	2	
キリスト教の文化A	2	
キリスト教の文化B	2	
環境人類学	2	
環境保全論	2	
フィールド実習	2	
中東政治論	2	
イスラームの文化A	2	
イスラームの文化B	2	
イスラームの社会A	2	
イスラームの社会B	2	
言語とこころA	2	
言語とこころB	2	
音声学概論	2	
NGO／NPO論	2	
国際政治学入門	2	
都市計画論	2	
比較宗教思想	2	
自然と文化	2	
社会調査法	2	
英語外書講読A	2	

英語外書講読B	2
比較言語学	2
Exploring Cultures	2
世界の宗教と日本	2
日本の宗教	2
日本の仏教文化	2
アジアの仏教文化	2
アジアの文化遺産	2
東アジアの古代文化	2
中央アジアと日本	2
日本の経済と社会	2
国際人口移動	2
国際経済と日本	2
海外における日本観	2
オセアニアと日本	2
パンパシフィックの移民	2
日本の社会	2
日本の言語文化	2
日本語からみた歴史と文化	2
日本語教育入門	2
日本語教育実践	2
日本の思想	2
日本の近現代と国際関係	2
京ことばと京文化	2
世界と日本の民俗	2
世界と日本の文学	2
Comparative Culture	2
映像文化論A	2
映像文化論B	2
映像文化論C	2
映像文化論D	2

映像文化論E	2
大衆文化論A	2
大衆文化論B	2
大衆文化論C	2
大衆文化論D	2
大衆文化論E	2
メディア文化論A	2
メディア文化論B	2
メディア文化論C	2
メディア文化論D	2
芸術表現法A	2
芸術表現法B	2
芸術表現法E	2
日本の美術	2
アジアの美術	2
西洋の美術	2
音楽芸術論A	2
音楽芸術論B	2
アートマネジメント	2
伝統芸能論	2
欧米の演劇	2
観光学入門	2
観光社会論	2
国際観光論	2
ホスピタリティ論	2
観光心理学	2
観光文化論A	2
観光文化論B	2
京都観光学A	2
京都観光学B	2
文化・観光政策	2

旅行の法律	2
旅行の契約	2
国内旅行の実務	2
海外旅行の実務	2
グローバル時代のキャリア設計	2
会話分析入門A	2
会話分析入門B	2
心理言語学	2
応用言語学	2
Contemporary Literature	2
国際関係入門	2
Introduction to Sociolinguistics	2
Introduction to Cultural Anthropology	2
グローバリゼーションとアフリカ	2
グローバリゼーションと東アジア	2
グローバリゼーションと南アジア	2
グローバリゼーションとヨーロッパ	2
グローバリゼーションとラテンアメリカ	2
国際政治経済学	2
異文化間コミュニケーション論	2
Career English	2
Critical Reading	2
Study Abroad Project A	6
Study Abroad Project B	6
バークレー講義	6
バークレーボランティア	6
国際文化実践Ⅰ	2
国際文化実践ⅡA	2
国際文化実践ⅡB	2
国際文化実践ⅡC	2
国際文化実践ⅡD	2

国際文化実践ⅡE	2
国際文化実践ⅡF	2
国際文化実践ⅡG	2
演習Ⅰ	2
演習Ⅱ	2
演習Ⅲ	2
演習Ⅳ	2
卒業論文	6

② グローバルスタディーズ学科

授業科目	単位数
英語(Reading)Ⅰ	2
英語(Writing)Ⅰ	2
英語（Oral Communication）Ⅰ	2
英語(Reading)Ⅱ	2
英語(Writing)Ⅱ	2
英語（Oral Communication）Ⅱ	2
Business English through TOEIC（Basic A）	2
Business English through TOEIC（Basic B）	2
Academic English through IELTS（Basic A）	2
Academic English through IELTS（Basic B）	2
Business English through TOEIC（Advanced A）	2
Business English through TOEIC（Advanced B）	2
Academic English through IELTS（Advanced A）	2
Academic English through IELTS（Advanced B）	2
Career English	2
リサーチ方法論A	2
リサーチ方法論B	2
ITリテラシーA	2
ITリテラシーB	2
グローバルスタディーズA	2
グローバルスタディーズB	2

グローバルスタディーズC	2
グローバルスタディーズD	2
宗教学概論	2
会話分析入門A	2
会話分析入門B	2
言語習得論	2
異文化間コミュニケーション論	2
Contemporary Literature	2
Discussion ＆ Debate	2
Advanced Writing Strategies	2
Critical Reading	2
Introduction to Sociolinguistics	2
心理言語学	2
応用言語学	2
言語教育政策論	2
通訳・翻訳研究A	2
通訳・翻訳研究B	2
English for Global Studies	2
Global Englishes and Communication	2
英語教育特殊研究	2
国際関係入門	2
政治思想概論	2
国際開発協力論	2
グローバル・ヒストリー入門	2
Introduction to Cultural Anthropology	2
Globalization of Education	2
Postcolonialism	2
Sustainability Studies	2
ナショナリズム研究	2
国際政治経済学	2
多国籍企業論	2

安全保障論	2	
文化遺産学	2	
国際人権論	2	
グローバリゼーションとエシックス	2	
グローバル市民社会論	2	
南アジアの言語	2	
グローバリゼーションとアフリカ	2	
グローバリゼーションと東アジア	2	
グローバリゼーションと南アジア	2	
グローバリゼーションとヨーロッパ	2	
グローバリゼーションとラテンアメリカ	2	
グローバル・ガバナンス論	2	
宗教文化学入門	2	
グローバル・キャリア入門	2	
インターンシップ・実習指導	2	
実践フランス語A	2	
実践フランス語B	2	
実践中国語A	2	
実践中国語B	2	
実践コリア語A	2	
実践コリア語B	2	
ペルシア語セミナーⅠA	2	
ペルシア語セミナーⅠB	2	
ペルシア語セミナーⅡA	2	
ペルシア語セミナーⅡB	2	
トルコ語セミナーⅠ	2	
トルコ語セミナーⅡ	2	
アラビア語セミナーⅠ	2	
アラビア語セミナーⅡ	2	
ドイツ語セミナーⅠ	2	
ドイツ語セミナーⅡ	2	

自然人類学概論	2	
社会心理学	2	
歴史入門	2	
現代経済と文化	2	
文化人類学入門	2	
映像文化入門	2	
大衆文化入門	2	
メディア文化入門	2	
物語と文学	2	
比較文化入門	2	
English Workshop A	2	
English Workshop B	2	
English Workshop C	2	
English Workshop D	2	
上級英語A	2	
上級英語B	2	
Advanced English A	2	
Advanced English B	2	
Advanced English C	2	
Advanced English D	2	
多文化交流論A	2	
多文化交流論B	2	
多文化共生と宗教	2	
環境人類学	2	
環境保全論	2	
フィールド実習	2	
中東政治論	2	
言語とこころA	2	
言語とこころB	2	
NGO／NPO論	2	
国際政治学入門	2	

都市計画論	2
比較宗教思想	2
英語外書講読A	2
英語外書講読B	2
比較言語学	2
Exploring Culture	2
日本の経済と社会	2
国際人口移動	2
国際経済と日本	2
海外における日本観	2
オセアニアと日本	2
パンパシフィックの移民	2
Comparative Culture	2
観光学入門	2
観光社会論	2
国際観光論	2
ホスピタリティ論	2
観光心理学	2
観光文化論A	2
観光文化論B	2
グローバル化とキャリア形成	2
インターンシップ・アブロードⅠ	2
インターンシップ・アブロードⅡ	4
SNSを活用した異文化交流実践	2
Study Abroad Project A	6
Study Abroad Project B	6
海外研修	4
プロジェクト演習	2
演習Ⅰ	2
演習Ⅱ	2
演習Ⅲ	2

演習Ⅳ	2
卒業論文	4

以上に掲げる授業科目のほか，教授会が教育上必要であると認めるときは別になお，他の授業科目を設けることができる。

農学部開設科目（第30条関係）

(1) 教養教育科目

授業科目	単位数
仏教の思想A	2
仏教の思想B	2
歎異抄の思想Ⅰ	2
歎異抄の思想Ⅱ	2
英語総合1(A)	1
英語総合1(B)	1
英語総合2(A)	1
英語総合2(B)	1
英語総合3	1
英語総合4	1
英語セミナーA1	2
英語セミナーA2	2
英語セミナーB1	2
英語セミナーB2	2
英語セミナーC1	2
英語セミナーC2	2
英語セミナーD1	2
英語セミナーD2	2
英語セミナーE1	2
英語セミナーE2	2
英語セミナーF1	2
英語セミナーF2	2
英語セミナーG1	2
英語セミナーG2	2

海外英語研修	2
ドイツ語ＩA	1
ドイツ語ＩB	1
ドイツ語ⅡA	1
ドイツ語ⅡB	1
フランス語ＩA	1
フランス語ＩB	1
フランス語ⅡA	1
フランス語ⅡB	1
中国語ＩA	1
中国語ＩB	1
中国語ⅡA	1
中国語ⅡB	1
コリア語ＩA	1
コリア語ＩB	1
コリア語ⅡA	1
コリア語ⅡB	1
ドイツ語セミナーＩA	2
ドイツ語セミナーＩB	2
フランス語セミナーＩA	2
フランス語セミナーＩB	2
中国語セミナーＩA	2
中国語セミナーＩB	2
コリア語セミナーＩA	2
コリア語セミナーＩB	2
哲学入門	2
倫理学入門	2
倫理学A	2
倫理学B	2
クリティカル・シンキング	2
宗教学のすすめ	2

宗教の世界	2	
日本の文学M	2	
日本の文学N	2	
アジアの文学A	2	
アジアの文学B	2	
西洋の文学A	2	
西洋の文学B	2	
言語学入門	2	
歴史入門	2	
日本の歴史M	2	
日本の歴史N	2	
日本の文化	2	
アジアの歴史M	2	
アジアの歴史N	2	
アジアの文化	2	
西洋の歴史M	2	
西洋の歴史N	2	
心理学入門	2	
心理学A	2	
心理学B	2	
教育原論A	2	
教育原論B	2	
学習・発達論A	2	
学習・発達論B	2	
日本国憲法	2	
法学のすすめ	2	
政治学のすすめ	2	
社会学のすすめ	2	
地理学のすすめ	2	
経済学のすすめ	2	
経営学のすすめ	2	

国際学のすすめ	2	
文化人類学のすすめ	2	
社会調査のすすめ	2	
社会統計学のすすめ	2	
人権論A	2	
人権論B	2	
現代社会とメディア	2	
現代社会と福祉	2	
現代社会と法	2	
現代社会と労働	2	
現代社会の諸問題	2	
環境と社会	2	
平和学A	2	
ジェンダー論	2	
国際社会論	2	
地域論	2	
企業と会計	2	
社会思想史	2	
情報倫理	2	
情報社会とメディア	2	
データサイエンス・ＡＩ入門	2	
生活の中の数学	2	
生活の中の統計技術	2	
生活の中の化学	2	
生活の中の物理	2	
生活の中の生物学	2	
生活の中の地学	2	
現代の技術	2	
生命と科学	2	
自然観察法	2	
里山学	2	

環境の科学	2
人類の科学	2
情報と人間	2
現代社会と栄養	2
健康とスポーツ	2
現代社会とスポーツ	2
スポーツ技術学A	1
スポーツ技術学B	1
スポーツ文化論	2
教養教育科目特別講義	8
バークレー語学	12
バークレー講義	6
バークレーボランティア	6

(2) 専攻科目

① 植物生命科学科

授業科目	単位数
農学概論	2
食と農の倫理	2
食の循環実習Ⅰ	2
食の循環実習Ⅱ	2
有機化学	2
分析化学	2
社会福祉論	2
食品の安全と法律	2
食と嗜好の科学	2
食の文化論	2
暮らしの中の食品学	2
身体のしくみと栄養	2
調理のサイエンス	2
日本・京滋の食料と農業	2
欧米の食料と農業	2

アジア・アフリカの食料と農業	2
日本の歴史と農業	2
世界の歴史と農業	2
科学史・農学史入門	2
くらしと経済	2
会社と農家のしくみ	2
事例に学ぶ食品マーケティング	2
大学の学びとキャリア	2
キャリア形成論	2
情報教育論	2
地学概論	2
物理学概論	2
化学概論	2
生物物理学	2
地学実験	2
物理学実験	1
生物物理学実習	1
入門ゼミ	2
基礎演習Ⅰ	2
基礎演習Ⅱ	2
生物学基礎	2
遺伝学Ⅰ	2
植物育種学	2
植物生理・生化学Ⅰ	2
作物学Ⅰ	2
収穫後生理学	2
植物病理学Ⅰ	2
身近な植物	2
森林生態学	2
雑草学Ⅰ	2
飢饉・救荒論	2

昆虫学Ⅰ	2	
虫と農業	2	
土壌学Ⅰ	2	
微生物学Ⅰ	2	
生物統計学	2	
農業気象学	2	
畜産学概論	2	
水産学概論	2	
農業環境工学	2	
基礎生物学実習	2	
基礎化学実習	2	
遺伝学Ⅱ	2	
分子育種学Ⅰ	2	
分子育種学Ⅱ	2	
花き野菜園芸学Ⅰ	2	
果樹園芸学Ⅰ	2	
分子生物学	2	
植物生理・生化学Ⅱ	2	
ゲノム情報学Ⅰ	2	
ゲノム情報学Ⅱ	2	
ゲノム工学	2	
植物資源学Ⅰ	2	
植物栄養学Ⅰ	2	
植物－微生物相互作用学	2	
線虫学Ⅰ	2	
農薬学	2	
昆虫学Ⅱ	2	
微生物学Ⅱ	2	
植物生命科学実習A	2	
植物生命科学実習B	2	
農学部インターンシップA	2	

農学部インターンシップB	1
海外農業体験実習A	2
海外農業体験実習B	2
農学部特別実習A	2
農学部特別実習B	2
農学部特別実習C	1
農学部特別講義	2
総合演習Ⅰ	2
総合演習Ⅱ	2
総合演習Ⅲ	2
特別研究	6

② 資源生物科学科

授業科目	単位数
農学概論	2
食と農の倫理	2
食の循環実習Ⅰ	2
食の循環実習Ⅱ	2
有機化学	2
分析化学	2
社会福祉論	2
食品の安全と法律	2
食と嗜好の科学	2
食の文化論	2
暮らしの中の食品学	2
身体のしくみと栄養	2
調理のサイエンス	2
日本・京滋の食料と農業	2
欧米の食料と農業	2
アジア・アフリカの食料と農業	2
日本の歴史と農業	2
世界の歴史と農業	2

科学史・農学史入門	2	
くらしと経済	2	
会社と農家のしくみ	2	
事例に学ぶ食品マーケティング	2	
大学の学びとキャリア	2	
キャリア形成論	2	
情報教育論	2	
地学概論	2	
物理学概論	2	
化学概論	2	
生物物理学	2	
地学実験	2	
物理学実験	1	
生物物理学実習	1	
入門ゼミ	2	
基礎演習Ⅰ	2	
基礎演習Ⅱ	2	
生物学基礎	2	
遺伝学Ⅰ	2	
植物育種学	2	
植物生理・生化学Ⅰ	2	
作物学Ⅰ	2	
収穫後生理学	2	
植物病理学Ⅰ	2	
身近な植物	2	
森林生態学	2	
雑草学Ⅰ	2	
飢饉・救荒論	2	
虫と農業	2	
土壌学Ⅰ	2	
発酵醸造学Ⅰ	2	

生物統計学	2
農業気象学	2
畜産学概論	2
水産学概論	2
農業環境工学	2
基礎生物学実習	2
基礎化学実習	2
植物資源学Ⅰ	2
植物資源学Ⅱ	2
分子育種学Ⅰ	2
分子育種学Ⅱ	2
作物学Ⅱ	2
花き野菜園芸学Ⅰ	2
花き野菜園芸学Ⅱ	2
果樹園芸学Ⅰ	2
果樹園芸学Ⅱ	2
雑草学Ⅱ	2
植物栄養学Ⅰ	2
植物栄養学Ⅱ	2
土壌学Ⅱ	2
応用昆虫学	2
植物病理学Ⅱ	2
線虫学Ⅰ	2
線虫学Ⅱ	2
農薬学	2
資源生物科学実習A	2
資源生物科学実習B	2
農学部インターンシップA	2
農学部インターンシップB	1
海外農業体験実習A	2
海外農業体験実習B	2

農学部特別実習A	2
農学部特別実習B	2
農学部特別実習C	1
農学部特別講義	2
総合演習Ⅰ	2
総合演習Ⅱ	2
総合演習Ⅲ	2
特別研究	6

③　食品栄養学科

授業科目	単位数
農学概論	2
食と農の倫理	2
食の循環実習Ⅰ	2
食の循環実習Ⅱ	2
社会福祉論	2
食品の安全と法律	2
食と嗜好の科学	2
食の文化論	2
収穫後生理学	2
植物病理学Ⅰ	2
身近な植物	2
森林生態学	2
雑草学Ⅰ	2
飢饉・救荒論	2
昆虫学Ⅰ	2
虫と農業	2
土壌学Ⅰ	2
微生物学Ⅰ	2
生物統計学	2
農業気象学	2
畜産学概論	2

水産学概論	2
農業環境工学	2
農業を支える植物細胞の力	2
分子から見た生命	2
遺伝の考え方	2
花と果物の科学	2
植物栽培の考え方	2
生活を支える微生物の力	2
日本・京滋の食料と農業	2
欧米の食料と農業	2
アジア・アフリカの食料と農業	2
日本の歴史と農業	2
世界の歴史と農業	2
科学史・農学史入門	2
くらしと経済	2
会社と農家のしくみ	2
事例に学ぶ食品マーケティング	2
大学の学びとキャリア	2
キャリア形成論	2
情報教育論	2
地学概論	2
物理学概論	2
化学概論	2
生物物理学	2
生物物理学実習	1
入門ゼミ	2
管理栄養士基礎演習	2
科学英語	2
健康管理概論	2
公衆衛生学Ⅰ	2
公衆衛生学Ⅱ	2

生化学	2
分子栄養学	2
解剖生理学	2
運動生理学	2
臨床医学概論	2
臨床病態学	2
微生物学	2
食品化学	2
食品学	2
食品機能・加工論	2
食品衛生学	2
調理学	2
有機化学	2
分析化学	2
基礎生物化学	2
生化学実験	1
解剖生理学実験	1
栄養生理学実験	1
微生物学実験	1
食品学実験Ⅰ	1
食品学実験Ⅱ	1
食品加工学実習	1
食品衛生学実験	1
調理学実習Ⅰ	1
調理学実習Ⅱ	1
基礎栄養学	2
応用栄養学	2
ライフステージ栄養学	2
栄養評価論	2
スポーツ栄養学	2
栄養教育論Ⅰ	2

栄養教育論Ⅱ	2	
栄養カウンセリング論	2	
学校栄養指導論	2	
学校栄養実践論	2	
臨床栄養学Ⅰ	2	
臨床栄養学Ⅱ	2	
臨床栄養学Ⅲ	2	
臨床栄養管理学	2	
臨床栄養実践論	2	
公衆栄養学	2	
公衆栄養活動論	2	
栄養疫学	2	
給食経営管理論Ⅰ	2	
給食経営管理論Ⅱ	2	
管理栄養士総合演習	2	
臨地実習指導	1	
基礎栄養学実習	1	
応用栄養学実習	1	
栄養教育論実習	1	
臨床栄養学実習Ⅰ	1	
臨床栄養学実習Ⅱ	1	
公衆栄養学実習	1	
給食経営管理実習Ⅰ	1	
給食経営管理実習Ⅱ	1	
給食経営管理実習（校外）	1	
臨地実習Ⅰ（給食経営管理論）	1	
臨地実習Ⅱ（公衆栄養学）	1	
臨地実習Ⅲ（臨床栄養学）	2	
特別臨地実習Ⅰ（給食経営管理論）	1	
特別臨地実習Ⅱ（公衆栄養学）	1	
特別臨地実習Ⅲ（臨床栄養学）	1	

農学部インターンシップA	2
農学部インターンシップB	1
海外農業体験実習A	2
海外農業体験実習B	2
農学部特別実習A	2
農学部特別実習B	2
農学部特別実習C	1
農学部特別講義	2
総合演習Ⅰ	2
総合演習Ⅱ	2
総合演習Ⅲ	2
特別研究	6

④　食料農業システム学科

授業科目	単位数
農学概論	2
食と農の倫理	2
食の循環実習Ⅰ	2
食の循環実習Ⅱ	2
収穫後生理学	2
植物病理学Ⅰ	2
身近な植物	2
森林生態学	2
雑草学Ⅰ	2
飢饉・救荒論	2
昆虫学Ⅰ	2
虫と農業	2
土壌学Ⅰ	2
微生物学Ⅰ	2
農業気象学	2
畜産学概論	2
水産学概論	2

農業環境工学	2
農業を支える植物細胞の力	2
分子から見た生命	2
遺伝の考え方	2
花と果物の科学	2
植物栽培の考え方	2
生活を支える微生物の力	2
社会福祉論	2
食品の安全と法律	2
食と嗜好の科学	2
食の文化論	2
暮らしの中の食品学	2
身体のしくみと栄養	2
調理のサイエンス	2
大学の学びとキャリア	2
キャリア形成論	2
情報教育論	2
入門ゼミ	2
SDGsと食料農業システム概論	2
基礎演習	2
くらしと経済	2
会社と農家のしくみ	2
事例に学ぶ食品マーケティング	2
ミクロ経済学	2
マクロ経済学	2
数学基礎	2
統計処理実習	2
基礎統計学	2
基礎経営学	2
基礎会計学	2
基礎社会学	2

食料・農業経済学	2
日本・京滋の食料と農業	2
欧米の食料と農業	2
アジア・アフリカの食料と農業	2
日本の歴史と農業	2
世界の歴史と農業	2
科学史・農学史入門	2
農業政策論	2
地域農業経済論	2
環境経済学	2
熱帯農業論	2
国際食料需給論	2
国際農村発展論	2
国際協力論	2
アグリフードビジネス論	2
農企業経営論	2
フードビジネスマーケティング論	2
フードビジネスファイナンス論	2
農業組織団体論	2
農業法律学	2
食料流通システム論	2
食と農の安全安心論	2
農村社会学	2
食料環境社会学	2
ソーシャルキャピタル論	2
地域マネジメント論	2
比較食文化論	2
比較地域文化論	2
現代社会と食	2
食料農業システム実習A	2
食料農業システム実習B	2

食料農業システム実習C	2
食料農業システム実習D	2
食料農業システム実習E	2
食料農業システム実習F	2
農学部インターンシップA	2
農学部インターンシップB	1
海外農業体験実習A	2
海外農業体験実習B	2
農学部特別実習A	2
農学部特別実習B	2
農学部特別実習C	1
農学部特別講義	2
総合演習Ⅰ	2
総合演習Ⅱ	2
総合演習Ⅲ	2
総合演習Ⅳ	2
特別研究	6

以上に掲げる授業科目のほか，教授会が教育上必要であると認めるときは別になお，他の授業科目を設けることができる。

先端理工学部開設科目（第30条関係）

(1) 教養教育科目

授業科目	単位数
仏教の思想A	2
仏教の思想B	2
歎異抄の思想Ⅰ	2
歎異抄の思想Ⅱ	2
英語総合1(A)	1
英語総合1(B)	1
英語総合2(A)	1
英語総合2(B)	1
英語総合3	1

英語総合4	1
英語セミナーA1	2
英語セミナーA2	2
英語セミナーB1	2
英語セミナーB2	2
英語セミナーC1	2
英語セミナーC2	2
英語セミナーD1	2
英語セミナーD2	2
英語セミナーE1	2
英語セミナーE2	2
英語セミナーF1	2
英語セミナーF2	2
英語セミナーG1	2
英語セミナーG2	2
海外英語研修	2
ドイツ語ＩA	1
ドイツ語ＩB	1
ドイツ語ⅡA	1
ドイツ語ⅡB	1
フランス語ＩA	1
フランス語ＩB	1
フランス語ⅡA	1
フランス語ⅡB	1
中国語ＩA	1
中国語ＩB	1
中国語ⅡA	1
中国語ⅡB	1
コリア語ＩA	1
コリア語ＩB	1
コリア語ⅡA	1

コリア語ⅡB	1
ドイツ語セミナーＩA	2
ドイツ語セミナーＩB	2
フランス語セミナーＩA	2
フランス語セミナーＩB	2
中国語セミナーＩA	2
中国語セミナーＩB	2
コリア語セミナーＩA	2
コリア語セミナーＩB	2
哲学入門	2
倫理学入門	2
倫理学A	2
倫理学B	2
クリティカル・シンキング	2
宗教学のすすめ	2
宗教の世界	2
日本の文学M	2
日本の文学N	2
アジアの文学A	2
アジアの文学B	2
西洋の文学A	2
西洋の文学B	2
言語学入門	2
歴史入門	2
日本の歴史M	2
日本の歴史N	2
日本の文化	2
アジアの歴史M	2
アジアの歴史N	2
アジアの文化	2
西洋の歴史M	2

西洋の歴史N	2
心理学入門	2
心理学A	2
心理学B	2
教育原論A	2
教育原論B	2
学習・発達論A	2
学習・発達論B	2
日本国憲法	2
法学のすすめ	2
政治学のすすめ	2
社会学のすすめ	2
地理学のすすめ	2
経済学のすすめ	2
経営学のすすめ	2
国際学のすすめ	2
文化人類学のすすめ	2
社会調査のすすめ	2
社会統計学のすすめ	2
人権論A	2
人権論B	2
現代社会とメディア	2
現代社会と福祉	2
現代社会と法	2
現代社会と労働	2
現代社会の諸問題	2
環境と社会	2
平和学A	2
ジェンダー論	2
国際社会論	2
地域論	2

企業と会計	2
社会思想史	2
情報倫理	2
情報社会とメディア	2
データサイエンス・ＡＩ入門	2
生活の中の数学	2
生活の中の統計技術	2
生活の中の化学	2
生活の中の物理	2
生活の中の生物学	2
生活の中の地学	2
現代の技術	2
生命と科学	2
自然観察法	2
里山学	2
植物の自然誌	2
環境の科学	2
人類の科学	2
情報と人間	2
現代社会と栄養	2
健康とスポーツ	2
現代社会とスポーツ	2
スポーツ技術学A	1
スポーツ技術学B	1
スポーツ文化論	2
教養教育科目特別講義	2
バークレー語学	12
バークレー講義	6
バークレーボランティア	6

(2)　専攻科目

①　数理・情報科学課程

授業科目	単位数
情報基礎	2
フレッシャーズセミナー	2
協定型インターンシップ	2
理工学のすすめ	2
ASEANグローバルプログラム	2
デザインシンキング	2
グローバル人材育成プログラム	2
プロジェクトリサーチⅠ	1
プロジェクトリサーチⅡ	2
理工インターンシップ（学外実習）Ⅰ	1
理工インターンシップ（学外実習）Ⅱ	2
プログラミング及び実習Ⅰ	1
数理情報基礎演習A	2
微積分及び演習Ⅰ	3
線形代数及び演習Ⅰ	3
数理情報基礎演習B	2
情報と職業	2
ディジタルクリエイティブ基礎	2
クラウドコンピューティング演習	2
微積分及び演習Ⅱ	3
線形代数及び演習Ⅱ	3
データ分析	2
プログラミング及び実習Ⅱ	2
情報処理システムⅠ	2
微分方程式Ⅰ	2
物理と微分方程式及び演習	3
確率統計Ⅰ	2
数値計算法及び演習	3
プログラミング及び実習Ⅲ	3
情報処理システムⅡ	2

プロジェクト演習	2	
フーリエ解析及び演習	2	
アルゴリズム及び演習Ⅰ	2	
シミュレーション及び演習	2	
アルゴリズム及び演習Ⅱ	2	
微分方程式Ⅱ	2	
集合と論理	2	
質点系の力学	2	
多変量解析及び演習	3	
数理・情報科学の学びと社会	1	
数理情報演習	1	
複素解析Ⅰ	1	
位相入門Ⅰ	1	
代数入門Ⅰ	1	
幾何入門	1	
現象の数理モデルⅠ	1	
拡散現象の数理Ⅰ	1	
機械学習Ⅰ	1	
オブジェクト指向及び演習	2	
データ構造とアルゴリズムⅠ	1	
複素解析Ⅱ	1	
位相入門Ⅱ	1	
代数入門Ⅱ	1	
ベクトル解析入門	1	
現象の数理モデルⅡ	1	
拡散現象の数理Ⅱ	1	
機械学習Ⅱ	1	
グラフィックス及び演習	2	
データ構造とアルゴリズムⅡ	1	
応用幾何	1	
波動現象の数理Ⅰ	1	

確率統計Ⅱ	1	
ネットワーク及び演習	2	
言語と計算Ⅰ	1	
最適化の数理Ⅰ	1	
確率モデル及び演習	2	
波動現象の数理Ⅱ	1	
確率統計Ⅲ	1	
言語と計算Ⅱ	1	
最適化の数理Ⅱ	1	
セミナーⅠ	4	
セミナーⅡ	2	
特別研究Ⅰ	2	
特別研究Ⅱ	6	
確率および統計・演習	2	
アルゴリズムとデータ構造Ⅰ・演習	2	
アルゴリズムとデータ構造Ⅱ・演習	1	
電子物性	1	
半導体デバイス工学	1	
光デバイス	1	
ナノエレクトロニクス工学	1	
伝送線路	1	
高周波電子回路	1	
組込みシステム	1	
統計的機械学習	1	
認知科学	1	
群知能	1	
画像情報処理	1	
データサイエンス	1	
電子材料	1	
パワーエレクトロニクス	1	
ニューラルネットワーク	1	

知能ロボット	1	
応用プログラミング・演習	1	
人工知能	1	
情報セキュリティ	1	
アナログ電子回路	2	
薄膜デバイス工学	2	
電子工学	2	
電磁波工学	1	
符号理論	2	
情報数学	1	
計算機制御・演習	1	
計測工学	1	
回路設計・演習	1	
結晶工学	2	
量子力学	2	
無線通信工学	2	
ディジタル信号処理・演習	2	
ネットワーク通信システム	2	
計算機アーキテクチャ	1	
材料力学Ⅰ	1	
流体工学Ⅰ	1	
材料力学Ⅱ	1	
流体工学Ⅱ	1	
振動工学Ⅰ	1	
材料力学Ⅲ	1	
基礎機械材料学	1	
粘性流体力学	1	
熱力学Ⅰ	1	
ディジタル電子制御Ⅰ	1	
機構学Ⅰ	1	
振動工学Ⅱ	1	

応用材料力学	1	
機械材料学	1	
航空流体力学	1	
熱力学Ⅱ	1	
ディジタル電子制御Ⅱ	1	
機構学Ⅱ	1	
弾性力学	1	
計算力学実習Ⅰ	1	
機械要素	1	
材料加工学	1	
航空・宇宙工学	1	
熱工学Ⅰ	1	
計測工学Ⅰ	1	
制御系設計論Ⅰ	1	
メカトロニクスⅠ	1	
ロボット実習	1	
構造力学	1	
機械設計	1	
機械加工学	1	
自動車工学	1	
熱工学Ⅱ	1	
計測工学Ⅱ	1	
制御系設計論Ⅱ	1	
メカトロニクスⅡ	1	
バイオメカニクス	1	
材料強度学Ⅰ	1	
伝熱工学Ⅰ	1	
ロボット工学Ⅰ	1	
解析力学	1	
材料強度学Ⅱ	1	
伝熱工学Ⅱ	1	

ロボット工学Ⅱ	1	
化学と社会	2	
資源・エネルギーと環境	2	
化学と安全管理	2	
生化学Ⅰ	1	
量子材料科学Ⅰ	1	
電気化学Ⅰ	1	
結晶学入門Ⅰ	1	
高分子化学Ⅰ	1	
アドバンスト機器分析化学Ⅰ	1	
分析化学	1	
生化学Ⅱ	1	
量子材料科学Ⅱ	1	
電気化学Ⅱ	1	
結晶学入門Ⅱ	1	
高分子化学Ⅱ	1	
機器分析化学	1	
アドバンスト機器分析化学Ⅱ	1	
化学工学	2	
アドバンスト環境化学Ⅰ	1	
循環系グリーンケミストリー	1	
半導体材料Ⅰ	1	
固体物性化学Ⅰ	1	
エネルギー変換工学Ⅰ	1	
医薬品のプロセス化学	1	
分子集合化学	1	
有機化合物スペクトル解析入門Ⅰ	1	
バイオミメティックス　生物に倣ったものづくり	1	
セラミックス材料工学Ⅰ	1	
界面化学	1	
食と分子科学	1	

半導体材料Ⅱ	1
固体物性化学Ⅱ	1
アドバンスト電気化学	1
エネルギー変換工学Ⅱ	1
有機化合物スペクトル解析入門Ⅱ	1
セラミックス材料工学Ⅱ	1
アドバンスト環境化学Ⅱ	1
バイオマテリアルⅠ	1
構造解析学	1
光化学Ⅰ	1
逆合成解析化学Ⅰ	1
高分子構造材料物性Ⅰ	1
高分子材料工学Ⅰ	1
ナノマテリアル	1
バイオマテリアルⅡ	1
光化学Ⅱ	1
逆合成解析化学Ⅱ	1
高分子構造材料物性Ⅱ	1
高分子材料工学Ⅱ	1
反応工学	1
ディジタル信号処理	2
仮想メディアシステム	2
情報とセキュリティ	2
システムソフトウェア	2
データベース	2
ヒューマンコンピュータインタラクション	2
コンピュータビジョン	2
多様なプログラミング言語	2
音声・音響メディア処理論	2
環境としての情報技術	2
言語メディア処理論	2

CGとVR	2	
ニューロとAI	2	
データインテリジェンス	2	
ネットワーク構成論	2	
画像メディア処理論	2	
ソフトウェア開発法	2	
応用アルゴリズム	2	
環境実習ＩA	1	
地域環境概論A	1	
生物学概論	2	
環境生態工学概論	2	
地球環境概論A	1	
地域環境概論B	1	
地球環境概論B	1	
生態学概論Ⅰ	1	
SDGs概論	1	
水環境科学	1	
里山の生態学	1	
大気環境科学	1	
進化学	1	
生物資源利用	1	
生態学概論Ⅱ	1	
化学工学Ⅰ	1	
気象学	1	
土木工学Ⅰ	1	
測量学及び演習	2	
環境実習ⅡA	1	
自然の浄化機構	1	
環境社会学	1	
環境倫理学	1	
社会調査法及び演習	2	

保全生態学	1	
環境経済学	1	
生理生態学	1	
環境調査	1	
化学工学Ⅱ	1	
製図学及び演習	2	
土木工学Ⅱ	1	
環境政策論	1	
環境移動現象論	1	
廃棄物管理学Ⅰ	1	
環境微生物学	1	
環境計測学	1	
先端技術	1	
燃焼工学	1	
廃棄物管理学Ⅱ	1	
水理学	1	
データサイエンス及び演習	1	
土壌地質学	1	
環境分析化学実験	1	
水域生態学	1	
排ガス処理工学	1	
空気調和工学	1	
資源循環論	1	
水環境施設実験	1	
廃棄物・大気環境施設実験	1	
水処理工学	1	
環境毒性学	1	
地理情報学	1	
資源管理学及び演習	1	
群集生態学	1	
水道工学	1	

水処理施設設計	1
環境アセスメントB	1
下水道工学	1
廃棄物処理施設設計	1
数値計算法基礎及び演習	1
環境アセスメントA	1
景観生態学	1
微生物生態学	1
応用生態学	1

② 知能情報メディア課程

授業科目	単位数
情報基礎	2
フレッシャーズセミナー	2
協定型インターンシップ	2
理工学のすすめ	2
ASEANグローバルプログラム	2
デザインシンキング	2
グローバル人材育成プログラム	2
プロジェクトリサーチⅠ	1
プロジェクトリサーチⅡ	2
理工インターンシップ（学外実習）Ⅰ	1
理工インターンシップ（学外実習）Ⅱ	2
メディア処理基礎	2
ネットワーク基礎	2
微分積分・演習	4
情報システム基礎	2
プログラミング基礎演習Ⅰ	2
プログラミング基礎演習Ⅱ	2
確率・統計	2
ディジタル信号処理	2
ソフトウェア基礎	2

知的財産概論	2
ハードウェア基礎	2
仮想メディアシステム	2
情報とセキュリティ	2
線形代数・演習	4
データ構造とアルゴリズム・演習	4
システムソフトウェア	2
情報学概論	2
人間工学概論	2
情報と職業	2
情報数学基礎	2
データベース	2
ディジタルクリエイティブ基礎	2
クラウドコンピューティング演習	2
ヒューマンコンピュータインタラクション	2
多様なプログラミング言語	2
コンピュータビジョン	2
知能情報メディア演習	4
音声・音響メディア処理論	2
環境としての情報技術	2
ニューロとAI	2
言語メディア処理論	2
CGとVR	2
データインテリジェンス	2
ネットワーク構成論	2
実践プログラミング・演習	2
科学技術計算・演習	2
画像メディア処理論	2
ソフトウェア開発法	2
応用アルゴリズム	2
ネットワークシステム・演習	4

コラボレーション演習	4	
知能情報メディアセミナー	2	
科学技術英語	2	
特別研究	6	
情報処理システムⅠ	2	
データ分析	2	
微分方程式Ⅰ	2	
物理と微分方程式及び演習	3	
プログラミング及び実習Ⅲ	3	
情報処理システムⅡ	2	
確率統計Ⅰ	2	
アルゴリズム及び演習Ⅰ	2	
シミュレーション及び演習	2	
アルゴリズム及び演習Ⅱ	2	
微分方程式Ⅱ	2	
質点系の力学	2	
多変量解析及び演習	3	
複素解析Ⅰ	1	
位相入門Ⅰ	1	
代数入門Ⅰ	1	
幾何入門	1	
現象の数理モデルⅠ	1	
拡散現象の数理Ⅰ	1	
確率モデル及び演習	2	
オブジェクト指向及び演習	2	
データ構造とアルゴリズムⅠ	1	
機械学習Ⅰ	1	
数理・情報科学の学びと社会	1	
複素解析Ⅱ	1	
位相入門Ⅱ	1	
代数入門Ⅱ	1	

ベクトル解析入門	1
現象の数理モデルⅡ	1
拡散現象の数理Ⅱ	1
グラフィックス及び演習	2
データ構造とアルゴリズムⅡ	1
機械学習Ⅱ	1
応用幾何	1
波動現象の数理Ⅰ	1
確率統計Ⅱ	1
ネットワーク及び演習	2
言語と計算Ⅰ	1
最適化の数理Ⅰ	1
波動現象の数理Ⅱ	1
確率統計Ⅲ	1
言語と計算Ⅱ	1
最適化の数理Ⅱ	1
確率および統計・演習	2
アルゴリズムとデータ構造Ⅰ・演習	2
アルゴリズムとデータ構造Ⅱ・演習	1
電子物性	1
半導体デバイス工学	1
光デバイス	1
ナノエレクトロニクス工学	1
伝送線路	1
高周波電子回路	1
組込みシステム	1
統計的機械学習	1
認知科学	1
群知能	1
画像情報処理	1
データサイエンス	1

電子材料	1	
パワーエレクトロニクス	1	
ニューラルネットワーク	1	
知能ロボット	1	
応用プログラミング・演習	1	
人工知能	1	
情報セキュリティ	1	
アナログ電子回路	2	
薄膜デバイス工学	2	
電子工学	2	
電磁波工学	1	
符号理論	2	
情報数学	1	
計算機制御・演習	1	
計測工学	1	
回路設計・演習	1	
結晶工学	2	
量子力学	2	
無線通信工学	2	
ディジタル信号処理・演習	2	
ネットワーク通信システム	2	
計算機アーキテクチャ	1	
材料力学Ⅰ	1	
流体工学Ⅰ	1	
材料力学Ⅱ	1	
流体工学Ⅱ	1	
振動工学Ⅰ	1	
材料力学Ⅲ	1	
基礎機械材料学	1	
粘性流体力学	1	
熱力学Ⅰ	1	

ディジタル電子制御Ⅰ	1	
機構学Ⅰ	1	
振動工学Ⅱ	1	
応用材料力学	1	
機械材料学	1	
航空流体力学	1	
熱力学Ⅱ	1	
ディジタル電子制御Ⅱ	1	
機構学Ⅱ	1	
弾性力学	1	
計算力学実習Ⅰ	1	
機械要素	1	
材料加工学	1	
航空・宇宙工学	1	
熱工学Ⅰ	1	
計測工学Ⅰ	1	
制御系設計論Ⅰ	1	
メカトロニクスⅠ	1	
ロボット実習	1	
構造力学	1	
機械設計	1	
機械加工学	1	
自動車工学	1	
熱工学Ⅱ	1	
計測工学Ⅱ	1	
制御系設計論Ⅱ	1	
メカトロニクスⅡ	1	
バイオメカニクス	1	
材料強度学Ⅰ	1	
伝熱工学Ⅰ	1	
ロボット工学Ⅰ	1	

解析力学	1	
材料強度学Ⅱ	1	
伝熱工学Ⅱ	1	
ロボット工学Ⅱ	1	
化学と社会	2	
資源・エネルギーと環境	2	
化学と安全管理	2	
生化学Ⅰ	1	
量子材料科学Ⅰ	1	
電気化学Ⅰ	1	
結晶学入門Ⅰ	1	
高分子化学Ⅰ	1	
アドバンスト機器分析化学Ⅰ	1	
分析化学	1	
生化学Ⅱ	1	
量子材料科学Ⅱ	1	
電気化学Ⅱ	1	
結晶学入門Ⅱ	1	
高分子化学Ⅱ	1	
機器分析化学	1	
アドバンスト機器分析化学Ⅱ	1	
化学工学	2	
アドバンスト環境化学Ⅰ	1	
循環系グリーンケミストリー	1	
半導体材料Ⅰ	1	
固体物性化学Ⅰ	1	
エネルギー変換工学Ⅰ	1	
医薬品のプロセス化学	1	
分子集合化学	1	
有機化合物スペクトル解析入門Ⅰ	1	
バイオミメティックス　生物に倣ったものづくり	1	

セラミックス材料工学Ⅰ	1
界面化学	1
食と分子科学	1
半導体材料Ⅱ	1
固体物性化学Ⅱ	1
アドバンスト電気化学	1
エネルギー変換工学Ⅱ	1
有機化合物スペクトル解析入門Ⅱ	1
セラミックス材料工学Ⅱ	1
アドバンスト環境化学Ⅱ	1
バイオマテリアルⅠ	1
構造解析学	1
光化学Ⅰ	1
逆合成解析化学Ⅰ	1
高分子構造材料物性Ⅰ	1
高分子材料工学Ⅰ	1
ナノマテリアル	1
バイオマテリアルⅡ	1
光化学Ⅱ	1
逆合成解析化学Ⅱ	1
高分子構造材料物性Ⅱ	1
高分子材料工学Ⅱ	1
反応工学	1
環境実習ＩA	1
地域環境概論A	1
生物学概論	2
環境生態工学概論	2
地球環境概論A	1
地域環境概論B	1
地球環境概論B	1
生態学概論Ⅰ	1

SDGs概論	1
水環境科学	1
里山の生態学	1
大気環境科学	1
進化学	1
生物資源利用	1
生態学概論Ⅱ	1
化学工学Ⅰ	1
気象学	1
土木工学Ⅰ	1
測量学及び演習	2
環境実習ⅡA	1
自然の浄化機構	1
環境社会学	1
環境倫理学	1
社会調査法及び演習	2
保全生態学	1
環境経済学	1
生理生態学	1
環境調査	1
化学工学Ⅱ	1
製図学及び演習	2
土木工学Ⅱ	1
環境政策論	1
環境移動現象論	1
廃棄物管理学Ⅰ	1
環境微生物学	1
環境計測学	1
先端技術	1
燃焼工学	1
廃棄物管理学Ⅱ	1

水理学	1
データサイエンス及び演習	1
土壌地質学	1
環境分析化学実験	1
水域生態学	1
排ガス処理工学	1
空気調和工学	1
資源循環論	1
水環境施設実験	1
廃棄物・大気環境施設実験	1
水処理工学	1
環境毒性学	1
地理情報学	1
資源管理学及び演習	1
群集生態学	1
水道工学	1
水処理施設設計	1
環境アセスメントB	1
下水道工学	1
廃棄物処理施設設計	1
数値計算法基礎及び演習	1
環境アセスメントA	1
景観生態学	1
微生物生態学	1
応用生態学	1

③　電子情報通信課程

授業科目	単位数
情報基礎	2
フレッシャーズセミナー	2
協定型インターンシップ	2
理工学のすすめ	2

ASEANグローバルプログラム	2	
デザインシンキング	2	
グローバル人材育成プログラム	2	
プロジェクトリサーチⅠ	1	
プロジェクトリサーチⅡ	2	
理工インターンシップ（学外実習）Ⅰ	1	
理工インターンシップ（学外実習）Ⅱ	2	
基礎数学Ⅰ・演習	2	
情報通信基礎	2	
計算機実習Ⅰ	1	
基礎数学Ⅱ・演習	2	
理数基礎Ⅰ・演習	2	
基礎セミナー	2	
線形代数学Ⅰ・演習	2	
微分積分学Ⅰ・演習	2	
電気回路基礎・演習	2	
電子回路基礎・演習	1	
微分積分学Ⅱ・演習	2	
計算機実習Ⅱ	1	
理数基礎Ⅱ・演習	2	
線形代数学Ⅱ・演習	2	
プログラミング法Ⅰ・演習	2	
計算機システム基礎	2	
ベクトル解析Ⅰ・演習	2	
確率および統計・演習	2	
物理・演習	1	
プログラミング法Ⅱ・演習	1	
ディジタル論理	2	
電子情報通信実験Ⅰ	2	
電気回路応用・演習	1	
電磁気学基礎・演習	2	

アルゴリズムとデータ構造Ⅰ・演習	2	
ベクトル解析Ⅱ・演習	1	
フーリエ解析	1	
電子回路応用・演習	1	
電磁気学応用・演習	1	
通信工学基礎	2	
アルゴリズムとデータ構造Ⅱ・演習	1	
微分方程式とフーリエ変換	1	
電子情報通信実験Ⅱ	2	
特別講義	2	
職業指導	4	
ディジタルクリエイティブ基礎	2	
クラウドコンピューティング演習	2	
電子物性	1	
半導体デバイス工学	1	
統計的機械学習	1	
認知科学	1	
光デバイス	1	
ナノエレクトロニクス工学	1	
高周波電子回路	1	
伝送線路	1	
組込みシステム	1	
群知能	1	
画像情報処理	1	
データサイエンス	1	
電子材料	1	
知能ロボット	1	
人工知能	1	
情報セキュリティ	1	
ニューラルネットワーク	1	
パワーエレクトロニクス	1	

応用プログラミング・演習	1
情報数学	1
薄膜デバイス工学	2
電子工学	2
電磁波工学	1
符号理論	2
アナログ電子回路	2
計算機制御・演習	1
ディジタル信号処理・演習	2
計測工学	1
ネットワーク通信システム	2
回路設計・演習	1
結晶工学	2
量子力学	2
無線通信工学	2
計算機アーキテクチャ	1
専門基礎研究	2
応用セミナー	2
科学技術英語	2
特別研究	6
情報処理システムⅠ	2
データ分析	2
微分方程式Ⅰ	2
物理と微分方程式及び演習	3
プログラミング及び実習Ⅲ	3
情報処理システムⅡ	2
確率統計Ⅰ	2
アルゴリズム及び演習Ⅰ	2
シミュレーション及び演習	2
アルゴリズム及び演習Ⅱ	2
微分方程式Ⅱ	2

質点系の力学	2	
多変量解析及び演習	3	
複素解析Ⅰ	1	
位相入門Ⅰ	1	
代数入門Ⅰ	1	
幾何入門	1	
現象の数理モデルⅠ	1	
拡散現象の数理Ⅰ	1	
確率モデル及び演習	2	
オブジェクト指向及び演習	2	
データ構造とアルゴリズムⅠ	1	
機械学習Ⅰ	1	
数理・情報科学の学びと社会	1	
複素解析Ⅱ	1	
位相入門Ⅱ	1	
代数入門Ⅱ	1	
ベクトル解析入門	1	
現象の数理モデルⅡ	1	
拡散現象の数理Ⅱ	1	
グラフィックス及び演習	2	
データ構造とアルゴリズムⅡ	1	
機械学習Ⅱ	1	
応用幾何	1	
波動現象の数理Ⅰ	1	
確率統計Ⅱ	1	
ネットワーク及び演習	2	
言語と計算Ⅰ	1	
最適化の数理Ⅰ	1	
波動現象の数理Ⅱ	1	
確率統計Ⅲ	1	
言語と計算Ⅱ	1	

最適化の数理Ⅱ	1
材料力学Ⅰ	1
流体工学Ⅰ	1
材料力学Ⅱ	1
流体工学Ⅱ	1
振動工学Ⅰ	1
材料力学Ⅲ	1
基礎機械材料学	1
粘性流体力学	1
熱力学Ⅰ	1
ディジタル電子制御Ⅰ	1
機構学Ⅰ	1
振動工学Ⅱ	1
応用材料力学	1
機械材料学	1
航空流体力学	1
熱力学Ⅱ	1
ディジタル電子制御Ⅱ	1
機構学Ⅱ	1
弾性力学	1
計算力学実習Ⅰ	1
機械要素	1
材料加工学	1
航空・宇宙工学	1
熱工学Ⅰ	1
計測工学Ⅰ	1
制御系設計論Ⅰ	1
メカトロニクスⅠ	1
ロボット実習	1
構造力学	1
機械設計	1

機械加工学	1	
自動車工学	1	
熱工学Ⅱ	1	
計測工学Ⅱ	1	
制御系設計論Ⅱ	1	
メカトロニクスⅡ	1	
バイオメカニクス	1	
材料強度学Ⅰ	1	
伝熱工学Ⅰ	1	
ロボット工学Ⅰ	1	
解析力学	1	
材料強度学Ⅱ	1	
伝熱工学Ⅱ	1	
ロボット工学Ⅱ	1	
化学と社会	2	
資源・エネルギーと環境	2	
化学と安全管理	2	
生化学Ⅰ	1	
量子材料科学Ⅰ	1	
電気化学Ⅰ	1	
結晶学入門Ⅰ	1	
高分子化学Ⅰ	1	
アドバンスト機器分析化学Ⅰ	1	
分析化学	1	
生化学Ⅱ	1	
量子材料科学Ⅱ	1	
電気化学Ⅱ	1	
結晶学入門Ⅱ	1	
高分子化学Ⅱ	1	
機器分析化学	1	
アドバンスト機器分析化学Ⅱ	1	

化学工学	2
アドバンスト環境化学Ⅰ	1
循環系グリーンケミストリー	1
半導体材料Ⅰ	1
固体物性化学Ⅰ	1
エネルギー変換工学Ⅰ	1
医薬品のプロセス化学	1
分子集合化学	1
有機化合物スペクトル解析入門Ⅰ	1
バイオミメティックス　生物に倣ったものづくり	1
セラミックス材料工学Ⅰ	1
界面化学	1
食と分子科学	1
半導体材料Ⅱ	1
固体物性化学Ⅱ	1
アドバンスト電気化学	1
エネルギー変換工学Ⅱ	1
有機化合物スペクトル解析入門Ⅱ	1
セラミックス材料工学Ⅱ	1
アドバンスト環境化学Ⅱ	1
バイオマテリアルⅠ	1
構造解析学	1
光化学Ⅰ	1
逆合成解析化学Ⅰ	1
高分子構造材料物性Ⅰ	1
高分子材料工学Ⅰ	1
ナノマテリアル	1
バイオマテリアルⅡ	1
光化学Ⅱ	1
逆合成解析化学Ⅱ	1
高分子構造材料物性Ⅱ	1

高分子材料工学Ⅱ	1	
反応工学	1	
ディジタル信号処理	2	
仮想メディアシステム	2	
情報とセキュリティ	2	
システムソフトウェア	2	
データベース	2	
ヒューマンコンピュータインタラクション	2	
コンピュータビジョン	2	
多様なプログラミング言語	2	
音声・音響メディア処理論	2	
環境としての情報技術	2	
言語メディア処理論	2	
CGとVR	2	
ニューロとAI	2	
データインテリジェンス	2	
ネットワーク構成論	2	
画像メディア処理論	2	
ソフトウェア開発法	2	
応用アルゴリズム	2	
環境実習ＩA	1	
地域環境概論A	1	
生物学概論	2	
環境生態工学概論	2	
地球環境概論A	1	
地域環境概論B	1	
地球環境概論B	1	
生態学概論Ⅰ	1	
SDGs概論	1	
水環境科学	1	
里山の生態学	1	

大気環境科学	1	
進化学	1	
生物資源利用	1	
生態学概論Ⅱ	1	
化学工学Ⅰ	1	
気象学	1	
土木工学Ⅰ	1	
測量学及び演習	2	
環境実習ⅡA	1	
自然の浄化機構	1	
環境社会学	1	
環境倫理学	1	
社会調査法及び演習	2	
保全生態学	1	
環境経済学	1	
生理生態学	1	
環境調査	1	
化学工学Ⅱ	1	
製図学及び演習	2	
土木工学Ⅱ	1	
環境政策論	1	
環境移動現象論	1	
廃棄物管理学Ⅰ	1	
環境微生物学	1	
環境計測学	1	
先端技術	1	
燃焼工学	1	
廃棄物管理学Ⅱ	1	
水理学	1	
データサイエンス及び演習	1	
土壌地質学	1	

環境分析化学実験	1
水域生態学	1
排ガス処理工学	1
空気調和工学	1
資源循環論	1
水環境施設実験	1
廃棄物・大気環境施設実験	1
水処理工学	1
環境毒性学	1
地理情報学	1
資源管理学及び演習	1
群集生態学	1
水道工学	1
水処理施設設計	1
環境アセスメントB	1
下水道工学	1
廃棄物処理施設設計	1
数値計算法基礎及び演習	1
環境アセスメントA	1
景観生態学	1
微生物生態学	1
応用生態学	1

④　機械工学・ロボティクス課程

授業科目	単位数
情報基礎	2
フレッシャーズセミナー	2
協定型インターンシップ	2
理工学のすすめ	2
ASEANグローバルプログラム	2
デザインシンキング	2
グローバル人材育成プログラム	2

プロジェクトリサーチⅠ	1	
プロジェクトリサーチⅡ	2	
理工インターンシップ（学外実習）Ⅰ	1	
理工インターンシップ（学外実習）Ⅱ	2	
微分積分	1	
基礎力学Ⅰ	1	
微分方程式	1	
基礎力学Ⅱ	1	
機械工学・ロボティクス入門	1	
数学・物理学演習Ⅰ	1	
偏微分	1	
線形代数Ⅰ	1	
力学Ⅰ	1	
重積分	1	
線形代数Ⅱ	1	
力学Ⅱ	1	
数学・物理学演習Ⅱ	1	
物理実験	2	
職業指導	4	
ディジタルクリエイティブ基礎	2	
クラウドコンピューティング演習	2	
確率・統計Ⅰ	1	
フーリエ変換	1	
電磁気学Ⅰ	1	
機械力学Ⅰ	1	
材料力学Ⅰ	1	
流体工学Ⅰ	1	
アナログ電子制御Ⅰ	1	
確率・統計Ⅱ	1	
ラプラス変換	1	
電磁気学Ⅱ	1	

機械力学Ⅱ	1	
材料力学Ⅱ	1	
流体工学Ⅱ	1	
アナログ電子制御Ⅱ	1	
計算機プログラミング実習	2	
機械製図Ⅰ	2	
ベクトル解析	1	
振動工学Ⅰ	1	
材料力学Ⅲ	1	
粘性流体力学	1	
熱力学Ⅰ	1	
ディジタル電子制御Ⅰ	1	
制御工学Ⅰ	1	
機構学Ⅰ	1	
基礎機械材料学	1	
複素解析	1	
振動工学Ⅱ	1	
応用材料力学	1	
航空流体力学	1	
熱力学Ⅱ	1	
ディジタル電子制御Ⅱ	1	
制御工学Ⅱ	1	
機構学Ⅱ	1	
機械材料学	1	
計算機応用実習	2	
機械工学基礎実験	2	
機械製図Ⅱ	2	
計測工学Ⅰ	1	
弾性力学	1	
航空・宇宙工学	1	
熱工学Ⅰ	1	

制御系設計論Ⅰ	1	
計算力学実習Ⅰ	1	
機械工学・ロボティクス実験	1	
機械要素	1	
メカトロニクスⅠ	1	
先進材料プロセス学	1	
材料加工学	1	
材料力学実習	1	
ロボット実習	1	
熱・流体実習	1	
計測工学Ⅱ	1	
構造力学	1	
自動車工学	1	
熱工学Ⅱ	1	
制御系設計論Ⅱ	1	
計算力学実習Ⅱ	1	
機械設計	1	
メカトロニクスⅡ	1	
先進材料工学	1	
機械加工学	1	
材料力学・機械力学演習	1	
電子・制御演習	1	
バイオメカニクス	1	
材料強度学Ⅰ	1	
伝熱工学Ⅰ	1	
システム工学Ⅰ	1	
ロボット工学Ⅰ	1	
熱・流体演習	1	
解析力学	1	
材料強度学Ⅱ	1	
伝熱工学Ⅱ	1	

システム工学Ⅱ	1
ロボット工学Ⅱ	1
設計製図	2
セミナー	2
科学技術英語	2
特別研究	6
情報処理システムⅠ	2
データ分析	2
微分方程式Ⅰ	2
物理と微分方程式及び演習	3
プログラミング及び実習Ⅲ	3
情報処理システムⅡ	2
確率統計Ⅰ	2
アルゴリズム及び演習Ⅰ	2
シミュレーション及び演習	2
アルゴリズム及び演習Ⅱ	2
微分方程式Ⅱ	2
質点系の力学	2
多変量解析及び演習	3
複素解析Ⅰ	1
位相入門Ⅰ	1
代数入門Ⅰ	1
幾何入門	1
現象の数理モデルⅠ	1
拡散現象の数理Ⅰ	1
確率モデル及び演習	2
オブジェクト指向及び演習	2
データ構造とアルゴリズムⅠ	1
機械学習Ⅰ	1
数理・情報科学の学びと社会	1
複素解析Ⅱ	1

位相入門Ⅱ	1
代数入門Ⅱ	1
ベクトル解析入門	1
現象の数理モデルⅡ	1
拡散現象の数理Ⅱ	1
グラフィックス及び演習	2
データ構造とアルゴリズムⅡ	1
機械学習Ⅱ	1
応用幾何	1
波動現象の数理Ⅰ	1
確率統計Ⅱ	1
ネットワーク及び演習	2
言語と計算Ⅰ	1
最適化の数理Ⅰ	1
波動現象の数理Ⅱ	1
確率統計Ⅲ	1
言語と計算Ⅱ	1
最適化の数理Ⅱ	1
確率および統計・演習	2
アルゴリズムとデータ構造Ⅰ・演習	2
アルゴリズムとデータ構造Ⅱ・演習	1
電子物性	1
半導体デバイス工学	1
光デバイス	1
ナノエレクトロニクス工学	1
伝送線路	1
高周波電子回路	1
組込みシステム	1
統計的機械学習	1
認知科学	1
群知能	1

画像情報処理	1
データサイエンス	1
電子材料	1
パワーエレクトロニクス	1
ニューラルネットワーク	1
知能ロボット	1
応用プログラミング・演習	1
人工知能	1
情報セキュリティ	1
アナログ電子回路	2
薄膜デバイス工学	2
電子工学	2
電磁波工学	1
符号理論	2
情報数学	1
計算機制御・演習	1
計測工学	1
回路設計・演習	1
結晶工学	2
量子力学	2
無線通信工学	2
ディジタル信号処理・演習	2
ネットワーク通信システム	2
計算機アーキテクチャ	1
化学と社会	2
資源・エネルギーと環境	2
化学と安全管理	2
生化学 I	1
量子材料科学 I	1
電気化学 I	1
結晶学入門 I	1

高分子化学Ⅰ	1
アドバンスト機器分析化学Ⅰ	1
分析化学	1
生化学Ⅱ	1
量子材料科学Ⅱ	1
電気化学Ⅱ	1
結晶学入門Ⅱ	1
高分子化学Ⅱ	1
機器分析化学	1
アドバンスト機器分析化学Ⅱ	1
化学工学	2
アドバンスト環境化学Ⅰ	1
循環系グリーンケミストリー	1
半導体材料Ⅰ	1
固体物性化学Ⅰ	1
エネルギー変換工学Ⅰ	1
医薬品のプロセス化学	1
分子集合化学	1
有機化合物スペクトル解析入門Ⅰ	1
バイオミメティックス　生物に倣ったものづくり	1
セラミックス材料工学Ⅰ	1
界面化学	1
食と分子科学	1
半導体材料Ⅱ	1
固体物性化学Ⅱ	1
アドバンスト電気化学	1
エネルギー変換工学Ⅱ	1
有機化合物スペクトル解析入門Ⅱ	1
セラミックス材料工学Ⅱ	1
アドバンスト環境化学Ⅱ	1
バイオマテリアルⅠ	1

構造解析学	1
光化学Ⅰ	1
逆合成解析化学Ⅰ	1
高分子構造材料物性Ⅰ	1
高分子材料工学Ⅰ	1
ナノマテリアル	1
バイオマテリアルⅡ	1
光化学Ⅱ	1
逆合成解析化学Ⅱ	1
高分子構造材料物性Ⅱ	1
高分子材料工学Ⅱ	1
反応工学	1
ディジタル信号処理	2
仮想メディアシステム	2
情報とセキュリティ	2
システムソフトウェア	2
データベース	2
ヒューマンコンピュータインタラクション	2
コンピュータビジョン	2
多様なプログラミング言語	2
音声・音響メディア処理論	2
環境としての情報技術	2
言語メディア処理論	2
CGとVR	2
ニューロとAI	2
データインテリジェンス	2
ネットワーク構成論	2
画像メディア処理論	2
ソフトウェア開発法	2
応用アルゴリズム	2
環境実習ＩA	1

地域環境概論A	1
生物学概論	2
環境生態工学概論	2
地球環境概論A	1
地域環境概論B	1
地球環境概論B	1
生態学概論Ⅰ	1
SDGs概論	1
水環境科学	1
里山の生態学	1
大気環境科学	1
進化学	1
生物資源利用	1
生態学概論Ⅱ	1
化学工学Ⅰ	1
気象学	1
土木工学Ⅰ	1
測量学及び演習	2
環境実習ⅡA	1
自然の浄化機構	1
環境社会学	1
環境倫理学	1
社会調査法及び演習	2
保全生態学	1
環境経済学	1
生理生態学	1
環境調査	1
化学工学Ⅱ	1
製図学及び演習	2
土木工学Ⅱ	1
環境政策論	1

環境移動現象論	1	
廃棄物管理学Ⅰ	1	
環境微生物学	1	
環境計測学	1	
先端技術	1	
燃焼工学	1	
廃棄物管理学Ⅱ	1	
水理学	1	
データサイエンス及び演習	1	
土壌地質学	1	
水域生態学	1	
環境分析化学実験	1	
空気調和工学	1	
資源循環論	1	
水環境施設実験	1	
廃棄物・大気環境施設実験	1	
水処理工学	1	
環境毒性学	1	
地理情報学	1	
資源管理学及び演習	1	
群集生態学	1	
排ガス処理工学	1	
水処理施設設計	1	
環境アセスメントB	1	
水道工学	1	
廃棄物処理施設設計	1	
数値計算法基礎及び演習	1	
環境アセスメントA	1	
下水道工学	1	
景観生態学	1	
微生物生態学	1	

応用生態学	1

⑤　応用化学課程

授業科目	単位数
情報基礎	2
フレッシャーズセミナー	2
協定型インターンシップ	2
理工学のすすめ	2
ASEANグローバルプログラム	2
デザインシンキング	2
グローバル人材育成プログラム	2
プロジェクトリサーチⅠ	1
プロジェクトリサーチⅡ	2
理工インターンシップ（学外実習）Ⅰ	1
理工インターンシップ（学外実習）Ⅱ	2
化学と社会	2
数学の基礎	2
化学の基礎	2
プロジェクト演習Ⅰ	2
資源・エネルギーと環境	2
物理の基礎	2
化学基礎実験	2
物理化学Ⅰ	2
有機化学Ⅰ	2
無機化学Ⅰ	2
物理基礎実験	2
物理化学実験	1
機器分析化学実験	1
物理化学Ⅱ	2
有機化学Ⅱ	2
無機化学Ⅱ	2
化学と安全管理	2

化学と情報処理	2	
地学概論	2	
生物学概論	2	
プロジェクト演習Ⅱ	2	
物理化学Ⅲ	2	
地学実験	2	
生物学実験	2	
化学の英語	2	
化学合成実験	2	
ディジタルクリエイティブ基礎	2	
クラウドコンピューティング演習	2	
アドバンスト数学Ⅰ	1	
アドバンスト物理Ⅰ	1	
アドバンスト数学Ⅱ	1	
アドバンスト物理Ⅱ	1	
アドバンスト数学Ⅲ	1	
アドバンスト物理Ⅲ	1	
分析化学	1	
量子材料科学Ⅰ	1	
電気化学Ⅰ	1	
生化学Ⅰ	1	
結晶学入門Ⅰ	1	
高分子化学Ⅰ	1	
アドバンスト機器分析化学Ⅰ	1	
アドバンスト数学Ⅳ	1	
アドバンスト物理Ⅳ	1	
機器分析化学	1	
量子材料科学Ⅱ	1	
電気化学Ⅱ	1	
生化学Ⅱ	1	
結晶学入門Ⅱ	1	

高分子化学Ⅱ	1	
アドバンスト機器分析化学Ⅱ	1	
化学工学	2	
半導体材料Ⅰ	1	
固体物性化学Ⅰ	1	
エネルギー変換工学Ⅰ	1	
医薬品のプロセス化学	1	
分子集合化学	1	
有機化合物スペクトル解析入門Ⅰ	1	
バイオミメティックス　生物に倣ったものづくり	1	
セラミックス材料工学Ⅰ	1	
界面化学	1	
アドバンスト環境化学Ⅰ	1	
循環系グリーンケミストリー	1	
食と分子科学	1	
アドバンスト物質科学合成実験	2	
半導体材料Ⅱ	1	
固体物性化学Ⅱ	1	
アドバンスト電気化学	1	
エネルギー変換工学Ⅱ	1	
有機化合物スペクトル解析入門Ⅱ	1	
セラミックス材料工学Ⅱ	1	
アドバンスト環境化学Ⅱ	1	
構造解析学	1	
バイオマテリアルⅠ	1	
光化学Ⅰ	1	
逆合成解析化学Ⅰ	1	
高分子構造材料物性Ⅰ	1	
高分子材料工学Ⅰ	1	
ナノマテリアル	1	
バイオマテリアルⅡ	1	

光化学Ⅱ	1
逆合成解析化学Ⅱ	1
高分子構造材料物性Ⅱ	1
高分子材料工学Ⅱ	1
反応工学	1
研究デザイン演習	2
科学技術英語	2
英語セミナー	2
特別研究	10
情報処理システムⅠ	2
データ分析	2
微分方程式Ⅰ	2
物理と微分方程式及び演習	3
プログラミング及び実習Ⅲ	3
情報処理システムⅡ	2
確率統計Ⅰ	2
アルゴリズム及び演習Ⅰ	2
シミュレーション及び演習	2
アルゴリズム及び演習Ⅱ	2
微分方程式Ⅱ	2
質点系の力学	2
多変量解析及び演習	3
複素解析Ⅰ	1
位相入門Ⅰ	1
代数入門Ⅰ	1
幾何入門	1
現象の数理モデルⅠ	1
拡散現象の数理Ⅰ	1
確率モデル及び演習	2
オブジェクト指向及び演習	2
データ構造とアルゴリズムⅠ	1

機械学習Ⅰ	1	
数理・情報科学の学びと社会	1	
複素解析Ⅱ	1	
位相入門Ⅱ	1	
代数入門Ⅱ	1	
ベクトル解析入門	1	
現象の数理モデルⅡ	1	
拡散現象の数理Ⅱ	1	
グラフィックス及び演習	2	
データ構造とアルゴリズムⅡ	1	
機械学習Ⅱ	1	
応用幾何	1	
波動現象の数理Ⅰ	1	
確率統計Ⅱ	1	
ネットワーク及び演習	2	
言語と計算Ⅰ	1	
最適化の数理Ⅰ	1	
波動現象の数理Ⅱ	1	
確率統計Ⅲ	1	
言語と計算Ⅱ	1	
最適化の数理Ⅱ	1	
確率および統計・演習	2	
アルゴリズムとデータ構造Ⅰ・演習	2	
アルゴリズムとデータ構造Ⅱ・演習	1	
電子物性	1	
半導体デバイス工学	1	
光デバイス	1	
ナノエレクトロニクス工学	1	
伝送線路	1	
高周波電子回路	1	
組込みシステム	1	

統計的機械学習	1
認知科学	1
群知能	1
画像情報処理	1
データサイエンス	1
電子材料	1
パワーエレクトロニクス	1
ニューラルネットワーク	1
知能ロボット	1
応用プログラミング・演習	1
人工知能	1
情報セキュリティ	1
アナログ電子回路	2
薄膜デバイス工学	2
電子工学	2
電磁波工学	1
符号理論	2
情報数学	1
計算機制御・演習	1
計測工学	1
回路設計・演習	1
結晶工学	2
量子力学	2
無線通信工学	2
ディジタル信号処理・演習	2
ネットワーク通信システム	2
計算機アーキテクチャ	1
材料力学Ⅰ	1
流体工学Ⅰ	1
材料力学Ⅱ	1
流体工学Ⅱ	1

振動工学Ⅰ	1	
材料力学Ⅲ	1	
基礎機械材料学	1	
粘性流体力学	1	
熱力学Ⅰ	1	
ディジタル電子制御Ⅰ	1	
機構学Ⅰ	1	
振動工学Ⅱ	1	
応用材料力学	1	
機械材料学	1	
航空流体力学	1	
熱力学Ⅱ	1	
ディジタル電子制御Ⅱ	1	
機構学Ⅱ	1	
弾性力学	1	
計算力学実習Ⅰ	1	
機械要素	1	
材料加工学	1	
航空・宇宙工学	1	
熱工学Ⅰ	1	
計測工学Ⅰ	1	
制御系設計論Ⅰ	1	
メカトロニクスⅠ	1	
ロボット実習	1	
構造力学	1	
機械設計	1	
機械加工学	1	
自動車工学	1	
熱工学Ⅱ	1	
計測工学Ⅱ	1	
制御系設計論Ⅱ	1	

メカトロニクスⅡ	1	
バイオメカニクス	1	
材料強度学Ⅰ	1	
伝熱工学Ⅰ	1	
ロボット工学Ⅰ	1	
解析力学	1	
材料強度学Ⅱ	1	
伝熱工学Ⅱ	1	
ロボット工学Ⅱ	1	
ディジタル信号処理	2	
仮想メディアシステム	2	
情報とセキュリティ	2	
システムソフトウェア	2	
データベース	2	
ヒューマンコンピュータインタラクション	2	
コンピュータビジョン	2	
多様なプログラミング言語	2	
音声・音響メディア処理論	2	
環境としての情報技術	2	
言語メディア処理論	2	
CGとVR	2	
ニューロとAI	2	
データインテリジェンス	2	
ネットワーク構成論	2	
画像メディア処理論	2	
ソフトウェア開発法	2	
応用アルゴリズム	2	
環境実習ＩA	1	
地域環境概論A	1	
環境生態工学概論	2	
地球環境概論A	1	

地域環境概論B	1	
地球環境概論B	1	
生態学概論Ⅰ	1	
SDGs概論	1	
水環境科学	1	
里山の生態学	1	
大気環境科学	1	
進化学	1	
生物資源利用	1	
生態学概論Ⅱ	1	
化学工学Ⅰ	1	
気象学	1	
土木工学Ⅰ	1	
測量学及び演習	2	
環境実習ⅡA	1	
自然の浄化機構	1	
環境社会学	1	
環境倫理学	1	
社会調査法及び演習	2	
保全生態学	1	
環境経済学	1	
生理生態学	1	
環境調査	1	
化学工学Ⅱ	1	
製図学及び演習	2	
土木工学Ⅱ	1	
環境政策論	1	
環境移動現象論	1	
廃棄物管理学Ⅰ	1	
環境微生物学	1	
環境計測学	1	

先端技術	1
燃焼工学	1
廃棄物管理学Ⅱ	1
水理学	1
データサイエンス及び演習	1
土壌地質学	1
環境分析化学実験	1
水域生態学	1
排ガス処理工学	1
空気調和工学	1
資源循環論	1
水環境施設実験	1
廃棄物・大気環境施設実験	1
水処理工学	1
環境毒性学	1
地理情報学	1
資源管理学及び演習	1
群集生態学	1
水道工学	1
水処理施設設計	1
環境アセスメントB	1
下水道工学	1
廃棄物処理施設設計	1
数値計算法基礎及び演習	1
環境アセスメントA	1
景観生態学	1
微生物生態学	1
応用生態学	1

⑥　環境生態工学課程

授業科目	単位数
情報基礎	2

フレッシャーズセミナー	2	
協定型インターンシップ	2	
理工学のすすめ	2	
ASEANグローバルプログラム	2	
デザインシンキング	2	
グローバル人材育成プログラム	2	
プロジェクトリサーチⅠ	1	
プロジェクトリサーチⅡ	2	
理工インターンシップ（学外実習）Ⅰ	1	
理工インターンシップ（学外実習）Ⅱ	2	
環境実習ⅠA	1	
地域環境概論A	1	
生物学概論	2	
地学概論	2	
地学実験	2	
環境生態工学概論	2	
数学概論	2	
化学概論	2	
地域環境概論B	1	
地球環境概論A	1	
地球環境概論B	1	
生態学概論Ⅰ	1	
物理学概論	2	
生物学実験	2	
環境寄席	2	
生態学概論Ⅱ	1	
物理実験	2	
化学実験	2	
ディジタルクリエイティブ基礎	2	
クラウドコンピューティング演習	2	
SDGs概論	1	

水環境科学	1
里山の生態学	1
大気環境科学	1
進化学	1
生物資源利用	1
化学工学Ⅰ	1
土木工学Ⅰ	1
測量学及び演習	2
環境社会学	1
環境倫理学	1
環境経済学	1
気象学	1
環境調査	1
社会調査法及び演習	2
保全生態学	1
生理生態学	1
環境実習ⅡA	1
自然の浄化機構	1
化学工学Ⅱ	1
製図学及び演習	2
土木工学Ⅱ	1
環境政策論	1
環境移動現象論	1
環境微生物学	1
廃棄物管理学Ⅰ	1
環境計測学	1
先端技術	1
数理生態学	1
燃焼工学	1
廃棄物管理学Ⅱ	1
水理学	1

データサイエンス及び演習	1	
土壌地質学	1	
個体群生態学	1	
水域生態学	1	
森林生態学	1	
環境分析化学実験	1	
環境毒性学	1	
排ガス処理工学	1	
空気調和工学	1	
資源循環論	1	
地理情報学	1	
資源管理学及び演習	1	
群集生態学	1	
水環境施設実験	1	
環境実習ⅢA	1	
廃棄物・大気環境施設実験	1	
水処理工学	1	
水道工学	1	
水処理施設設計	1	
環境アセスメントB	1	
生態系生態学	1	
下水道工学	1	
廃棄物処理施設設計	1	
環境アセスメントA	1	
数値計算法基礎及び演習	1	
景観生態学	1	
微生物生態学	1	
応用生態学	1	
セミナーⅠ	2	
セミナーⅡ	2	
セミナーⅢ	2	

特別研究	6	
情報処理システムⅠ	2	
データ分析	2	
微分方程式Ⅰ	2	
物理と微分方程式及び演習	3	
プログラミング及び実習Ⅲ	3	
情報処理システムⅡ	2	
確率統計Ⅰ	2	
アルゴリズム及び演習Ⅰ	2	
シミュレーション及び演習	2	
アルゴリズム及び演習Ⅱ	2	
微分方程式Ⅱ	2	
質点系の力学	2	
多変量解析及び演習	3	
複素解析Ⅰ	1	
位相入門Ⅰ	1	
代数入門Ⅰ	1	
幾何入門	1	
現象の数理モデルⅠ	1	
拡散現象の数理Ⅰ	1	
確率モデル及び演習	2	
オブジェクト指向及び演習	2	
データ構造とアルゴリズムⅠ	1	
機械学習Ⅰ	1	
数理・情報科学の学びと社会	1	
複素解析Ⅱ	1	
位相入門Ⅱ	1	
代数入門Ⅱ	1	
ベクトル解析入門	1	
現象の数理モデルⅡ	1	
拡散現象の数理Ⅱ	1	

グラフィックス及び演習	2	
データ構造とアルゴリズムⅡ	1	
機械学習Ⅱ	1	
応用幾何	1	
波動現象の数理Ⅰ	1	
確率統計Ⅱ	1	
ネットワーク及び演習	2	
言語と計算Ⅰ	1	
最適化の数理Ⅰ	1	
波動現象の数理Ⅱ	1	
確率統計Ⅲ	1	
言語と計算Ⅱ	1	
最適化の数理Ⅱ	1	
確率および統計・演習	2	
アルゴリズムとデータ構造Ⅰ・演習	2	
アルゴリズムとデータ構造Ⅱ・演習	1	
電子物性	1	
半導体デバイス工学	1	
光デバイス	1	
ナノエレクトロニクス工学	1	
伝送線路	1	
高周波電子回路	1	
組込みシステム	1	
統計的機械学習	1	
認知科学	1	
群知能	1	
画像情報処理	1	
データサイエンス	1	
電子材料	1	
パワーエレクトロニクス	1	
ニューラルネットワーク	1	

知能ロボット	1
応用プログラミング・演習	1
人工知能	1
情報セキュリティ	1
アナログ電子回路	2
薄膜デバイス工学	2
電子工学	2
電磁波工学	1
符号理論	2
情報数学	1
計算機制御・演習	1
計測工学	1
回路設計・演習	1
結晶工学	2
量子力学	2
無線通信工学	2
ディジタル信号処理・演習	2
ネットワーク通信システム	2
計算機アーキテクチャ	1
材料力学Ⅰ	1
流体工学Ⅰ	1
材料力学Ⅱ	1
流体工学Ⅱ	1
振動工学Ⅰ	1
材料力学Ⅲ	1
基礎機械材料学	1
粘性流体力学	1
熱力学Ⅰ	1
ディジタル電子制御Ⅰ	1
機構学Ⅰ	1
振動工学Ⅱ	1

応用材料力学	1	
機械材料学	1	
航空流体力学	1	
熱力学Ⅱ	1	
ディジタル電子制御Ⅱ	1	
機構学Ⅱ	1	
弾性力学	1	
計算力学実習Ⅰ	1	
機械要素	1	
材料加工学	1	
航空・宇宙工学	1	
熱工学Ⅰ	1	
計測工学Ⅰ	1	
制御系設計論Ⅰ	1	
メカトロニクスⅠ	1	
ロボット実習	1	
構造力学	1	
機械設計	1	
機械加工学	1	
自動車工学	1	
熱工学Ⅱ	1	
計測工学Ⅱ	1	
制御系設計論Ⅱ	1	
メカトロニクスⅡ	1	
バイオメカニクス	1	
材料強度学Ⅰ	1	
伝熱工学Ⅰ	1	
ロボット工学Ⅰ	1	
解析力学	1	
材料強度学Ⅱ	1	
伝熱工学Ⅱ	1	

ロボット工学Ⅱ	1	
化学と社会	2	
資源・エネルギーと環境	2	
化学と安全管理	2	
生化学Ⅰ	1	
量子材料科学Ⅰ	1	
電気化学Ⅰ	1	
結晶学入門Ⅰ	1	
高分子化学Ⅰ	1	
アドバンスト機器分析化学Ⅰ	1	
分析化学	1	
生化学Ⅱ	1	
量子材料科学Ⅱ	1	
電気化学Ⅱ	1	
結晶学入門Ⅱ	1	
高分子化学Ⅱ	1	
機器分析化学	1	
アドバンスト機器分析化学Ⅱ	1	
化学工学	2	
アドバンスト環境化学Ⅰ	1	
循環系グリーンケミストリー	1	
半導体材料Ⅰ	1	
固体物性化学Ⅰ	1	
エネルギー変換工学Ⅰ	1	
医薬品のプロセス化学	1	
分子集合化学	1	
有機化合物スペクトル解析入門Ⅰ	1	
バイオミメティックス　生物に倣ったものづくり	1	
セラミックス材料工学Ⅰ	1	
界面化学	1	
食と分子科学	1	

半導体材料Ⅱ	1
固体物性化学Ⅱ	1
アドバンスト電気化学	1
エネルギー変換工学Ⅱ	1
有機化合物スペクトル解析入門Ⅱ	1
セラミックス材料工学Ⅱ	1
アドバンスト環境化学Ⅱ	1
バイオマテリアルⅠ	1
構造解析学	1
光化学Ⅰ	1
逆合成解析化学Ⅰ	1
高分子構造材料物性Ⅰ	1
高分子材料工学Ⅰ	1
ナノマテリアル	1
バイオマテリアルⅡ	1
光化学Ⅱ	1
逆合成解析化学Ⅱ	1
高分子構造材料物性Ⅱ	1
高分子材料工学Ⅱ	1
反応工学	1
ディジタル信号処理	2
仮想メディアシステム	2
情報とセキュリティ	2
システムソフトウェア	2
データベース	2
ヒューマンコンピュータインタラクション	2
コンピュータビジョン	2
多様なプログラミング言語	2
音声・音響メディア処理論	2
環境としての情報技術	2
言語メディア処理論	2

CGとVR	2
ニューロとAI	2
データインテリジェンス	2
ネットワーク構成論	2
画像メディア処理論	2
ソフトウェア開発法	2
応用アルゴリズム	2

以上に掲げる授業科目のほか，教授会が教育上必要であると認めるときは別になお，他の授業科目を設けることができる。

心理学部開設科目（第30条関係）

（1）教養教育科目

授業科目	単位数
仏教の思想A	2
仏教の思想B	2
歎異抄の思想Ⅰ	2
歎異抄の思想Ⅱ	2
英語総合1(A)	1
英語総合1(B)	1
英語総合2(A)	1
英語総合2(B)	1
英語総合3(A)	1
英語総合3(B)	1
英語総合4(A)	1
英語総合4(B)	1
英語セミナーA1	2
英語セミナーA2	2
英語セミナーB1	2
英語セミナーB2	2
英語セミナーC1	2
英語セミナーC2	2
英語セミナーD1	2
英語セミナーD2	2
英語セミナーE1	2
英語セミナーE2	2
英語セミナーF1	2

英語セミナーF2	2
英語セミナーG1	2
英語セミナーG2	2
英語セミナーH1	2
英語セミナーH2	2
英語セミナーI1	2
英語セミナーI2	2
英語セミナーJ1	2
英語セミナーJ2	2
英語資格試験セミナー	2
海外英語研修	2
ドイツ語Ⅰ	2
ドイツ語Ⅱ	2
ドイツ語ⅢA	1
ドイツ語ⅢB	1
ドイツ語ⅢC	1
ドイツ語ⅢD	1
フランス語Ⅰ	2
フランス語Ⅱ	2
フランス語ⅢA	1
フランス語ⅢB	1
フランス語ⅢC	1
フランス語ⅢD	1
中国語Ⅰ	2
中国語Ⅱ	2
中国語ⅢA	1
中国語ⅢB	1
中国語ⅢC	1
中国語ⅢD	1
スペイン語Ⅰ	2
スペイン語Ⅱ	2
スペイン語ⅢA	1
スペイン語ⅢB	1
スペイン語ⅢC	1
スペイン語ⅢD	1
コリア語Ⅰ	2
コリア語Ⅱ	2

コリア語ⅢA	1
コリア語ⅢB	1
コリア語ⅢC	1
コリア語ⅢD	1
ドイツ語セミナーⅠA	2
ドイツ語セミナーⅠB	2
ドイツ語セミナーⅠC	2
ドイツ語セミナーⅠD	2
ドイツ語セミナーⅡA	2
ドイツ語セミナーⅡB	2
ドイツ語セミナーⅡC	2
ドイツ語セミナーⅡD	2
ドイツ語コミュニケーションⅠ	2
ドイツ語コミュニケーションⅡ	2
フランス語セミナーⅠA	2
フランス語セミナーⅠB	2
フランス語セミナーⅠC	2
フランス語セミナーⅠD	2
フランス語セミナーⅡA	2
フランス語セミナーⅡB	2
フランス語セミナーⅡC	2
フランス語セミナーⅡD	2
フランス語コミュニケーションⅠ	2
フランス語コミュニケーションⅡ	2
中国語セミナーⅠA	2
中国語セミナーⅠB	2
中国語セミナーⅠC	2
中国語セミナーⅠD	2
中国語セミナーⅡA	2
中国語セミナーⅡB	2
中国語セミナーⅡC	2
中国語セミナーⅡD	2
中国語コミュニケーションⅠ	2
中国語コミュニケーションⅡ	2
スペイン語セミナーⅠA	2
スペイン語セミナーⅠB	2
スペイン語セミナーⅠC	2

スペイン語セミナーＩD	2
スペイン語セミナーⅡA	2
スペイン語セミナーⅡB	2
スペイン語セミナーⅡC	2
スペイン語セミナーⅡD	2
スペイン語コミュニケーションⅠ	2
スペイン語コミュニケーションⅡ	2
コリア語セミナーＩA	2
コリア語セミナーＩB	2
コリア語セミナーＩC	2
コリア語セミナーＩD	2
コリア語セミナーⅡA	2
コリア語セミナーⅡB	2
コリア語セミナーⅡC	2
コリア語セミナーⅡD	2
コリア語コミュニケーションⅠ	2
コリア語コミュニケーションⅡ	2
海外中国語研修講座	2
ポルトガル語Ⅰ	2
ポルトガル語Ⅱ	2
ポルトガル語ⅢA	2
ポルトガル語ⅢB	2
ロシア語Ⅰ	2
ロシア語Ⅱ	2
ロシア語ⅢA	2
ロシア語ⅢB	2
ラテン語Ⅰ	1
ラテン語Ⅱ	1
ギリシア語Ⅰ	1
ギリシア語Ⅱ	1
ペルシア語ＩA	2
ペルシア語ＩB	2
ペルシア語ⅡA	2
ペルシア語ⅡB	2
トルコ語Ⅰ	2
トルコ語Ⅱ	2
アラビア語Ⅰ	2

アラビア語Ⅱ	2
哲学入門	2
哲学A	2
哲学B	2
倫理学入門	2
倫理学A	2
倫理学B	2
クリティカル・シンキング	2
論理学	2
宗教学入門	4
宗教の世界A	2
宗教の世界B	2
中国の思想A	2
中国の思想B	2
芸術の世界A	2
芸術の世界B	2
日本の文学A	4
日本の文学B	4
日本の文学C	2
アジアの文学A	2
アジアの文学B	2
西洋の文学A	2
西洋の文学B	2
文章表現法A	2
文章表現法B	2
言語と文化	2
歴史学入門	2
日本の歴史A	4
日本の歴史B	4
日本の文化	4
アジアの歴史A	4
アジアの歴史B	4
アジアの文化	2
西洋の歴史A	4
西洋の歴史B	2
西洋の歴史C	2
現代世界の歴史A	2

現代世界の歴史B	2
心理学	4
心の科学A	2
心の科学B	2
応用心理学A	2
応用心理学B	2
教育学のすすめA	2
教育学のすすめB	2
現代社会と教育A	2
現代社会と教育B	2
教育原論A	2
教育原論B	2
学習・発達論A	2
学習・発達論B	2
人文科学セミナー	4
大学論	2
日本国憲法	2
法学のすすめ	2
政治学のすすめ	2
社会学のすすめ	2
地理学のすすめ	2
経済学のすすめ	2
経営学のすすめ	2
国際学のすすめ	2
文化人類学のすすめ	2
社会調査のすすめ	2
社会統計学のすすめ	2
人権論A	2
人権論B	2
現代社会とメディア	2
現代社会と福祉	2
現代社会と法	2
環境と社会	2
平和学A	2
ジェンダー論	2
国際社会論	2
現代社会の諸問題	2

地域論	2	
企業と会計	2	
現代社会と労働	2	
社会思想史	2	
英語で学ぶ日本の社会A	2	
英語で学ぶ日本の社会B	2	
数学入門	2	
数学への旅	2	
確率・統計入門	2	
微分と積分	4	
行列と行列式	4	
数理統計学	4	
数理と計算	2	
数学の世界	4	
数理と論証	2	
宇宙の科学Ⅰ	4	
宇宙の科学Ⅱ	2	
地球科学のすすめ	2	
地球科学	2	
物理科学の世界	4	
時間と空間の科学	2	
エネルギー入門	2	
自然科学史Ⅰ	2	
自然科学史Ⅱ	2	
科学論	2	
技術論	2	
平和学B	2	
里山学	2	
生物科学のすすめ	4	
生命科学のすすめ	2	
生命科学	2	
生態学のすすめ	4	
人類学のすすめ	4	
日本の自然	4	
生命誌	2	
植物の自然誌	2	
動物の自然誌	2	

民族の自然誌	2
人類進化学	2
人間の生物学Ⅰ	2
人間の生物学Ⅱ	2
自然誌実習	4
野外観察法	2
環境学	4
情報科学入門	2
情報科学Ⅰ	2
情報科学Ⅱ	2
情報科学実習	4
健康とスポーツ	2
現代社会とスポーツ	2
スポーツ技術学演習	2
人間とスポーツ	2
スポーツと人権・平和	2
スポーツ文化史	2
スポーツ科学最前線	2
教養教育科目特別講義	2
バークレー語学	12
バークレー講義	6
バークレーボランティア	6

(2) 専攻科目

授業科目	単位数
フレッシャーズゼミ	2
心理学基礎演習A	2
心理学基礎演習B	2
心理学基礎演習C	2
心理学概論	2
発達心理学	2
臨床心理学概論	2
心理学的支援法	2
心理学研究法概論	2
心理学統計法概論	2
心理的アセスメントⅠ	2
生涯発達と関係支援	2
心理学とデータサイエンス	2

キャリアと心理	2
キャリアデザイン論	2
人体の構造と機能及び疾病	2
心理学実験	1
神経・生理心理学	2
障害者・障害児心理学	2
福祉心理学	2
健康・医療心理学	2
教育・学校心理学	2
脳と心	2
乳幼児の発達	2
児童思春期精神医学	2
子どもの心理療法	2
高齢者の心理と福祉	2
仏教と心理学	2
コミュニティとシステム支援	2
ストレスマネジメント	2
チーム医療	2
チーム学校とシステム論	2
心理学の職業的展開	2
仕事と社会人Ⅰ	2
心理学プロジェクト社会連携演習	2
生涯発達臨床心理学	2
ライフサイクルとカウンセリング	2
家族療法とシステムズアプローチ	2
目からウロコのコミュニケーション学	2
心理学演習	2
卒業研究	4
知覚・認知心理学	2
精神疾患とその治療	2
感情・人格心理学	2
心理関係行政論	2
司法・犯罪心理学	2
産業・組織心理学	2
学習・言語心理学	2
社会・集団・家族心理学	2
量的心理学研究	2

質的心理学研究	2
生理学データと現場心理学（基礎）	2
臨床催眠学	2
生理学データと現場心理学（応用）	2
子育てとソーシャルサポート	2
音楽療法	2
ダンスセラピー	2
乳幼児の理解と支援実習	2
教育と心理支援	2
発達障害のアセスメント	2
心理的アセスメントII	2
不登校・いじめとスクールカウンセリング	2
青年心理と友人関係	2
思春期とジェンダー心理学	2
大人の発達障害	2
思春期の子ども理解と支援実習 I	2
中年期の危機とうつ	2
コミュニティ・アプローチ	2
愛着障害と親子関係	2
保育の心理学	2
障害児支援と療育	2
学童期の遊びと対人関係	2
発達障害と応用行動分析	2
思春期の子ども理解と支援実習 II	2
フォーカシングと体験過程療法	2
ひきこもりと精神的健康	2
認知行動療法	2
エンカウンターグループと回想法	2
ビハーラカウンセリング	2
死生観教育と心理療法	2
認知症の心と家族支援	2
高齢者の理解と支援実習	2
人格心理学と精神力動論	2
医療におけるシステムズアプローチ	2
緩和ケアとこころの治癒力	2
家族療法とコミュニケーション・アプローチ	2
学校システムにおける精神疾患と家族	2

不登校の解決と協働	2
発達障がいと家族	2
ひきこもりと家族支援	2
虐待と家族支援	2
ポジティブ心理学	2
コーチング心理学	2
コンサルテーション・リエゾン精神医学	2
構造派家族療法	2
保護者支援とチーム学校	2
コンサルテーション演習	2
特別支援とシステムズアプローチ	2
ブリーフセラピーとソリューション	2
非行と家族支援	2
オープン・ダイアローグ演習	2
キャリアカウンセリング	2
スポーツ心理学	2
スポーツ・メンタルリハーサル	2
マインドフルネス・ヨーガ	2
事例演習アドバンスI	2
事例演習アドバンスII	2
仕事と社会人Ⅱ	2
法学概論	4
政治学原理	4
経済原論	4
社会学概説	4

以上に掲げる授業科目のほか，教授会が教育上必要であると認めるときは別になお，他の授業科目を設けることができる。

別表２　学部共通コース開設科目（第30条の２関係）

(1)　国際関係コース科目

授業科目	単位数
国際関係論Ⅰ	2
地域研究入門	2
中国語セミナーⅠA	2
中国語セミナーⅠB	2
中国語セミナーⅠC	2

中国語セミナーＩＤ	2
中国語セミナーⅡA	2
中国語セミナーⅡB	2
中国語セミナーⅡC	2
中国語セミナーⅡD	2
海外中国語研修講座	2
ドイツ語セミナーＩA	2
ドイツ語セミナーＩB	2
ドイツ語セミナーＩC	2
ドイツ語セミナーＩD	2
ドイツ語セミナーⅡA	2
ドイツ語セミナーⅡB	2
ドイツ語セミナーⅡC	2
ドイツ語セミナーⅡD	2
フランス語セミナーＩA	2
フランス語セミナーＩB	2
フランス語セミナーＩC	2
フランス語セミナーＩD	2
フランス語セミナーⅡA	2
フランス語セミナーⅡB	2
フランス語セミナーⅡC	2
フランス語セミナーⅡD	2
スペイン語セミナーＩA	2
スペイン語セミナーＩB	2
スペイン語セミナーＩC	2
スペイン語セミナーＩD	2
スペイン語セミナーⅡA	2
スペイン語セミナーⅡB	2
スペイン語セミナーⅡC	2
スペイン語セミナーⅡD	2
コリア語セミナーＩA	2

コリア語セミナーＩB	2
コリア語セミナーＩC	2
コリア語セミナーＩD	2
コリア語セミナーⅡA	2
コリア語セミナーⅡB	2
コリア語セミナーⅡC	2
コリア語セミナーⅡD	2
ポルトガル語Ⅰ	2
ポルトガル語Ⅱ	2
ポルトガル語ⅢA	2
ポルトガル語ⅢB	2
ロシア語Ⅰ	2
ロシア語Ⅱ	2
ロシア語ⅢA	2
ロシア語ⅢB	2
英語セミナーD1	2
英語セミナーD2	2
英語セミナーG1	2
英語セミナーG2	2
英語セミナーH1	2
英語セミナーH2	2
英語セミナーJ1	2
英語セミナーJ2	2
英語コミュニケーションⅠ	2
英語コミュニケーションⅡ	2
Intercultural Discussion	2
中国語コミュニケーションⅠ	2
中国語コミュニケーションⅡ	2
ドイツ語コミュニケーションⅠ	2
ドイツ語コミュニケーションⅡ	2
スペイン語コミュニケーションⅠ	2

スペイン語コミュニケーションⅡ	2
フランス語コミュニケーションⅠ	2
フランス語コミュニケーションⅡ	2
コリア語コミュニケーションⅠ	2
コリア語コミュニケーションⅡ	2
ヨーロッパ研究A	2
ヨーロッパ研究B	2
ヨーロッパ研究C	2
ヨーロッパ研究D	2
東アジア研究A	2
東アジア研究B	2
東南アジア研究A	2
東南アジア研究B	2
北米研究A	2
北米研究B	2
中南米研究A	2
中南米研究B	2
南北問題研究A	2
南北問題研究B	2
異文化研究A	2
異文化研究B	2
情報・コミュニケーションの技法	2
多文化映像論A	2
多文化映像論B	2
フィールドワーク実習	2
国際関係論Ⅱ	2
現代国際関係史	2
国際ジャーナリズム論	2
アメリカ経済史	4
国際金融論	4
国際協力論	4

アジア経済史	4	
ヨーロッパ経済史	4	
地域経済論	4	
アジア経済論	4	
比較経済論	4	
開発経済学	4	
ヨーロッパ経済論	4	
農業・資源経済学	4	
日本経済史	4	
経済地理学	4	
経済思想史	2	
社会調査の技法	2	
フィールドワークの技法	2	
国際経営論	2	
多国籍企業論	2	
国際経営戦略論	2	
国際比較経営史	2	
国際比較社会論	2	
アジア企業経営論	2	
国際法Ⅰ	4	
国際法Ⅱ	2	
国際法Ⅲ	2	
国際私法	4	
国際政治論	4	
アフリカ政治論A	2	
アフリカ政治論B	2	
国際取引法	2	
開発援助論	2	
中東政治論	2	
アジア政治論	4	
中国政治論	2	

アメリカ政治論	2
ヨーロッパ政治論	2
国際環境法	2
現代中国の法と社会	2
文化・観光政策	2
比較地域政策論	2
アジアの地域・都市政策	2
欧州の地域・都市政策	2
北米・中南米の地域・都市政策	2
特別演習Ⅰ	4
特別演習Ⅱ	4
特別演習Ⅲ	4
演習	12
演習Ⅰ	4
演習Ⅰ	6
演習Ⅱ	4
卒業研究	4
演習Ⅱ（卒業研究含む）	4
演習Ⅱ（卒業研究含む）	6
学部共通特別講義Ⅰ	4
学部共通特別講義Ⅱ	4
学部共通特別講義Ⅲ	2
学部共通特別講義Ⅳ	2
学部共通特別講義Ⅴ	2
学部共通特別講義Ⅵ	2
学部共通特別講義Ⅶ	2

(2) 英語コミュニケーションコース科目

授業科目	単位数
Oral Communication ⅠA	4
Oral Communication ⅠB	4
Oral Communication ⅡA	4

Oral Communication ⅡB	4
Writing Ⅰ	2
Writing Ⅱ	2
米国文化Ⅰ	2
英国文化Ⅰ	2
英国文化Ⅱ	2
米国文化Ⅱ	2
English in the World	2
文化比較	2
Intensive Reading	2
Reading Fluency	2
Communicative Grammar Ⅰ	2
英米事情	2
Business Writing	2
Critical Essay	2
Process Writing	2
Public Speaking	2
Debate and Discussion	2
Dynamics of Expression	2
Communicative Grammar Ⅱ	2
Intercultural Discussion	2
Global Understanding in English	4
海外研修	4
英語資格試験セミナー	2
Forum	2
Seminar Ⅰ	2
Seminar Ⅱ	2
卒業研究	4
学部共通特別講義Ⅰ	4
学部共通特別講義Ⅱ	4
学部共通特別講義Ⅲ	2

学部共通特別講義Ⅳ	2
学部共通特別講義Ⅴ	2

(3)　スポーツサイエンスコース科目

授業科目	単位数
身体運動の生理学	2
身体運動の機能解剖学	2
身体運動の制御と学習	2
現代スポーツ論	2
近代スポーツ史	2
スポーツ栄養学	2
スポーツと経済	2
スポーツ競技力論	2
スポーツマネジメント論	2
エクササイズテクニック	2
スポーツメディア論	2
スポーツ医学	2
スポーツ統計学	2
スポーツ政策論	2
健康スポーツ論	2
体力学	2
フィットネスプログラミングⅠ	2
スポーツ心理学Ⅰ	2
スポーツマーケティング論	2
スポーツ法学	2
バイオメカニクス	2
地域スポーツ論	2
スポーツトレーニング論	2
スポーツ文化論	2
栄養と健康	2
スポーツ生理学	2
フィットネスプログラミングⅡ	2

スポーツ心理学Ⅱ	2
特別演習Ⅰ	4
特別演習Ⅱ	4
特別演習Ⅲ	4
学部共通特別講義Ⅰ	4
学部共通特別講義Ⅱ	4
学部共通特別講義Ⅲ	2
学部共通特別講義Ⅳ	2
学部共通特別講義Ⅴ	2
インターンシップ実習	4

(4) 環境サイエンスコース科目

授業科目	単位数
環境学A	2
環境学B	2
環境と倫理	2
環境と経済	2
環境とビジネス	2
環境と法	2
環境管理論Ⅰ	2
環境管理論Ⅱ	2
環境政策論Ⅰ	2
環境政策論Ⅱ	2
コンピュータシステム論	4
生態学A	2
生態学B	2
地球と環境	2
環境地理学	2
自然保護論	2
化学物質と環境	2
シミュレーション技法	2
複雑系の科学	2

都市経済論	2
環境史	2
環境アセスメント論	2
地域環境論	2
気候と気象	2
生物共棲論	2
水界生態論	2
環境フィールドワーク	4
環境実践研究	2
開発経済学	4
産業技術論	2
国際環境法	2
持続可能な発展概論	2
景観・まちなみ保存政策	2
科学技術政策	2
環境エネルギー政策	2
演習Ⅰ	8
演習Ⅱ	4
卒業研究	4
学部共通特別講義A	2
学部共通特別講義B	2
学部共通特別講義C	4

以上別表２に掲げる授業科目のほか，経済学部，経営学部，法学部及び政策学部教授会が教育上必要と認めるときは別になお，他の授業科目を設けることができる。

別表３　日本語科目及び日本事情に関する科目（第31条関係）

授業科目	単位数		備考
	必修	選択	
日本語		1	

別表４　教育職員免許状取得に関する科目（第32条関係）

(1)　文学部

	授業科目	単位数

教育の基礎的理解に関する科目	教育学概論	4
	教育心理学	2
	特別支援教育論	2
教科及び教科の指導法に関する科目	国語科教育法A	2
	国語科教育法B	2
	国語科教育法Ⅰ	2
	国語科教育法Ⅱ	2
	英語科教育法A	2
	英語科教育法B	2
	英語科教育法Ⅰ	2
	英語科教育法Ⅱ	2
	宗教科教育法A	2
	宗教科教育法B	2
	宗教科教育法Ⅰ	2
	宗教科教育法Ⅱ	2
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	教職コンピュータ基礎	2
	体育実技	1

(2) 経済学部

	授業科目	単位数
教科及び教科の指導法に関する科目	職業指導	4
	日本史概説	4
	外国史概説	4
	法学概論	4
	人文地理学	4
	自然地理学	4
	地理学（地誌）	4
	倫理学概論	4
	心理学概論	4
	国際法Ⅰ	4
	国際政治論	4

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	教職コンピュータ基礎	2

(3) 経営学部

	授業科目	単位数
教科及び教科の指導法に関する科目	商業科教育法Ⅰ	2
	商業科教育法Ⅱ	2
	職業指導	4
	日本史概説	4
	外国史概説	4
	法学概論	4
	人文地理学	4
	自然地理学	4
	日本政治史	4
	日本経済史	4
	日本法制史A	2
	日本法制史B	2
	西洋法制史A	2
	西洋法制史B	2
	西洋政治史	4
	ヨーロッパ経済史	4
	アメリカ経済史	4
	アジア経済史	4
	経済地理学	4
	地理学（地誌）	4
	倫理学概論	4
	心理学概論	4
	政治学原理	4
	国際政治論	4
	国際法Ⅰ	4
教育職員免許法施行規則	教職コンピュータ基礎	2

第66条の6に定める科目		

(4) 法学部

	授業科目	単位数
教科及び教科の指導法に関する科目	日本史概説	4
	ヨーロッパ経済史	4
	日本経営史	2
	外国史概説	4
	人文地理学	4
	自然地理学	4
	地理学（地誌）	4
	倫理学概論	4
	心理学概論	4
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	教職コンピュータ基礎	2

(5) 削除

(6) 政策学部

	授業科目	単位数
教科及び教科の指導法に関する科目	日本史概説	4
	外国史概説	4
	人文地理学	4
	自然地理学	4
	地理学（地誌）	4
	倫理学概論	4
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	教職コンピュータ基礎	2
	体育実技	1

(7) 国際学部

	授業科目	単位数
教科及び教科の指導法に関する科目	英語科教育法A	2
	英語科教育法B	2
	英語科教育法Ⅰ	2

	英語科教育法Ⅱ	2
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	教職コンピュータ基礎	2
	体育実技	1

(8) 農学部

	授業科目	単位数
教科及び教科の指導法に関する科目	理科教育法A	2
	理科教育法B	2
	理科教育法Ⅰ	2
	理科教育法Ⅱ	2
	農業科教育法Ⅰ	2
	農業科教育法Ⅱ	2
	職業指導	2
道徳，総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導，教育相談等に関する科目	生徒指導論（栄養教諭）	2
教育実践に関する科目	栄養教育実習指導Ⅰ	1
	栄養教育実習指導Ⅱ	1
	教職実践演習（栄養教諭）	2

(9) 先端理工学部

	授業科目	単位数
教科及び教科の指導法に関する科目	数学科教育法A	2
	数学科教育法B	2
	数学科教育法Ⅰ	2
	数学科教育法Ⅱ	2
	工業科教育法Ⅰ	2
	工業科教育法Ⅱ	2
	理科教育法A	2
	理科教育法B	2
	理科教育法Ⅰ	2

	理科教育法Ⅱ	2
	情報科教育法Ⅰ	2
	情報科教育法Ⅱ	2

（10）心理学部

	授業科目	単位数
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	教職コンピュータ基礎	2
	体育実技	1

（11） 共通開設科目

	授業科目	単位数	備考
教科及び教科の指導法に関する科目	社会科・地理歴史科教育法Ⅰ	2	文・経済・経営・法・社会・政策学部共通開設
	社会科・地理歴史科教育法Ⅱ	2	文・経済・経営・法・社会学部共通開設
	社会科・公民科教育法Ⅰ	2	文・経済・経営・法・社会・政策・心理学部共通開設
	社会科・公民科教育法Ⅱ	2	文・経済・経営・法・社会・政策・心理学部共通開設
教育の基礎的理解に関する科目	教育原論A	2	全学共通開設
	教育原論B	2	全学共通開設
	教職論	2	全学共通開設
	学校教育社会学	2	全学共通開設
	教育社会学	2	社会・先端理工学部共通開設
	教育課程論	2	全学共通開設
	学習・発達論A	2	全学共通開設
	学習・発達論B	2	全学共通開設
	特別支援教育概論	2	全学共通開設
道徳，総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導，教育相談	道徳教育指導法	2	全学共通開設
	総合的な学習の時間・特別活動論	2	全学共通開設
	教育の方法と技術（ICT活用含	2	全学共通開設

等に関する科目	む） 生徒・進路指導論 教育相談	 2 2	 全学共通開設 全学共通開設
教育実践に関する科目	教育実習指導Ⅰ 教育実習指導ⅡA 教育実習指導ⅡB 教職実践演習（中・高）	1 4 2 2	全学共通開設 全学共通開設 全学共通開設 全学共通開設

(12)　その他

授業科目	単位数
介護等体験	2

別表５　削除

別表６　博物館学芸員資格取得に関する科目（第33条関係）

	授業科目	単位数
博物館学芸員に関する科目	生涯学習概論	2
	博物館概論	2
	博物館経営論	2
	博物館資料論	2
	博物館資料保存論	2
	博物館展示論	2
	博物館教育論	2
	博物館情報・メディア論	2
	博物館実習	3

別表７　本願寺派教師資格に関する科目（第33条の２関係）

(1)　文学部

	授業科目	単位数
	勤式	4
	宗門法規	2
	教化法	4

(2)　経済学部

経営学部

法学部

政策学部

国際学部

心理学部

	授業科目	単位数
	真宗学概論	4
	仏教学概論	4
	真宗教団史	4
	勤式	4
	宗門法規	2
	教化法	4

(3)　社会学部

	授業科目	単位数
	真宗史	4
	勤式	4
	宗門法規	2
	教化法	4

(4)　農学部

	授業科目	単位数
	真宗学概論	4
	仏教学概論	4
	真宗史	4
	勤式	4
	宗門法規	2
	教化法	4

(5)　先端理工学部

	授業科目	単位数
	真宗学概論	4
	仏教学概論	4
	真宗史	4

	勤式	4
	宗門法規	2
	教化法	4

(6)　共通開設科目

	授業科目	単位数	備考
	（本山教師）仏教史	1	全学共通開設
	（本山教師）宗教概説	1	全学共通開設

別表８　削除

別表９　削除

別表10　図書館司書資格取得に関する科目（第33条の６関係）

	授業科目	単位数
図書館司書に関する科目	生涯学習概論	2
	図書館情報学概論	2
	図書館制度・経営論	2
	図書館サービス概論	2
	情報サービス論	2
	情報サービス実習A	1
	情報サービス実習B	1
	図書館情報資源概論	2
	図書館情報資源特論	2
	情報資源組織論	2
	情報資源組織実習A	1
	情報資源組織実習B	1
	児童サービス論	2
	図書・図書館史	2
	図書館基礎特論	2
	図書館サービス特論	2
	図書館情報技術論	2
	図書館実習	1
	図書館施設論	2

	図書館総合演習	2

別表11　学校図書館司書教諭資格取得に関する科目（第33条の７関係）

	授業科目	単位数
学校図書館司書教諭に関する科目	学校経営と学校図書館	2
	学校図書館メディアの構成	2
	学習指導と学校図書館	2
	読書と豊かな人間性	2
	情報メディアの活用	2

別表12　栄養士資格取得に関する科目（第33条の８関係）

	授業科目	単位数
栄養士に関する科目	健康管理概論	2
	公衆衛生学Ⅰ	2
	生化学	2
	生化学実験	1
	解剖生理学	2
	解剖生理学実験	1
	運動生理学	2
	微生物学	2
	食品化学	2
	食品学	2
	食品学実験Ⅰ	1
	食品学実験Ⅱ	1
	食品衛生学	2
	食品衛生学実験	1
	基礎栄養学	2
	基礎栄養学実習	1
	応用栄養学	2
	応用栄養学実習	1
	ライフステージ栄養学	2
	臨床栄養学Ⅰ	2

	臨床栄養学実習Ⅰ	1
	公衆栄養学	2
	公衆栄養学実習	1
	栄養教育論Ⅰ	2
	栄養教育論Ⅱ	2
	栄養教育論実習	1
	給食経営管理論Ⅰ	2
	給食経営管理実習Ⅰ	1
	給食経営管理実習（校外）	1
	調理学	2
	調理学実習Ⅰ	1
	調理学実習Ⅱ	1

別表13　管理栄養士受験資格取得に関する科目（第33条の９関係）

	授業科目	単位数
管理栄養士に関する科目	健康管理概論	2
	公衆衛生学Ⅰ	2
	公衆衛生学Ⅱ	2
	生化学	2
	生化学実験	1
	分子栄養学	2
	解剖生理学	2
	解剖生理学実験	1
	運動生理学	2
	栄養生理学実験	1
	臨床医学概論	2
	臨床病態学	2
	微生物学	2
	微生物学実験	1
	食品化学	2
	食品学	2

	食品学実験Ⅰ	1
	食品学実験Ⅱ	1
	食品加工学実習	1
	食品衛生学	2
	食品衛生学実験	1
	調理学	2
	調理学実習Ⅰ	1
	調理学実習Ⅱ	1
	基礎栄養学	2
	基礎栄養学実習	1
	応用栄養学	2
	応用栄養学実習	1
	ライフステージ栄養学	2
	栄養評価論	2
	栄養教育論Ⅰ	2
	栄養教育論Ⅱ	2
	栄養教育論実習	1
	栄養カウンセリング論	2
	臨床栄養学Ⅰ	2
	臨床栄養学Ⅱ	2
	臨床栄養学Ⅲ	2
	臨床栄養学実習Ⅰ	1
	臨床栄養学実習Ⅱ	1
	臨床栄養管理学	2
	公衆栄養学	2
	公衆栄養学実習	1
	公衆栄養活動論	2
	給食経営管理論Ⅰ	2
	給食経営管理論Ⅱ	2
	給食経営管理実習Ⅰ	1

	給食経営管理実習Ⅱ	1
	管理栄養士総合演習	2
	給食経営管理実習（校外）	1
	臨地実習Ⅰ（給食経営管理論）	1
	臨地実習Ⅱ（公衆栄養学）	1
	臨地実習Ⅲ（臨床栄養学）	2

別表14　食品衛生管理者及び食品衛生監視員資格取得に関する科目（第33条の10関係）

	授業科目	単位数
食品衛生管理者及び食品衛生監視員に関する科目	分析化学	2
	有機化学	2
	生化学	2
	食品化学	2
	解剖生理学	2
	微生物学	2
	食品衛生学	2
	公衆衛生学Ⅰ	2
	公衆衛生学Ⅱ	2
	健康管理概論	2
	栄養疫学	2
	食品学	2
	食品機能・加工論	2
	基礎栄養学	2
	応用栄養学	2
	分子栄養学	2
	臨床病態学	2
	臨床医学概論	2
	公衆栄養学	2
	給食経営管理論Ⅰ	2

別表15　社会福祉士受験資格取得に関する科目（第33条の11関係）

	授業科目	単位数

社会福祉士に関する科目	医学概論	2
	心理学と心理的支援	2
	社会学と社会システム	2
	社会福祉原論	4
	社会福祉調査の基礎	2
	ソーシャルワークの基盤と専門職	2
	ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）	2
	ソーシャルワークの理論と方法	4
	ソーシャルワークの理論と方法（専門）	4
	地域福祉論	4
	福祉サービスの組織と運営	2
	社会保障論	4
	高齢者福祉論Ⅰ	2
	障害者福祉論Ⅰ	2
	児童福祉論Ⅰ	2
	貧困に対する支援	2
	保健医療と福祉	2
	権利擁護を支える法制度	2
	刑事司法と福祉	2
	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	4
	ソーシャルワーク演習Ⅲ	4
	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	2
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	2
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	2
	ソーシャルワーク実習Ⅰ	6
	ソーシャルワーク実習Ⅱ	2

以上の表に掲げる実習演習科目の時間数及び履修方法については，別に定める。

別表16　精神保健福祉士受験資格取得に関する科目（第33条の12関係）

	授業科目	単位数

精神保健福祉士に関する科目	医学概論	2
	心理学と心理的支援	2
	社会学と社会システム	2
	社会福祉原論	4
	地域福祉論	4
	社会保障論	4
	権利擁護を支える法制度	2
	障害者福祉論Ⅰ	2
	刑事司法と福祉	2
	社会福祉調査の基礎	2
	精神医学と精神医療	4
	現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	2
	現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	2
	ソーシャルワークの基盤と専門職	2
	精神保健福祉の原理	4
	ソーシャルワークの理論と方法	4
	精神保健福祉援助技術論	4
	精神障害リハビリテーション論	2
	精神保健福祉制度論	2
	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2
	精神保健福祉援助演習Ⅰ	2
	精神保健福祉援助演習Ⅱ	4
	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	4
	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	2
	精神保健福祉援助実習	6

以上の表に掲げる実習演習科目の時間数及び履修方法については，別に定める。

別表17　公認心理師受験資格取得に関する科目（第33条の13関係）

	授業科目	単位数
公認心理師に関する科目	公認心理師の職責	2
	心理演習	2

	心理実習A	2
	心理実習B	2

以上の表に掲げる実習科目の時間数及び履修方法については，別に定める。

別表18　社会教育主事資格取得に関する科目（第33条の14関係）

	授業科目	単位数
社会教育主事に関する科目	生涯学習概論	4
	生涯学習支援論	4
	社会教育経営論	4
	エスニシティ論	2
	家族社会学	2
	逸脱の社会学	2
	地域社会論	2
	情報社会論	2
	社会運動論	2
	スポーツ社会学	2
	多様性の倫理学	2
	性と人権	2
	まちづくり論	2
	地域発展学	2
	レクリエーション運営	2
	健康とライフスタイル	2
	メディアと倫理	2
	高齢者福祉論Ⅰ	2
	家族福祉論	2
	ライフコースとセーフティネット	2
	多文化共生論	2
	国際福祉論	2
	社会教育実習	2
	社会教育演習	2
	社会教育課題研究	2

学則の変更の趣旨等を記載した書類

― 目次 ―

ア．学則変更（収容定員変更）の内容 2

イ．学則変更（収容定員変更）の必要性..... 2

ウ．学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容 4

(ｱ)．教育課程の変更内容 4

(ｲ)．教育方法及び履修指導方法の変更内容 5

(ｳ)．教育組織の変更内容 8

(ｴ)．大学全体の施設・設備の変更内容..... 9

エ．２以上の校地において教育研究を行う具体的計画 10

学則の変更の趣旨等を記載した書類

ア．学則変更（収容定員変更）の内容

心理学部の設置及び農学部 3 年次編入学定員の変更に伴い、令和 5（2023）年度から、本学の定員を、「令和 5（2023）年度からの入学定員及び収容定員の変更状況」のとおり変更する。

令和 5（2023）年度からの入学定員及び収容定員の変更状況

学部・学科		現行			定員変更後			備考
		入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員	編入学定員	収容定員	
文学部	真宗学科	145	3年次 6	592	145	3年次 6	592	
	仏教学科	118	3年次 5	482	118	3年次 5	482	
	哲学科	148	3年次 4	600	148	3年次 4	600	
	臨床心理学科	99	3年次 2	400	**0**	3年次 **0**	**0**	令和5年4月学生募集停止
	歴史学科	267	3年次 9	1,086	267	3年次 9	1,086	
	日本語日本文学科	101	3年次 2	408	101	3年次 2	408	
	英語英米文学科	101	3年次 2	408	101	3年次 2	408	
	小計	979	3年次 30	3,976	880	3年次 28	3,576	
農学部	**植物生命科学科**	90	3年次 10	380	90	3年次 **8**	**376**	3年次編入学定員の変更
	資源生物科学科	134	3年次 10	556	134	3年次 **9**	**554**	3年次編入学定員の変更
	食品栄養学科	80	3年次 -	320	80	3年次 **4**	**328**	3年次編入学定員の変更
	食料農業システム学科	134	3年次 10	556	134	3年次 **9**	**554**	3年次編入学定員の変更
	小計	438	3年次 30	1,812	438	3年次 30	1,812	
心理学部	**心理学科**				**255**	3年次 **10**	**1,040**	令和5年度開設予定
その他既存学部		3,565	3年次 107	14,474	3,565	3年次 107	14,474	
合　計		4,982	167	20,262	**5,138**	**175**	**20,902**	

イ．学則変更（収容定員変更）の必要性

＜心理学部＞

（1）現代社会が抱える心理的諸課題を解決する人材養成の必要性

現代社会には、複雑化・多様化した多くの課題が生じている。その中の一つに心理的困窮からの回復に対する専門的な支援があり、それに対する要請がますます高まっている。

これに応えるために、本学では平成 24（2012）年 4 月に文学部臨床心理学科（入学定員 99 名）を設置した。ここでは主に臨床心理学を基礎とした対人支援を理解し、効果的な対人支援のコミュニケーション・スキルを修得した職業人を養成することを目指すとともに、現代社会の心理的支援に対する期待に応え、社会的に多様な職能との協働的支援によって社会の安全・安心の確保と発展に貢献する人間を育成することを使命として、実践的な教学活動に取り組み、有為な人材を輩出してきた。

しかしながら、グローバル化や人工知能（AI）をはじめとするデジタル化の急速な進展に加え、自然災害や新型コロナウイルス感染症の影響等により、社会環境や生活様式が大きく変容し、ますます予測困難な時代へと突入している。特に新型コロナウイルス感染症を契機に、人とのやり取りやコミュニケーション等の方法が変わろうとする中で、新たな心理的諸課題が生じるとともに、人とのつながりや対面の価値は従来よりも大きくなるものと思料する。

このような社会において、心理的困窮者への支援に加え、心理学を基礎とした対人支援のためのコミュニケーション・スキルを身につけ、現代社会が抱える心理的諸課題について具体的な解決のための方策を構築し、主体的かつ実践的に対応できる人材が業種・職種を問わず求められており、こうした人材を養成することが高等教育機関に対する社会からの強い要請としてあるものと認識している。そのため、臨床心理学科の設置以来、守り続けてきた理念と培ってきた実践・実績を基盤に、令和 5（2023）年度に「心理学部」（入学定員 255 名）を設置し、収容定員を変更することを計画した。

（2）旺盛な進学需要への対応

本学は、継続的な教学改革の取り組みと、学生本位の視点にたった教育環境の充実整備や教育課程の編成に取り組んできた結果、毎年度、安定的に多くの志願者数を確保してきた。平成 24（2012）年度から平成 31（2019）年度入試に至るまで、8 年連続で志願者数が増加し、令和 3（2021）年度入試では、それ以上の志願者を集めている。

新たに設置する心理学部は、文学部臨床心理学科（入学定員 99 名）を基礎とする。同学科は、非常に多くの志願者を安定的に集めており、過去 5 年間の平均志願倍率は 23.2 倍である（平成 29（2017）：19.6 倍、平成 30（2018）：23.8 倍、令和元（2019）：24.6 倍、令和 2（2020）：21.5 倍、令和 3（2021）：26.6 倍）。

今般の収容定員変更は、こうした旺盛な進学需要への対応でもあり、入試動向の詳細については、「学生の確保の見通し等を記載した書類」において詳述する。

＜農学部＞

（1）食品栄養学科（3 年次編入学）への進学需要に対する対応

同学科は管理栄養士養成課程を設置しており、それに必要な履修科目等の制限が多いことから、平成 27（2015）年度の開設時には、3 年次編入学定員は設定していない。しかしながら、開設年度以降、同学科 3 年次編入学への希望者があり、こうした進学需要に応えるべく種々検討を進め、厚生労働省との相談も踏まえた結果、3 年次編入学後からでも管理栄養士養成課程の科目履修や受講人数等の要件を満たすことが確認された。

上述のとおり同学科の 3 年次編入学には、学習意欲が高い他大学等の学生からの進学希望があり、入学定員を新たに 4 名設け、その進学需要に応えることとしたい。なお、他 3 学科の 3 年次編入学定員を減員するため、学部全体の収容定員の変更はない。

また、進学需要に関しては「学生の確保の見通し等を記載した書類」にて詳述する。

（2）社会課題の解決に資する管理栄養士の輩出

同学科は「農」の仕組みを理解しながら「食」と「ヒトの栄養」について学び、食と栄養のスペシャリストとして活躍できる人材育成を使命の一つとしており、厚生労働省より

管理栄養士養成施設の指定を受けている。

現在、国内において食習慣の変化による肥満や高血圧等の生活習慣病者が年々増加しており、健康寿命の延伸という観点からも、これが大きな社会課題の一つとなっている。そのため管理栄養士にはこの課題解決に向けて、病院・学校・企業のみならず地域社会にも活動の範囲を拡げ、人々が健康的で豊かな暮らしを送るための助言・指導、啓蒙活動等に積極的に関わっていくことが期待されている。今般の収容定員変更は、これに応える有為な人材をより多く社会へ輩出することに繋がるものと考える。

ウ．学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

（ｱ）．教育課程の変更内容

＜心理学部＞

本学部は、上述のとおり文学部臨床心理学科を基礎とする学部であるため、他の全ての学部・学科と同様に、大学全体の方針に基づいた「教養教育課程」と「学部専攻科目」からなる教育課程を編成することとし、「学部専攻科目」においては、新たに次の特色ある専門教育を展開し、建学の精神を踏まえた有為な人材を養成する。

また、心理職の国家資格である公認心理師の受験資格課程関連科目を配置し、「心の健康」に資する対人支援の心理学教育を展開する。

（1）学生の視点に立った専門教育課程

本学部の専門教育課程は、公認心理師をはじめとした心理専門職として必要な知識、実践力の涵養だけではなく、公務員や民間企業等の幅広い業種、職種を想定した「キャリア啓発科目」、および「産業・メンタル」分野、「データ心理学」分野を包摂した編成とし、卒業後の幅広いキャリアに資する専門教育を展開する。

そのため、本学部では心理学の知見に基づいた社会実践をする上で必要となる基礎的な専門教育として、初年次から①「心理学基礎科目」、②「データサイエンス科目」、③「キャリア啓発科目」の「3つの柱（科目群）」を設定した「専門基礎科目」を必修として設置する。これらの科目では、低年次から社会とのつながりを意識させ、その後の学修意欲の向上、および「専門発展科目」へのスムーズな移行を目的とする。科目の概要は次のとおりである。

心理学基礎科目	心理学の基礎となる考え方そのものを学び、どのように応用心理学と繋がるのかを理解する。
データサイエンス科目	心の動きや行動をデータとして統計的に処理・分析し、心のありようを科学的に捉える。
キャリア啓発科目	卒業後のキャリアを意識し、実社会において心理学がどのように活用されるのかを学ぶ

(2) 専門的心理学教育の「2 つのプログラム」、ならびにキャリアビジョンに合わせた専門的かつ実践的な「9 つの分野」を軸にした教育課程

「専門発展科目」として「生涯発達カウンセリングプログラム」と「関係支援とコミュニケーションプログラム」という 2 つのプログラムを配置し、心理学の専門的な教育の充実を図る。加えて、学生が自身のキャリアビジョンに基づいて、関心のある分野を適切に選択することができるように 2 つのプログラムの下に、特徴的な心理実践に繋がる「9 つの分野」(①乳幼児と保護者の心と支援、②子どもの心と支援、③思春期・青年期の心と支援、④成人・高齢者の心と支援（以上、生涯発達カウンセリングプログラム)、⑤チーム医療、⑥チーム学校、⑦ネットワーク支援、⑧産業・メンタルヘルス（以上、関係支援とコミュニケーションプログラム)、⑨データ心理学（プログラム横断科目)）を設け、科目を配置する。

2 つのプログラムを横断的に接続する「プログラム横断科目・データ心理学分野」では、学生自らが設定した卒業研究に活かすことができるよう、効果的な調査研究の手法や分析方法などを学修する。

これらの専門教育課程においては、低年次配当「専門基礎科目」を含め、分野別の系統的、体系的な教育課程とすることで、専門的な学びの深化が可能となる。

(3) 学生の主体性を引き出す教育課程

後述する「教育方法及び履修指導方法の変更内容」に記載のとおり、ゼミナール形式の各種科目や PBL（Project-Based Learning）の科目を開講する。低年次から、学生が主体的に学び、行動する姿勢を呼び起こす教育手法である AL（Active Learning）を取り入れ、入学後の早い段階で主体的に学ぶ姿勢を醸成する。

＜農学部＞

農学部 4 学科については、3 年次編入学定員の変更であり、学部全体の収容定員に変更（増減）はない。そのため、教育課程の変更はおこなわず、引き続き現在の最適な教育研究環境を維持し、学修者本位の教育の実現をめざす。また、上述のとおり、学部の収容定員は変更しないため、他学部等への影響はないものと考えている。

なお、収容定員が 8 名増員する食品栄養学科については、管理栄養士課程を設置しているが、これについては「イ．学則変更（収容定員変更）の必要性」で述べたとおり、厚生労働省との相談を踏まえていることを付記する。

（イ）．教育方法及び履修指導方法の変更内容

本学では、従来から教育水準や教育成果の向上をめざし、日常的に全学的な FD 活動を通じて、授業内容の改善、カリキュラム改革、教育手法の開発等に取り組み、教育全般の質的充実を図ってきた。特に、全学的に初年次教育を重視し、1 年次における演習やゼミを少人数で開講するとともに、入学前教育の充実等に取り組んでいる。

今般、収容定員変更をおこなう、心理学部及び農学部をはじめ大学全体としての教育方法等は次のとおりであり、これらの取り組みを着実に展開することにより、教育の質を低下させることなく変更前と同等以上の内容を担保できるものと考えている。なお、教育方法及び履修方法については、それぞれの学部が責任をもって行っており、他学部等への影響はない

ものと考える。

＜心理学部＞

（1）教育方法及び履修指導方法の変更内容

本学部の教育課程は、専門基礎科目、専門発展科目、共通選択科目、資格関連科目（教職課程除く）、教養教育科目に区分し、体系的に科目を配置する。

専門基礎科目「フレッシャーズゼミ」、「心理学基礎演習 A・B・C」、専門発展科目「心理学演習」「卒業研究」は必修科目として開講し、実施形態は 1 クラス 25 名程度のゼミナール形式とする。

これら科目では教員間の連携を緊密にとりつつ、きめ細かな指導を展開する。少人数教育を 1 年次から 4 年次まで継続して実施することで、学生同士の活発な議論や担当教員との対話がしやすい学修環境を提供し、思考力、主体性、問題解決能力を養成する。3 セメスター以降に順次専門性を高めて学修するために、2 つのプログラム及び 9 つの分野それぞれの特徴を概括的に学ぶ科目として、2 セメスターに専門基礎科目「生涯発達と関係支援」を配置し、5 セメスター以降では、分野ごとのプログラム科目群や各分野の専門性を深めるための講義系科目を幅広く配置、演習・実習系科目と合わせて実践的な知識や手法の修得できる教育課程とする。

また、様々な専門分野を学ぶ中で学生の興味に変化に併せて 2 つのプログラム、9 つの分野から偏らずに科目履修できるものとする。その他の特徴として、課題解決型学習（PBL）科目として「心理学プロジェクト社会連携演習」を 2 年次以降に配置し、地域社会等の諸課題について、心理学的アプローチを活かした解決方策を実践的に探究する。本科目では、自ら考え行動する力、企画力、調査力、課題解決力、コミュニケーション力、チーム力を涵養し、社会における心理学の学びの意義を学修する。

なお、キャリア形成科目として専門基礎科目「仕事と社会人Ⅰ」を開講し、ビジネスにおけるコミュニケーションやロジカルシンキング等を発展的に学修する。「仕事と社会人Ⅱ」（5 セメスター）の他、心理専門職をめざす大学院進学者の受講を想定した「事例演習アドバンスⅠ」（7 セメスター）及び「事例演習アドバンスⅡ」（8 セメスター）では、大学院生の担当するケースのスーパービジョンを通し、カウンセリングについて実践的に学修する機会を提供する。

次に本学部における履修指導は、以下の点を踏まえて行うこととする。

新学年の授業開始前のガイダンスにおいて、履修登録、成績、単位の取得等に関する全般的な履修指導を実施する。その際、本学部の履修要項や履修モデル等の説明資料を配付し、それらを参照しながら履修登録や教育課程の内容等について理解促進を図る。

履修モデルについては、カリキュラムマップとして、各年次及びセメスターで履修するべき科目の具体例を載せ、新入生に提示することで 4 年間の学修の全体像や、専門分野への道筋を分かりやすく示すこととし、他学部同様、履修要項に掲載し、学修の目標やそのための履修のあり方を明確にする。

シラバスには、各授業の授業概要、到達目標、各回の授業計画や予習復習内容、教科書、参考書、成績評価基準等が明確に記されていることを周知し、選択科目についてはそれらを熟読して自らの学修目標の実現を助ける科目を適切に選択するように指導する。

履修登録や教務に関連した情報の提供は、全学的に運用されている教学情報のポータルサイト（Ryukoku University System Integration Service）により行う。履修指導や教務に関連した学生の疑問点に関しては、教務委員会が中心となり指導や助言を行う。

また、心理学部の教養教育課程は、「教養教育センター」のもと、全学的に運営されている「教養科目」、「言語科目」及び「仏教の思想」にて実施される。また、学部専攻科目において、他学部等に所属する教員が担当する科目は少数である。よって、本学部の教育課程が他学部の教育体制に与える影響は限定的であり、問題はないと考える。

なお、グローバル化や人工知能（AI）をはじめとするデジタル化における人材育成には、問題解決学習等を含む、アクティブ・ラーニングが必要であり、そのためにICT環境の整備は非常に重要である。現在、文部科学省の方針により、初等中等教育におけるICT環境の整備が急速に進んでおり、無線LANの整備に関しては大学の環境を追い越しつつある。さらに高等学校においては、タブレットPC等を必携化し、アクティブ・ラーニングを全面的に取り入れている学校も増えつつある。

そこで心理学部では、教育課程におけるアクティブ・ラーニングを支える環境として、学生に自身のPC等のデバイスを必ず携帯してもらう、BYOD（Bring Your Own Device）制を導入する。学内各所にはPCを操作するための、自習スペースを整備する。

また、ICTを活用するカリキュラムの整備に合わせ、深草・大宮キャンパス内は、どこにいても無線LANが活用できる環境を整備し、教室や自習スペースを無線環境でつなぎICT環境を充実させることで、オンライン授業やデータサイエンス科目におけるデータ処理等においても、いつでもどこでも自らのデバイスを用いて学修できる環境を整備する。

＜農学部＞

食品栄養学科では、「イ．学則変更（収容定員変更）の必要性」において述べたとおり、食と栄養のスペシャリストである管理栄養士を養成している。従来から取り組んでいる、実践力のある管理栄養士の養成に向けた教育研究を推進しており、教育方法及び履修指導方法は変更しない。なお、管理栄養士国家試験合格に向けた復習講座、管理栄養士国家試験に精通した教員等による適切な個別指導等を継続的に行っており、引き続き、学生のキャリアの実現に向けた学修支援を進めていく。

なお、本学農学部の特徴的な授業科目として、1学年（約430名）全員が圃場で作業を行う体験型の必修科目「食の循環実習Ⅰ」、「食の循環実習Ⅱ」がある。編入学生もこれら授業科目の履修をさせることで、他大学等では経験することができなかった体験を通して、「農」を土台とし「農」を理解した管理栄養士を養成することができるように取り組んでいく。

＜全学的な取り組み＞

（1）FD活動の推進

本学では、学修支援・教育開発センターが中心となり、教員個人及び各学部・研究科等と有機的に連携・協働しながら、FD活動を推進してきた。引き続き、主に次の取り組みを展開し、組織的・継続的な教育の質及び教育力の向上を図っていく。

① 教育改善の促進

学生による授業アンケートや公開授業等を通して、教育改善に向けた課題解決の方策を

検討し、個人及び各学部・研究科の教育力向上に繋げている。また、各学部・研究科が実施する FD 活動の取組状況や成果を全学に共有するとともに、大学教育の動向を見据えたテーマを設定し、学修支援・教育開発センター主催の龍谷大学 FD フォーラムを開催する。

② 教育開発の推進

個人又はグループが行う授業・教材等の研究開発を支援するために、自己応募研究プロジェクトを実施する。また、学修支援・教育開発センターが、より効果の高い教育を実践するための基盤作りを進めるために、指定研究プロジェクトも実施する。

③ 他大学等との連携推進

全国私立大学 FD 連携フォーラム、関西地区 FD 連絡協議会、大学コンソーシアム京都等の協議会へ参画し、他大学との連携を図るとともに、FD に関する新たな情報を収集し、本学への普及・展開をめざす。

（ｳ）．教員組織の変更内容

＜心理学部＞

令和 5（2023）年度の教員数は、大学設置基準上の必要専任教員数 14 名に対し、21 名の専任教員を配置し、手厚い指導体制を構築している。職位別・年齢別の状況は次のとおりであり、教育・研究活動はもちろんのこと、学部運営をはじめその他諸活動を円滑に行うにあたり、バランスの取れた配置に努めている。なお、兼担教員及び兼任教員についても、いずれもその分野において十分な経験や学識を有する人材を採用する。

職階	教授	准教授	講師	助教
人数	14 名	6 名	1 名	0 名

年齢	60 代	50 代	40 代	30 代
人数	7 名	5 名	6 名	3 名

＜農学部＞

令和 5（2023）年度の教員数は、大学設置基準上の必要専任教員数 37 名に対し、52 名の専任教員を配置している。3 年次編入学定員を新たに設ける食品栄養学科の教員数は、大学設置基準上の必要専任教員数 8 名に対し、14 名の専任教員を配置している。これに加えて、実験実習等をサポートする助手が 8 名おり、手厚い指導体制を構築している。引き続き現在の教員組織を維持し、最適な教育研究環境を整備することとする。

なお、本学では、従前から、学部毎に中長期的な教員人事計画を策定しており、今後も大学設置基準で定められた必要専任教員数以上の充分な教員数を担保し、継続的に充実した教育体制を構築することとする。

（エ）．大学全体の施設・設備の変更内容

心理学部の設置にあわせ、新たに新棟を整備する。同学部は 3 年次から大宮キャンパスを拠点として教育研究等を行うこととしており、1 期生が 3 年次を迎える令和 7（2025）年度から利用できるよう準備を進めている。なお、本施設は隣接する付属平安高等学校・中学校もその施設を利用する予定であるが、本学と付属平安高等学校・中学校が使用するエリアを明確に区別し利用することから、教育研究上の問題は生じない。

施設全体の延べ床面積は 4,098.46 ㎡を予定しており、そのうち本学が使用する部分の延べ床面積は 3,098.83 ㎡、付属平安高等学校・中学校が使用する部分の延べ床面積は 999.63 ㎡になる。具体的な施設としては、講義室及び演習室を 8 室、研究室 21 室、付置相談室、食堂等を整備する。また、新たな設備として生理実験室を整備し、教育研究環境の更なる充実を図ることとする。

また、本学は従来から継続的に、全学的な施設・設備の充実整備に取り組んでいる。施設の整備を通じた学生一人あたりの教室スペースの拡大や図書冊数の充実整備、自主学修スペースや共同学修ゾーンの確保、情報処理機器の整備、視聴覚教材等、あらゆる面で学生の教育環境の更なる充実をめざし、学修環境を整備してきた。令和 4（2022）年度には、ICT 教育（オンライン教育を含む）の充実を図るべく、円滑なオンライン授業の実施に向け、それに対応する専用教室を 6 室整備する。本学は 3 つのキャンパスを有しており、今般の計画では、1 キャンパスに 2 室ずつ上記教室を整備し、キャンパスを跨いだオンライン授業を展開する予定である。これに加え、新たに 20 室に 2 種類のマイク付き高性能 Web カメラを導入し、より学修効果の高いオンライン授業の実施に繋げる予定である。

上記以外にも、蔵書図書は令和 5（2023）年度末で約 233 万冊を整備するとともに、学内すべての教室や図書館、各種コモンズ、自修スペースに教育用の無線 LAN（Wi-Fi）環境を構築し、正課教育での活用とともに学生の自学自修環境の充実に努めている。蔵書図書は今後も計画的に充実を図り、完成年度である令和 8（2026）年度末の蔵書計画は約 238 万冊（＋5 万冊）の図書を整備する予定である。

情報教育面においては、全学で教室備え付けの PC、学生貸出用の PC、その他を含めて総計で約 3,400 台の教育系情報システム端末を整備するとともに、情報メディアセンター窓口及びセルフラーニング室（自修用 PC 教室）にスタッフが常駐し、学修支援環境の充実整備に努めている。加えて、オンラインを活用した授業や学生指導の拡大を見越し、平成 30（2018）年度から学内無線 LAN（Wi-Fi）環境の拡充を図った。現在では、アクセスポイントを従来の 685 地点から 1,700 地点（＋1,015 地点、約 2.48 倍）に増強し、キャンパス全域で場所を問わずに学内無線 LAN に接続できる環境を整備している。

今後も更なる充実を図ることで、収容定員の変更を図っても、これまで以上の学修支援環境を担保する予定である。

エ．2 以上の校地において教育研究を行う具体的計画

本学は、大学本部がある深草キャンパス（京都市伏見区）以外に、大宮キャンパス（京都市下京区）及び瀬田キャンパス（滋賀県大津市）の 3 つのキャンパスを有している。心理学部及び農学部とも 2 以上の校地において、教育研究を行う予定であり、その計画について説明する。

＜心理学部＞

心理学部は、主に 1・2 年次生：深草キャンパス、3・4 年次生：大宮キャンパスで教育研究を行う。両キャンパス間は、スクールバスを利用することにより、約 15 分で移動可能である。また、3 年次以上の学生が深草キャンパスで開講される 1・2 年次配当科目の再履修等が必要になった場合でも、受講に支障のない時間割編成を行っている。

なお、心理学部専任教員の担当授業科目は、深草・大宮両キャンパスに及ぶが、同一曜日に両キャンパスで科目を担当する場合、十分な移動時間を確保し授業に支障を来さないよう配慮しており、2 キャンパスで授業を行うことによる教員の教育・研究上の支障は生じない。また、原則、専任教員の研究室は大宮キャンパスに配置しているが、深草キャンパスにおける学生対応については、共同研究室や教員と学生が講義時間外に履修指導等を行うためのスペースを用意しており、学生からの様々な要望に対応できるよう配慮している。

＜農学部＞

農学部資源生物科学科では博物館学芸員課程を設置しており、この課程を受講する学生は、2 以上の校地において教育研究を行うこととなる。これは、当該課程を有する文学部（深草及び大宮キャンパス）、国際学部（深草キャンパス）、先端理工学部（瀬田キャンパス）と共同で科目を開講しているためである。学生が博物館学芸員課程を受講するにあたっては、次の対応を講じ、学生及び教員への配慮を行っており、教育研究上の支障がないよう努めている。

同学科における博物館学芸員課程の履修可能人数を 20 名以内とするとともに、大宮キャンパスで 2 科目、深草キャンパスで 5 科目を受講することを予め周知している。また、当該課程の履修を希望する学生に配慮し、上述のキャンパス間の移動時間も勘案した時間割を編成している。なお、スクールバスを利用することにより、瀬田キャンパスから大宮キャンパスは約 65 分、瀬田キャンパスから深草キャンパスは約 40 分で移動可能である。

また、農学部の専任教員のうち 1 名が、深草キャンパスで開講される授業科目 1 科目を担当する。この科目はオムニバス方式で実施され、当該教員が担当するのは全 15 回の講義のうち 3 回のみであることから、教育・研究上の支障は生じない。

以上

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（心理学部心理学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	「仏教の思想」科目	仏教の思想A	1 前	2			○				1					
		仏教の思想B	1 後	2			○				1					
		歎異抄の思想Ⅰ	2 前		2		○								兼 2	
		歎異抄の思想Ⅱ	2 後		2		○								兼 2	
		小計（4科目）	－	4	4	0	－			0	1	0	0	0	兼 2	
	言語科目	英語総合1（A）	1 前	1			○								兼 24	
		英語総合1（B）	1 前	1			○								兼 24	
		英語総合2（A）	1 後	1			○								兼 24	
		英語総合2（B）	1 後	1			○								兼 24	
		英語総合3（A）	2 前		1		○								兼 13	
		英語総合3（B）	2 前		1		○								兼 16	
		英語総合4（A）	2 後		1		○								兼 13	
		英語総合4（B）	2 後		1		○								兼 16	
		英語セミナーA1	1 前		2		○								兼 2	
		英語セミナーA2	1 後		2		○								兼 2	
		英語セミナーB1	2 前		2		○								兼 1	
		英語セミナーB2	2 後		2		○								兼 1	
		英語セミナーC1	2 前		2		○								兼 1	
		英語セミナーC2	2 後		2		○								兼 1	
		英語セミナーD1	3 前		2		○								兼 1	
		英語セミナーD2	3 後		2		○								兼 1	
		英語セミナーE1	2 前		2		○								兼 1	
		英語セミナーE2	2 後		2		○								兼 1	
		英語セミナーF1	2 前		2		○								兼 1	
		英語セミナーF2	2 後		2		○								兼 1	
		英語セミナーG1	1 前		2		○								兼 1	
		英語セミナーG2	1 後		2		○								兼 1	
		英語セミナーH1	3 前		2		○								兼 2	
		英語セミナーH2	3 後		2		○								兼 2	
		英語セミナーI1	1 前		2		○								兼 1	
		英語セミナーI2	1 後		2		○								兼 1	
		英語セミナーJ1	3 前		2		○								兼 1	
		英語セミナーJ2	3 後		2		○								兼 1	
		英語資格試験セミナー	1 前		2		○								兼 1	集中
		海外英語研修	1 後		2		○								兼 1	集中
		ドイツ語Ⅰ	1 前		2		○								兼 11	
		ドイツ語Ⅱ	1 後		2		○								兼 11	
		ドイツ語ⅢA	2 前		1		○								兼 4	
		ドイツ語ⅢB	2 後		1		○								兼 4	
		ドイツ語ⅢC	2 前		1		○								兼 3	
		ドイツ語ⅢD	2 後		1		○								兼 3	
		フランス語Ⅰ	1 前		2		○			1					兼 9	
		フランス語Ⅱ	1 後		2		○			1					兼 9	
		フランス語ⅢA	2 前		1		○			1					兼 1	
		フランス語ⅢB	2 後		1		○			1					兼 1	
		フランス語ⅢC	2 前		1		○								兼 2	
		フランス語ⅢD	2 後		1		○								兼 2	
		中国語Ⅰ	1 前		2		○								兼 21	
		中国語Ⅱ	1 後		2		○								兼 20	
		中国語ⅢA	2 前		1		○								兼 8	
		中国語ⅢB	2 後		1		○								兼 7	
		中国語ⅢC	2 前		1		○								兼 5	
		中国語ⅢD	2 後		1		○								兼 4	
		スペイン語Ⅰ	1 前		2		○								兼 8	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（心理学部心理学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	言語科目	スペイン語Ⅱ	1 後		2		○								兼 8	
		スペイン語ⅢA	2 前		1		○								兼 2	
		スペイン語ⅢB	2 後		1		○								兼 2	
		スペイン語ⅢC	2 前		1		○								兼 2	
		スペイン語ⅢD	2 後		1		○								兼 2	
		コリア語Ⅰ	1 前		2		○				1				兼 12	
		コリア語Ⅱ	1 後		2		○				1				兼 12	
		コリア語ⅢA	2 前		1		○								兼 4	
		コリア語ⅢB	2 後		1		○								兼 4	
		コリア語ⅢC	2 前		1		○								兼 2	
		コリア語ⅢD	2 後		1		○								兼 2	
		ドイツ語セミナーＩＡ	2 前		2		○								兼 2	
		ドイツ語セミナーＩＢ	2 後		2		○								兼 2	
		ドイツ語セミナーＩＣ	2 前		2		○								兼 1	
		ドイツ語セミナーＩＤ	2 後		2		○								兼 1	
		ドイツ語セミナーⅡA	3 前		2		○								兼 1	
		ドイツ語セミナーⅡB	3 後		2		○								兼 1	
		ドイツ語セミナーⅡC	3 前		2		○								兼 1	
		ドイツ語セミナーⅡD	3 後		2		○								兼 1	
		ドイツ語コミュニケーションⅠ	2 後		2		○								兼 1	
		ドイツ語コミュニケーションⅡ	3 前		2		○								兼 1	
		フランス語セミナーＩＡ	2 前		2		○								兼 2	
		フランス語セミナーＩＢ	2 後		2		○								兼 2	
		フランス語セミナーＩＣ	2 前		2		○								兼 2	
		フランス語セミナーＩＤ	2 後		2		○								兼 2	
		フランス語セミナーⅡA	3 前		2		○								兼 1	
		フランス語セミナーⅡB	3 後		2		○								兼 1	
		フランス語セミナーⅡC	3 前		2		○								兼 1	
		フランス語セミナーⅡD	3 後		2		○								兼 1	
		フランス語コミュニケーションⅠ	2 後		2		○								兼 1	
		フランス語コミュニケーションⅡ	3 前		2		○								兼 1	
		中国語セミナーＩＡ	2 前		2		○								兼 2	
		中国語セミナーＩＢ	2 後		2		○								兼 2	
		中国語セミナーＩＣ	2 前		2		○								兼 1	
		中国語セミナーＩＤ	2 後		2		○								兼 1	
		中国語セミナーⅡA	3 前		2		○								兼 1	
		中国語セミナーⅡB	3 後		2		○								兼 1	
		中国語セミナーⅡC	3 前		2		○								兼 1	
		中国語セミナーⅡD	3 後		2		○								兼 1	
		中国語コミュニケーションⅠ	2 後		2		○								兼 1	
		中国語コミュニケーションⅡ	3 前		2		○								兼 1	
		スペイン語セミナーＩＡ	2 前		2		○								兼 1	
		スペイン語セミナーＩＢ	2 後		2		○								兼 1	
		スペイン語セミナーＩＣ	2 前		2		○								兼 1	
		スペイン語セミナーＩＤ	2 後		2		○								兼 1	
		スペイン語セミナーⅡA	3 前		2		○								兼 1	
		スペイン語セミナーⅡB	3 後		2		○								兼 1	
		スペイン語セミナーⅡC	3 前		2		○								兼 1	
		スペイン語セミナーⅡD	3 後		2		○								兼 1	
		スペイン語コミュニケーションⅠ	2 後		2		○								兼 1	
		スペイン語コミュニケーションⅡ	3 前		2		○								兼 1	
		コリア語セミナーＩＡ	2 前		2		○								兼 1	
		コリア語セミナーＩＢ	2 後		2		○								兼 1	
		コリア語セミナーＩＣ	2 前		2		○								兼 1	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（心理学部心理学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	言語科目	コリア語セミナーＩＤ	２後		2		○								兼 1	
		コリア語セミナーⅡA	３前		2		○				1					
		コリア語セミナーⅡB	３後		2		○				1					
		コリア語セミナーⅡC	３前		2		○								兼 1	
		コリア語セミナーⅡD	３後		2		○								兼 1	
		コリア語コミュニケーションⅠ	２後		2		○								兼 1	
		コリア語コミュニケーションⅡ	３前		2		○								兼 1	
		海外中国語研修講座	２前		2		○								兼 1	集中
		ポルトガル語Ⅰ	２前		2		○								兼 1	
		ポルトガル語Ⅱ	２後		2		○								兼 1	
		ポルトガル語ⅢA	３前		2		○								兼 1	
		ポルトガル語ⅢB	３後		2		○								兼 1	
		ロシア語Ⅰ	２前		2		○								兼 1	
		ロシア語Ⅱ	２後		2		○								兼 1	
		ロシア語ⅢA	３前		2		○								兼 1	
		ロシア語ⅢB	３後		2		○								兼 1	
		ラテン語Ⅰ	２前		1		○								兼 1	
		ラテン語Ⅱ	２後		1		○								兼 1	
		ギリシア語Ⅰ	２前		1		○								兼 1	
		ギリシア語Ⅱ	２後		1		○								兼 1	
		ペルシア語ＩA	２前		2		○								兼 1	
		ペルシア語ＩB	２前		2		○								兼 1	
		ペルシア語ⅡA	２後		2		○								兼 1	
		ペルシア語ⅡB	２後		2		○								兼 1	
		トルコ語Ⅰ	２前		2		○								兼 1	
		トルコ語Ⅱ	２後		2		○								兼 1	
		アラビア語Ⅰ	２前		2		○								兼 1	
		アラビア語Ⅱ	２後		2		○								兼 1	
		日本語	1前・後		1		○								兼 3	
		小計（132科目）	－	4	227	0	－			1	1	0	0	0	兼 149	
	教養科目 人文科学系科目	哲学入門	１前		2		○								兼 1	
		哲学A	１前		2		○								兼 3	
		哲学B	２前		2		○								兼 2	
		倫理学入門	１前		2		○								兼 1	
		倫理学A	１前		2		○								兼 2	
		倫理学B	２前		2		○								兼 2	
		クリティカル・シンキング	１前		2		○								兼 1	
		論理学	２前		2		○								兼 1	
		宗教学入門	１前		4		○								兼 1	
		宗教の世界A	１前		2		○								兼 2	
		宗教の世界B	１後		2		○								兼 2	
		中国の思想A	１前		2		○								兼 1	
		中国の思想B	１後		2		○								兼 1	
		芸術の世界A	２前		2		○								兼 1	
		芸術の世界B	２後		2		○								兼 1	
		日本の文学A	１前		4		○								兼 2	
		日本の文学B	１後		4		○								兼 2	
		日本の文学C	２前		2		○								兼 1	
		アジアの文学A	１前		2		○								兼 1	
		アジアの文学B	１前		2		○								兼 1	
		西洋の文学A	１前		2		○								兼 3	
		西洋の文学B	１後		2		○								兼 3	
		文章表現法A	１前		2		○								兼 3	
		文章表現法B	１後		2		○								兼 1	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（心理学部心理学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	教養科目	人文科学系科目	言語と文化	1 前		2		○								兼 2	
			歴史学入門	2 前		2		○								兼 2	
			日本の歴史A	1 前		4		○								兼 1	
			日本の歴史B	1 後		4		○								兼 1	
			日本の文化	2 後		4		○								兼 1	
			アジアの歴史A	1 前		4		○								兼 3	
			アジアの歴史B	1 後		4		○								兼 2	
			アジアの文化	2 前		2		○								兼 2	
			西洋の歴史A	1 前		4		○								兼 1	
			西洋の歴史B	2 前		2		○								兼 1	
			西洋の歴史C	2 後		2		○								兼 1	
			現代世界の歴史A	1 前		2		○								兼 2	
			現代世界の歴史B	1 後		2		○								兼 2	
			心理学	1 前		4		○								兼 1	
			心の科学A	1 前		2		○								兼 2	
			心の科学B	1 後		2		○								兼 2	
			応用心理学A	2 前		2		○								兼 1	
			応用心理学B	2 後		2		○								兼 1	
			教育学のすすめA	1 前		2		○								兼 3	
			教育学のすすめB	1 後		2		○								兼 3	
			現代社会と教育A	2 前		2		○								兼 1	
			現代社会と教育B	2 後		2		○								兼 1	
			教育原論A	2 前		2		○								兼 1	
			教育原論B	2 後		2		○								兼 1	
			学習・発達論A	2 前		2		○								兼 3	
			学習・発達論B	2 後		2		○								兼 3	
			人文科学セミナー	2 通		4		○								兼 7	
			大学論	2前・後		2		○								兼 9	オムニバス
			小計（52科目）	－	0	126	0	－			0	0	0	0	0	兼 49	
		社会科学系科目	日本国憲法	1 前		2		○								兼 4	
			法学のすすめ	1 前		2		○								兼 3	
			政治学のすすめ	1 前		2		○								兼 1	
			社会学のすすめ	1 前		2		○								兼 2	
			地理学のすすめ	1 前		2		○								兼 1	
			経済学のすすめ	1 前		2		○								兼 3	
			経営学のすすめ	1 前		2		○								兼 2	
			国際学のすすめ	1 前		2		○								兼 1	
			文化人類学のすすめ	1 前		2		○								兼 1	
			社会調査のすすめ	1 前		2		○								兼 2	
			社会統計学のすすめ	1 前		2		○								兼 1	
			人権論A	1 前		2		○								兼 1	
			人権論B	1 後		2		○								兼 1	
			現代社会とメディア	2 前		2		○								兼 2	
			現代社会と福祉	2 前		2		○								兼 1	
			現代社会と法	2 前		2		○								兼 1	
			環境と社会	2 前		2		○								兼 2	
			平和学A	2 前		2		○								兼 2	
			ジェンダー論	2 前		2		○								兼 2	
			国際社会論	2 前		2		○								兼 2	
			現代社会の諸問題	2 後		2		○								兼 2	
			地域論	2 前		2		○								兼 1	
			企業と会計	2 後		2		○								兼 1	
			現代社会と労働	2 前		2		○								兼 1	
			社会思想史	2 前		2		○								兼 1	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（心理学部心理学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	教養科目	社会科学系科目	英語で学ぶ日本の社会A	1 後		2		○								兼 1	
			英語で学ぶ日本の社会B	1 前		2		○								兼 1	
			小計（27科目）	－	0	54	0	－			0	0	0	0	0	兼 37	
		自然科学系科目	数学入門	1 前		2		○								兼 2	
			数学への旅	1 前		2		○								兼 3	
			確率・統計入門	1 前		2		○								兼 2	
			微分と積分	1 前		4		○								兼 1	
			行列と行列式	1 後		4		○								兼 1	
			数理統計学	2 前		4		○								兼 1	
			数理と計算	2 前		2		○								兼 1	
			数学の世界	2 前		4		○								兼 1	
			数理と論証	2 前		2		○								兼 1	
			宇宙の科学Ⅰ	1 前		4		○								兼 1	
			宇宙の科学Ⅱ	2 前		2		○								兼 2	
			地球科学のすすめ	1 前		2		○								兼 1	
			地球科学	1 後		2		○								兼 1	
			物理科学の世界	1 前		4		○								兼 1	
			時間と空間の科学	1 前		2		○								兼 2	
			エネルギー入門	2 前		2		○								兼 1	
			自然科学史Ⅰ	1 前		2		○								兼 1	
			自然科学史Ⅱ	2 前		2		○								兼 1	
			科学論	2 前		2		○								兼 2	
			技術論	2 後		2		○								兼 1	
			平和学B	2 前		2		○								兼 1	
			里山学	1 前		2		○								兼 8	オムニバス
			生物科学のすすめ	1 前		4		○								兼 1	
			生命科学のすすめ	1 前		2		○								兼 3	オムニバス
			生命科学	1 後		2		○								兼 2	
			生態学のすすめ	1 前		4		○								兼 1	
			人類学のすすめ	1 前		4		○								兼 2	
			日本の自然	1 前		4		○								兼 8	オムニバス
			生命誌	2 前		2		○								兼 1	
			植物の自然誌	2 前		2		○								兼 2	
			動物の自然誌	2 前		2		○								兼 2	
			民族の自然誌	2 前		2		○								兼 1	
			人類進化学	2 前		2		○								兼 1	
			人間の生物学Ⅰ	2 前		2		○								兼 1	
			人間の生物学Ⅱ	2 後		2		○								兼 1	
			自然誌実習	2前･後		4		○								兼 4	オムニバス
			野外観察法	2 前		2		○								兼 2	集中
			環境学	1 前		4		○								兼 3	
			情報科学入門	2 前		2		○								兼 1	
			情報科学Ⅰ	2 後		2		○								兼 1	
			情報科学Ⅱ	3 前		2		○								兼 1	
			情報科学実習	1 後		4		○								兼 2	
			小計（42科目）	－	0	110	0	－			0	0	0	0	0	兼 41	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（心理学部心理学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	教養科目	スポーツ科学系科目	健康とスポーツ	2 前		2		○								兼 2	
			現代社会とスポーツ	1 前		2		○								兼 2	
			スポーツ技術学演習	1 前		2				○						兼 13	
			人間とスポーツ	1 前		2		○								兼 2	
			スポーツと人権・平和	2 後		2		○								兼 1	
			スポーツ文化史	2 前		2		○								兼 1	
			スポーツ科学最前線	1 前		2		○								兼 1	
			小計（7科目）	－	0	14	0	－			0	0	0	0	0	兼 14	
			教養教育科目特別講義	1 前		2		○								兼 11	オムニバス
			バークレー語学	1 前		12		○								兼 1	
			バークレー講義	1 前		6		○								兼 1	
			バークレーボランティア	1 前		6		○								兼 1	
			小計（4科目）	－	0	26	0	－			0	0	0	0	0	兼 12	
専攻科目	専門基礎科目		フレッシャーズゼミ	1 前	2				○		4	3	1			兼 2	オムニバス
			心理学基礎演習A	1 後	2				○		5	2	1			兼 2	
			心理学基礎演習B	2 前	2				○		5	4	1				
			心理学基礎演習C	2 後	2				○		5	4	1				
			心理学概論	1 前	2			○				1					
			発達心理学	1 前	2			○				1					
			臨床心理学概論	1 前	2			○								兼 1	
			心理学的支援法	1 後	2			○								兼 1	
			心理学研究法概論	2 前	2			○				1					
			心理学統計法概論	2 前	2			○					1				
			心理的アセスメントⅠ	2 後	2			○				1					
			生涯発達と関係支援	1 後	2			○			2						オムニバス
			心理学とデータサイエンス	2 前	2			○			1	1					共同（一部）
			キャリアと心理	1 前	2			○				1	1				オムニバス
			キャリアデザイン論	1 後	2			○				1					
			人体の構造と機能及び疾病	1 後		2		○					1				
			心理学実験	2 後		1				○	2		1				
			神経・生理心理学	2 後		2		○			1						
			障害者・障害児心理学	2 前		2		○			1						
			福祉心理学	2 後		2		○			1						
			健康・医療心理学	1 後		2		○								兼 1	
			教育・学校心理学	2 前		2		○					1				
			脳と心	2 後		2		○			1						
			乳幼児の発達	2 前		2		○				1					
			児童思春期精神医学	2 前		2		○			1						
			子どもの心理療法	2 後		2		○			1						
			高齢者の心理と福祉	2 後		2		○			1						
			仏教と心理学	2 後		2		○			1	1					オムニバス
			コミュニティとシステム支援	2 前		2		○			1						
			ストレスマネジメント	2 前		2		○					1				
			チーム医療	2 後		2		○					1				
			チーム学校とシステム論	2 後		2		○			1						
			心理学の職業的展開	2 前		2		○			1	1					共同（一部）

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（心理学部心理学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	専門基礎科目	仕事と社会人Ⅰ	2 後		2			○			1					
		心理学プロジェクト社会連携演習	2 後		2			○			1					
		生涯発達臨床心理学	2 前		2		○			1						
		ライフサイクルとカウンセリング	2 後		2		○			7	2					オムニバス
		家族療法とシステムズアプローチ	2 前		2		○			1						
		目からウロコのコミュニケーション学	2 後		2		○				1					
		小計（39科目）	－	30	47	0	－			11	6	3	0	0	兼 4	
	専門発展科目	心理学演習	3･4 前･後	2				○		13	4	2				
		卒業研究	4 通	4				○		13	4	2				
		知覚・認知心理学	3 前		2		○								兼 1	
		精神疾患とその治療	3 前		2		○			1						
		感情・人格心理学	3 前		2		○			1						
		心理関係行政論	3 前		2		○			6	1	1				オムニバス
		司法・犯罪心理学	3 前		2		○			1						
		産業・組織心理学	3 前		2		○			1						
		学習・言語心理学	3 後		2		○								兼 1	
		社会・集団・家族心理学	3 後		2		○								兼 1	
		量的心理学研究	3 前		2		○					1			兼 1	
		質的心理学研究	3 前		2		○			1	1					
		生理学データと現場心理学（基礎）	3 前		2		○			1						
		臨床催眠学	3 前		2		○			1						
		生理学データと現場心理学（応用）	3 後		2		○			1						
		子育てとソーシャルサポート	3 前		2		○			1						
		音楽療法	3 前		2		○				1					
		ダンスセラピー	3 前		2		○								兼 1	
		乳幼児の理解と支援実習	3 前		2				○	1						
		教育と心理支援	3 前		2			○			1					
		発達障害のアセスメント	3 前		2		○			1						
		心理的アセスメントⅡ	3 前		2		○								兼 1	
		不登校・いじめとスクールカウンセリング	3 前		2		○			1						
		青年心理と友人関係	3 前		2		○								兼 1	
		思春期とジェンダー心理学	3 前		2		○								兼 1	
		大人の発達障害	3 前		2		○			1						
		思春期の子ども理解と支援実習Ⅰ	3 前		2				○	1	1					共同
		中年期の危機とうつ	3 前		2		○								兼 1	
		コミュニティ・アプローチ	3 後		2		○			1						
		愛着障害と親子関係	3 後		2		○								兼 1	
		保育の心理学	3 後		2		○				1					
		障害児支援と療育	3 後		2		○			1						
		学童期の遊びと対人関係	3 後		2			○			1					
		発達障害と応用行動分析	3 後		2		○								兼 1	
		思春期の子ども理解と支援実習Ⅱ	3 後		2				○	1	1					共同
		フォーカシングと体験過程療法	3 後		2		○			1						
		ひきこもりと精神的健康	3 後		2		○								兼 1	
		認知行動療法	3 後		2		○			1						
		エンカウンターグループと回想法	3 後		2		○			1						

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（心理学部心理学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	専門発展科目	ビハーラカウンセリング	3 後		2		○			1						
		死生観教育と心理療法	3 後		2			○			1					
		認知症の心と家族支援	3 後		2		○			1						
		高齢者の理解と支援実習	3 後		2				○	2						オムニバス
		人格心理学と精神力動論	3 後		2		○								兼 1	
		医療におけるシステムズアプローチ	3 前		2		○			1						
		緩和ケアとこころの治癒力	3 前		2		○			1						
		家族療法とコミュニケーション・アプローチ	3 前		2		○			1						
		学校システムにおける精神疾患と家族	3 前		2		○			1						
		不登校の解決と協働	3 前		2		○			1						
		発達障がいと家族	3 前		2		○					1				
		ひきこもりと家族支援	3 前		2		○				1					
		虐待と家族支援	3 前		2		○			1						
		ポジティブ心理学	3 前		2		○					1				
		コーチング心理学	3 前		2		○			1						
		コンサルテーション・リエゾン精神医学	3 後		2		○					1				
		構造派家族療法	3 後		2		○			1						
		保護者支援とチーム学校	3 後		2		○			1						
		コンサルテーション演習	3 後		2			○			1					
		特別支援とシステムズアプローチ	3 後		2		○					1				
		ブリーフセラピーとソリューション	3 後		2		○				1					
		非行と家族支援	3 後		2		○				1					
		オープン・ダイアローグ演習	3 後		2			○		1						
		キャリアカウンセリング	3 後		2		○					1				
		スポーツ心理学	3 後		2		○								兼 1	
		スポーツ・メンタルリハーサル	3 後		2		○			1						
		マインドフルネス・ヨーガ	3 後		2				○						兼 1	
		事例演習アドバンスⅠ	4 前		2			○		2						共同
		事例演習アドバンスⅡ	4 後		2			○		4						共同
		仕事と社会人Ⅱ	3 前		2			○			1					
		小計（69科目）		6	134	0	－			13	4	3	0	0	兼 12	
	共通選択科目	法学概論	3 通		4		○								兼 1	
		政治学原理	3 通		4		○								兼 1	
		経済原論	3 通		4		○								兼 1	
		社会学概説	2 通		4		○								兼 1	
		小計（4科目）	－	0	16	0	－			0	0	0	0	0	兼 4	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（心理学部心理学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
諸課程科目	教職コンピュータ基礎	1 前			2			○						兼 3	
	体育実技	2 後			1			○						兼 1	
	社会科・公民科教育法Ⅰ	3 前			2	○								兼 1	
	社会科・公民科教育法Ⅱ	3 後			2	○								兼 1	
	学校教育社会学	2 前			2	○								兼 1	
	教職論	2 前			2	○								兼 1	
	特別支援教育概論	2 後			2	○								兼 1	
	教育課程論	2 後			2	○								兼 2	
	道徳教育指導法	3 後			2	○								兼 1	
	総合的な学習の時間・特別活動論	3 前			2	○								兼 2	
	教育の方法と技術(ICT活用含む)	3 後			2	○								兼 2	
	生徒・進路指導論	2 前			2	○								兼 1	
	教育相談	3 前			2	○			1						
	介護等体験	3 通			2			○						兼 4	共同
	教育実習指導Ⅰ	4 前			1	○								兼 4	共同
	教育実習指導ⅡＡ	4 通			4			○						兼 4	共同
	教育実習指導ⅡＢ	4 通			2			○						兼 4	共同
	教職実践演習（中・高）	4 後			2		○							兼 4	
	真宗学概論	2 通			4	○								兼 1	
	仏教学概論	2 通			4	○				1					
	真宗教団史	1 通			4	○								兼 1	
	勤式	1 通			4	○								兼 4	オムニバス
	宗門法規	1 前			2	○								兼 1	集中
	教化法	1 通			4	○								兼 4	オムニバス/集中
	（本山教師）仏教史	1 前			1	○				1				兼 1	オムニバス/集中
	（本山教師）宗教概説	1 前			1	○								兼 1	集中
	公認心理師の職責	2 後			2	○				1					
	心理演習	3 前			2		○		1	1	2				
	心理実習A	3 後			2			○	1						
	心理実習B	4 通			2			○	1						
	小計（30科目）	－	0	0	68	－			3	2	2	0	0	兼 25	
合計（410科目）		－	44	758	68	－			14	6	3	0	0	兼 332	

学位又は称号	学士（心理学）	学位又は学科の分野	文学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
教養教育科目から36単位以上【必修8単位（「仏教の思想」科目:4単位/言語科目:4単位）、選択必修14単位（言語科目:8単位/人文科学系科目:2単位/社会科学系科目:2単位/自然科学系科目:2単位）、選択科目14単位】、学部専攻科目から70単位以上【必修42単位、選択必修4単位】を修得し、合計124単位以上修得すること。 （履修科目の登録の上限：48単位（年間）） 1学年の学期区分：2学期 1学期の授業期間：15週 1時限の授業時間：90分		

深草学舎

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（心理学部心理学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	「仏教の思想」科目	仏教の思想A	1 前	2			○				1					
		仏教の思想B	1 後	2			○				1					
		歎異抄の思想Ⅰ	2 前		2		○								兼 2	
		歎異抄の思想Ⅱ	2 後		2		○								兼 2	
		小計（4科目）	－	4	4	0	－			0	1	0	0	0	兼 2	
	言語科目	英語総合1（A）	1 前	1			○								兼 24	
		英語総合1（B）	1 前	1			○								兼 24	
		英語総合2（A）	1 後	1			○								兼 24	
		英語総合2（B）	1 後	1			○								兼 24	
		英語総合3（A）	2 前		1		○								兼 13	
		英語総合3（B）	2 前		1		○								兼 16	
		英語総合4（A）	2 後		1		○								兼 13	
		英語総合4（B）	2 後		1		○								兼 16	
		英語セミナーA1	1 前		2		○								兼 2	
		英語セミナーA2	1 後		2		○								兼 2	
		英語セミナーB1	2 前		2		○								兼 1	
		英語セミナーB2	2 後		2		○								兼 1	
		英語セミナーC1	2 前		2		○								兼 1	
		英語セミナーC2	2 後		2		○								兼 1	
		英語セミナーD1	3 前		2		○								兼 1	
		英語セミナーD2	3 後		2		○								兼 1	
		英語セミナーE1	2 前		2		○								兼 1	
		英語セミナーE2	2 後		2		○								兼 1	
		英語セミナーF1	2 前		2		○								兼 1	
		英語セミナーF2	2 後		2		○								兼 1	
		英語セミナーG1	1 前		2		○								兼 1	
		英語セミナーG2	1 後		2		○								兼 1	
		英語セミナーH1	3 前		2		○								兼 2	
		英語セミナーH2	3 後		2		○								兼 2	
		英語セミナーI1	1 前		2		○								兼 1	
		英語セミナーI2	1 後		2		○								兼 1	
		英語セミナーJ1	3 前		2		○								兼 1	
		英語セミナーJ2	3 後		2		○								兼 1	
		英語資格試験セミナー	1 前		2		○								兼 1	集中
		海外英語研修	1 後		2		○								兼 1	集中
		ドイツ語Ⅰ	1 前		2		○								兼 11	
		ドイツ語Ⅱ	1 後		2		○								兼 11	
		ドイツ語ⅢA	2 前		1		○								兼 4	
		ドイツ語ⅢB	2 後		1		○								兼 4	
		ドイツ語ⅢC	2 前		1		○								兼 3	
		ドイツ語ⅢD	2 後		1		○								兼 3	
		フランス語Ⅰ	1 前		2		○			1					兼 9	
		フランス語Ⅱ	1 後		2		○			1					兼 9	
		フランス語ⅢA	2 前		1		○			1					兼 1	
		フランス語ⅢB	2 後		1		○			1					兼 1	
		フランス語ⅢC	2 前		1		○								兼 2	
		フランス語ⅢD	2 後		1		○								兼 2	
		中国語Ⅰ	1 前		2		○								兼 21	
		中国語Ⅱ	1 後		2		○								兼 20	
		中国語ⅢA	2 前		1		○								兼 8	
		中国語ⅢB	2 後		1		○								兼 7	
		中国語ⅢC	2 前		1		○								兼 5	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（心理学部心理学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	言語科目	中国語ⅢD	2 後		1		○								兼 4
		スペイン語Ⅰ	1 前		2		○								兼 8
		スペイン語Ⅱ	1 後		2		○								兼 8
		スペイン語ⅢA	2 前		1		○								兼 2
		スペイン語ⅢB	2 後		1		○								兼 2
		スペイン語ⅢC	2 前		1		○								兼 2
		スペイン語ⅢD	2 後		1		○								兼 2
		コリア語Ⅰ	1 前		2		○				1				兼 12
		コリア語Ⅱ	1 後		2		○				1				兼 12
		コリア語ⅢA	2 前		1		○								兼 4
		コリア語ⅢB	2 後		1		○								兼 4
		コリア語ⅢC	2 前		1		○								兼 2
		コリア語ⅢD	2 後		1		○								兼 2
		ドイツ語セミナーⅠA	2 前		2		○								兼 2
		ドイツ語セミナーⅠB	2 後		2		○								兼 2
		ドイツ語セミナーⅠC	2 前		2		○								兼 1
		ドイツ語セミナーⅠD	2 後		2		○								兼 1
		ドイツ語セミナーⅡA	3 前		2		○								兼 1
		ドイツ語セミナーⅡB	3 後		2		○								兼 1
		ドイツ語セミナーⅡC	3 前		2		○								兼 1
		ドイツ語セミナーⅡD	3 後		2		○								兼 1
		ドイツ語コミュニケーションⅠ	2 後		2		○								兼 1
		ドイツ語コミュニケーションⅡ	3 前		2		○								兼 1
		フランス語セミナーⅠA	2 前		2		○								兼 2
		フランス語セミナーⅠB	2 後		2		○								兼 2
		フランス語セミナーⅠC	2 前		2		○								兼 2
		フランス語セミナーⅠD	2 後		2		○								兼 2
		フランス語セミナーⅡA	3 前		2		○								兼 1
		フランス語セミナーⅡB	3 後		2		○								兼 1
		フランス語セミナーⅡC	3 前		2		○								兼 1
		フランス語セミナーⅡD	3 後		2		○								兼 1
		フランス語コミュニケーションⅠ	2 後		2		○								兼 1
		フランス語コミュニケーションⅡ	3 前		2		○								兼 1
		中国語セミナーⅠA	2 前		2		○								兼 2
		中国語セミナーⅠB	2 後		2		○								兼 2
		中国語セミナーⅠC	2 前		2		○								兼 1
		中国語セミナーⅠD	2 後		2		○								兼 1
		中国語セミナーⅡA	3 前		2		○								兼 1
		中国語セミナーⅡB	3 後		2		○								兼 1
		中国語セミナーⅡC	3 前		2		○								兼 1
		中国語セミナーⅡD	3 後		2		○								兼 1
		中国語コミュニケーションⅠ	2 後		2		○								兼 1
		中国語コミュニケーションⅡ	3 前		2		○								兼 1
		スペイン語セミナーⅠA	2 前		2		○								兼 1
		スペイン語セミナーⅠB	2 後		2		○								兼 1
		スペイン語セミナーⅠC	2 前		2		○								兼 1
		スペイン語セミナーⅠD	2 後		2		○								兼 1
		スペイン語セミナーⅡA	3 前		2		○								兼 1
		スペイン語セミナーⅡB	3 後		2		○								兼 1
		スペイン語セミナーⅡC	3 前		2		○								兼 1
		スペイン語セミナーⅡD	3 後		2		○								兼 1
		スペイン語コミュニケーションⅠ	2 後		2		○								兼 1

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（心理学部心理学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
教養教育科目	言語科目		スペイン語コミュニケーションⅡ	3 前		2		○								兼 1	
			コリア語セミナーＩＡ	2 前		2		○								兼 1	
			コリア語セミナーＩＢ	2 後		2		○								兼 1	
			コリア語セミナーＩＣ	2 前		2		○								兼 1	
			コリア語セミナーＩＤ	2 後		2		○								兼 1	
			コリア語セミナーⅡＡ	3 前		2		○				1					
			コリア語セミナーⅡＢ	3 後		2		○				1					
			コリア語セミナーⅡＣ	3 前		2		○								兼 1	
			コリア語セミナーⅡＤ	3 後		2		○								兼 1	
			コリア語コミュニケーションⅠ	2 後		2		○								兼 1	
			コリア語コミュニケーションⅡ	3 前		2		○								兼 1	
			海外中国語研修講座	2 前		2		○								兼 1	集中
			ポルトガル語Ⅰ	2 前		2		○								兼 1	
			ポルトガル語Ⅱ	2 後		2		○								兼 1	
			ポルトガル語ⅢA	3 前		2		○								兼 1	
			ポルトガル語ⅢB	3 後		2		○								兼 1	
			ロシア語Ⅰ	2 前		2		○								兼 1	
			ロシア語Ⅱ	2 後		2		○								兼 1	
			ロシア語ⅢA	3 前		2		○								兼 1	
			ロシア語ⅢB	3 後		2		○								兼 1	
			ペルシア語ＩＡ	2 前		2		○								兼 1	
			ペルシア語ＩＢ	2 前		2		○								兼 1	
			ペルシア語ⅡＡ	2 後		2		○								兼 1	
			ペルシア語ⅡＢ	2 前		2		○								兼 1	
			トルコ語Ⅰ	2 前		2		○								兼 1	
			トルコ語Ⅱ	2 後		2		○								兼 1	
			アラビア語Ⅰ	2 前		2		○								兼 1	
			アラビア語Ⅱ	2 後		2		○								兼 1	
			日本語	1前・後		1		○								兼 3	
			小計（128科目）	－	4	223	0	－			1	1	0	0	0	兼 147	
	教養科目	人文科学系科目	哲学入門	1 前		2		○								兼 1	
			哲学A	1 前		2		○								兼 3	
			哲学B	2 前		2		○								兼 2	
			倫理学入門	1 前		2		○								兼 1	
			倫理学A	1 前		2		○								兼 2	
			倫理学B	2 前		2		○								兼 2	
			クリティカル・シンキング	1 前		2		○								兼 1	
			論理学	2 前		2		○								兼 1	
			宗教学入門	1 前		4		○								兼 1	
			宗教の世界A	1 前		2		○								兼 2	
			宗教の世界B	1 後		2		○								兼 2	
			中国の思想A	1 前		2		○								兼 1	
			中国の思想B	1 後		2		○								兼 1	
			芸術の世界A	2 前		2		○								兼 1	
			芸術の世界B	2 後		2		○								兼 1	
			日本の文学A	1 前		4		○								兼 2	
			日本の文学B	1 後		4		○								兼 2	
			日本の文学C	2 前		2		○								兼 1	
			アジアの文学A	1 前		2		○								兼 1	
			アジアの文学B	1 前		2		○								兼 1	
			西洋の文学A	1 前		2		○								兼 3	
			西洋の文学B	1 後		2		○								兼 3	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（心理学部心理学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
教養教育科目	教養科目	人文科学系科目	文章表現法A	1 前		2		○								兼 3	
			文章表現法B	1 後		2		○								兼 1	
			言語と文化	1 前		2		○								兼 2	
			歴史学入門	2 前		2		○								兼 2	
			日本の歴史A	1 前		4		○								兼 1	
			日本の歴史B	1 後		4		○								兼 1	
			日本の文化	2 後		4		○								兼 1	
			アジアの歴史A	1 前		4		○								兼 3	
			アジアの歴史B	1 後		4		○								兼 2	
			アジアの文化	2 前		2		○								兼 2	
			西洋の歴史A	1 前		4		○								兼 1	
			西洋の歴史B	2 前		2		○								兼 1	
			西洋の歴史C	2 後		2		○								兼 1	
			現代世界の歴史A	1 前		2		○								兼 2	
			現代世界の歴史B	1 後		2		○								兼 2	
			心理学	1 前		4		○								兼 1	
			心の科学A	1 前		2		○								兼 2	
			心の科学B	1 後		2		○								兼 2	
			応用心理学A	2 前		2		○								兼 1	
			応用心理学B	2 後		2		○								兼 1	
			教育学のすすめA	1 前		2		○								兼 3	
			教育学のすすめB	1 後		2		○								兼 3	
			現代社会と教育A	2 前		2		○								兼 1	
			現代社会と教育B	2 後		2		○								兼 1	
			教育原論A	2 前		2		○								兼 1	
			教育原論B	2 後		2		○								兼 1	
			学習・発達論A	2 前		2		○								兼 3	
			学習・発達論B	2 後		2		○								兼 3	
			人文科学セミナー	2 通		4		○								兼 7	
			大学論	2前・後		2		○								兼 9	オムニバス
			小計（52科目）	－	0	126	0	－			0	0	0	0	0	兼 49	
		社会科学系科目	日本国憲法	1 前		2		○								兼 4	
			法学のすすめ	1 前		2		○								兼 3	
			政治学のすすめ	1 前		2		○								兼 1	
			社会学のすすめ	1 前		2		○								兼 2	
			地理学のすすめ	1 前		2		○								兼 1	
			経済学のすすめ	1 前		2		○								兼 3	
			経営学のすすめ	1 前		2		○								兼 2	
			国際学のすすめ	1 前		2		○								兼 1	
			文化人類学のすすめ	1 前		2		○								兼 1	
			社会調査のすすめ	1 前		2		○								兼 2	
			社会統計学のすすめ	1 前		2		○								兼 1	
			人権論A	1 前		2		○								兼 1	
			人権論B	1 後		2		○								兼 1	
			現代社会とメディア	2 前		2		○								兼 2	
			現代社会と福祉	2 前		2		○								兼 1	
			現代社会と法	2 前		2		○								兼 1	
			環境と社会	2 前		2		○								兼 2	
			平和学A	2 前		2		○								兼 2	
			ジェンダー論	2 前		2		○								兼 2	
			国際社会論	2 前		2		○								兼 2	
			現代社会の諸問題	2 後		2		○								兼 2	

深草学舎

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（心理学部心理学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	教養科目	社会科学系科目	地域論	2 前		2		○								兼 1
			企業と会計	2 後		2		○								兼 1
			現代社会と労働	2 前		2		○								兼 1
			社会思想史	2 前		2		○								兼 1
			英語で学ぶ日本の社会A	1 後		2		○								兼 1
			英語で学ぶ日本の社会B	1 前		2		○								兼 1
			小計（27科目）	－	0	54	0	－			0	0	0	0	0	兼 37
		自然科学系科目	数学入門	1 前		2		○								兼 2
			数学への旅	1 前		2		○								兼 3
			確率・統計入門	1 前		2		○								兼 2
			微分と積分	1 前		4		○								兼 1
			行列と行列式	1 後		4		○								兼 1
			数理統計学	2 前		4		○								兼 1
			数理と計算	2 前		2		○								兼 1
			数学の世界	2 前		4		○								兼 1
			数理と論証	2 前		2		○								兼 1
			宇宙の科学Ⅰ	1 前		4		○								兼 1
			宇宙の科学Ⅱ	2 前		2		○								兼 2
			地球科学のすすめ	1 前		2		○								兼 1
			地球科学	1 後		2		○								兼 1
			物理科学の世界	1 前		4		○								兼 1
			時間と空間の科学	1 前		2		○								兼 2
			エネルギー入門	2 前		2		○								兼 1
			自然科学史Ⅰ	1 前		2		○								兼 1
			自然科学史Ⅱ	2 前		2		○								兼 1
			科学論	2 前		2		○								兼 2
			技術論	2 後		2		○								兼 1
			平和学B	2 前		2		○								兼 1
			里山学	1 前		2		○								兼 8　オムニバス
			生物科学のすすめ	1 前		4		○								兼 1
			生命科学のすすめ	1 前		2		○								兼 3　オムニバス
			生命科学	1 後		2		○								兼 2
			生態学のすすめ	1 前		4		○								兼 1
			人類学のすすめ	1 前		4		○								兼 2
			日本の自然	1 前		4		○								兼 8　オムニバス
			生命誌	2 前		2		○								兼 1
			植物の自然誌	2 前		2		○								兼 2
			動物の自然誌	2 前		2		○								兼 2
			民族の自然誌	2 前		2		○								兼 1
			人類進化学	2 前		2		○								兼 1
			人間の生物学Ⅰ	2 前		2		○								兼 1
			人間の生物学Ⅱ	2 後		2		○								兼 1
			自然誌実習	2前･後		4		○								兼 4　オムニバス
			野外観察法	2 前		2		○								兼 2　集中
			環境学	1 前		4		○								兼 3
			情報科学入門	2 前		2		○								兼 1
			情報科学Ⅰ	2 後		2		○								兼 1
			情報科学Ⅱ	3 前		2		○								兼 1
			情報科学実習	1 後		4		○								兼 2
			小計（42科目）	－	0	110	0	－			0	0	0	0	0	兼 41

深草学舎

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（心理学部心理学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	教養科目	スポーツ科学系科目	健康とスポーツ	2 前		2		○								兼 2	
			現代社会とスポーツ	1 前		2		○								兼 2	
			スポーツ技術学演習	1 前		2				○						兼 13	
			人間とスポーツ	1 前		2		○								兼 2	
			スポーツと人権・平和	2 後		2		○								兼 1	
			スポーツ文化史	2 前		2		○								兼 1	
			スポーツ科学最前線	1 前		2		○								兼 1	
			小計（7科目）	－	0	14	0	－			0	0	0	0	0	兼 14	
			教養教育科目特別講義	1 前		2		○								兼 11	オムニバス
			バークレー語学	1 前		12		○								兼 1	
			バークレー講義	1 前		6		○								兼 1	
			バークレーボランティア	1 前		6		○								兼 1	
			小計（4科目）	－	0	26	0	－			0	0	0	0	0	兼 12	
専攻科目	専門基礎科目		フレッシャーズゼミ	1 前	2				○		4	3	1			兼 2	オムニバス
			心理学基礎演習A	1 後	2				○		5	2	1			兼 2	
			心理学基礎演習B	2 前	2				○		5	4	1				
			心理学基礎演習C	2 後	2				○		5	4	1				
			心理学概論	1 前	2			○				1					
			発達心理学	1 前	2			○				1					
			臨床心理学概論	1 前	2			○								兼 1	
			心理学的支援法	1 後	2			○								兼 1	
			心理学研究法概論	2 前	2			○				1					
			心理学統計法概論	2 前	2			○					1				
			心理的アセスメントⅠ	2 後	2			○				1					
			生涯発達と関係支援	1 後	2			○			2						オムニバス
			心理学とデータサイエンス	2 前	2			○			1	1					共同（一部）
			キャリアと心理	1 前	2			○				1	1				オムニバス
			キャリアデザイン論	1 後	2			○				1					
			人体の構造と機能及び疾病	1 後		2		○					1				
			心理学実験	2 後		1				○	2		1				
			神経・生理心理学	2 後		2		○			1						
			障害者・障害児心理学	2 前		2		○			1						
			福祉心理学	2 後		2		○			1						
			健康・医療心理学	1 後		2		○								兼 1	
			教育・学校心理学	2 前		2		○					1				
			脳と心	2 後		2		○			1						
			乳幼児の発達	2 前		2		○				1					
			児童思春期精神医学	2 前		2		○			1						
			子どもの心理療法	2 後		2		○			1						
			高齢者の心理と福祉	2 後		2		○			1						
			仏教と心理学	2 後		2		○			1	1					オムニバス
			コミュニティとシステム支援	2 前		2		○			1						
			ストレスマネジメント	2 前		2		○					1				
			チーム医療	2 後		2		○					1				

深草学舎

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（心理学部心理学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専攻科目	専門基礎科目	チーム学校とシステム論	2後		2		○			1						
		心理学の職業的展開	2前		2		○			1	1					共同（一部）
		仕事と社会人Ⅰ	2後		2			○			1					
		心理学プロジェクト社会連携演習	2後		2			○			1					
		生涯発達臨床心理学	2前		2		○			1						
		ライフサイクルとカウンセリング	2後		2		○			7	2					オムニバス
		家族療法とシステムズアプローチ	2前		2		○			1						
		目からウロコのコミュニケーション学	2後		2		○				1					
		小計（39科目）	－	30	47	0	－			11	6	3	0	0	兼 4	
	諸課程科目	教職コンピュータ基礎	1前			2			○						兼 3	
		体育実技	2後			1			○						兼 1	
		学校教育社会学	2前			2	○								兼 1	
		教職論	2前			2	○								兼 1	
		特別支援教育概論	2後			2	○								兼 1	
		教育課程論	2後			2	○								兼 2	
		生徒・進路指導論	2前			2	○								兼 1	
		真宗学概論	2通			4	○								兼 1	
		仏教学概論	2通			4	○				1					
		真宗教団史	1通			4	○								兼 1	
		勤式	1通			4	○								兼 4	オムニバス
		宗門法規	1前			2	○								兼 1	集中
		教化法	1通			4	○								兼 4	オムニバス
		（本山教師）仏教史	1前			2	○				1				兼 1	オムニバス/集中
		（本山教師）宗教概説	1前			2	○								兼 1	集中
		公認心理師の職責	2後			2	○				1					
		小計（16科目）	－	0	0	41	－			0	2	0	0	0	兼 22	
合計（319科目）			－	38	604	41	－			12	6	3	0	0	兼 314	

学位又は称号	学士（心理学）	学位又は学科の分野	文学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
教養教育科目から36単位以上【必修8単位（「仏教の思想」科目:4単位/言語科目:4単位）、選択必修14単位（言語科目:8単位/人文科学系科目:2単位/社会科学系科目:2単位/自然科学系科目:2単位）、選択科目14単位】、学部専攻科目から70単位以上【必修42単位、選択必修4単位】を修得し、合計124単位以上修得すること。 （履修科目の登録の上限：48単位（年間）） 1学年の学期区分：2学期 1学期の授業期間：15週 1時限の授業時間：90分	1学年の学期区分	2学期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

大宮学舎

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（心理学部心理学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	言語科目		ラテン語Ⅰ	2 前		1		○								兼 1	
			ラテン語Ⅱ	2 後		1		○								兼 1	
			ギリシア語Ⅰ	2 前		1		○								兼 1	
			ギリシア語Ⅱ	2 後		1		○								兼 1	
			小計（4科目）	－	0	4	0	－			0	0	0	0	0	兼 2	
	教養科目	自然科学系科目	自然科学史Ⅰ	1 前		2		○								兼 1	
			小計（1科目）	－	0	2	0	－			0	0	0	0	0	兼 1	
専攻科目	専門発展科目		心理学演習	3･4 前･後	2				○		13	4	2				
			卒業研究	4 通	4				○		13	4	2				
			知覚・認知心理学	3 前		2		○								兼 1	
			精神疾患とその治療	3 前		2		○			1						
			感情・人格心理学	3 前		2		○			1						
			心理関係行政論	3 前		2		○			6	1	1				オムニバス
			司法・犯罪心理学	3 前		2		○			1						
			産業・組織心理学	3 前		2		○			1						
			学習・言語心理学	3 後		2		○								兼 1	
			社会・集団・家族心理学	3 後		2		○								兼 1	
			量的心理学研究	3 前		2		○					1			兼 1	
			質的心理学研究	3 前		2		○			1	1					
			生理学データと現場心理学（基礎）	3 前		2		○			1						
			臨床催眠学	3 前		2		○			1						
			生理学データと現場心理学（応用）	3 後		2		○			1						
			子育てとソーシャルサポート	3 前		2		○			1						
			音楽療法	3 前		2		○				1					
			ダンスセラピー	3 前		2		○								兼 1	
			乳幼児の理解と支援実習	3 前		2				○	1						
			教育と心理支援	3 前		2			○			1					
			発達障害のアセスメント	3 前		2		○			1						
			心理的アセスメントⅡ	3 前		2		○								兼 1	
			不登校・いじめとスクールカウンセリング	3 前		2		○			1						
			青年心理と友人関係	3 前		2		○								兼 1	
			思春期とジェンダー心理学	3 前		2		○								兼 1	
			大人の発達障害	3 前		2		○			1						
			思春期の子ども理解と支援実習Ⅰ	3 前		2				○	1	1					共同
			中年期の危機とうつ	3 前		2		○								兼 1	
			コミュニティ・アプローチ	3 後		2		○			1						
			愛着障害と親子関係	3 後		2		○								兼 1	
			保育の心理学	3 後		2		○				1					
			障害児支援と療育	3 後		2		○			1						
			学童期の遊びと対人関係	3 後		2			○			1					
			発達障害と応用行動分析	3 後		2		○								兼 1	
			思春期の子ども理解と支援実習Ⅱ	3 後		2				○	1	1					共同
			フォーカシングと体験過程療法	3 後		2		○			1						
			ひきこもりと精神的健康	3 後		2		○								兼 1	
			認知行動療法	3 後		2		○			1						

大宮学舎

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（心理学部心理学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	専門発展科目	エンカウンターグループと回想法	3 後		2		○			1						
		ビハーラカウンセリング	3 後		2		○			1						
		死生観教育と心理療法	3 後		2			○			1					
		認知症の心と家族支援	3 後		2		○			1						
		高齢者の理解と支援実習	3 後		2				○	2						オムニバス
		人格心理学と精神力動論	3 後		2		○								兼 1	
		医療におけるシステムズアプローチ	3 前		2		○			1						
		緩和ケアとこころの治癒力	3 前		2		○			1						
		家族療法とコミュニケーション・アプローチ	3 前		2		○			1						
		学校システムにおける精神疾患と家族	3 前		2		○			1						
		不登校の解決と協働	3 前		2		○			1						
		発達障がいと家族	3 前		2		○					1				
		ひきこもりと家族支援	3 前		2		○				1					
		虐待と家族支援	3 前		2		○			1						
		ポジティブ心理学	3 前		2		○					1				
		コーチング心理学	3 前		2		○			1						
		コンサルテーション・リエゾン精神医学	3 後		2		○					1				
		構造派家族療法	3 後		2		○			1						
		保護者支援とチーム学校	3 後		2		○			1						
		コンサルテーション演習	3 後		2			○			1					
		特別支援とシステムズアプローチ	3 後		2		○					1				
		ブリーフセラピーとソリューション	3 後		2		○				1					
		非行と家族支援	3 後		2		○				1					
		オープン・ダイアローグ演習	3 後		2			○		1						
		キャリアカウンセリング	3 後		2		○					1				
		スポーツ心理学	3 後		2		○								兼 1	
		スポーツ・メンタルリハーサル	3 後		2		○			1						
		マインドフルネス・ヨーガ	3 後		2				○						兼 1	
		事例演習アドバンスⅠ	4 前		2			○		2						共同
		事例演習アドバンスⅡ	4 後		2			○		4						共同
		仕事と社会人Ⅱ	3 前		2			○			1					
		小計（69科目）		6	134	0		－		13	4	3	0	0	兼 12	
	共通選択科目	法学概論	3 通		4		○								兼 1	
		政治学原理	3 通		4		○								兼 1	
		経済原論	3 通		4		○								兼 1	
		社会学概説	2 通		4		○								兼 1	
		小計（4科目）	－	0	16	0		－		0	0	0	0	0	兼 4	

大宮学舎

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（心理学部心理学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
諸課程科目	社会科・公民科教育法Ⅰ	3 前			2	○								兼 1	
	社会科・公民科教育法Ⅱ	3 後			2	○								兼 1	
	道徳教育指導法	3 後			2	○								兼 1	
	総合的な学習の時間・特別活動論	3 前			2	○								兼 2	
	教育の方法と技術(ICT活用含む)	3 後			2	○								兼 2	
	教育相談	3 前			2	○			1						
	介護等体験	3 通			2			○						兼 4	共同
	教育実習指導Ⅰ	4 前			1	○								兼 4	共同
	教育実習指導ⅡA	4 通			4			○						兼 4	共同
	教育実習指導ⅡB	4 通			2			○						兼 4	共同
	教職実践演習（中・高）	4 後			2		○							兼 4	
	教化法	1 通			4	○								兼 4	集中
	心理演習	3 前			2		○		1	1	2				
	心理実習A	3 後			2			○	1						
	心理実習B	4 通			2			○	1						
	小計（15科目）	－	0	0	33	－			3	1	2	0	0	兼 10	
合計（93科目）		－	6	156	33	－			13	4	3	0	0	兼 29	

学位又は称号	学士（心理学）	学位又は学科の分野	文学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
教養教育科目から36単位以上【必修8単位（「仏教の思想」科目:4単位/言語科目:4単位）、選択必修14単位（言語科目:8単位/人文科学系科目:2単位/社会科学系科目:2単位/自然科学系科目:2単位）、選択科目14単位】、学部専攻科目から70単位以上【必修42単位、選択必修4単位】を修得し、合計124単位以上修得すること。 （履修科目の登録の上限：48単位（年間）） 1学年の学期区分：2学期 1学期の授業期間：15週 1時限の授業時間：90分		

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

（農学部植物生命科学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
教養教育科目	「仏教の思想」科目	仏教の思想Ａ	１前	2			○				1				兼2	
		仏教の思想Ｂ	１後	2			○				1				兼2	
		歎異抄の思想Ⅰ	２前		2		○				1					
		歎異抄の思想Ⅱ	２後		2		○				1					
		小計（4科目）	－	4	4	0	－			0	1	0	0	0	兼2	
	言語科目	英語総合１（Ａ）	１前	1			○				1				兼7	
		英語総合１（Ｂ）	１前	1			○								兼8	
		英語総合２（Ａ）	１後	1			○				1				兼7	
		英語総合２（Ｂ）	１後	1			○								兼8	
		英語総合３	２前	1			○								兼8	
		英語総合４	２後	1			○								兼8	
		英語セミナーＡ１	１前		2		○								兼2	
		英語セミナーＡ２	１後		2		○								兼2	
		英語セミナーＢ１	２前		2		○								兼1	
		英語セミナーＢ２	２後		2		○								兼1	
		英語セミナーＣ１	２前		2		○								兼2	
		英語セミナーＣ２	２後		2		○								兼2	
		英語セミナーＤ１	２前		2		○				1					
		英語セミナーＤ２	２後		2		○				1					
		英語セミナーＥ１	２前		2		○								兼1	
		英語セミナーＥ２	２後		2		○								兼1	
		英語セミナーＦ１	２前		2		○								兼1	
		英語セミナーＦ２	２後		2		○								兼1	
		英語セミナーＧ１	１前		2		○								兼1	
		英語セミナーＧ２	１後		2		○								兼1	
		海外英語研修	１後		2		○								兼2	集中
		ドイツ語ＩＡ	１前		1		○								兼1	
		ドイツ語ＩＢ	１前		1		○								兼2	
		ドイツ語ⅡＡ	１後		1		○								兼1	
		ドイツ語ⅡＢ	１後		1		○								兼2	
		フランス語ＩＡ	１前		1		○								兼1	
		フランス語ＩＢ	１前		1		○								兼2	
		フランス語ⅡＡ	１後		1		○								兼1	
		フランス語ⅡＢ	１後		1		○								兼2	
		中国語ＩＡ	１前		1		○								兼2	
		中国語ＩＢ	１前		1		○								兼2	
		中国語ⅡＡ	１後		1		○								兼2	
		中国語ⅡＢ	１後		1		○								兼2	
		コリア語ＩＡ	１前		1		○								兼1	
		コリア語ＩＢ	１前		1		○								兼1	
		コリア語ⅡＡ	１後		1		○								兼1	
		コリア語ⅡＢ	１後		1		○								兼1	
		ドイツ語セミナーＩＡ	２前		2		○								兼1	
		ドイツ語セミナーＩＢ	２後		2		○								兼1	
		フランス語セミナーＩＡ	２前		2		○								兼1	
		フランス語セミナーＩＢ	２後		2		○								兼1	
		中国語セミナーＩＡ	２前		2		○								兼1	
		中国語セミナーＩＢ	２後		2		○								兼1	
		コリア語セミナーＩＡ	２前		2		○								兼1	
		コリア語セミナーＩＢ	２後		2		○								兼1	
		日本語	１前		1		○								兼1	
		小計（46科目）	－	6	63	0	－			0	1	0	0	0	兼40	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

（農学部植物生命科学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	教養科目	人文科学系科目	哲学入門	1 前		2		○								兼1	
			倫理学入門	1 前		2		○								兼2	
			倫理学Ａ	1 前		2		○								兼2	
			倫理学Ｂ	2 前		2		○								兼1	
			クリティカル・シンキング	1 前		2		○								兼1	
			宗教学のすすめ	1 前		2		○								兼1	
			宗教の世界	1 前		2		○								兼1	
			日本の文学Ｍ	1 前		2		○								兼1	
			日本の文学Ｎ	1 後		2		○								兼1	
			アジアの文学Ａ	1 前		2		○								兼1	
			アジアの文学Ｂ	1 前		2		○								兼1	
			西洋の文学Ａ	1 前		2		○				1				兼2	
			西洋の文学Ｂ	2 前		2		○				1				兼1	
			言語学入門	1 前		2		○								兼4	オムニバス
			歴史入門	1 前		2		○								兼2	
			日本の歴史Ｍ	1 前		2		○								兼1	
			日本の歴史Ｎ	1 後		2		○								兼1	
			日本の文化	1 前		2		○								兼1	
			アジアの歴史Ｍ	2 前		2		○								兼1	
			アジアの歴史Ｎ	2 後		2		○								兼1	
			アジアの文化	2 前		2		○								兼1	
			西洋の歴史Ｍ	1 前		2		○								兼1	
			西洋の歴史Ｎ	1 前		2		○								兼1	
			心理学入門	1 前		2		○								兼2	
			心理学Ａ	2 前		2		○								兼2	
			心理学Ｂ	2 後		2		○								兼2	
			教育原論Ａ	1 前		2		○								兼2	
			教育原論Ｂ	1 後		2		○								兼2	
			学習・発達論Ａ	2 前		2		○								兼1	
			学習・発達論Ｂ	2 後		2		○								兼1	
			小計（30科目）	ー	0	60	0	ー			0	1	0	0	0	兼22	
		社会科学系科目	日本国憲法	1 前		2		○								兼1	
			法学のすすめ	1 前		2		○								兼1	
			政治学のすすめ	1 前		2		○								兼1	
			社会学のすすめ	1 前		2		○								兼2	
			地理学のすすめ	1 前		2		○								兼1	
			経済学のすすめ	1 前		2		○								兼3	
			経営学のすすめ	1 前		2		○								兼1	
			国際学のすすめ	1 前		2		○								兼1	
			文化人類学のすすめ	1 前		2		○								兼1	
			社会調査のすすめ	1 前		2		○								兼2	
			社会統計学のすすめ	1 前		2		○								兼1	
			人権論Ａ	1 前		2		○								兼4	
			人権論Ｂ	1 後		2		○								兼4	
			現代社会とメディア	2 前		2		○								兼1	
			現代社会と福祉	2 前		2		○								兼3	
			現代社会と法	2 前		2		○								兼1	
			現代社会と労働	2 前		2		○								兼1	
			現代社会の諸問題	2 前		2		○								兼1	
			環境と社会	2 前		2		○								兼1	
			平和学Ａ	2 前		2		○								兼1	
			ジェンダー論	2 前		2		○								兼1	
			国際社会論	2 前		2		○								兼2	
			地域論	2 前		2		○								兼1	
			企業と会計	2 前		2		○								兼1	
			社会思想史	2 前		2		○								兼2	
			情報倫理	2 前		2		○								兼2	オムニバス
			情報社会とメディア	1 前		2		○								兼2	オムニバス
			データサイエンス・ＡＩ入門	1 前		2		○								兼1	
			小計（28科目）	ー	0	56	0	ー			0	0	0	0	0	兼34	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

（農学部植物生命科学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	備考	
教養教育科目	教養科目	自然科学系科目	生活の中の数学	1 前		2		○								兼1	
			生活の中の統計技術	1 前		2		○								兼1	
			生活の中の化学	1 前		2		○								兼2	
			生活の中の物理	1 前		2		○								兼2	
			生活の中の生物学	1 前		2		○								兼2	オムニバス
			生活の中の地学	1 後		2		○								兼1	
			現代の技術	1 後		2		○								兼2	オムニバス
			生命と科学	2 前		2		○								兼1	
			自然観察法	2 前		2		○								兼2	共同
			里山学	1 前		2		○								兼1	オムニバス
			環境の科学	2 前		2		○								兼2	
			人類の科学	2 前		2		○								兼2	
			情報と人間	1 後		2		○								兼1	
			現代社会と栄養	1 前		2		○								兼2	
			小計（14科目）	ー	0	28	0	ー			0	0	0	0	0	兼21	
		スポーツ科学系科目	健康とスポーツ	2 前		2		○								兼2	
			現代社会とスポーツ	1 後		2		○								兼1	
			スポーツ技術学Ａ	1 前		1				○						兼3	
			スポーツ技術学Ｂ	1 後		1				○						兼3	
			スポーツ文化論	2 前		2		○								兼1	
			小計（5科目）	ー	0	8	0	ー			0	0	0	0	0	兼8	
			教養教育科目特別講義	1 前		2		○								兼2	
			バークレー語学	1 前		12		○								兼1	
			バークレー講義	1 前		6		○								兼1	
			バークレーボランティア	1 前		6		○								兼1	
			小計（4科目）	ー	0	26	0	ー			0	0	0	0	0	兼5	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

（農学部植物生命科学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	学部必修科目		農学概論	1 前	2			○			1					兼4	オムニバス
			食と農の倫理	1 前	2			○			1	1				兼6	オムニバス／共同（一部）
			食の循環実習Ⅰ	1 後	2					○	1		1			兼24	
			食の循環実習Ⅱ	2 前	2					○			1			兼20	
			小計（4科目）	ー	8	0	0	ー			2	1	1	0	0	兼30	
	学科基礎分野	学科基礎科目Ａ	有機化学	1 後		2		○								兼1	
			分析化学	3 後		2		○								兼1	
			社会福祉論	1 前		2		○								兼1	
			食品の安全と法律	1 後		2		○								兼1	
			食と嗜好の科学	1 後		2		○								兼4	オムニバス
			食の文化論	2 前		2		○								兼1	
			暮らしの中の食品学	1 前		2		○								兼1	
			身体のしくみと栄養	1 前		2		○								兼1	
			調理のサイエンス	1 前		2		○								兼1	
			日本・京滋の食料と農業	1 後		2		○								兼1	
			欧米の食料と農業	2 前		2		○								兼1	
			アジア・アフリカの食料と農業	2 前		2		○								兼1	
			日本の歴史と農業	1 後		2		○								兼1	
			世界の歴史と農業	1 後		2		○								兼1	
			科学史・農学史入門	2 前		2		○								兼1	
			くらしと経済	1 前		2		○								兼1	
			会社と農家のしくみ	1 前		2		○								兼1	
			事例に学ぶ食品マーケティング	1 前		2		○								兼1	
			大学の学びとキャリア	1 前		2		○								兼1	
			キャリア形成論	2 後		2		○								兼1	
			情報教育論	3 前			2			○						兼1	
			地学概論	2 前		2		○								兼1	
			物理学概論	3 後		2		○							1	兼1	
			化学概論	2 前		2		○								兼2	オムニバス
			生物物理学	3 後		2		○			1					兼4	オムニバス
			地学実験	3 後		2				○					1	兼1	
			物理学実験	3 後		1				○					1	兼1	
			生物物理学実習	3 後		1				○	1	1				兼2	オムニバス／共同（一部）／集中
			小計（28科目）	ー	0	52	2	ー			1	1	0	0	3	兼31	
	学科基礎分野	学科基礎科目Ｂ	入門ゼミ	1 前		2			○		4	2					
			基礎演習Ⅰ	2 後		2			○		6	2	1				
			基礎演習Ⅱ	3 前		2			○		6	2	1				
			生物学基礎	1 前			2	○								兼1	
			遺伝学Ⅰ	1 後	2			○					1				
			植物育種学	1 後		2		○								兼1	
			植物生理・生化学Ⅰ	1 後	2			○			1						
			作物学Ⅰ	1 後		2		○								兼1	
			収穫後生理学	2 前		2		○								兼5	オムニバス
			植物病理学Ⅰ	2 前		2		○								兼1	
			身近な植物	1 後		2		○								兼1	
			森林生態学	1 後		2		○								兼1	集中
			雑草学Ⅰ	2 後		2		○								兼1	
			飢饉・救荒論	1 前		2		○								兼1	
			昆虫学Ⅰ	2 前		2		○			1						
			虫と農業	1 後		2		○								兼1	
			土壌学Ⅰ	2 後		2		○								兼1	
			微生物学Ⅰ	2 前		2		○			1						
			生物統計学	2 後		2		○			1	1					
			農業気象学	3 後		2		○								兼1	集中
			畜産学概論	2 後		2		○								兼1	集中
			水産学概論	3 後		2		○								兼1	集中
			農業環境工学	1 後		2		○								兼1	集中
			基礎生物学実習	2 後	2					○	3	1			3	兼5	オムニバス
			基礎化学実習	2 後	2					○	1	1			3	兼3	オムニバス
			小計（25科目）	ー	8	40	2	ー			6	2	1	0	3	兼17	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

（農学部植物生命科学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	学科応用分野	学科応用科目	遺伝学Ⅱ	3 後		2		○				1					
			分子育種学Ⅰ	2 後		2		○			1						
			分子育種学Ⅱ	3 前		2		○								兼1	
			花き野菜園芸学Ⅰ	2 前		2		○								兼2	オムニバス
			果樹園芸学Ⅰ	2 後		2		○								兼1	
			分子生物学	2 前		2		○				1					
			植物生理・生化学Ⅱ	3 後		2		○			1						
			ゲノム情報学Ⅰ	2 後		2		○			1						
			ゲノム情報学Ⅱ	3 前		2		○			1						
			ゲノム工学	3 前		2		○			1						
			植物資源学Ⅰ	2 前		2		○								兼1	
			植物栄養学Ⅰ	2 後		2		○								兼1	
			植物ー微生物相互作用学	3 前		2		○				1					
			線虫学Ⅰ	2 前		2		○								兼1	
			農薬学	2 後		2		○								兼1	集中
			昆虫学Ⅱ	3 後		2		○			1						
			微生物学Ⅱ	3 前		2		○			1						
			植物生命科学実習A	3 前	2					○	3	1			3	兼1	オムニバス
			植物生命科学実習B	3 前	2					○	2	1			3	兼1	オムニバス
			農学部インターンシップA	2 前		2				○						兼2	共同
			農学部インターンシップB	2 前		1				○						兼2	共同
			海外農業体験実習A	2 前		2				○	1					兼3	共同
			海外農業体験実習B	2 前		2				○	1					兼3	共同
			農学部特別実習A	1 前		2				○						兼4	オムニバス／共同（一部）
			農学部特別実習B	1 前		2				○						兼2	オムニバス／共同
			農学部特別実習C	1 前		1				○			1				
			農学部特別講義	1 前		2		○			1						
			小計（27科目）	ー	4	48	0	ー			6	2	1	0	3	兼17	
		特別研究	総合演習Ⅰ	3 後	2				○		5	2	1				
			総合演習Ⅱ	4 前	2				○		6	2	1				
			総合演習Ⅲ	4 後	2				○		6	2	1				
			特別研究	4 後	6				○		6	2	1				
			小計（4科目）	ー	12	0	0	ー			6	2	1	0	0	兼0	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

（農学部植物生命科学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考
諸課程科目	理科教育法Ａ	2 前			2	○								兼1
	理科教育法Ｂ	2 後			2	○								兼1
	理科教育法Ⅰ	3 前			2	○								兼1
	理科教育法Ⅱ	3 後			2	○								兼1
	農業科教育法Ⅰ	3 前			2	○								兼1 集中
	農業科教育法Ⅱ	3 後			2	○								兼1 集中
	職業指導	3 前			2	○								兼1
	教職論	2 前			2	○								兼1
	学校教育社会学	2 後			2	○								兼1
	教育課程論	2 後			2	○								兼1
	特別支援教育概論	2 前			2	○								兼1
	道徳教育指導法	3 後			2	○								兼1
	総合的な学習の時間・特別活動論	3 前			2	○								兼1
	教育の方法と技術	3 前			2	○								兼1
	生徒・進路指導論	2 後			2	○								兼1
	教育相談	3 前			2	○								兼1
	教育実習指導Ⅰ	4 前			1	○								兼3 集中
	教育実習指導ⅡＡ	4 通			4			○						兼3 集中
	教育実習指導ⅡＢ	4 通			4			○						兼3 集中
	教職実践演習（中・高）	4 後			2		○							兼2 共同
	介護等体験	2 通			2			○						兼3
	真宗学概論	2 通			4	○								兼1
	仏教学概論	2 通			4	○								兼1
	真宗史	1 通			4	○								兼1
	勤式	1 通			4	○								兼4 隔年／オムニバス
	宗門法規	1 前			2	○								兼1 隔年／集中
	教化法	1 通			4	○								兼4 隔年／オムニバス
	（本山教師）宗教概説	1 前			1	○								兼1 集中
	（本山教師）仏教史	1 前			1	○								兼2 集中
	小計（29科目）	－	0	0	69	－			0	0	0	0	0	兼28
合計（248科目）		－	42	385	73	－			6	4	1	0	3	兼227

学位又は称号	学士（農学）	学位又は学科の分野	農学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
教養教育科目から22単位以上（必修16単位を含む）、学部必修科目から必修8単位、学科基礎科目Aから10単位以上、学科基礎科目Bから28単位以上（必修8単位を含む）、学科応用科目から28単位以上（必修4単位を含む）、総合演習・特別研究から必修12単位を修得し、合計124単位以上を修得すること。（履修科目登録上限44単位（年間））	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

全体版

（農学部資源生物科学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	「仏教の思想」科目	仏教の思想Ａ	1 前	2			○								兼3	
		仏教の思想Ｂ	1 後	2			○								兼3	
		歎異抄の思想Ⅰ	2 前		2		○								兼1	
		歎異抄の思想Ⅱ	2 後		2		○								兼1	
		小計（4科目）	ー	4	4	0	ー			0	0	0	0	0	兼3	
	言語科目	英語総合１（Ａ）	1 前	1			○				1				兼7	
		英語総合１（Ｂ）	1 前	1			○								兼8	
		英語総合２（Ａ）	1 後	1			○				1				兼7	
		英語総合２（Ｂ）	1 後	1			○								兼8	
		英語総合３	2 前	1			○								兼8	
		英語総合４	2 後	1			○								兼8	
		英語セミナーＡ１	1 前		2		○								兼2	
		英語セミナーＡ２	1 後		2		○								兼2	
		英語セミナーＢ１	2 前		2		○								兼1	
		英語セミナーＢ２	2 後		2		○								兼1	
		英語セミナーＣ１	2 前		2		○								兼2	
		英語セミナーＣ２	2 後		2		○								兼2	
		英語セミナーＤ１	2 前		2		○								兼1	
		英語セミナーＤ２	2 後		2		○								兼1	
		英語セミナーＥ１	2 前		2		○								兼1	
		英語セミナーＥ２	2 後		2		○								兼1	
		英語セミナーＦ１	2 前		2		○								兼1	
		英語セミナーＦ２	2 後		2		○								兼1	
		英語セミナーＧ１	1 前		2		○								兼1	
		英語セミナーＧ２	1 後		2		○								兼1	
		海外英語研修	1 後		2		○								兼2	集中
		ドイツ語ＩＡ	1 前		1		○								兼1	
		ドイツ語ＩＢ	1 前		1		○								兼2	
		ドイツ語ⅡＡ	1 後		1		○								兼1	
		ドイツ語ⅡＢ	1 後		1		○								兼2	
		フランス語ＩＡ	1 前		1		○								兼1	
		フランス語ＩＢ	1 前		1		○								兼2	
		フランス語ⅡＡ	1 後		1		○								兼1	
		フランス語ⅡＢ	1 後		1		○								兼2	
		中国語ＩＡ	1 前		1		○								兼2	
		中国語ＩＢ	1 前		1		○								兼2	
		中国語ⅡＡ	1 後		1		○								兼2	
		中国語ⅡＢ	1 後		1		○								兼2	
		コリア語ＩＡ	1 前		1		○								兼1	
		コリア語ＩＢ	1 前		1		○								兼1	
		コリア語ⅡＡ	1 後		1		○								兼1	
		コリア語ⅡＢ	1 後		1		○								兼1	
		ドイツ語セミナーＩＡ	2 前		2		○								兼1	
		ドイツ語セミナーＩＢ	2 後		2		○								兼1	
		フランス語セミナーＩＡ	2 前		2		○								兼1	
		フランス語セミナーＩＢ	2 後		2		○								兼1	
		中国語セミナーＩＡ	2 前		2		○								兼1	
		中国語セミナーＩＢ	2 後		2		○								兼1	
		コリア語セミナーＩＡ	2 前		2		○								兼1	
		コリア語セミナーＩＢ	2 後		2		○								兼1	
		日本語	1 前		1		○								兼1	
		小計（46科目）	ー	6	63	0	ー			0	1	0	0	0	兼40	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

全体版

（農学部資源生物科学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
教養教育科目	教養科目	人文科学系科目	哲学入門	1 前		2		○								兼1	
			倫理学入門	1 前		2		○								兼2	
			倫理学Ａ	1 前		2		○								兼2	
			倫理学Ｂ	2 前		2		○								兼1	
			クリティカル・シンキング	1 前		2		○								兼1	
			宗教学のすすめ	1 前		2		○								兼1	
			宗教の世界	1 前		2		○								兼1	
			日本の文学Ｍ	1 前		2		○								兼1	
			日本の文学Ｎ	1 後		2		○								兼1	
			アジアの文学Ａ	1 前		2		○								兼1	
			アジアの文学Ｂ	1 前		2		○								兼1	
			西洋の文学Ａ	1 前		2		○								兼3	
			西洋の文学Ｂ	2 前		2		○								兼2	
			言語学入門	1 前		2		○								兼4	オムニバス
			歴史入門	1 前		2		○								兼2	
			日本の歴史Ｍ	1 前		2		○								兼1	
			日本の歴史Ｎ	1 後		2		○								兼1	
			日本の文化	1 前		2		○								兼1	
			アジアの歴史Ｍ	2 前		2		○								兼1	
			アジアの歴史Ｎ	2 後		2		○								兼1	
			アジアの文化	2 前		2		○								兼1	
			西洋の歴史Ｍ	1 前		2		○								兼1	
			西洋の歴史Ｎ	1 前		2		○								兼1	
			心理学入門	1 前		2		○								兼2	
			心理学Ａ	2 前		2		○								兼2	
			心理学Ｂ	2 後		2		○								兼2	
			教育原論Ａ	1 前		2		○								兼2	
			教育原論Ｂ	1 後		2		○								兼2	
			学習・発達論Ａ	2 前		2		○								兼1	
			学習・発達論Ｂ	2 後		2		○								兼1	
			小計（30科目）	ー	0	60	0	ー			0	0	0	0	0	兼23	
		社会科学系科目	日本国憲法	1 前		2		○								兼1	
			法学のすすめ	1 前		2		○								兼1	
			政治学のすすめ	1 前		2		○								兼1	
			社会学のすすめ	1 前		2		○								兼2	
			地理学のすすめ	1 前		2		○								兼1	
			経済学のすすめ	1 前		2		○								兼3	
			経営学のすすめ	1 前		2		○								兼1	
			国際学のすすめ	1 前		2		○								兼1	
			文化人類学のすすめ	1 前		2		○								兼1	
			社会調査のすすめ	1 前		2		○								兼2	
			社会統計学のすすめ	1 前		2		○								兼1	
			人権論Ａ	1 前		2		○								兼4	
			人権論Ｂ	1 後		2		○								兼4	
			現代社会とメディア	2 前		2		○								兼1	
			現代社会と福祉	2 前		2		○								兼3	
			現代社会と法	2 前		2		○								兼1	
			現代社会と労働	2 前		2		○								兼1	
			現代社会の諸問題	2 前		2		○								兼1	
			環境と社会	2 前		2		○								兼1	
			平和学Ａ	2 前		2		○								兼1	
			ジェンダー論	2 前		2		○								兼1	
			国際社会論	2 前		2		○								兼2	
			地域論	2 前		2		○								兼1	
			企業と会計	2 前		2		○								兼1	
			社会思想史	2 前		2		○								兼2	
			情報倫理	2 前		2		○								兼2	オムニバス
			情報社会とメディア	1 前		2		○								兼2	オムニバス
			データサイエンス・ＡＩ入門	1 前		2		○								兼1	
			小計（28科目）	ー	0	56	0	ー			0	0	0	0	0	兼34	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

全体版

（農学部資源生物科学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	備考	
教養教育科目	教養科目	自然科学系科目	生活の中の数学	1 前		2		○								兼1	
			生活の中の統計技術	1 前		2		○								兼1	
			生活の中の化学	1 前		2		○								兼2	
			生活の中の物理	1 前		2		○								兼2	
			生活の中の生物学	1 前		2		○								兼2	オムニバス
			生活の中の地学	1 後		2		○								兼1	
			現代の技術	1 後		2		○								兼2	オムニバス
			生命と科学	2 前		2		○								兼1	
			自然観察法	2 前		2		○								兼2	共同
			里山学	1 前		2		○								兼1	オムニバス
			環境の科学	2 前		2		○								兼2	
			人類の科学	2 前		2		○								兼2	
			情報と人間	1 後		2		○								兼1	
			現代社会と栄養	1 前		2		○								兼2	
			小計（14科目）	ー	0	28	0	ー			0	0	0	0	0	兼21	
		スポーツ科学系科目	健康とスポーツ	2 前		2		○								兼2	
			現代社会とスポーツ	1 後		2		○								兼1	
			スポーツ技術学Ａ	1 前		1				○						兼3	
			スポーツ技術学Ｂ	1 後		1				○						兼3	
			スポーツ文化論	2 前		2		○								兼1	
			小計（5科目）	ー	0	8	0	ー			0	0	0	0	0	兼8	
			教養教育科目特別講義	1 前		2		○								兼2	
			バークレー語学	1 前		12		○								兼1	
			バークレー講義	1 前		6		○								兼1	
			バークレーボランティア	1 前		6		○								兼1	
			小計（4科目）	ー	0	26	0	ー			0	0	0	0	0	兼5	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

全体版

（農学部資源生物科学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	学部必修科目	農学概論	1 前	2			○			2					兼3	オムニバス
		食と農の倫理	1 前	2			○				1				兼6	オムニバス／共同（一部）
		食の循環実習Ⅰ	1 後	2					○	4	1	3		3	兼18	
		食の循環実習Ⅱ	2 前	2					○	3		1		3	兼17	
		小計（4科目）	ー	8	0	0	ー			4	1	3	0	3	兼27	
	学科基礎分野 学科基礎科目Ａ	有機化学	1 後		2		○								兼1	
		分析化学	3 後		2		○								兼1	
		社会福祉論	1 前		2		○								兼1	
		食品の安全と法律	1 後		2		○								兼1	
		食と嗜好の科学	1 後		2		○								兼4	オムニバス
		食の文化論	2 前		2		○								兼1	
		暮らしの中の食品学	1 前		2		○								兼1	
		身体のしくみと栄養	1 前		2		○								兼1	
		調理のサイエンス	1 前		2		○								兼1	
		日本・京滋の食料と農業	1 後		2		○								兼1	
		欧米の食料と農業	2 前		2		○								兼1	
		アジア・アフリカの食料と農業	2 前		2		○								兼1	
		日本の歴史と農業	1 後		2		○								兼1	
		世界の歴史と農業	1 後		2		○								兼1	
		科学史・農学史入門	2 前		2		○								兼1	
		くらしと経済	1 前		2		○								兼1	
		会社と農家のしくみ	1 前		2		○								兼1	
		事例に学ぶ食品マーケティング	1 前		2		○								兼1	
		大学の学びとキャリア	1 前		2		○								兼1	
		キャリア形成論	2 後		2		○								兼1	
		情報教育論	3 前			2			○						兼1	
		地学概論	2 前		2		○			1						
		物理学概論	3 後		2		○								兼2	
		化学概論	2 前		2		○								兼2	オムニバス
		生物物理学	3 後		2		○								兼5	オムニバス
		地学実験	3 後		2				○	1					兼1	
		物理学実験	3 後		1				○						兼2	
		生物物理学実習	3 後		1				○						兼4	オムニバス／共同（一部）集中
		小計（28科目）	ー	0	52	2	ー			2	0	0	0	0	兼31	
	学科基礎分野 学科基礎科目Ｂ	入門ゼミ	1 前		2			○		6	1	1				
		基礎演習Ⅰ	2 後		2			○		2	1	2				
		基礎演習Ⅱ	3 前		2			○		7	1	2				
		生物学基礎	1 前			2	○								兼1	
		遺伝学Ⅰ	1 後		2		○								兼1	
		植物育種学	1 後	2			○			1						
		植物生理・生化学Ⅰ	1 後		2		○								兼1	
		作物学Ⅰ	1 後	2			○			1						
		収穫後生理学	2 前		2		○			3		2				オムニバス
		植物病理学Ⅰ	2 前		2		○					1				
		身近な植物	1 後		2		○								兼1	
		森林生態学	1 後		2		○								兼1	集中
		雑草学Ⅰ	2 後		2		○				1					
		飢饉・救荒論	1 前		2		○				1					
		虫と農業	1 後		2		○			1						
		土壌学Ⅰ	2 後		2		○			1						
		発酵醸造学Ⅰ	2 前		2		○								兼1	
		生物統計学	2 後		2		○								兼2	
		農業気象学	3 後		2		○								兼1	集中
		畜産学概論	2 後		2		○								兼1	集中
		水産学概論	3 後		2		○								兼1	集中
		農業環境工学	1 後		2		○								兼1	集中
		基礎生物学実習	2 後	2					○	3	1			1	兼7	オムニバス
		基礎化学実習	2 後	2					○	2				1	兼5	オムニバス
		小計（24科目）	ー	8	38	2	ー			7	1	3	0	1	兼19	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

全体版

（農学部資源生物科学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	学科応用分野	学科応用科目	植物資源学Ⅰ	2 前		2		○			1						
			植物資源学Ⅱ	3 前		2		○			1						
			分子育種学Ⅰ	2 後		2		○								兼1	
			分子育種学Ⅱ	3 前		2		○			1						
			作物学Ⅱ	3 後		2		○			1						
			花き野菜園芸学Ⅰ	2 前		2		○			1		1				オムニバス
			花き野菜園芸学Ⅱ	3 後		2		○			1		1				オムニバス
			果樹園芸学Ⅰ	2 後		2		○			1						
			果樹園芸学Ⅱ	3 前		2		○			1						
			雑草学Ⅱ	3 前		2		○				1					
			植物栄養学Ⅰ	2 後		2		○					1				
			植物栄養学Ⅱ	3 前		2		○			1						
			土壌学Ⅱ	3 後		2		○					1				
			応用昆虫学	3 後		2		○			1						
			植物病理学Ⅱ	3 前		2		○					1				
			線虫学Ⅰ	2 前		2		○			1						
			線虫学Ⅱ	3 後		2		○			1						
			農薬学	2 後		2		○								兼1	集中
			資源生物科学実習A	3 前	2					○	4	1	1		1	兼3	オムニバス
			資源生物科学実習B	3 前	2					○	3		1		1	兼3	オムニバス
			農学部インターンシップA	2 前		2				○						兼2	共同
			農学部インターンシップB	2 前		1				○						兼2	共同
			海外農業体験実習A	2 前		2				○			1			兼3	共同
			海外農業体験実習B	2 前		2				○	1					兼3	共同
			農学部特別実習A	1 前		2				○	2	1				兼1	オムニバス／共同（一部）
			農学部特別実習B	1 前		2				○						兼2	オムニバス／共同
			農学部特別実習C	1 前		1				○						兼1	
			農学部特別講義	1 前		2		○								兼1	
			小計（28科目）	ー	4	50	0	ー			7	1	4	0	1	兼16	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

全体版

（農学部資源生物科学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	備考	
専攻科目	学科応用分野	総合演習特別研究	総合演習Ⅰ	3 後	2				○		7	1	4				
			総合演習Ⅱ	4 前	2				○		7	1	2				
			総合演習Ⅲ	4 後	2				○		7	1	4				
			特別研究	4 後	6				○		7	1	4				
			小計（4科目）	ー	12	0	0	ー			7	1	4	0	0	兼0	
諸課程科目			理科教育法Ａ	2 前			2	○								兼1	
			理科教育法Ｂ	2 後			2	○								兼1	
			理科教育法Ⅰ	3 前			2	○			1						
			理科教育法Ⅱ	3 後			2	○			1						
			農業科教育法Ⅰ	3 前			2	○								兼1	集中
			農業科教育法Ⅱ	3 後			2	○								兼1	集中
			職業指導	3 前			2	○								兼1	
			教職論	2 前			2	○								兼1	
			学校教育社会学	2 後			2	○								兼1	
			教育課程論	2 後			2	○								兼1	
			特別支援教育概論	2 前			2	○								兼1	
			道徳教育指導法	3 後			2	○								兼1	
			総合的な学習の時間・特別活動論	3 前			2	○								兼1	
			教育の方法と技術	3 前			2	○								兼1	
			生徒・進路指導論	2 後			2	○								兼1	
			教育相談	3 前			2	○								兼1	
			教育実習指導Ⅰ	4 前			1	○			1					兼2	集中
			教育実習指導ⅡＡ	4 通			4			○	1					兼2	集中
			教育実習指導ⅡＢ	4 通			4			○	1					兼2	集中
			教職実践演習（中・高）	4 後			2		○		1					兼1	共同
			介護等体験	2 通			2			○	1					兼2	
			真宗学概論	2 通			4	○								兼1	
			仏教学概論	2 通			4	○								兼1	
			真宗史	1 通			4	○								兼1	
			勤式	1 通			4	○								兼4	隔年／オムニバス
			宗門法規	1 前			2	○								兼1	隔年／集中
			教化法	1 通			4	○								兼4	隔年／オムニバス
			（本山教師）宗教概説	1 前			1	○								兼1	集中
			（本山教師）仏教史	1 前			1	○								兼2	集中
			生涯学習概論	1 前			2	○								兼1	
			博物館概論	1 前			2	○								兼1	
			博物館経営論	2 前			2	○								兼1	
			博物館資料論	1 後			2	○			1					兼3	オムニバス
			博物館資料保存論	2 後			2	○								兼3	オムニバス
			博物館展示論	2 後			2	○								兼1	
			博物館教育論	1 前			2	○								兼1	
			博物館情報・メディア論	2 後			2	○								兼1	
			博物館実習	3 通			3			○	1					兼1	共同
			小計（38科目）	ー	0	0	88	ー			2	0	0	0	0	兼46	
合計（257科目）				ー	42	385	92	ー			8	2	4	0	4	兼241	

学位又は称号	学士（農学）	学位又は学科の分野	農学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
教養教育科目から22単位以上（必修16単位を含む）、学部必修科目から必修8単位、学科基礎科目Aから10単位以上、学科基礎科目Bから28単位以上（必修8単位を含む）、学科応用科目から28単位以上（必修4単位を含む）、総合演習・特別研究から必修12単位を修得し、合計124単位以上を修得すること。（履修科目登録上限44単位（年間））	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

瀬田学舎

（農学部資源生物科学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
教養教育科目	「仏教の思想」科目	仏教の思想Ａ	１前	2			○								兼3	
		仏教の思想Ｂ	１後	2			○								兼3	
		歎異抄の思想Ⅰ	２前		2		○								兼1	
		歎異抄の思想Ⅱ	２後		2		○								兼1	
		小計（4科目）	－	4	4	0	－			0	0	0	0	0	兼3	
	言語科目	英語総合１（Ａ）	１前	1			○				1				兼7	
		英語総合１（Ｂ）	１前	1			○								兼8	
		英語総合２（Ａ）	１後	1			○				1				兼7	
		英語総合２（Ｂ）	１後	1			○								兼8	
		英語総合３	２前	1			○								兼8	
		英語総合４	２後	1			○								兼8	
		英語セミナーＡ１	１前		2		○								兼2	
		英語セミナーＡ２	１後		2		○								兼2	
		英語セミナーＢ１	２前		2		○								兼1	
		英語セミナーＢ２	２後		2		○								兼1	
		英語セミナーＣ１	２前		2		○								兼2	
		英語セミナーＣ２	２後		2		○								兼2	
		英語セミナーＤ１	２前		2		○								兼1	
		英語セミナーＤ２	２後		2		○								兼1	
		英語セミナーＥ１	２前		2		○								兼1	
		英語セミナーＥ２	２後		2		○								兼1	
		英語セミナーＦ１	２前		2		○								兼1	
		英語セミナーＦ２	２後		2		○								兼1	
		英語セミナーＧ１	１前		2		○								兼1	
		英語セミナーＧ２	１後		2		○								兼1	
		海外英語研修	１後		2		○								兼2	集中
		ドイツ語ＩＡ	１前		1		○								兼1	
		ドイツ語ＩＢ	１前		1		○								兼2	
		ドイツ語ⅡＡ	１後		1		○								兼1	
		ドイツ語ⅡＢ	１後		1		○								兼2	
		フランス語ＩＡ	１前		1		○								兼1	
		フランス語ＩＢ	１前		1		○								兼2	
		フランス語ⅡＡ	１後		1		○								兼1	
		フランス語ⅡＢ	１後		1		○								兼2	
		中国語ＩＡ	１前		1		○								兼2	
		中国語ＩＢ	１前		1		○								兼2	
		中国語ⅡＡ	１後		1		○								兼2	
		中国語ⅡＢ	１後		1		○								兼2	
		コリア語ＩＡ	１前		1		○								兼1	
		コリア語ＩＢ	１前		1		○								兼1	
		コリア語ⅡＡ	１後		1		○								兼1	
		コリア語ⅡＢ	１後		1		○								兼1	
		ドイツ語セミナーＩＡ	２前		2		○								兼1	
		ドイツ語セミナーＩＢ	２後		2		○								兼1	
		フランス語セミナーＩＡ	２前		2		○								兼1	
		フランス語セミナーＩＢ	２後		2		○								兼1	
		中国語セミナーＩＡ	２前		2		○								兼1	
		中国語セミナーＩＢ	２後		2		○								兼1	
		コリア語セミナーＩＡ	２前		2		○								兼1	
		コリア語セミナーＩＢ	２後		2		○								兼1	
		日本語	１前		1		○								兼1	
		小計（46科目）	－	6	63	0	－			0	1	0	0	0	兼40	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

瀬田学舎

（農学部資源生物科学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
教養教育科目	教養科目	人文科学系科目	哲学入門	1 前		2		○								兼1	
			倫理学入門	1 前		2		○								兼2	
			倫理学Ａ	1 前		2		○								兼2	
			倫理学Ｂ	2 前		2		○								兼1	
			クリティカル・シンキング	1 前		2		○								兼1	
			宗教学のすすめ	1 前		2		○								兼1	
			宗教の世界	1 前		2		○								兼1	
			日本の文学Ｍ	1 前		2		○								兼1	
			日本の文学Ｎ	1 後		2		○								兼1	
			アジアの文学Ａ	1 前		2		○								兼1	
			アジアの文学Ｂ	1 前		2		○								兼1	
			西洋の文学Ａ	1 前		2		○								兼3	
			西洋の文学Ｂ	2 前		2		○								兼2	
			言語学入門	1 前		2		○								兼4	オムニバス
			歴史入門	1 前		2		○								兼2	
			日本の歴史Ｍ	1 前		2		○								兼1	
			日本の歴史Ｎ	1 後		2		○								兼1	
			日本の文化	1 前		2		○								兼1	
			アジアの歴史Ｍ	2 前		2		○								兼1	
			アジアの歴史Ｎ	2 後		2		○								兼1	
			アジアの文化	2 前		2		○								兼1	
			西洋の歴史Ｍ	1 前		2		○								兼1	
			西洋の歴史Ｎ	1 前		2		○								兼1	
			心理学入門	1 前		2		○								兼2	
			心理学Ａ	2 前		2		○								兼2	
			心理学Ｂ	2 後		2		○								兼2	
			教育原論Ａ	1 前		2		○								兼2	
			教育原論Ｂ	1 後		2		○								兼2	
			学習・発達論Ａ	2 前		2		○								兼1	
			学習・発達論Ｂ	2 後		2		○								兼1	
			小計（30科目）	ー	0	60	0	ー			0	0	0	0	0	兼23	
		社会科学系科目	日本国憲法	1 前		2		○								兼1	
			法学のすすめ	1 前		2		○								兼1	
			政治学のすすめ	1 前		2		○								兼1	
			社会学のすすめ	1 前		2		○								兼2	
			地理学のすすめ	1 前		2		○								兼1	
			経済学のすすめ	1 前		2		○								兼3	
			経営学のすすめ	1 前		2		○								兼1	
			国際学のすすめ	1 前		2		○								兼1	
			文化人類学のすすめ	1 前		2		○								兼1	
			社会調査のすすめ	1 前		2		○								兼2	
			社会統計学のすすめ	1 前		2		○								兼1	
			人権論Ａ	1 前		2		○								兼4	
			人権論Ｂ	1 後		2		○								兼4	
			現代社会とメディア	2 前		2		○								兼1	
			現代社会と福祉	2 前		2		○								兼3	
			現代社会と法	2 前		2		○								兼1	
			現代社会と労働	2 前		2		○								兼1	
			現代社会の諸問題	2 前		2		○								兼1	
			環境と社会	2 前		2		○								兼1	
			平和学Ａ	2 前		2		○								兼1	
			ジェンダー論	2 前		2		○								兼1	
			国際社会論	2 前		2		○								兼2	
			地域論	2 前		2		○								兼1	
			企業と会計	2 前		2		○								兼1	
			社会思想史	2 前		2		○								兼2	
			情報倫理	2 前		2		○								兼2	オムニバス
			情報社会とメディア	1 前		2		○								兼2	オムニバス
			データサイエンス・ＡＩ入門	1 前		2		○								兼1	
			小計（28科目）	ー	0	56	0	ー			0	0	0	0	0	兼34	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

瀬田学舎

（農学部資源生物科学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	備考	
教養教育科目	教養科目	自然科学系科目	生活の中の数学	1 前		2		○								兼1	
			生活の中の統計技術	1 前		2		○								兼1	
			生活の中の化学	1 前		2		○								兼2	
			生活の中の物理	1 前		2		○								兼2	
			生活の中の生物学	1 前		2		○								兼2	オムニバス
			生活の中の地学	1 後		2		○								兼1	
			現代の技術	1 後		2		○								兼2	オムニバス
			生命と科学	2 前		2		○								兼1	
			自然観察法	2 前		2		○								兼2	共同
			里山学	1 前		2		○								兼1	オムニバス
			環境の科学	2 前		2		○								兼2	
			人類の科学	2 前		2		○								兼2	
			情報と人間	1 後		2		○								兼1	
			現代社会と栄養	1 前		2		○								兼2	
			小計（14科目）	ー	0	28	0	ー			0	0	0	0	0	兼21	
		スポーツ科学系科目	健康とスポーツ	2 前		2		○								兼2	
			現代社会とスポーツ	1 後		2		○								兼1	
			スポーツ技術学Ａ	1 前		1				○						兼3	
			スポーツ技術学Ｂ	1 後		1				○						兼3	
			スポーツ文化論	2 前		2		○								兼1	
			小計（5科目）	ー	0	8	0	ー			0	0	0	0	0	兼8	
			教養教育科目特別講義	1 前		2		○								兼2	
			バークレー語学	1 前		12		○								兼1	
			バークレー講義	1 前		6		○								兼1	
			バークレーボランティア	1 前		6		○								兼1	
			小計（4科目）	ー	0	26	0	ー			0	0	0	0	0	兼5	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

瀬田学舎

（農学部資源生物科学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	備考	
専攻科目	学部必修科目	農学概論	1 前	2			○			2					兼3	オムニバス
		食と農の倫理	1 前	2			○				1				兼6	オムニバス／共同（一部）
		食の循環実習Ⅰ	1 後	2					○	4	1	3		3	兼18	
		食の循環実習Ⅱ	2 前	2					○	3		1		3	兼17	
		小計（4科目）	ー	8	0	0	ー			4	1	3	0	3	兼27	
	学科基礎科目Ａ	有機化学	1 後		2		○								兼1	
		分析化学	3 後		2		○								兼1	
		社会福祉論	1 前		2		○								兼1	
		食品の安全と法律	1 後		2		○								兼1	
		食と嗜好の科学	1 後		2		○								兼4	オムニバス
		食の文化論	2 前		2		○								兼1	
		暮らしの中の食品学	1 前		2		○								兼1	
		身体のしくみと栄養	1 前		2		○								兼1	
		調理のサイエンス	1 前		2		○								兼1	
		日本・京滋の食料と農業	1 後		2		○								兼1	
		欧米の食料と農業	2 前		2		○								兼1	
		アジア・アフリカの食料と農業	2 前		2		○								兼1	
		日本の歴史と農業	1 後		2		○								兼1	
		世界の歴史と農業	1 後		2		○								兼1	
		科学史・農学史入門	2 前		2		○								兼1	
		くらしと経済	1 前		2		○								兼1	
		会社と農家のしくみ	1 前		2		○								兼1	
		事例に学ぶ食品マーケティング	1 前		2		○								兼1	
		大学の学びとキャリア	1 前		2		○								兼1	
		キャリア形成論	2 後		2		○								兼1	
		情報教育論	3 前			2			○						兼1	
		地学概論	2 前		2		○			1						
		物理学概論	3 後		2		○								兼2	
		化学概論	2 前		2		○								兼2	オムニバス
		生物物理学	3 後		2		○								兼5	オムニバス
		地学実験	3 後		2				○	1					兼1	
		物理学実験	3 後		1				○						兼2	
		生物物理学実習	3 後		1				○						兼4	オムニバス／共同（一部）集中
		小計（28科目）	ー	0	52	2	ー			2	0	0	0	0	兼31	
	学科基礎科目Ｂ	入門ゼミ	1 前		2			○		6	1	1				
		基礎演習Ⅰ	2 後		2			○		2	1	2				
		基礎演習Ⅱ	3 前		2			○		7	1	2				
		生物学基礎	1 前			2	○								兼1	
		遺伝学Ⅰ	1 後		2		○								兼1	
		植物育種学	1 後	2			○			1						
		植物生理・生化学Ⅰ	1 後		2		○								兼1	
		作物学Ⅰ	1 後	2			○			1						
		収穫後生理学	2 前		2		○			3		2				オムニバス
		植物病理学Ⅰ	2 前		2		○					1				
		身近な植物	1 後		2		○								兼1	
		森林生態学	1 後		2		○								兼1	集中
		雑草学Ⅰ	2 後		2		○				1					
		飢饉・救荒論	1 前		2		○				1					
		虫と農業	1 後		2		○			1						
		土壌学Ⅰ	2 後		2		○			1						
		発酵醸造学Ⅰ	2 前		2		○								兼1	
		生物統計学	2 後		2		○								兼2	
		農業気象学	3 後		2		○								兼1	集中
		畜産学概論	2 後		2		○								兼1	集中
		水産学概論	3 後		2		○								兼1	集中
		農業環境工学	1 後		2		○								兼1	集中
		基礎生物学実習	2 後	2					○	3	1			1	兼7	オムニバス
		基礎化学実習	2 後	2					○	2				1	兼5	オムニバス
		小計（24科目）	ー	8	38	2	ー			7	1	3	0	1	兼19	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

瀬田学舎

（農学部資源生物科学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	学科応用分野	学科応用科目	植物資源学Ⅰ	2 前		2		○			1						
			植物資源学Ⅱ	3 前		2		○			1						
			分子育種学Ⅰ	2 後		2		○								兼1	
			分子育種学Ⅱ	3 前		2		○			1						
			作物学Ⅱ	3 後		2		○			1						
			花き野菜園芸学Ⅰ	2 前		2		○			1		1				オムニバス
			花き野菜園芸学Ⅱ	3 後		2		○			1		1				オムニバス
			果樹園芸学Ⅰ	2 後		2		○			1						
			果樹園芸学Ⅱ	3 前		2		○			1						
			雑草学Ⅱ	3 前		2		○				1					
			植物栄養学Ⅰ	2 後		2		○					1				
			植物栄養学Ⅱ	3 前		2		○			1						
			土壌学Ⅱ	3 後		2		○					1				
			応用昆虫学	3 後		2		○			1						
			植物病理学Ⅱ	3 前		2		○					1				
			線虫学Ⅰ	2 前		2		○			1						
			線虫学Ⅱ	3 後		2		○			1						
			農薬学	2 後		2		○								兼1	集中
			資源生物科学実習A	3 前	2					○	4	1	1		1	兼3	オムニバス
			資源生物科学実習B	3 前	2					○	3		1		1	兼3	オムニバス
			農学部インターンシップA	2 前		2				○						兼2	共同
			農学部インターンシップB	2 前		1				○						兼2	共同
			海外農業体験実習A	2 前		2				○			1			兼3	共同
			海外農業体験実習B	2 前		2				○	1					兼3	共同
			農学部特別実習A	1 前		2				○	2	1				兼1	オムニバス／共同（一部）
			農学部特別実習B	1 前		2				○						兼2	オムニバス／共同
			農学部特別実習C	1 前		1				○						兼1	
			農学部特別講義	1 前		2		○								兼1	
			小計（28科目）	ー	4	50	0	ー			7	1	4	0	1	兼16	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

瀬田学舎

（農学部資源生物科学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専攻科目	学科応用分野	特別研究 総合演習	総合演習Ⅰ	3 後	2				○		7	1	4				
			総合演習Ⅱ	4 前	2				○		7	1	2				
			総合演習Ⅲ	4 後	2				○		7	1	4				
			特別研究	4 後	6				○		7	1	4				
			小計（4科目）	ー	12	0	0	ー			7	1	4	0	0	兼0	
諸課程科目			理科教育法Ａ	2 前			2	○								兼1	
			理科教育法Ｂ	2 後			2	○								兼1	
			理科教育法Ⅰ	3 前			2	○			1						
			理科教育法Ⅱ	3 後			2	○			1						
			農業科教育法Ⅰ	3 前			2	○								兼1	集中
			農業科教育法Ⅱ	3 後			2	○								兼1	集中
			職業指導	3 前			2	○								兼1	
			教職論	2 前			2	○								兼1	
			学校教育社会学	2 後			2	○								兼1	
			教育課程論	2 後			2	○								兼1	
			特別支援教育概論	2 前			2	○								兼1	
			道徳教育指導法	3 後			2	○								兼1	
			総合的な学習の時間・特別活動論	3 前			2	○								兼1	
			教育の方法と技術	3 前			2	○								兼1	
			生徒・進路指導論	2 後			2	○								兼1	
			教育相談	3 前			2	○								兼1	
			教育実習指導Ⅰ	4 前			1	○			1					兼2	集中
			教育実習指導ⅡＡ	4 通			4			○	1					兼2	集中
			教育実習指導ⅡＢ	4 通			4			○	1					兼2	集中
			教職実践演習（中・高）	4 後			2		○		1					兼1	共同
			介護等体験	2 通			2			○	1					兼2	
			真宗学概論	2 通			4	○								兼1	
			仏教学概論	2 通			4	○								兼1	
			真宗史	1 通			4	○								兼1	
			勤式	1 通			4	○								兼4	隔年／オムニバス
			宗門法規	1 前			2	○								兼1	隔年／集中
			教化法	1 通			4	○								兼4	隔年／オムニバス
			（本山教師）宗教概説	1 前			1	○								兼1	集中
			（本山教師）仏教史	1 前			1	○								兼2	集中
			博物館情報・メディア論	2 後			2	○								兼1	
			博物館実習	3 通			3			○	1					兼1	共同
			小計（31科目）	ー	0	0	74	ー			2	0	0	0	0	兼38	
合計（250科目）				ー	42	385	78	ー			8	2	4	0	4	兼234	

学位又は称号	学士（農学）	学位又は学科の分野	農学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
教養教育科目から22単位以上（必修16単位を含む）、学部必修科目から必修8単位、学科基礎科目Aから10単位以上、学科基礎科目Bから28単位以上（必修8単位を含む）、学科応用科目から28単位以上（必修4単位を含む）、総合演習・特別研究から必修12単位を修得し、合計124単位以上を修得すること。（履修科目登録上限44単位（年間））	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

深草学舎

（農学部資源生物科学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
諸課程科目	生涯学習概論	1 前			2	○								兼 1	
	博物館概論	1 前			2	○								兼 1	
	博物館資料論	1 後			2	○			1					兼 3	オムニバス
	博物館資料保存論	2 後			2	○								兼 3	オムニバス
	博物館教育論	1 前			2	○								兼 1	
	小計（5科目）	－	0	0	10	－			1	0	0	0	0	兼 6	
合計（5科目）		－	0	0	10	－			1	0	0	0	0	兼 6	

学位又は称号	学士（農学）	学位又は学科の分野	農学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
教養教育科目から22単位以上（必修16単位を含む）、学部必修科目から必修8単位、学科基礎科目Aから10単位以上、学科基礎科目Bから28単位以上（必修8単位を含む）、学科応用科目から28単位以上（必修4単位を含む）、総合演習・特別研究から必修12単位を修得し、合計124単位以上を修得すること。（履修科目登録上限44単位（年間））	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

大宮学舎

（農学部資源生物科学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
諸科目課程	博物館経営論	2 前			2	○								兼 1	
	博物館展示論	2 後			2									兼 1	
	小計（2科目）	－	0	0	4	－			0	0	0	0	0	兼 2	
合計（2科目）		－	0	0	4	－			0	0	0	0	0	兼 2	

学位又は称号	学士（農学）	学位又は学科の分野	農学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
教養教育科目から22単位以上（必修16単位を含む）、学部必修科目から必修8単位、学科基礎科目Aから10単位以上、学科基礎科目Bから28単位以上（必修8単位を含む）、学科応用科目から28単位以上（必修4単位を含む）、総合演習・特別研究から必修12単位を修得し、合計124単位以上を修得すること。（履修科目登録上限44単位（年間））	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

（農学部食品栄養学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
教養教育科目	「仏教の思想」科目	仏教の思想Ａ	１前	2			○								兼3	
		仏教の思想Ｂ	１後	2			○								兼3	
		歎異抄の思想Ⅰ	２前		2		○								兼1	
		歎異抄の思想Ⅱ	２後		2		○								兼1	
		小計（4科目）	－	4	4	0	－			0	0	0	0	0	兼3	
	言語科目	英語総合１（Ａ）	１前	1			○								兼8	
		英語総合１（Ｂ）	１前	1			○								兼8	
		英語総合２（Ａ）	１後	1			○								兼8	
		英語総合２（Ｂ）	１後	1			○								兼8	
		英語総合３	２前	1			○								兼8	
		英語総合４	２後	1			○								兼8	
		英語セミナーＡ１	１前		2		○								兼2	
		英語セミナーＡ２	１後		2		○								兼2	
		英語セミナーＢ１	２前		2		○								兼1	
		英語セミナーＢ２	２後		2		○								兼1	
		英語セミナーＣ１	２前		2		○								兼2	
		英語セミナーＣ２	２後		2		○								兼2	
		英語セミナーＤ１	２前		2		○								兼1	
		英語セミナーＤ２	２後		2		○								兼1	
		英語セミナーＥ１	２前		2		○								兼1	
		英語セミナーＥ２	２後		2		○								兼1	
		英語セミナーＦ１	２前		2		○								兼1	
		英語セミナーＦ２	２後		2		○								兼1	
		英語セミナーＧ１	１前		2		○								兼1	
		英語セミナーＧ２	１後		2		○								兼1	
		海外英語研修	１後		2		○								兼2	集中
		ドイツ語ＩＡ	１前		1		○								兼1	
		ドイツ語ＩＢ	１前		1		○								兼2	
		ドイツ語ⅡＡ	１後		1		○								兼1	
		ドイツ語ⅡＢ	１後		1		○								兼2	
		フランス語ＩＡ	１前		1		○								兼1	
		フランス語ＩＢ	１前		1		○								兼2	
		フランス語ⅡＡ	１後		1		○								兼1	
		フランス語ⅡＢ	１後		1		○								兼2	
		中国語ＩＡ	１前		1		○								兼2	
		中国語ＩＢ	１前		1		○								兼2	
		中国語ⅡＡ	１後		1		○								兼2	
		中国語ⅡＢ	１後		1		○								兼2	
		コリア語ＩＡ	１前		1		○								兼1	
		コリア語ＩＢ	１前		1		○								兼1	
		コリア語ⅡＡ	１後		1		○								兼1	
		コリア語ⅡＢ	１後		1		○								兼1	
		ドイツ語セミナーＩＡ	２前		2		○								兼1	
		ドイツ語セミナーＩＢ	２後		2		○								兼1	
		フランス語セミナーＩＡ	２前		2		○								兼1	
		フランス語セミナーＩＢ	２後		2		○								兼1	
		中国語セミナーＩＡ	２前		2		○								兼1	
		中国語セミナーＩＢ	２後		2		○								兼1	
		コリア語セミナーＩＡ	２前		2		○								兼1	
		コリア語セミナーＩＢ	２後		2		○								兼1	
		日本語	１前		1		○								兼1	
		小計（46科目）	－	6	63	0	－			0	0	0	0	0	兼40	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

（農学部食品栄養学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	教養科目	人文科学系科目	哲学入門	1 前		2		○								兼1	
			倫理学入門	1 前		2		○								兼2	
			倫理学Ａ	1 前		2		○								兼2	
			倫理学Ｂ	2 前		2		○								兼1	
			クリティカル・シンキング	1 前		2		○								兼1	
			宗教学のすすめ	1 前		2		○								兼1	
			宗教の世界	1 前		2		○								兼1	
			日本の文学Ｍ	1 前		2		○								兼1	
			日本の文学Ｎ	1 後		2		○								兼1	
			アジアの文学Ａ	1 前		2		○								兼1	
			アジアの文学Ｂ	1 前		2		○								兼1	
			西洋の文学Ａ	1 前		2		○								兼3	
			西洋の文学Ｂ	2 前		2		○								兼2	
			言語学入門	1 前		2		○								兼4	オムニバス
			歴史入門	1 前		2		○								兼2	
			日本の歴史Ｍ	1 前		2		○								兼1	
			日本の歴史Ｎ	1 後		2		○								兼1	
			日本の文化	1 前		2		○								兼1	
			アジアの歴史Ｍ	2 前		2		○								兼1	
			アジアの歴史Ｎ	2 後		2		○								兼1	
			アジアの文化	2 前		2		○								兼1	
			西洋の歴史Ｍ	1 前		2		○								兼1	
			西洋の歴史Ｎ	1 前		2		○								兼1	
			心理学入門	1 前		2		○								兼2	
			心理学Ａ	2 前		2		○								兼2	
			心理学Ｂ	2 後		2		○								兼2	
			教育原論Ａ	1 前		2		○								兼2	
			教育原論Ｂ	1 後		2		○								兼2	
			学習・発達論Ａ	2 前		2		○								兼1	
			学習・発達論Ｂ	2 後		2		○								兼1	
			小計（30科目）	ー	0	60	0	ー			0	0	0	0	0	兼23	
		社会科学系科目	日本国憲法	1 前		2		○								兼1	
			法学のすすめ	1 前		2		○								兼1	
			政治学のすすめ	1 前		2		○								兼1	
			社会学のすすめ	1 前		2		○								兼2	
			地理学のすすめ	1 前		2		○								兼1	
			経済学のすすめ	1 前		2		○								兼3	
			経営学のすすめ	1 前		2		○								兼1	
			国際学のすすめ	1 前		2		○								兼1	
			文化人類学のすすめ	1 前		2		○								兼1	
			社会調査のすすめ	1 前		2		○								兼2	
			社会統計学のすすめ	1 前		2		○								兼1	
			人権論Ａ	1 前		2		○								兼4	
			人権論Ｂ	1 後		2		○								兼4	
			現代社会とメディア	2 前		2		○								兼1	
			現代社会と福祉	2 前		2		○								兼3	
			現代社会と法	2 前		2		○								兼1	
			現代社会と労働	2 前		2		○								兼1	
			現代社会の諸問題	2 前		2		○								兼1	
			環境と社会	2 前		2		○								兼1	
			平和学Ａ	2 前		2		○								兼1	
			ジェンダー論	2 前		2		○								兼1	
			国際社会論	2 前		2		○								兼2	
			地域論	2 前		2		○								兼1	
			企業と会計	2 前		2		○								兼1	
			社会思想史	2 前		2		○								兼2	
			情報倫理	2 前		2		○								兼2	オムニバス
			情報社会とメディア	1 前		2		○								兼2	オムニバス
			データサイエンス・ＡＩ入門	1 前		2		○								兼1	
			小計（28科目）	ー	0	56	0	ー			0	0	0	0	0	兼34	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

（農学部食品栄養学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	教養科目	自然科学系科目	生活の中の数学	1 前		2		○								兼1	
			生活の中の統計技術	1 前		2		○								兼1	
			生活の中の化学	1 前		2		○								兼2	
			生活の中の物理	1 前		2		○								兼2	
			生活の中の生物学	1 前		2		○								兼2	オムニバス
			生活の中の地学	1 後		2		○								兼1	
			現代の技術	1 後		2		○								兼2	オムニバス
			生命と科学	2 前		2		○								兼1	
			自然観察法	2 前		2		○								兼2	共同
			里山学	1 前		2		○								兼1	オムニバス
			環境の科学	2 前		2		○								兼2	
			人類の科学	2 前		2		○								兼2	
			情報と人間	1 後		2		○								兼1	
			小計（13科目）	ー	0	26	0	ー			0	0	0	0	0	兼19	
		スポーツ科学系科目	健康とスポーツ	2 前		2		○								兼2	
			現代社会とスポーツ	1 後		2		○								兼1	
			スポーツ技術学Ａ	1 前		1				○						兼3	
			スポーツ技術学Ｂ	1 後		1				○						兼3	
			スポーツ文化論	2 前		2		○								兼1	
			小計（5科目）	ー	0	8	0	ー			0	0	0	0	0	兼8	
			教養教育科目特別講義	1 前		2		○								兼2	
			バークレー語学	1 前		12		○								兼1	
			バークレー講義	1 前		6		○								兼1	
			バークレーボランティア	1 前		6		○								兼1	
			小計（4科目）	ー	0	26	0	ー			0	0	0	0	0	兼5	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

（農学部食品栄養学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	学部必修科目	農学概論	1 前	2			○			1					兼4	オムニバス
		食と農の倫理	1 前	2			○			2					兼6	オムニバス／共同（一部）
		食の循環実習Ⅰ	1 後	2					○	2	1			8	兼18	
		食の循環実習Ⅱ	2 前	2					○	3				8	兼13	
		小計（4科目）	ー	8	0	0	ー			5	1	0	0	8	兼24	
	学科基礎分野	社会福祉論	1 前		2		○								兼1	
		食品の安全と法律	1 後		2		○								兼1	
		食と嗜好の科学	1 後		2		○			1					兼3	オムニバス
		食の文化論	2 前		2		○								兼1	
		収穫後生理学	2 前		2		○								兼5	
		植物病理学Ⅰ	2 前		2		○								兼1	
		身近な植物	1 後		2		○								兼1	
		森林生態学	1 後		2		○								兼1	集中
		雑草学Ⅰ	2 後		2		○								兼1	
		飢饉・救荒論	1 前		2		○								兼1	
		昆虫学Ⅰ	2 前		2		○								兼1	
		虫と農業	1 後		2		○								兼1	
		土壌学Ⅰ	2 後		2		○								兼1	
		微生物学Ⅰ	2 前		2		○								兼1	
		生物統計学	2 後		2		○								兼2	
		農業気象学	3 後		2		○								兼1	集中
		畜産学概論	2 後		2		○								兼1	集中
		水産学概論	3 後		2		○								兼1	集中
		農業環境工学	1 後		2		○								兼1	集中
	学科基礎科目Ａ	農業を支える植物細胞の力	1 前		2		○								兼1	
		分子からみた生命	1 前		2		○								兼1	
		遺伝の考え方	1 前		2		○								兼1	
		花と果物の科学	1 後		2		○								兼4	オムニバス
		植物栽培の考え方	1 前		2		○								兼5	オムニバス
		生活を支える微生物の力	1 前		2		○								兼2	オムニバス
		日本・京滋の食料と農業	1 後		2		○								兼1	
		欧米の食料と農業	2 前		2		○								兼1	
		アジア・アフリカの食料と農業	2 前		2		○								兼1	
		日本の歴史と農業	1 後		2		○								兼1	
		世界の歴史と農業	1 後		2		○								兼1	
		科学史・農学史入門	2 前		2		○								兼1	
		くらしと経済	1 前		2		○								兼1	
		会社と農家のしくみ	1 前		2		○								兼1	
		事例に学ぶ食品マーケティング	1 前		2		○								兼1	
		大学の学びとキャリア	1 前		2		○								兼1	
		キャリア形成論	2 後		2		○								兼1	
		情報教育論	3 前			2			○						兼1	
		地学概論	2 前		2		○								兼1	
		物理学概論	3 後		2		○								兼2	
		化学概論	2 前		2		○								兼2	オムニバス
		生物物理学	3 後		2		○			2					兼3	オムニバス
		生物物理学実習	3 後		1				○	2					兼2	オムニバス／共同（一部）集中
		小計（42科目）	ー	0	81	2	ー			3	0	0	0	0	兼46	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

（農学部食品栄養学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	学科基礎分野	学科基礎科目B	入門ゼミ	1 前		2			○		3		1				
			管理栄養士基礎演習	3 前		2			○		4						
			科学英語	4 前		2		○			3						
			健康管理概論	1 後	2			○					1			兼1	オムニバス
			公衆衛生学Ⅰ	2 前	2			○					1			兼1	オムニバス
			公衆衛生学Ⅱ	2 後		2		○					1			兼1	オムニバス
			生化学	1 前	2			○			1						
			分子栄養学	1 後		2		○			1		1				オムニバス
			解剖生理学	1 後	2			○			1						
			運動生理学	3 前	2			○			1						
			臨床医学概論	2 前		2		○			1						
			臨床病態学	2 後		2		○			1						
			微生物学	2 前		2		○			1						
			食品化学	1 後	2			○			1						
			食品学	2 前	2			○			1						
			食品機能・加工論	3 後		2		○					1				
			食品衛生学	2 後		2		○			1						
			調理学	1 前		2		○			1						
			有機化学	1 後		2		○								兼1	
			分析化学	3 後		2		○			1						
			基礎生物化学	1 前			2	○								兼1	
			生化学実験	2 後		1				○	1		1		1		共同
			解剖生理学実験	2 前		1				○	1				1		
			栄養生理学実験	2 後		1				○	1				1		
			微生物学実験	2 前		1				○	1				1		
			食品学実験Ⅰ	2 前		1				○	1		1		2		共同
			食品学実験Ⅱ	2 前		1				○	1		1		2		共同
			食品加工学実習	4 前		1				○	1		1		2		共同
			食品衛生学実験	2 後		1				○	1				2		
			調理学実習Ⅰ	1 前		1				○	1				2		
			調理学実習Ⅱ	1 後		1				○	1				3		
			小計（31科目）	ー	14	36	2	ー			7	0	2	0	7	兼4	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

（農学部食品栄養学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	学科応用分野	学科応用科目	基礎栄養学	2 前	2			○			2						オムニバス
			応用栄養学	2 後	2			○								兼1	
			ライフステージ栄養学	3 前		2		○			2						オムニバス
			栄養評価論	3 後		2		○			2						オムニバス
			スポーツ栄養学	3 後		2		○			1						
			栄養教育論Ⅰ	2 後	2			○				1					
			栄養教育論Ⅱ	3 前		2		○								兼1	
			栄養カウンセリング論	3 後		2		○				1					
			学校栄養指導論	3 後		2		○								兼1	
			学校栄養実践論	3 後		2		○								兼1	
			臨床栄養学Ⅰ	2 後	2			○			1						
			臨床栄養学Ⅱ	3 前		2		○			1						
			臨床栄養学Ⅲ	3 後		2		○			1						
			臨床栄養管理学	3 後		2		○					1				
			臨床栄養実践論	4 前		2		○					1				
			公衆栄養学	3 前	2			○			1						
			公衆栄養活動論	3 後		2		○			1						
			栄養疫学	2 前		2		○					1				
			給食経営管理論Ⅰ	2 前	2			○			1						
			給食経営管理論Ⅱ	2 後		2		○			1						
			管理栄養士総合演習	4 後		2			○		10	1	3				オムニバス
			臨地実習指導	4 前		1				○	3		3				共同
			基礎栄養学実習	2 後		1				○	2				2		共同
			応用栄養学実習	3 前		1				○	2		1		2		共同
			栄養教育論実習	3 前		1				○	1				2		
			臨床栄養学実習Ⅰ	3 前		1				○			1		2		
			臨床栄養学実習Ⅱ	3 後		1				○			1		2		
			公衆栄養学実習	3 後		1				○	1				2		
			給食経営管理実習Ⅰ	2 後		1				○	1				2		
			給食経営管理実習Ⅱ	3 前		1				○	1				4		
			給食経営管理実習（校外）	4 前		1				○	1		1				
			臨地実習Ⅰ（給食経営管理論）	4 前		1				○	1		1				共同
			臨地実習Ⅱ（公衆栄養学）	4 前		1				○	2						共同
			臨地実習Ⅲ（臨床栄養学）	4 前		2				○			2				共同
			特別臨地実習Ⅰ（給食経営管理論）	4 後		1				○	1						
			特別臨地実習Ⅱ（公衆栄養学）	4 後		1				○	1						
			特別臨地実習Ⅲ（臨床栄養学）	4 後		1				○			1				
			農学部インターンシップA	2 前		2				○			1			兼1	共同
			農学部インターンシップB	2 前		1				○			1			兼1	共同
			海外農業体験実習A	2 前		2				○	1					兼3	共同
			海外農業体験実習B	2 前		2				○	1					兼3	共同
			農学部特別実習A	1 前		2				○						兼4	オムニバス／共同（一部）
			農学部特別実習B	1 前		2				○	2						オムニバス／共同
			農学部特別実習C	1 前		1				○						兼1	
			農学部特別講義	1 前		2		○								兼1	
			小計（45科目）	ー	12	61	0	ー			10	1	3	0	7	兼15	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

（農学部食品栄養学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専攻科目	学科応用分野	特別研究 総合演習	総合演習Ⅰ	3後	2				○		10	1	3				
			総合演習Ⅱ	4前	2				○		10		3				
			総合演習Ⅲ	4後	2				○		10	1	3				
			特別研究	4後	6				○		10	1	3				
			小計（4科目）	ー	12	0	0	ー			10	1	3	0	0	兼0	
諸課程科目			生徒指導論（栄養教諭）	2後			2	○								兼1	
			栄養教育実習指導Ⅰ	2前			1	○			1					兼1	オムニバス
			栄養教育実習指導Ⅱ	2通			1			○	1	1					オムニバス
			教職実践演習（栄養教諭）	2後			2		○			1				兼1	オムニバス
			教職論	2前			2	○								兼1	
			学校教育社会学	2後			2	○								兼1	
			教育課程論	2後			2	○								兼1	
			特別支援教育概論	2前			2	○								兼1	
			道徳教育指導法	3後			2	○								兼1	
			総合的な学習の時間・特別活動論	3前			2	○								兼1	
			教育の方法と技術	3前			2	○								兼1	
			生徒・進路指導論	2後			2	○								兼1	
			教育相談	3前			2	○								兼1	
			真宗学概論	2通			4	○								兼1	
			仏教学概論	2通			4	○								兼1	
			真宗史	1通			4	○								兼1	
			勤式	1通			4	○								兼4	隔年／オムニバス
			宗門法規	1前			2	○								兼1	隔年／集中
			教化法	1通			4	○								兼4	隔年／オムニバス
			（本山教師）宗教概説	1前			1	○								兼1	集中
			（本山教師）仏教史	1前			1	○								兼2	集中
			小計（21科目）	ー	0	0	48	ー			2	2	0	0	0	兼26	
合計（277科目）				ー	56	421	52	ー			10	1	3	0	8	兼223	

学位又は称号	学士（農学）	学位又は学科の分野	農学関係・家政関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
教養教育科目から22単位以上（必修10単位を含む）、学部必修科目から必修8単位、学科基礎科目Aから10単位以上、学科基礎科目Bから28単位以上（必修14単位を含む）、学科応用科目から28単位以上（必修13単位を含む）、総合演習・特別研究から必修12単位を修得し、合計124単位以上を修得すること。（履修科目登録上限49単位（年間）） ※	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

（農学部食料農業システム学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	「仏教の思想」科目	仏教の思想Ａ	１前	2			○								兼3	
		仏教の思想Ｂ	１後	2			○								兼3	
		歎異抄の思想Ⅰ	２前		2		○								兼1	
		歎異抄の思想Ⅱ	２後		2		○								兼1	
		小計（4科目）	ー	4	4	0	ー			0	0	0	0	0	兼3	
	言語科目	英語総合１（Ａ）	１前	1			○								兼8	
		英語総合１（Ｂ）	１前	1			○								兼8	
		英語総合２（Ａ）	１後	1			○								兼8	
		英語総合２（Ｂ）	１後	1			○								兼8	
		英語総合３	２前	1			○								兼8	
		英語総合４	２後	1			○								兼8	
		英語セミナーＡ１	１前		2		○								兼2	
		英語セミナーＡ２	１後		2		○								兼2	
		英語セミナーＢ１	２前		2		○								兼1	
		英語セミナーＢ２	２後		2		○								兼1	
		英語セミナーＣ１	２前		2		○								兼2	
		英語セミナーＣ２	２後		2		○								兼2	
		英語セミナーＤ１	２前		2		○								兼1	
		英語セミナーＤ２	２後		2		○								兼1	
		英語セミナーＥ１	２前		2		○								兼1	
		英語セミナーＥ２	２後		2		○								兼1	
		英語セミナーＦ１	２前		2		○								兼1	
		英語セミナーＦ２	２後		2		○								兼1	
		英語セミナーＧ１	１前		2		○								兼1	
		英語セミナーＧ２	１後		2		○								兼1	
		海外英語研修	１後		2		○								兼2	集中
		ドイツ語ＩＡ	１前		1		○								兼1	
		ドイツ語ＩＢ	１前		1		○								兼2	
		ドイツ語ⅡＡ	１後		1		○								兼1	
		ドイツ語ⅡＢ	１後		1		○								兼2	
		フランス語ＩＡ	１前		1		○								兼1	
		フランス語ＩＢ	１前		1		○								兼2	
		フランス語ⅡＡ	１後		1		○								兼1	
		フランス語ⅡＢ	１後		1		○								兼2	
		中国語ＩＡ	１前		1		○								兼2	
		中国語ＩＢ	１前		1		○								兼2	
		中国語ⅡＡ	１後		1		○								兼2	
		中国語ⅡＢ	１後		1		○								兼2	
		コリア語ＩＡ	１前		1		○								兼1	
		コリア語ＩＢ	１前		1		○								兼1	
		コリア語ⅡＡ	１後		1		○								兼1	
		コリア語ⅡＢ	１後		1		○								兼1	
		ドイツ語セミナーＩＡ	２前		2		○								兼1	
		ドイツ語セミナーＩＢ	２後		2		○								兼1	
		フランス語セミナーＩＡ	２前		2		○								兼1	
		フランス語セミナーＩＢ	２後		2		○								兼1	
		中国語セミナーＩＡ	２前		2		○								兼1	
		中国語セミナーＩＢ	２後		2		○								兼1	
		コリア語セミナーＩＡ	２前		2		○								兼1	
		コリア語セミナーＩＢ	２後		2		○								兼1	
		日本語	１前		1		○								兼1	
		小計（46科目）	ー	6	63	0	ー			0	0	0	0	0	兼40	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

（農学部食料農業システム学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	教養科目	人文科学系科目	哲学入門	1 前		2		○								兼1	
			倫理学入門	1 前		2		○								兼2	
			倫理学Ａ	1 前		2		○								兼2	
			倫理学Ｂ	2 前		2		○								兼1	
			クリティカル・シンキング	1 前		2		○								兼1	
			宗教学のすすめ	1 前		2		○								兼1	
			宗教の世界	1 前		2		○								兼1	
			日本の文学Ｍ	1 前		2		○								兼1	
			日本の文学Ｎ	1 後		2		○								兼1	
			アジアの文学Ａ	1 前		2		○								兼1	
			アジアの文学Ｂ	1 前		2		○								兼1	
			西洋の文学Ａ	1 前		2		○								兼3	
			西洋の文学Ｂ	2 前		2		○								兼2	
			言語学入門	1 前		2		○								兼4	オムニバス
			歴史入門	1 前		2		○				1				兼1	中田
			日本の歴史Ｍ	1 前		2		○								兼1	
			日本の歴史Ｎ	1 後		2		○								兼1	
			日本の文化	1 前		2		○								兼1	
			アジアの歴史Ｍ	2 前		2		○				1					中田
			アジアの歴史Ｎ	2 後		2		○				1					中田
			アジアの文化	2 前		2		○				1					中田
			西洋の歴史Ｍ	1 前		2		○								兼1	
			西洋の歴史Ｎ	1 前		2		○								兼1	
			心理学入門	1 前		2		○								兼2	
			心理学Ａ	2 前		2		○								兼2	
			心理学Ｂ	2 後		2		○								兼2	
			教育原論Ａ	1 前		2		○								兼2	
			教育原論Ｂ	1 後		2		○								兼2	
			学習・発達論Ａ	2 前		2		○								兼1	
			学習・発達論Ｂ	2 後		2		○								兼1	
			小計（30科目）	ー	0	60	0	ー			0	1	0	0	0	兼22	
		社会科学系科目	日本国憲法	1 前		2		○								兼1	
			法学のすすめ	1 前		2		○								兼1	
			政治学のすすめ	1 前		2		○								兼1	
			社会学のすすめ	1 前		2		○								兼2	
			地理学のすすめ	1 前		2		○								兼1	
			経済学のすすめ	1 前		2		○					1			兼2	渡邊
			経営学のすすめ	1 前		2		○								兼1	
			国際学のすすめ	1 前		2		○								兼1	
			文化人類学のすすめ	1 前		2		○								兼1	
			社会調査のすすめ	1 前		2		○								兼2	
			社会統計学のすすめ	1 前		2		○								兼1	
			人権論Ａ	1 前		2		○								兼4	
			人権論Ｂ	1 後		2		○								兼4	
			現代社会とメディア	2 前		2		○								兼1	
			現代社会と福祉	2 前		2		○								兼3	
			現代社会と法	2 前		2		○								兼1	
			現代社会と労働	2 前		2		○								兼1	
			現代社会の諸問題	2 前		2		○								兼1	
			環境と社会	2 前		2		○								兼1	
			平和学Ａ	2 前		2		○								兼1	
			ジェンダー論	2 前		2		○								兼1	
			国際社会論	2 前		2		○								兼2	
			地域論	2 前		2		○								兼1	
			企業と会計	2 前		2		○								兼1	
			社会思想史	2 前		2		○								兼2	
			情報倫理	2 前		2		○								兼2	オムニバス
			情報社会とメディア	1 前		2		○								兼2	オムニバス
			データサイエンス・ＡＩ入門	1 前		2		○								兼1	
			小計（28科目）	ー	0	56	0	ー			0	0	1	0	0	兼33	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

（農学部食料農業システム学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	教養科目	自然科学系科目	生活の中の数学	1 前		2		○								兼1	
			生活の中の統計技術	1 前		2		○								兼1	
			生活の中の化学	1 前		2		○								兼2	
			生活の中の物理	1 前		2		○								兼2	
			生活の中の生物学	1 前		2		○								兼2	オムニバス
			生活の中の地学	1 後		2		○								兼1	
			現代の技術	1 後		2		○								兼2	オムニバス
			生命と科学	2 前		2		○								兼1	
			自然観察法	2 前		2		○								兼2	共同
			里山学	1 前		2		○								兼1	オムニバス
			環境の科学	2 前		2		○								兼2	
			人類の科学	2 前		2		○								兼2	
			情報と人間	1 後		2		○								兼1	
			現代社会と栄養	1 前		2		○								兼2	
			小計（14科目）	ー	0	28	0	ー			0	0	0	0	0	兼21	
		スポーツ科学系科目	健康とスポーツ	2 前		2		○								兼2	
			現代社会とスポーツ	1 後		2		○								兼1	
			スポーツ技術学Ａ	1 前		1				○						兼3	
			スポーツ技術学Ｂ	1 後		1				○						兼3	
			スポーツ文化論	2 前		2		○								兼1	
			小計（5科目）	ー	0	8	0	ー			0	0	0	0	0	兼8	
			教養教育科目特別講義	1 前		2		○								兼2	
			バークレー語学	1 前		12		○								兼1	
			バークレー講義	1 前		6		○								兼1	
			バークレーボランティア	1 前		6		○								兼1	
			小計（4科目）	ー	0	26	0	ー			0	0	0	0	0	兼5	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

（農学部食料農業システム学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	学部必修科目	農学概論	1 前	2			○			1					兼4	オムニバス
		食と農の倫理	1 前	2			○			1					兼7	オムニバス／共同（一部）
		食の循環実習Ⅰ	1 後	2					○	2	2	1			兼24	
		食の循環実習Ⅱ	2 前	2					○	2	2	1			兼19	
		小計（4科目）	ー	8	0	0	ー			3	3	1	0	0	兼31	
	学科基礎分野 学科基礎科目Ａ	収穫後生理学	2 前		2		○								兼5	オムニバス
		植物病理学Ⅰ	2 前		2		○								兼1	
		身近な植物	1 後		2		○								兼1	
		森林生態学	1 後		2		○								兼1	集中
		雑草学Ⅰ	2 後		2		○								兼1	
		飢饉・救荒論	1 前		2		○								兼1	
		昆虫学Ⅰ	2 前		2		○								兼1	
		虫と農業	1 後		2		○								兼1	
		土壌学Ⅰ	2 後		2		○								兼1	
		微生物学Ⅰ	2 前		2		○								兼1	
		農業気象学	3 後		2		○								兼1	集中
		畜産学概論	2 後		2		○								兼1	集中
		水産学概論	3 後		2		○								兼1	集中
		農業環境工学	1 後		2		○								兼1	集中
		農業を支える植物細胞の力	1 前		2		○								兼1	
		分子から見た生命	1 前		2		○								兼1	
		遺伝の考え方	1 前		2		○								兼1	
		花と果物の科学	1 後		2		○								兼3	オムニバス
		植物栽培の考え方	1 前		2		○								兼4	オムニバス
		生活を支える微生物の力	1 前		2		○								兼2	オムニバス
		社会福祉論	1 前		2		○								兼1	
		食品の安全と法律	1 後		2		○								兼1	
		食と嗜好の科学	1 後		2		○								兼4	オムニバス
		食の文化論	2 前		2		○					1				
		暮らしの中の食品学	1 前		2		○								兼1	
		身体のしくみと栄養	1 前		2		○								兼1	
		調理のサイエンス	1 前		2		○								兼1	
		大学の学びとキャリア	1 前		2		○								兼1	
		キャリア形成論	2 後		2		○			1						
		情報教育論	3 前			2			○						兼1	
		小計（30科目）	ー	0	58	2	ー			1	0	1	0	0	兼29	
	学科基礎科目Ｂ	入門ゼミ	1 前		2			○		3	3	2				
		SDGsと食料農業システム概論	2 前		2		○				1					
		基礎演習	2 後		2			○		3	3	3				
		くらしと経済	1 前		2		○			1						
		会社と農家のしくみ	1 前		2		○								兼1	
		事例に学ぶ食品マーケティング	1 前		2		○			1					兼1	
		ミクロ経済学	1 後	2			○			1					兼1	
		マクロ経済学	2 前		2		○			1						
		数学基礎	1 前			2	○								兼1	
		統計処理実習	2 後		2				○		1				兼2	
		基礎統計学	2 後		2		○								兼1	
		基礎経営学	2 前		2		○					1				
		基礎会計学	2 前		2		○			1						
		基礎社会学	2 前		2		○								兼1	
		食料・農業経済学	2 前	2			○			1						
		日本・京滋の食料と農業	1 後		2		○			1						
		欧米の食料と農業	2 前		2		○			1						
		アジア・アフリカの食料と農業	2 前		2		○								兼1	
		日本の歴史と農業	1 後		2		○								兼1	
		世界の歴史と農業	1 後		2		○								兼1	
		科学史・農学史入門	2 前		2		○					1				
		小計（21科目）	ー	4	36	2	ー			4	4	3	0	0	兼8	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

（農学部食料農業システム学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	学科応用分野	学科応用科目	農業政策論	2 後		2		○			1						
			地域農業経済論	3 後		2		○				1					
			環境経済学	3 前		2		○			1						
			熱帯農業論	3 後		2		○								兼1	
			国際食料需給論	3 前		2		○			1						
			国際農村発展論	3 後		2		○			1						
			国際協力論	3 後		2		○								兼1	
			アグリフードビジネス論	2 後		2		○			1						
			農企業経営論	3 前		2		○			1						
			フードビジネスマーケティング論	2 後		2		○					1				
			フードビジネスファイナンス論	3 後		2		○			1						
			農業組織団体論	2 前		2		○			1						
			農業法律学	2 後		2		○			1						
			食料流通システム論	2 後		2		○				1					
			食と農の安全安心論	3 前		2		○				1					
			農村社会学	2 後		2		○								兼1	
			食料環境社会学	3 後		2		○					1				
			ソーシャルキャピタル論	2 後		2		○				1					
			地域マネジメント論	3 前		2		○				1					
			比較食文化論	2 後		2		○			1						
			比較地域文化論	3 前		2		○			1						
			現代社会と食	3 後		2		○					1				
			食料農業システム実習A	2 前		2				○	1	2					共同
			食料農業システム実習B	2 前		2				○	2		1				共同
			食料農業システム実習C	2 前		2				○		1					
			食料農業システム実習D	2 前		2				○		1					
			食料農業システム実習E	2 前		2				○		1					
			食料農業システム実習F	2 前		2				○		1					
			農学部インターンシップA	2 前		2				○	1					兼1	共同
			農学部インターンシップB	2 前		1				○	1					兼1	共同
			海外農業体験実習A	2 前		2				○		1				兼3	共同
			海外農業体験実習B	2 前		2				○		1				兼3	共同
			農学部特別実習A	1 前		2				○						兼4	オムニバス／共同（一部）
			農学部特別実習B	1 前		2				○						兼2	オムニバス／共同
			農学部特別実習C	1 前		1				○						兼1	
			農学部特別講義	1 前		2		○								兼1	
			小計（36科目）	－	0	70	0	－			6	4	3	0	0	兼16	
		特別研究	総合演習Ⅰ	3 前	2				○		5	2	3				
			総合演習Ⅱ	3 後	2				○		4	2	3				
			総合演習Ⅲ	4 前	2				○		5	3	2				
			総合演習Ⅳ	4 後	2				○		5	3	2				
			特別研究	4 後	6				○		5	3	2				
			小計（5科目）	－	14	0	0	－			5	3	3	0	0	兼0	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

（農学部食料農業システム学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
諸課程科目	農業科教育法Ⅰ	3 前			2	○								兼1	集中
	農業科教育法Ⅱ	3 後			2	○								兼1	集中
	職業指導	3 前			2	○								兼1	
	教職論	2 前			2	○								兼1	
	学校教育社会学	2 後			2	○								兼1	
	教育課程論	2 後			2	○								兼1	
	特別支援教育概論	2 前			2	○								兼1	
	道徳教育指導法	3 後			2	○								兼1	
	総合的な学習の時間・特別活動論	3 前			2	○								兼1	
	教育の方法と技術	3 前			2	○								兼1	
	生徒・進路指導論	2 後			2	○								兼1	
	教育相談	3 前			2	○								兼1	
	教育実習指導Ⅰ	4 前			1	○								兼3	集中
	教育実習指導ⅡＡ	4 通			4			○						兼3	集中
	教育実習指導ⅡＢ	4 通			4			○						兼3	集中
	教職実践演習（中・高）	4 後			2		○							兼2	共同
	介護等体験	2 通			2			○						兼3	
	真宗学概論	2 通			4	○								兼1	
	仏教学概論	2 通			4	○								兼1	
	真宗史	1 通			4	○								兼1	
	勤式	1 通			4	○								兼4	隔年／オムニバス
	宗門法規	1 前			2	○								兼1	隔年／集中
	教化法	1 通			4	○								兼4	隔年／オムニバス
	（本山教師）宗教概説	1 前			1	○								兼1	集中
	（本山教師）仏教史	1 前			1	○								兼2	集中
	小計（25科目）	―	0	0	61	―			0	0	0	0	0	兼28	
合計（252科目）		―	36	409	65	―			6	4	3	0	0	兼223	

学位又は称号	学士（農学）	学位又は学科の分野	農学関係・経済学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
教養教育科目から22単位以上（必修16単位を含む）、学部必修科目から必修8単位、学科基礎科目Aから10単位以上、学科基礎科目Bから26単位以上（必修4単位を含む）、学科応用科目から28単位以上、総合演習・特別研究から必修14単位を修得し、合計124単位以上を修得すること。（履修科目登録上限44単位（年間））	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

学生の確保の見通し等を記載した書類

― 目　次 ―

（１）学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

①学生の確保の見通し　2

ア　定員充足の見込み

イ　定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

ウ　学生納付金の設定の考え方

②学生確保に向けた具体的な取組状況　7

（２）人材需要の動向等社会の要請

①人材の養成に関する目的その他教育研究上の目的（概要）　8

②上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠　9

学生の確保の見通し等を記載した書類

（１）学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

①学生の確保の見通し

ア　定員充足の見込み

本学は、既設の文学部臨床心理学科を基礎として、令和 5（2023）年 4 月の心理学部設置をめざしており、これに伴う収容定員の増加、及び農学部 3 年次編入学定員の変更（収容定員の増減なし）を計画している。この 2 学部について、学生の確保の見通し等を次のとおり説明する。

＜心理学部＞

1）既設の文学部臨床心理学科の志願状況から見る学生確保の見込み

心理学部は、上述のとおり文学部臨床心理学科を基礎として設置するものであり、入学定員・収容定員は次のとおり計画している。

心理学部心理学科			←	文学部臨床心理学科		
入学定員	編入学定員	収容定員		入学定員	編入学定員	収容定員
255 名	＜3 年次＞ 10 名	1,040 名		99 名	＜3 年次＞ 2 名	400 名

文学部臨床心理学科の志願者数は、年々増加傾向にある。平成 29（2017）年度に 1,798 名であった志願者は、令和 3（2021）年度では 2,632 名となっており、志願倍率は 26.6 倍と、多くの志願者数と高い倍率を維持している（別添：資料 1 を参照）。

令和 3（2021）年度の志願者数を用いて、心理学部の入学定員 255 名で志願倍率を試算すると、10.3 倍の高い倍率となる。そのため、心理学部として入学定員を増員しても、今後も安定的に多くの志願者獲得が期待でき、定員充足を達成できるものと考えている。

2）広範囲から志願者を獲得できるエリアと恵まれた交通アクセス

本学は、京都市及び滋賀県大津市に計 3 つのキャンパスを有しており、心理学部は主に 1･2 年次：深草キャンパス（京都市伏見区）、3･4 年次：大宮キャンパス（京都市下京区）を拠点に教育研究活動を展開する予定である。

1･2 年次が通う深草キャンパスは京都市伏見区に位置し、JR 奈良線「稲荷駅」、京阪本線「龍谷大前深草駅」や京都市営地下鉄烏丸線「くいな橋駅」からアクセスが可能である。また、3・4 年次が通う大宮キャンパスは京都市下京区に位置し、JR 東海道本線「京都駅」や JR　山陰本線「梅小路京都西駅」からのアクセスが可能である。両キャンパスは今後も一定

規模の 18 歳人口が見込まれる近畿圏（大阪府、兵庫県、滋賀県、奈良県）の主要都市からの通学が可能である。こうした交通至便なキャンパスに設置する心理学部は、上記の志願状況のとおり、今後も多くの志願者を獲得できるものと考えている。

3）学生流出入動態からみる学生確保の見通し

本学が立地する近畿圏は、学生の流出入状況において、流入が流出を上回る流入超過エリアにあたる。この中で、心理学部が位置する京都府の流出入状況を分析する。資料 2 は、近畿圏内の学生流出入状況を県別に示したものである。京都府は、流入者数が 26,717 名であることに対して、流出者数は 7,633 名であり、流入超過の状況にある。また、近畿圏は関東圏とともに、高校の生徒数（大学進学者数）の規模が大きいエリアである。

他方、資料 3 は、心理学部の基礎となる文学部臨床心理学科の過去 5 年間の都道府県別志願者数を表したものである。令和 3（2021）年度の志願者が最も多い都道府県は大阪府（33.2%）であり、京都府（16.6%）、滋賀県（8.1%）、兵庫県（7.9%）、奈良県（7.4%）と続いている。このように、文学部臨床心理学科は、近畿圏で全体の約 75%の志願者数を集めている状況がある。上述のとおり、近畿圏は流入超過であるとともに、多くの高校生を擁するエリアであり、その近畿圏を主な志願者の対象としている本学は、十分な学生確保を図れる環境を有しているといえる。

上記 1）～ 3）を踏まえ、心理学部の定員充足の見込みは十分にあるものと判断する。

＜農学部＞

農学部（植物生命科学科、資源生物科学科、食品栄養学科、食料農業システム学科）は、平成 27（2015）年 4 月に開設した学部であり、令和 5（2023）年度からは次のとおり、3 年次編入学定員の変更を計画している。なお、これに伴う、学部全体の収容定員の増減は生じない。

学科	3 年次編入学定員
植物生命科学科※	8 名
資源生物科学科※	9 名
食品栄養学科	4 名
食料農業システム学科	9 名

←

学科	3 年次編入学定員
植物生命科学科	10 名
資源生物科学科	10 名
食品栄養学科	0 名
食料農業システム学科	10 名

今般、新たに定員を設ける食品栄養学科については、近隣の短期大学 2 校へアンケート調査を実施した結果、入学希望者が 26 人であり、定員を上回る志願者が確認されたことから、志願者確保は十分に可能であると考えている。その詳細については、後述する。

※令和 5 年 4 月からの名称変更予定（令和 4 年 4 月届出予定）
植物生命科学科 → 生命科学科
資源生物科学科 → 農学科

イ　定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

＜心理学部＞

1）第三者機関による調査

心理学部の設置構想に基づき、第三者機関である「高等教育総合研究所」への委託による「龍谷大学心理学部（設置構想中）設置に係る学生確保の見通し調査」を実施した（別添：資料 4 を参照）。

調査対象は高等学校 131 校の合計 18,697 人であり、本アンケート調査は、心理学部開設年度（令和 5 年）に大学 1 年生となる令和 3（2021）年度時点での高校 2 年生を対象としている。

本アンケート調査の方法は、アンケート用紙とともに、心理学部の概要を記したパンフレット（別添：資料 5 を参照）を高校へ郵送して実施した。調査結果において、「心理学部」を「受験したいと思う」と回答した人は、1,599 人（8.6%）であった。その 1,599 人に、入学希望を聞いたところ、「入学したい」と回答した人は 627 人（39.2%）であり、入学定員 255 名を大きく上回る結果（入学定員の 2.46 倍）となっている。

今回の調査は、主に近畿圏の高校 2 年生という、限られた者を対象としたアンケート調査である。本学のこれまでの実績やブランド力を勘案すると、実際にはより多くの志願者数が期待できると考えられ、心理学部の学生確保の見通しは良好であると判断している。

2）18 歳人口動態と学問系統別志願状況

国内 18 歳人口の減少は今後も継続的に進み、近畿エリアの 18 歳人口は、令和 14（2032）年度には令和 2（2020）年度と比較し約 3 万人減少すると見込まれている。龍谷大学の志願者数の多くを占める近畿圏においても令和 2（2020）年度の 18 歳人口を 100%とした場合、令和 14（2032）年度には、84.9%まで減少すると見込まれている。しかし、令和 2（2020）年度の近畿エリアにおける地元大学への進学者率は 46.3%であるが、これは平成 23（2011）年度の 44.7%と比較して 1.6 ポイント上昇しており、地元志向が強まっている傾向にある（別添：資料 6 を参照）。

一方、日本私立学校振興・共催事業団「私学経営情報センター」が発行している「私立大学・短期大学等 入学志願動向」の学部系統別志願者数によると、心理学部が属する「人文科学系」は平成 29（2017）年度の 556,791 名から令和 2（2020）年度には 608,854 名へと増加傾向にあった。しかし、令和 3（2021）年度は私立大学全体の志願者が減少したことに伴い、「人文科学系」の志願者数も 520,901 名（前年比 85.6%）へと減少したが、全志願者数の 13.6%を占めており、多くの志願者を集めている分野に属しているといえる（別添：資料 7 を参照）。

これらの状況を踏まえると、18 歳人口が減少していく状況下において、厳しい状況が続くものの、立地や本学の志願状況の推移から、安定した志願者確保は十分に可能であると認

識する。

3）大学全体の志願状況と社会的評価

大手の進学支援関連企業が採用する豊島継男事務所の統計によると、令和 3（2021）年度の私立大学一般選抜入学試験志願者順位において、本学は全国 12 位であり、令和 2（2020）年度の 16 位から順位が大きく上がった。私立大学全体の志願者数が減少し、志願者順位の上位大学でも大きく減少する中、本学は 3,098 名の増加となり、受験生から志願される大学としてそのポジションを確立している（別添：資料 8 を参照）。

また、株式会社リクルートマーケティングパートナーズが毎年実施している「進学ブランド力調査」でも、令和 3（2021）年度における本学の大学全体の「志願度」は関西エリア 9 位であった（私立大学に限定すると 6 位）。また、過去 5 年間をみても、本学は全体で 9 位のポジションを維持しており、受験生からの志願度は安定的に高いといえる（別添：資料 9 を参照）。

さらに、心理学部が属する文系分野における「志願度」では、令和 3（2021）年度は関西エリアで 6 位であり、受験生からの志願度は高い状況にあるといえる（別添：資料 9 を参照）。

＜農学部＞

1）農学部食品栄養学科における編入学志望学生確保の見込み

農学部食品栄養学科開設以降、他大学等の学修意欲が高い優秀な学生から、同学科 3 年次編入学試験を要望する声が多く聞かれたことから、こうした需要に応えるべく、種々検討を進めた結果、3 年次編入学後についても厚生労働省が定める管理栄養士養成課程科目の履修や、受講人数等の要件を満たすことが可能であることが確認された。このため、食品栄養学科に編入学定員（3 年次）を 4 名増員（新設）する。ただし、他 3 学科の 3 年次編入学定員を減員するため、学部全体の収容定員に変更はない。

3 年次編入学志望学生については近隣の短期大学 2 校へアンケート調査を実施した（別添：資料 10 を参照）。調査対象は、3 年次編入学定員を新設する令和 5（2023）年度に入学対象となる短大 1 年生を対象に WEB 調査で実施し、その際には食品栄養学科の概要を記した資料も送付している（別添：資料 11 を参照）。また、参考として短期大学 2 年次にもアンケートを実施し、複数年度の入学希望者を調査した。

結果、現在短期大学 1 年次で、本学食品栄養学科 3 年次編入学生として、「入学したい」との回答した人は 26 人（参考：短期大学 2 年次は 24 名）であり、志願者確保は十分に可能であると認識する（別添：資料 12 を参照）。

ウ　学生納付金の設定の考え方

＜心理学部＞

学生納付金の設定にあたっては、大学の健全な運営・心理学部の教育研究の実現に鑑み、次のとおり設定した。

大学・学部・学科・専攻	入学金	授業料	教育充実費等（諸会費は除く）	初年度合計
龍谷大学心理学部心理学科	260,000	1,007,000	0	1,267,000

また、本学部が競合すると考えられる近隣の心理系学部・学科の学生納付金（初年度納入金）は次のとおりである。ほぼ中間に位置する金額設定であり、合理的な金額設定であると考えている。

大学・学部・学科・専攻	入学金	授業料	教育充実費等（諸会費は除く）	初年度合計
同志社大学心理学部心理学科	200,000	973,000	193,000	1,366,000
立命館大学総合心理学部総合心理学科	200,000	1,206,600	0	1,406,600
関西大学社会学部心理学専攻	260,000	930,000	0	1,190,000
近畿大学総合社会学部総合社会学科心理系専攻	250,000	1,085,000	20,000	1,355,000
追手門学院大学心理学部心理学科	160,000	850,000	155,000	1,165,000

※他大学における上記学費は各大学ホームページ掲載情報に基づく。

＜農学部＞

学生納付金の設定にあたっては、大学の健全な運営と農学部の教育研究の実現に鑑み、次のとおり設定した。なお、ここでは新たに 3 年次編入学定員を設定する食品栄養学科について説明する。

大学・学部・学科・専攻	入学金	授業料	施設費・実験実習料	諸会費	左記合計
龍谷大学農学部食品栄養学科	100,000	979,000	633,600	33,000	1,745,600

本学部食品栄養学科が競合すると考えられる近隣の栄養関係学部・学科の学生納付金は次のとおりである。学生納付金合計金額は、施設費が他大学に比べ高い方に位置するが、教育研究施設として、オープンキッチンを併設した給食経営管理実習室や調理学実習室、食品加工実習室、最新システムやコンピュータが整う栄養教育実習室、模擬病棟で栄養指導を学べる臨床栄養教育実習室など、充実した学びの環境を提供しており、妥当な金額設定であると考えている。

大学・学部・学科・専攻	入学金	授業料	施設費・実験実習料	諸会費	左記合計
兵庫大学健康科学部栄養マネジメント学科	200,000	1,350,000	250,000	65,750	1,865,750
武庫川女子大学食物栄養科学部食物栄養学科	200,000	1,035,000	400,000	14,700	1,649,700
羽衣国際大学人間生活学部食物栄養学科	100,000	920,000	350,000	38,000	1,408,000

②学生確保に向けた具体的な取組状況

＜心理学部＞

1）記者発表やホームページなどによる情報発信

令和 3（2021）年 4 月より、心理学部の概要を掲載した特設サイトを開設し、同学部の教育内容や特色等を広く発信している（https://www.ryukoku.ac.jp/newfaculty/）。情報のアップデートの頻度を高くし、イベント実施情報や入試情報などを網羅する。本サイトについては、後述のダイレクトメールや SNS での発信の際に、QR コードやリンクを常に設置し、情報入手の動線を整備している。

加えて、2022 年 3 月 4 日（金）には事業戦略発表会（記者発表）を開催し、30 社を超える参加があった。参加社の中にはマスコミ・報道機関以外の業種からの参加もあり、広く社会へ心理学部の特色等を発信することができた。

2）オープンキャンパスや進学相談会、高校訪問

令和 4（2022）年度は本学の各キャンパスにおいて計 6 回（3/27、8/6、8/7、8/20、8/21、9/25）のオープンキャンパスを開催し、積極的に心理学部の紹介を行う予定である。

なお、新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、模擬講義等の動画などオンラインコンテンツの充実も図り、対面によるオープンキャンパスが実施できなかった場合に備えた情報提供の環境も強化をしていく予定である。

また、国内の 100 箇所以上で開催される進学相談会や高校内ガイダンス、高校訪問などの機会を通して、高校生に向けて心理学部の学び・魅力を周知するよう努めている。

3）各種媒体を通じた広報

大学案内誌などの資料請求者へ心理学部紹介のリーフレットを同封し発送しているほか、ダイレクトメールを 2021 年 12 月、2022 年 3 月に合計約 170,000 名に発送した。高校生の情報入手環境を考慮して、SNS を通じた積極的な情報発信や、動画を用いた紙媒体では伝えきれない大学・学部の魅力発信も並行して実施する。

また、近畿圏を中心に主要な公共交通機関への広告出稿も予定しており、より多くの高校生へ心理学部開設をアピールする。

4）多様な入試制度の整備

多様なバックグラウンドを持った学生を受け入れるべく、本学は、多彩な入試制度を整備・用意している。具体的には、学力を基準として選抜の客観性と公平性を担保しつつ、様々な地域から多様な人材を集める方法としての一般選抜や学校推薦型選抜、学生の個性や動機・意欲、能力・経験などで適性をはかっていく総合型選抜である。これらの多様な入試制度により、「異なる能力」、「異なる地域」、「異なる動機・意欲」から、価値観の多様な学生を受け入れることをめざしている。

＜農学部＞

令和 4 (2022) 年度は本学の各キャンパスにおいて計 6 回 (3/27、8/6、8/7、8/20、8/21、9/25) のオープンキャンパスを開催し、積極的に農学部の紹介を行う予定であり、編入学を目指す学生も対象としている。

これに加えて、積極的に近隣の短期大学等へ情報を提供し、農学部食品栄養学科の 3 年次編入学定員の設置をはじめ、学びの特色や魅力等について発信するよう努めている。

（２）人材需要の動向等社会の要請

①人材の養成に関する目的その他教育研究上の目的（概要）

複雑化する社会の将来像を見据えたとき、高等教育に期待されるのは、社会の変化に対応できる人材の養成である。学修者を主体とし、個々人の強みを最大限に活かすことを可能とする教育を行っていくことが必要であり、「2040 年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申)」でも述べられているとおり「学修者本位の教育への転換」、すなわち「何を教えたか」から、「何を学び、身に付けることができたのか」を学生が実感できる教育体系を構築する必要がある。

このような認識のもと、今般、収容定員変更をおこなう心理学部及び農学部では次の教育理念・目的を掲げ、育成する人材像を示している。

＜心理学部の教育理念・目的＞

建学の精神に基づいて、現代社会が抱える諸課題に対し、心理学の教育と研究を通じて得られる対人支援や良好な人間関係の構築に必要なコミュニケーション・スキルを身につけ、主体的かつ実践的に対応できる人間を育成することを目的とする。

＜農学部の教育理念・目的＞

建学の精神に基づいて、人類が直面する「食」と「農」に関する国内外の諸問題に対して真摯に向き合い、農学の立場から正しい判断ができる力を蓄えた、持続可能な社会の実現に貢献しうる人の育成を目的とする。

②上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

＜心理学部＞

1）社会的な人材需要の動向

文部科学省の「教育相談等に関する調査研究協力者会議」による報告書「児童生徒の教育相談の充実について―生き生きとした子どもを育てる相談体制づくり―（報告）」（平成 19（2007）年 7 月）にも確認できるように、教育機関において心理相談業務に従事する「スクールカウンセラー」の必要性がより強く提唱されるようになっている。実際、文部科学省は全公立小中学校へのスクールカウンセラーの配置を進めてきた。しかしながら、スクールカウンセラーの拡大に伴う資質・経験のばらつきや人材不足に対する懸念、あるいはもっぱら非常勤勤務であることによる相談体制の不十分さなど、さまざまな課題が指摘され、スクールカウンセラーの常勤化に向けた調査研究が行われている（令和 3 年度文部科学省委託調査研究）。

また、児童福祉法に基づき、厚生労働省が「放課後児童健全育成事業」として推進している「放課後児童クラブ」などの二次的な集団教育の現場には、特別支援の対象となる子どもが集団適応を目的として参与することも多く、療育（発達支援）的プログラムの提供が求められている。それにもかかわらず、特別支援教諭養成カリキュラムの一部を除き、大学・専門学校などでは「療育訓練のスキルを持つ専門職」を養成するプログラムに対応していないのが現状である。その結果、専門職の人材不足が発生している。

産業領域においても、心理学を学んだ人材の需要が高まっている。メンタルヘルス不調により連続 1 か月以上の休業をした労働者がいた割合は、事業所の規模に応じて増加し、500～999 以上で 82.5%、1,000 人以上で 88.9%が該当している（別添：資料 13 を参照）。メンタルヘルスのサポートを必要とする事業所内外における労働者のメンタルヘルスサポート体制が整備されるとともに、セルフケア及びラインによるケアの充実に向けた教育の提供も進んでいる。こうした傾向は今後さらに強まると思われ、産業心理学やメンタルヘルスの分野に精通した人材の育成ニーズは高まるばかりである。

更に、新型コロナウイルス感染症の拡大により、労働者の働く環境は急速かつ大幅な変化に直面している。特に、テレワークや在宅ワーク導入による対面コミュニケーションの希薄化がメンタルヘルスに与える影響は看過できない。しかも、これらの一旦普及した新しい働き方は、コロナ禍が一定収束した後も定着すると見られており、労働者のメンタルヘルス向上を支援するスキルを備えた人材を育成する機会の拡充は一層重要になっている。

加えて、第四次産業革命下で求められる人材の必要性やミスマッチの状況を明確化するため、文部科学省、経済産業省、厚生労働省の三省連携で IT 人材等の需給を試算した結果、令和 12（2030）年で約 45 万人（中位推計）の IT 人材が不足するとされており、社会的な人材需要は今後、益々高まっていくと推測される（別添：資料 14 を参照）。データサイエンスを学び、スキルを身につけることによって、IT　　人材の不足解消に寄与することができる。

また、データサイエンスと心理学を組み合わせた学びは、心理学をより科学的なものとして理解し、心の動きや行動をデータとして処理、分析する方法を学ぶことであり、より高度なIT人材の輩出に繋がるものと考える。

2）地域的な人材需要の動向

心理学部は、文学部臨床心理学科を基礎としていることから、同学科の実績を根拠に説明を行う。近畿圏（近畿2府4県）に本社を置く企業等へ就職状況について、平成28（2016）年度から令和2（2020）年度の過去5年間平均では53.2%が当該地域へ就職している。また、令和2（2020）年度は60.4%となっており、府県別でみると大阪府が30.2%となっている（別添：資料15を参照）。

これらの実績から、近畿圏に本社を置く企業等へ人材を輩出することができており、すなわち、心理学を学んだ人材に対する地域的な人材需要が高くあると判断している。

3）進路決定率の状況及び収容定員変更後の見通し

基礎となる文学部臨床心理学科の卒業年次生のうち、就職・進学希望者に対する進路決定率は、毎年97%以上の高い水準を維持し、平成28（2016）年度から令和2（2020）年度の過去5年間平均では98.4%となっている（別添：資料16を参照）。

今般の収容定員の変更により、入学定員は156名増員となる。上記「1）社会的な人材需要の動向」および「2）地域的な人材需要の動向」で説明したように、心理学を学んだ人材に対する社会的・地域的な需要は高いものと判断しており、収容定員を変更しても、就職先を確実に確保できるものと考えている。

なお、高い進路決定率を維持できている理由の一つは、本学におけるキャリア支援の取り組みが社会に浸透してきた成果であると分析している。

4）第三者機関による調査

心理学部の設置構想に基づき、第三者機関である「高等教育総合研究所」への委託による「龍谷大学心理学部（設置構想中）の設置に係る人材需要の見通し調査」を実施した（別添：資料17を参照）。

調査は龍谷大学卒業生の採用実績のある企業等 4,196 件の事業所に対して、心理学部の概要を記したパンフレット（別添：資料5（再掲）を参照）及びアンケート用紙を送付して実施し、707社（16.8%）からの回答を得た。回答企業の本社所在地は、大阪府が41.0%、兵庫県が14.6%、京都府が12.2%となっており、業種別では、製造業が18.2%、社会福祉施設・事業所が12.6%、卸売・小売業が11.3%であった。

調査結果において、心理学部の養成する人材の社会的ニーズについて「高い」と回答した企業等は18.2%、「どちらかと言えば高い」と回答した企業等は60.8%であり、多くの企業

が本学部の養成する人材の社会的ニーズの高さを認める結果となった。また、卒業生を「採用したい」と回答した企業等は 242 件であり、採用可能人数を合計すると、入学定員（255 名）を大きく上回る 407 人の採用意向が示された。このことから、心理学部には安定した人材需要があると考えられる。

＜農学部＞

農学部食品栄養学科では「農」の仕組みを理解しながら「食」と「ヒトの栄養」について学び、食と栄養のスペシャリストとして活躍できる人材を育成しており、厚生労働省より管理栄養士養成施設の指定を受けている。現在、国内において食習慣の変化による肥満や高血圧等の生活習慣病者が年々増加しており、大きな社会的な問題となっている。食と栄養のスペシャリストである管理栄養士は、そのような社会的な問題の解決に向けて、病院・学校・企業のみならず地域社会にも活動の範囲を拡げ、人々が健康的で豊かな暮らしを送るための助言・指導、啓蒙活動等に積極的に関わっていくことが期待されている。

農学部食品栄養学科の就職状況に示す通り、平成 30（2018）年度の完成年度以降、食品・栄養に関する企業や病院、福祉施設等に多数就職している（別添：資料 18 を参照）。また、管理栄養士国家試験においても高い合格率（平成 30 年度：96.1%、令和元年度：100%、令和 2 年度：98.7%）を維持している。学生を送り出してまだ 3 年にもかかわらず、食品栄養学科が養成する人材は、食品・栄養に関する分野で企業・病院・施設などから高く評価されており、収容定員を変更しても、高い人材需要があるものと考えている。

なお、学生への進路支援については、各学部とキャリアセンターの有機的な連携により、キャリア支援（キャリア教育、進路・就職支援等）の体制を構築しており、引き続ききめ細やかな支援を実施する。これにより収容定員を増員しても、就職先を確実に確保できるものと考えている。

以上

学生の確保の見通し等を記載した書類

【資料目次】

資料 1　過去 5 年間の志願者数推移

資料 2　近畿圏内における学生流入出状況

資料 3　文学部臨床心理学科 都道府県別志願者数（過去 5 年間）

資料 4　龍谷大学「心理学部 心理学科（仮称）」設置に係る学生確保の見通し調査（設置についての高校生アンケート調査）報告書

資料 5　心理学部パンフレット

資料 6　近畿 2 府 4 県の 18 歳人口予測、地元残留率の推移

資料 7　私立大学等入学志願動向：系統別

資料 8　私立大学一般選抜入学試験志願者上位 30 大学（平成 29～令和 3 年度入試）

資料 9　進学ブランド力調査志願度（平成 29～令和 3 年度・関西エリア）

資料 10　龍谷大学農学部食品栄養学科 3 年次編入学定員設置に係る短大生アンケート調査

資料 11　龍谷大学農学部食品栄養学科（3 年次編入学定員の設置構想）の概要等について

資料 12　龍谷大学農学部食品栄養学科 3 年次編入学定員設置に係る短大生アンケート調査

資料 13　厚生労働省令和 2 年労働安全衛生調査（実態調査）

資料 14　IT 人材需給に関する調査（概要）

資料 15　文学部臨床心理学科 都道府県別就職状況

資料 16　文学部臨床心理学科 進路決定率

資料 17　龍谷大学「心理学部 心理学科（仮称）」設置に係る人材需要の見通し調査（設置についての採用意向アンケート調査）報告書

資料 18　龍谷大学農学部食品栄養学科の就職状況（平成 30～令和 2 年度卒業生）

資料１

過去5年間の志願者数推移

学部・学科・課程・専攻		平成29(2017)年度	平成30(2018)年度	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度	前年差	前年比
文学部	真宗学科	690	847	1,151	1,001	1,178	177	117.7%
	仏教学科	714	1,006	1,024	1,061	1,075	14	101.3%
	哲学専攻	839	960	1,089	1,229	1,238	9	100.7%
	教育学専攻	910	812	1,127	715	1,338	623	187.1%
	臨床心理学科	1,798	2,191	2,263	2,129	2,632	503	123.6%
	日本史学専攻	1,792	2,055	1,932	1,907	2,375	468	124.5%
	東洋史学専攻	699	865	842	896	1,271	375	141.9%
	仏教史学専攻	612	574	791	628	648	20	103.2%
	文化遺産学専攻	841	835	1,075	938	798	▲ 140	85.1%
	日本語日本文学科	1,921	2,272	2,452	2,283	2,762	479	121.0%
	英語英米文学科	1,196	1,274	1,582	1,192	1,274	82	106.9%
文学部合計		12,012	13,691	15,328	13,979	16,589	2,610	118.7%
経済学部		8,953	9,870	9,024	8,850	9,893	1,043	111.8%
経営学部		9,083	8,601	8,915	8,672	9,616	944	110.9%
法学部		5,507	6,920	6,484	6,294	6,917	623	109.9%
政策学部		5,599	5,238	6,123	6,043	5,337	▲ 706	88.3%
国際学部	国際文化学科	3,923	3,925	4,489	4,037	4,316	279	106.9%
	グローバルスタディーズ学科	1,563	2,085	1,875	1,520	1,485	▲ 35	97.7%
国際学部合計		5,486	6,010	6,364	5,557	5,801	244	104.4%
先端理工学部	数理・情報科学課程	927	765	1,094	1,307	1,323	16	101.2%
	知能情報メディア課程	1,091	1,009	1,570	1,512	1,364	▲ 148	90.2%
	電子情報通信課程	1,072	1,085	1,453	1,526	1,473	▲ 53	96.5%
	機械工学・ロボティクス課程	1,601	1,326	1,683	2,058	1,792	▲ 266	87.1%
	応用化学課程	695	841	1,111	1,102	1,182	80	107.3%
	環境生態工学課程	772	602	981	856	785	▲ 71	91.7%
先端理工学部合計		6,158	5,628	7,892	8,361	7,919	▲ 442	94.7%
社会学部	社会学科	3,331	3,804	3,884	3,723	4,130	407	110.9%
	コミュニティマネジメント学科	1,450	2,439	1,959	1,692	2,276	584	134.5%
	現代福祉学科	1,262	2,032	2,143	1,808	1,991	183	110.1%
社会学部合計		6,043	8,275	7,986	7,223	8,397	1,174	116.3%
農学部	植物生命科学科	1,326	905	1,199	1,139	920	▲ 219	80.8%
	資源生物科学科	1,503	1,290	1,376	1,606	1,533	▲ 73	95.5%
	食品栄養学科	1,261	1,118	1,049	1,171	1,314	143	112.2%
	食料農業システム学科	1,162	1,041	1,304	1,720	1,383	▲ 337	80.4%
農学部合計		5,252	4,354	4,928	5,636	5,150	▲ 486	91.4%
大学合計		64,093	68,587	73,044	70,615	75,619	5,004	107.1%

資料２

【　省　略　】

１（書類等の題名）

資料2　近畿圏内における学生流入出状況

２（出典）

学校基本調査「出身高校の所在地県別 入学者数」

３（引用範囲）

近畿圏における「出身高校の所在地県別 入学者数」

4（その他の説明）

・上記のデータを加工し、近畿２府４県の学生流入出状況を図表及びグラフにまとめた。

以　上

資料３

【　省　略　】

１（書類等の題名）

資料3　文学部 臨床心理学科 都道府県別志願者数（過去5年間）

２（出典）

本学入試部所持データ

３（その他の説明）

本内容は、学内資料（学外秘）であり【省略】とする。

以　上

資料４

龍谷大学「心理学部 心理学科（仮称）」
設置に係る学生確保の見通し調査
（設置についての高校生アンケート調査）
報告書

令和４年１月

株式会社　高等教育総合研究所

目次

１　調査の概要　2

２　全質問項目の集計結果　3

３　集計結果のポイント　8

学生確保の見通し調査結果　まとめ　13

添　付　資　料　14

資料１　高校生アンケート用紙　15

資料２　高校生アンケート概要　17

1　調査の概要

調　査　目　的　：	龍谷大学が、2023（令和 5）年 4 月に設置予定の「心理学部 心理学科（仮称）」について、大学外の第三者機関によるアンケート調査を用いて、学生確保の見通しを測ることを目的とする。
調　査　対　象　：	近畿地区２府４県の高等学校から本学への志願動向、進学状況等を踏まえ、561 校をアンケートの対象とした。そのうち、131 校の２学年在籍者（2023（令和 5）年度の大学進学対象者）から調査の協力を得た。
調　査　時　期　：	2021（令和 3）年 11 月～2022（令和 4）年 1 月
調　査　内　容　：	無記名。選択肢式で全 11 問。 主な質問事項は、回答者の基本情報（性別・居住地・希望進路など）や興味・関心のある学問分野、進学先検討時に重視する点、本学部への受験意欲・入学意欲について。
調　査　方　法　：	各校の教職員の監督の元で、アンケートを実施し、アンケート用紙はその場で回収し、ご返送いただいた。
回　収　件　数　：	18,697 件 ※実施高校の内訳は以下の通り

■実施高校の内訳は以下の通り。

		設置				総計
		県立	市立	私立	府立	
都道府県	京都府	－	2	13	8	23
	滋賀県	12	－	4	－	16
	大阪府	－	3	29	14	46
	奈良県	3	1	4	－	8
	兵庫県	18	4	12	－	34
	和歌山県	2	－	2	－	4
総計		35	10	64	22	131

２　全質問項目の集計結果

※構成比はいずれも少数第２位を四捨五入した。したがって、合計は必ずしも 100.0％とは一致しない。

問1　あなたが現在お住まいの府県について教えてください（あてはまるもの1つにマーク）

選択項目		回答数	構成比
1	滋賀県	3,593	19.2%
2	京都府	3,049	16.3%
3	大阪府	5,506	29.4%
4	兵庫県	5,058	27.1%
5	奈良県	931	5.0%
6	和歌山県	476	2.5%
7	その他	56	0.3%
	無回答	28	0.1%
合計		18,697	100.0%

問2　あなたの性別について教えてください（あてはまるもの1つにマーク）

選択項目		回答数	構成比
1	男	8,790	47.0%
2	女	9,335	49.9%
3	回答しない	473	2.5%
	無回答	99	0.5%
合計		18,697	100.0%

問3　所属クラス（コース）について教えてください（あてはまるもの1つにマーク）

選択項目		回答数	構成比
1	文系クラス（コース）	11,273	60.3%
2	理系クラス（コース）	3,779	20.2%
3	コース選択はない	1,903	10.2%
4	その他	1,476	7.9%
	無回答	266	1.4%
合計		18,697	100.0%

問4　高校卒業後の希望進路を教えてください（あてはまるもの1つにマーク）

選択項目		回答数	構成比
1	国公立大学	3,397	18.2%
2	私立大学	9,261	49.5%
3	短期大学	491	2.6%
4	専門学校	2,148	11.5%
5	就職	709	3.8%
6	現時点では未定	2,541	13.6%
	無回答	150	0.8%
合計		18,697	100.0%

問5　あなたが進学したい分野について教えてください（あてはまるものすべてにマーク）

※複数回答項目のため、回答数は延べ

※回答率は、回答者 18,697 件のうち、各項目を挙げた者の割合

選択項目		回答数	回答率
1	文学・歴史	2,337	12.5%
2	心理	2,572	13.8%
3	経済・経営・商学	4,371	23.4%
4	法学・政治	1,433	7.7%
5	社会・福祉	1,522	8.1%
6	外国語・国際関係	2,014	10.8%
7	教育・保育	2,674	14.3%
8	理学・工学・情報	2,747	14.7%
9	農・畜産・水産	648	3.5%
10	医・歯・薬	909	4.9%
11	看護・医療	2,337	12.5%
12	栄養・家政	1,007	5.4%
13	スポーツ・健康科学	1,911	10.2%
14	芸術	1,551	8.3%
15	その他	1,289	6.9%
	無回答	294	1.6%

問6　あなたが進学先を決定する際の要因について教えてください（最も当てはまるもの2つにマーク）

※複数回答項目のため、回答数は延べ

※回答率は、回答者 18,697 件のうち、各項目を挙げた者の割合

選択項目		回答数	回答率
1	学部・学科等の学びの分野	10,558	56.5%
2	資格の取得	5,806	31.1%
3	就職実績	3,887	20.8%
4	校舎・施設の充実	2,542	13.6%
5	設置形態（国公立・私立）	759	4.1%
6	学費	2,453	13.1%
7	奨学金制度の有無	471	2.5%
8	学校の伝統・知名度	871	4.7%
9	入試の難易度・入試科目	2,529	13.5%
10	高校教員の意見	187	1.0%
11	家族の意見	1,487	8.0%
12	先輩・友人の意見	422	2.3%
13	アクセス・立地	1,822	9.7%
	無回答	236	1.3%

以下の設問は、「龍谷大学 心理学部 心理学科（仮称）概要（リーフレット）をご覧の上、回答いただいた。

問7　龍谷大学 心理学部 心理学科（仮称）には以下のような特色があります。あなたの興味・関心のある内容について教えてください。（あてはまるものすべてにマーク）

※複数回答項目のため、回答数は延べ

※回答率は、回答者 18,697 件のうち、各項目を挙げた者の割合

選択項目		回答数	回答率
1	3 つの柱（心理学基礎科目、データサイエンス科目　キャリア啓発科目）による卒業後のキャリアを視野に入れた心理学が学べる点	4,651	24.9%
2	2つのプログラム（生涯発達カウンセリング、関係支援とコミュニケーション）による、専門的心理学が学べる点	2,004	10.7%
3	9つの分野（乳幼児と保護者の心と支援、子どもの心と支援、思春期・青年期の心と支援、成人・高齢者の心と支援、チーム医療、チーム学校、ネットワーク支援、産業・メンタルヘルス、データ心理学）によるキャリアビジョンに合せた専門的かつ実践的な心理学が学べる点	4,611	24.7%
4	基礎心理学から応用心理学まで心理学が学べる点	5,109	27.3%
5	大学院への進学等により、将来的に公認心理師・臨床心理士の資格取得がめざせる点	3,350	17.9%
	無回答	897	4.8%

問8　あなたは龍谷大学 心理学部 心理学科（仮称）を受験したいと思いますか（あてはまるもの1つにマーク）

選択項目		回答数	構成比
1	受験したい	1,599	8.6%
2	受験しない	16,131	86.3%
	無回答	967	5.2%
合計		18,697	100.0%

問9～問10は問8で「受験したい」と回答した 1,599 人が回答対象である。

問9　龍谷大学 心理学部 心理学科（仮称）を受験し、合格した場合、入学したいと思いますか（あてはまるもの1つにマーク）

選択項目		回答数	構成比
1	入学したい	627	39.2%
2	併願校の結果によっては入学したい	967	60.5%
	無回答	5	0.3%
合計		1,599	100.0%

問10　受験の際に利用したい入試方法について教えてください（あてはまるものすべてにマーク）

※複数回答項目のため、回答数は延べ

※回答率は、回答者 1,599 件のうち、各項目を挙げた者の割合

選択項目		回答数	構成比
1	一般選抜（一般入試・大学入学共通テスト利用入試）	881	55.1%
2	学校推薦型選抜（公募推薦・指定校推薦など）	808	50.5%
3	総合型選抜	216	13.5%
	無回答	57	3.6%

問11は問8で「受験しない」と回答した 16,131 人が回答対象である。

問11　あなたが問8で「受験しない」と回答した理由について教えてください（あてはまるものすべてにマーク）

※複数回答項目のため、回答数は延べ

※回答率は、回答者 16,131 件のうち、各項目を挙げた者の割合

選択項目		回答数	回答率
1	興味・関心のある学問分野ではないから	11,553	71.6%
2	興味・関心のある学問分野だが、他大学への進学を希望しているから	2,557	15.9%
3	興味・関心のある学問分野だが、新設学部への進学は不安だから	462	2.9%
4	通学距離が遠いから	1,239	7.7%
5	学費が高いから	1,069	6.6%
6	卒業後、進学を考えていないから	935	5.8%
7	その他	447	2.8%
	無回答	157	1.0%

３　集計結果のポイント

※構成比はいずれも少数第２位を四捨五入した。したがって、合計は必ずしも 100.0％とは一致しない。

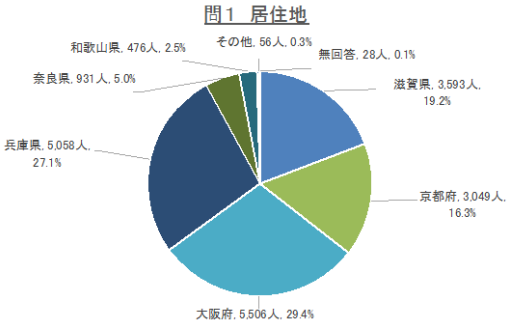
◆　回答者の基本情報

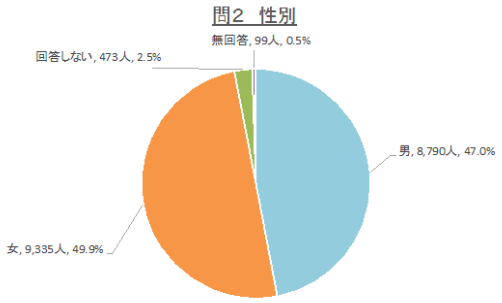
回答者 18,697 人に、問１で居住地を質問したところ、１番多かったものが「大阪府」で 5,506 人（29.4％）、２番目が「兵庫県」で 5,058 人（27.1％）、３番目が「滋賀県」で 3,593 人（19.2％）であった。

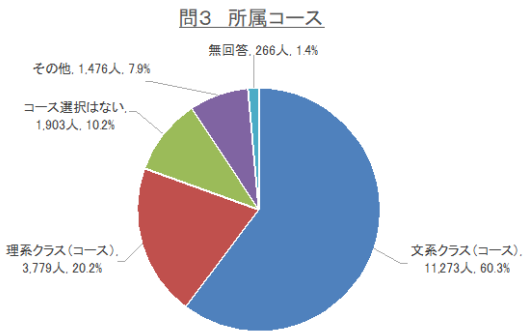
問２は性別を質問し、「男」が 8,790 人（47.0％）、「女」が 9,335 人（49.9％）、「回答しない」が 473 人（2.5％）であった。

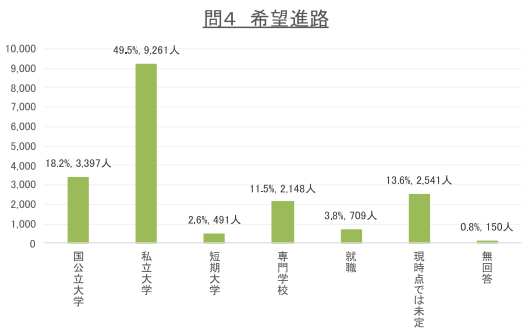
問３で回答者の所属クラス（コース）について質問したところ、「文系クラス（コース）」が 11,273 人（60.3％）、「理系クラス（コース）」が 3,779 人（20.2％）、「コース選択はない」が 1,903 人（10.2％）、「その他」が 1,476 人（7.9％）であった。

問４で、高校卒業後の希望進路を質問したところ、「私立大学」が 9,261 人（49.5％）で１番多く、「国公立大学」が 3,397 人（18.2％）、「現時点では未定」が 2,541 人（13.6％）であった。



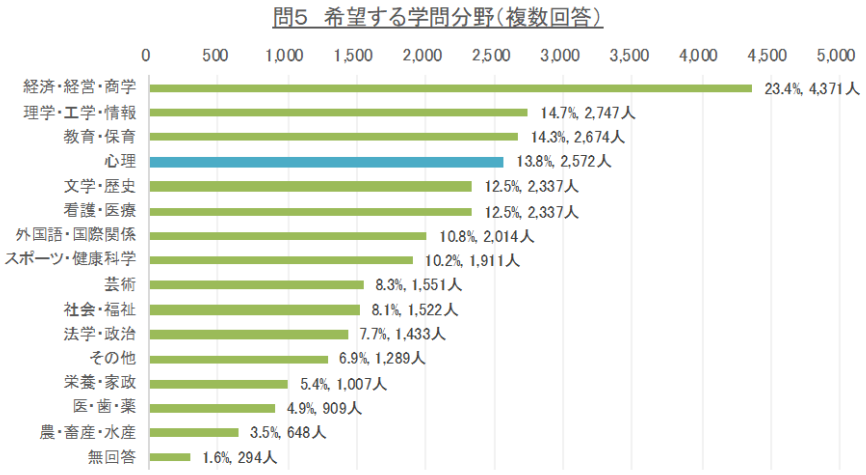






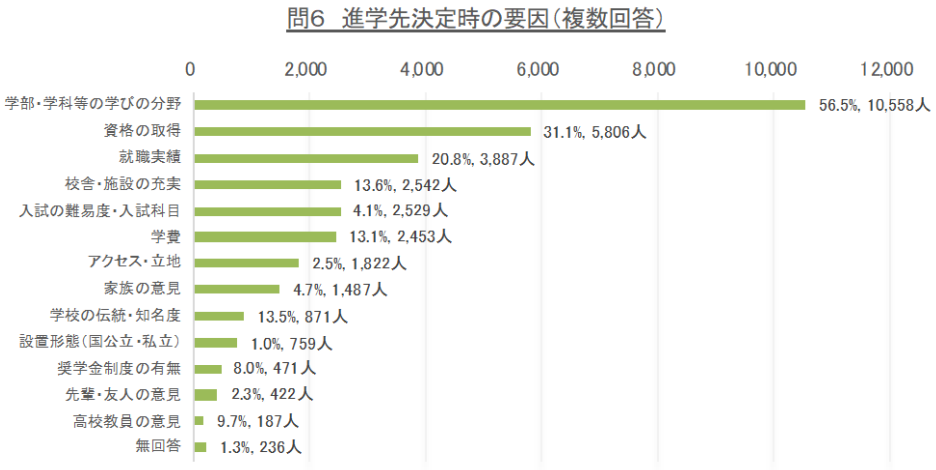
◆ 回答者の 13.8%が希望する学問分野に「心理」を選択

回答者 18,697 人に、問５で進学したい分野について質問したところ、１番多かったものが「経済・経営・商学」で 4,371 人（23.4%）、次に「理学・工学・情報」で 2,747 人（14.7%）、「教育・保育」で 2,674 人（14.3%）、「心理」で 2,572 人（13.8%）の順であった。（複数回答の結果、グラフは回答の多い順）



◆ 回答者の 56.5%が「学部・学科等の学びの分野」を進学先決定時に重視

回答者 18,697 人に、問６で進学先を決定する要因について質問したところ、「学部・学科等の学びの分野が 10,558 人（56.5%）で最も多かった。次いで「資格の取得」で 5,806 人（31.1%）、「就職実績」が 3,887 人（20.8%）となった。（複数回答の結果、グラフは回答の多い順）



◆ 本学部の「基礎心理学から応用心理学まで心理学が学べる点」に興味を示す

回答者 18,697 人に、問 7 では「心理学部 心理学科（仮称）」の興味・関心のある内容について質問した。その結果、「基礎心理学から応用心理学まで心理学が学べる点」が 5,109 人（27.3%）で一番多く、「3 つの柱（心理学基礎科目、データサイエンス科目 キャリア啓発科目）による卒業後のキャリアを視野に入れた心理学が学べる点」が 4,651 人（24.9%）、「９つの分野（乳幼児と保護者の心と支援、子どもの心と支援、思春期・青年期の心と支援、成人・高齢者の心と支援、チーム医療、チーム学校、ネットワーク支援、産業・メンタルヘルス、データ心理学）によるキャリアビジョンに合せた専門的かつ実践的な心理学が学べる点」が 4,611 人（24.7%）であった。これら３項目が 20%を超える回答率であった。（複数回答の結果、表は回答の多い順）

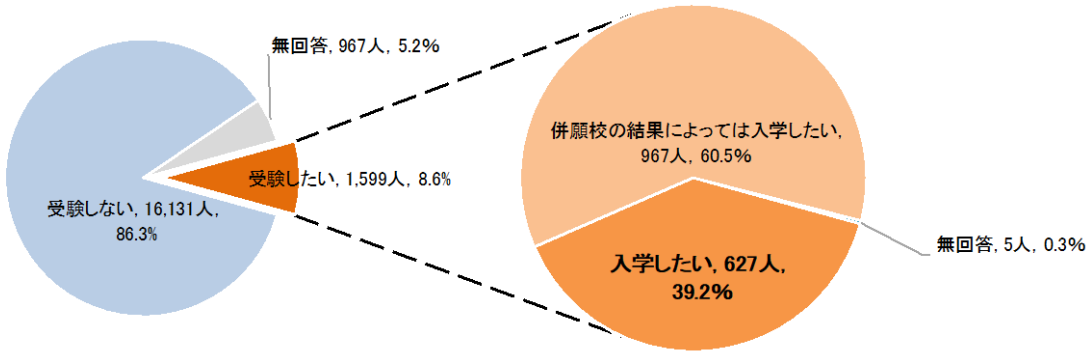
選択項目		回答数	回答率
1	基礎心理学から応用心理学まで心理学が学べる点	5,109	27.3%
2	3 つの柱（心理学基礎科目、データサイエンス科目　キャリア啓発科目）による卒業後のキャリアを視野に入れた心理学が学べる点	4,651	24.9%
3	9つの分野（乳幼児と保護者の心と支援、子どもの心と支援、思春期・青年期の心と支援、成人・高齢者の心と支援、チーム医療、チーム学校、ネットワーク支援、産業・メンタルヘルス、データ心理学）によるキャリアビジョンに合せた専門的かつ実践的な心理学が学べる点	4,611	24.7%
4	大学院への進学等により、将来的に公認心理師・臨床心理士の資格取得がめざせる点	3,350	17.9%
5	2つのプログラム（生涯発達カウンセリング、関係支援とコミュニケーション）による、専門的心理学が学べる点	2,004	10.7%
	無回答	897	4.8%

◆ 1,599 人が受験意志を示し、627 人が強い入学意志を示す

問８では「心理学部 心理学科（仮称）」への受験意向を質問した。その結果、回答者 18,697 人のうち、1,599 人(8.6%)が受験意志（入学定員（255 名予定）の 6.27 倍）を示す「受験したい」と回答した。そのうち 627 人（39.2%）合格した場合の入学意志を示す「合格した場合、入学したい」と回答した。

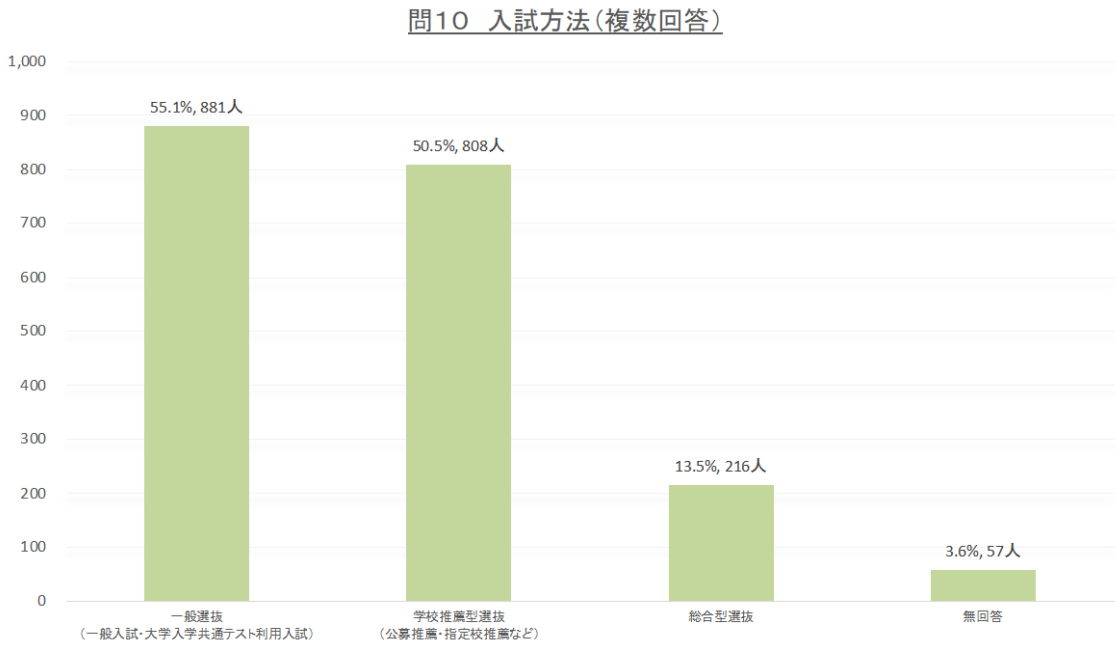
入学定員である 255 名（予定）を大きく上回る結果（入学定員の 2.46 倍）となった。

問8，９ 受験意向、入学意向



◆ 回答対象者の 55.1%が「一般選抜」を利用したいと回答

問８で受験意志を示した 1,599 人に対し、受験の際に利用したいと入試方法について質問したところ、「一般選抜」を利用すると回答したのは 881 人（55.1%）、「学校推薦型選抜」が 808 人（50.5%）、「総合型選抜」が 216 人（13.5%）であった。（複数回答の結果）



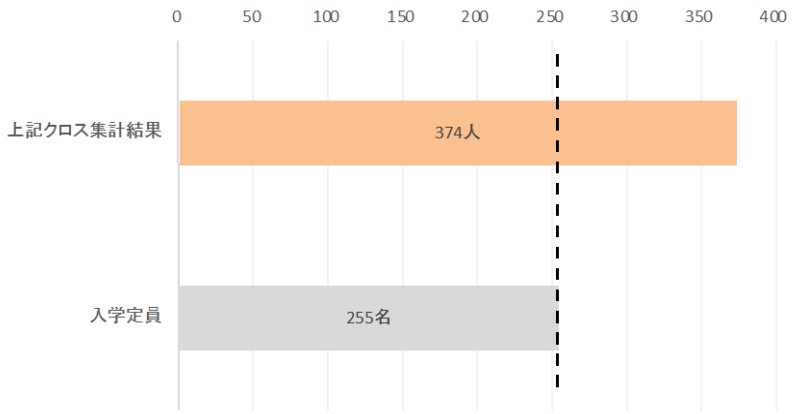
学生確保の見通し調査結果　まとめ

2023（令和 5）年 4 月に設置構想中の龍谷大学「心理学部 心理学科」（仮称、入学定員 255 名を予定）の学生確保の見通しを測るため、設置予定地である京都府をはじめとする近畿地区 2 府 4 県の高等学校から本学への志願動向、大学進学状況等を踏まえ、561 校にアンケート調査を依頼し、131 校に実施いただいた。計 18,697 件の高校 2 年生（2021（令和 3）年度時点）から回答を得た。

入学意志を持つ者の数を精査するために、卒業後の進路（問４）、関心のある学問分野（問５）、本学部への受験意志（問８）、入学意志（問９）でクロス集計を行った。その結果、卒業後の進路を「私立大学」とし、「心理学」に興味・関心があると回答した 1,522 人のうち、本学部へ受験意志を示し、かつ「入学したい」と強い入学意志を示した者を算出したところ、374 人が該当した。

回答結果より、この 374 人は本学部への受験及び合格後の入学の確度が高い層と考えられるとともに、本学部の入学定員である 255 名（予定）を大きく上回った。

設問	問4　希望進路	問5　学問分野	問8　受験意志	問9　入学意志
回答選択肢 回答者合計 18,697 件	「私立大学」 9,261 人	「心理学」 1,522 人	「受験したい」 858 人	「合格した場合、 入学したい」 374 人



以上の結果より、2023 年設置構想中である龍谷大学 心理学部 心理学科（仮称）の学生確保の見通しについては問題がないと考えられる。

添　付　資　料

資料１　高校生アンケート調査・アンケート用紙
資料２　高校生アンケート調査・アンケート概要

資料１　高校生アンケート用紙

龍谷大学　心理学部 心理学科（仮称）
設置構想についての高校生アンケート調査

対象：2021年度　高校2年生の皆さん

龍谷大学は、2023年4月に心理学部 心理学科 （仮称） の設置を構想しています。本学ではこのアンケート調査を通して、高校生の皆様からさまざまなご意見をお伺いし、構想の参考にさせていただきたいと考えています。なお、本アンケートは匿名回答であり、個人が特定されることはございません。また、集計結果は、本学部の設置構想に係る統計資料としてのみ活用いたします。つきましては、アンケート調査へのご協力をよろしくお願いいたします。
※このアンケート調査は龍谷大学から委託された第三者機関（高等教育総合研究所）が実施しています。

【アンケート記入にあたっての注意事項】
・記入は必ず黒鉛のシャープペンシル、または黒鉛筆を使用してください。
・訂正する場合は、消しゴムできれいに消してください。
・解答用紙（マークシート）を汚したり、折り曲げたりしないでください。

正しい回答　誤った回答

正しい回答のように丁寧に塗りつぶしてください。

問１ あなたが現在お住まいの府県について教えてください（あてはまるもの1つにマーク）

○ 滋賀県　○ 京都府　○ 大阪府　○ 兵庫県　○ 奈良県　○ 和歌山県
○ その他 [　　]

問２ あなたの性別について教えてください（あてはまるもの1つにマーク）

○ 男　○ 女　○ 回答しない

問３ 所属クラス（コース）について教えてください（あてはまるもの1つにマーク）

○ 文系クラス（コース）　○ 理系クラス（コース）　○ コース選択はない
○ その他 [　　]

問４ 高校卒業後の希望進路について教えてください（あてはまるもの1つにマーク）

○ 国公立大学　○ 私立大学　○ 短期大学　○ 専門学校　○ 就職　○ 現時点では未定

問５ あなたが進学したい分野について教えてください（あてはまるものすべてにマーク）

○ 文学・歴史　○ 心理　○ 経済・経営・商学
○ 法学・政治　○ 社会・福祉　○ 外国語・国際関係
○ 教育・保育　○ 理学・工学・情報　○ 農・畜産・水産
○ 医・歯・薬　○ 看護・医療　○ 栄養・家政
○ スポーツ・健康科学　○ 芸術　○ その他 [　　]

問６ あなたが進学先を決定する際の要因について教えてください（最もあてはまるもの２つにマーク）

○ 学部・学科等の学びの分野　○ 資格の取得　○ 就職実績
○ 校舎・施設の充実　○ 設置形態（国公立・私立）　○ 学費
○ 奨学金制度の有無　○ 学校の伝統・知名度　○ 入試の難易度・入試科目
○ 高校教員の意見　○ 家族の意見　○ 先輩・友人の意見
○ アクセス・立地

本アンケート調査用紙に印刷されている
QRコードは集計時に使用するものです。
個人の特定を目的とするものではありません。

以下の設問は、「龍谷大学 心理学部 心理学科（仮称）概要」（ﾘｰﾌﾚｯﾄ）をご覧の上、回答をお願いします。

問７ 龍谷大学 心理学部 心理学科（仮称）には以下のような特色があります。あなたの興味・関心のある内容について教えてください。（あてはまるものすべてにマーク）

- 〇 3つの柱（心理学基礎科目、データサイエンス科目　キャリア啓発科目）による卒業後のキャリアを視野に入れた心理学が学べる点
- 〇 ２つのプログラム（生涯発達カウンセリング、関係支援とコミュニケーション）による、専門的心理学が学べる点
- 〇 ９つの分野（乳幼児と保護者の心と支援、子どもの心と支援、思春期・青年期の心と支援、成人・高齢者の心と支援、チーム医療、チーム学校、ネットワーク支援、産業・メンタルヘルス、データ心理学）によるキャリアビジョンに合せた専門的かつ実践的な心理学が学べる点
- 〇 基礎心理学から応用心理学まで心理学が学べる点
- 〇 大学院への進学等により、将来的に公認心理師・臨床心理士の資格取得がめざせる点

問８ あなたは龍谷大学 心理学部 心理学科（仮称）を受験したいと思いますか（あてはまるもの１つにマーク）

〇 受験したい　⇨問9～10にお答えください　　〇 受験しない　⇨問11にお答えください

問9～問10は問8で「受験したい」と回答された方にお尋ねします。

問９ 龍谷大学 心理学部 心理学科（仮称）を受験し合格した場合、入学したいと思いますか（あてはまるもの１つにマーク）

〇 入学したい　　〇 併願校の結果によっては入学したい

問 10 受験の際に利用したい入試方法について教えてください（あてはまるものすべてにマーク）

〇 一般選抜（一般入試・大学入学共通テスト利用入試）　　〇 学校推薦型選抜（公募推薦・指定校推薦など）
〇 総合型選抜

問11は問8で「受験しない」と回答された方にお尋ねします。

問 11 あなたが問8で「受験しない」と回答した理由について教えてください。（あてはまるものすべてにマーク）

- 〇 興味・関心のある学問分野ではないから
- 〇 興味・関心のある学問分野だが、他大学への進学を希望しているから
- 〇 興味・関心のある学問分野だが、新設学部への進学は不安だから
- 〇 通学距離が遠いから
- 〇 学費が高いから
- 〇 卒業後、進学を考えていないから
- 〇 その他

設問は以上です。ご協力いただきありがとうございました。

本アンケート調査用紙に印刷されている
QRコードは集計時に使用するものです。
個人の特定を目的とするものではありません。

資料２　高校生アンケート概要



龍谷大学 心理学部 心理学科（概要）

龍谷大学が構想している、心理学部 心理学科の概要です。※本内容は現時点での計画であり、今後変更する可能性があります。

学部・学科 概要

文学部 臨床心理学科を改組。
（入学定員を99名から255名に増員）

入学定員	学位	設置場所
255名	学士（心理学）	1・2年次 ：深草キャンパス（京都市伏見区） 3・4年次 ：大宮キャンパス（京都市下京区）

養成する人材像

現代社会が抱える諸課題に対し、心理学の教育と研究を通じて得られる対人支援や
良好な人間関係の構築に必要なコミュニケーション・スキルを身につけ
主体的かつ実践的に対応できる人材を養成する。

幅広い学びの実現

データサイエンスも取り入れた、基礎から卒業後のキャリアまで繋がる心理学教育の「3つの柱」

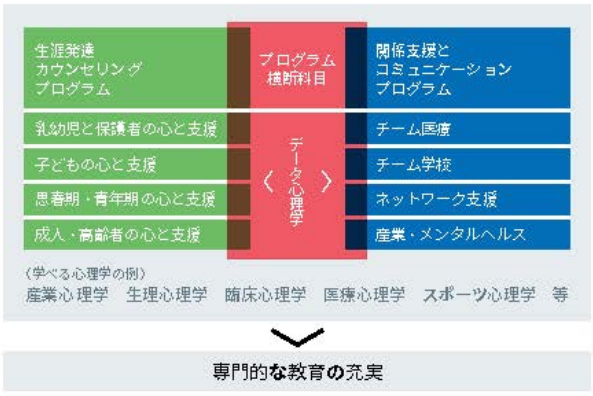
1. 心理学基礎科目
心理学の基礎となる考え方そのものを学び、どのように応用心理学と繋がるのかを理解する。

2.データサイエンス科目
心の動きや行動をデータとして統計的に処理・分析し、心のありようを科学的に捉える。

3.キャリア啓発科目
卒業後のキャリアを意識し、実社会において心理学がどのように活用されるのかを学ぶ。



専門的心理学教育の「2つのプログラム」キャリアビジョンに合わせた専門的かつ実践的な「9つの分野」



発達段階に応じた「個人の心」にアプローチする「生涯発達カウンセリングプログラム」と、社会で共に生きる人の繋がりにアプローチする「関係支援とコミュニケーションプログラム」の2つのプログラムを配置し、心理学の専門的な教育の充実を図ります。さらに、2つのプログラムを横断的に接続する分野として「プログラム横断科目」を開設します。

「2つのプログラム」および「プログラム横断科目」の下には、特徴的な心理実践に繋がる「9つの分野」の科目群を設定し、学生自身のキャリアビジョンに合わせて、関心のある分野の科目を自由に選択し、幅広く学ぶことができます。

取得できる資格

高等学校教諭一種免許状(公民)※1　　**公認心理師受験資格課程**※2　　**認定心理士資格**

※1:教職課程認定申請予定。ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期が変更となる可能性があります。
※2:公認心理師の受験資格を取得するためには、学部における所定科目を履修し、卒業後に大学院に進学して所定科目を履修した上で修了する必要があります。

卒業後の進路

心理学を通じて修得する知識やスキルは、対人支援の現場だけではなく、広く一般社会でも活用できるものです。
さまざまな進路において、より良い社会づくりのために貢献し活躍することが期待されます。

心理学を活かした「支援」の仕事

医療領域	病院・クリニック・リハビリテーション施設の心理職員　等
教育領域	学童保育スタッフ　学習支援員　幼稚園カウンセラー　学校カウンセラー　等
産業領域	キャリアカウンセラー　安全管理者　等
福祉領域	児童養護・高齢者・障がい者福祉施設職員　放課後等デイサービス職員　児童相談所児童心理司　等
司法領域	家庭裁判所調査官　少年院・少年鑑別所の心理職員(法務技官)　警察職員(心理員)　等
大学院進学	心理専門職(公認心理師・臨床心理士)の資格取得や専門研究を深める

心理学の学びを活かしたさまざまな仕事

コミュニケーション・スキルを活かした販売職や営業職、データサイエンスと心理学の専門性をかけ合わせた
企画・開発職など、多様な業種・職種で心理学の学びを活かすことができます。

民間企業	マスコミ　商社　情報通信　IT企業　銀行・証券会社　保険会社 メーカー(自動車・電機・機器・医薬品等)　スーパー・小売業　観光・サービス業 不動産・建設業　運輸(航空・鉄道・郵便等)　電力・ガス業　教育関係　等
公務員	地方・国家公務員　警察官　消防士　公立高校教員　国公立大学事務職員

初年度学費(他大学含む)

単位(円)

大学・学部・学科・専攻	入学金	授業料	教育充実費等(諸会費は除く)	初年度学費
龍谷大学 心理学部 心理学科	260,000	1,007,000	0	1,267,000
同志社大学 心理学部 心理学科	200,000	973,000	193,000	1,366,000
立命館大学 総合心理学部 総合心理学科	200,000	1,206,600	0	1,406,600
関西大学 社会学部 心理学専攻	260,000	930,000	0	1,190,000
近畿大学 総合社会学部 総合社会学科 心理系専攻	250,000	1,085,000	20,000	1,355,000
追手門学院大学 心理学部 心理学科	160,000	850,000	155,000	1,165,000

※龍谷大学 心理学部 心理学科の学費は予定です。
※他大学における上記学費は各大学ホームページ掲載情報に基づきます(2021年10月時点)。
※その他、諸会費が必要な場合があります。

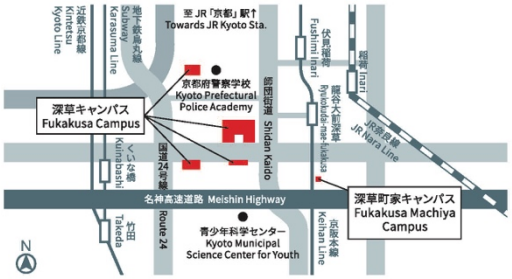
設置キャンパスの紹介

深草キャンパス（1・2年次）

〒612-8577　京都市伏見区深草塚本町67

京都駅南東、京都市伏見区にある深草キャンパスは、1960年親鸞聖人七百回忌記念として開設しました。7つの文系学部で構成され、留学生を含む多くの学生が学んでおり、さまざまな文化が混ざり合う多文化共生キャンパスです。2020年には、新たに課外活動の拠点である成就館が完成。これまでの課外活動支援に加え、地域・社会との新たな出会いの創出をめざします。





- JR奈良線「稲荷」駅下車 南西へ徒歩約８分
- 京阪本線「龍谷大前深草」駅下車 西へ徒歩約３分
- 京都市営地下鉄烏丸線「くいな橋」駅下車 東へ徒歩約７分

JR大阪駅	→	JR稲荷駅	33分
京阪京橋駅	→	京阪龍谷大前深草駅	39分
近鉄奈良駅	→	京阪龍谷大前深草駅	40分
JR三ノ宮駅	→	JR稲荷駅	55分

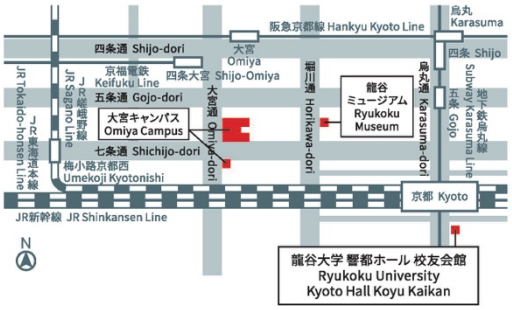
大宮キャンパス（3・4年次）

〒600-8268　京都市下京区七条通大宮東入大工町125番地の1

龍谷大学の歴史は、1639（寛永16）年、京都西本願寺に創設された学寮に始まります。その発祥の地が大宮キャンパスです。重要文化財の本館をはじめ、教室棟の南黌・北黌、正門、旧守衛所といった歴史的建造物が佇みます。豊かな蔵書を誇る大宮図書館には、国宝を含め、教育・研究に役立つ貴重資料が多く保存されています。

2025年には新たな教育研究施設が完成予定です。





- JR東海道本線／近鉄京都線／京都市営地下鉄 烏丸線「京都」駅下車 北西へ徒歩約10分（市バス約３分）
- JR山陰本線（嵯峨野線）「梅小路京都西」駅下車 北東へ徒歩約10分
- 京阪本線「七条」駅下車 西へ徒歩約20分
- 阪急京都本線「大宮」駅下車 南へ徒歩約20分（市バス約５分）
- 最寄りのバス停：市バス七条大宮・京都水族館前

JR大阪駅	→	JR京都駅	28分
京阪京橋駅	→	JR京都駅	42分
近鉄奈良駅	→	JR京都駅	44分
JR三ノ宮駅	→	JR京都駅	50分

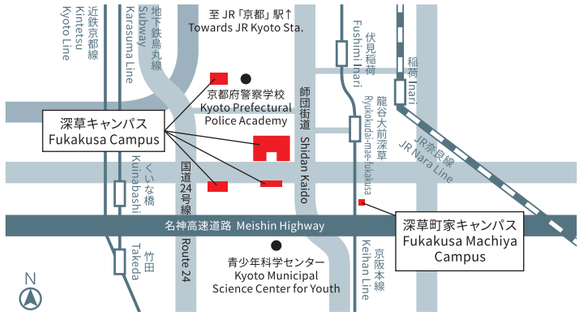
RYUKOKU UNIVERSITY
〔龍谷大学 心理学部設置事務室〕　〒600-8268 京都市下京区七条大宮東入大工町125番地の1　Tel 075-343-3463（平日 9:00～17:00）

設置キャンパスの紹介

深草キャンパス（1・2年次）

〒612-8577　京都市伏見区深草塚本町67

京都駅南東、京都市伏見区にある深草キャンパスは、1960年親鸞聖人七百回忌記念として開設しました。7つの文系学部で構成され、留学生を含む多くの学生が学んでおり、さまざまな文化が混ざり合う多文化共生キャンパスです。2020年には、新たに課外活動の拠点である成就館が完成。これまでの課外活動支援に加え、地域・社会との新たな出会いの創出をめざします。





・JR奈良線「稲荷」駅下車 南西へ徒歩約８分
・京阪本線「龍谷大前深草」駅下車 西へ徒歩約３分
・京都市営地下鉄烏丸線「くいな橋」駅下車 東へ徒歩約７分

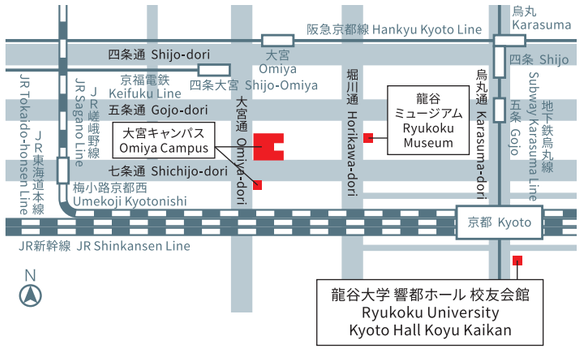
JR大阪駅	→	JR稲荷駅	33分
京阪京橋駅	→	京阪龍谷大前深草駅	39分
近鉄奈良駅	→	京阪龍谷大前深草駅	40分
JR三ノ宮駅	→	JR稲荷駅	55分

大宮キャンパス（3・4年次）

〒600-8268　京都市下京区七条通大宮東入大工町125番地の1

龍谷大学の歴史は、1639（寛永16）年、京都西本願寺に創設された学寮に始まります。その発祥の地が大宮キャンパスです。重要文化財の本館をはじめ、教室棟の南黌・北黌、正門、旧守衛所といった歴史的建造物が佇みます。豊かな蔵書を誇る大宮図書館には、国宝を含め、教育・研究に役立つ貴重資料が多く保存されています。

2025年には新たな教育研究施設が完成予定です。





・JR東海道本線／近鉄京都線／京都市営地下鉄 烏丸線
「京都」駅下車 北西へ徒歩約10分（市バス約３分）
・JR山陰本線（嵯峨野線）「梅小路京都西」駅下車 北東へ徒歩約10分
・京阪本線「七条」駅下車 西へ徒歩約20分
・阪急京都本線「大宮」駅下車 南へ徒歩約20分（市バス約５分）
・最寄りのバス停：市バス七条大宮・京都水族館前

JR大阪駅	→	JR京都駅	28分
京阪京橋駅	→	JR京都駅	42分
近鉄奈良駅	→	JR京都駅	44分
JR三ノ宮駅	→	JR京都駅	50分



More Empowered

心のつながりを探究し、社会に力を生み出す。

誰もが自分らしく生き、支え合える社会を実現するために。
人と人とのつながりを深く理解し、共に行動する人間を育む。
龍谷大学心理学部は、人間関係の大切さを探究することによって、
現代社会の課題を解決に導き、共に歩み続ける未来を拓いていきます。

龍谷大学 心理学部 心理学科（仮称）
2023年４月 開設予定（設置構想中）
設置計画は予定であり、内容に変更が生じる場合があります。

RYUKOKU UNIVERSITY

龍谷大学 心理学部 心理学科（概要）

龍谷大学が構想している、心理学部 心理学科の概要です。※本内容は現時点での計画であり、今後変更する可能性があります。

学部・学科 概要

文学部 臨床心理学科を改組。
（入学定員を99名から255名に増員）

入学定員	学位	設置場所
255名	学士（心理学）	1・2年次 ：深草キャンパス（京都市伏見区） 3・4年次 ：大宮キャンパス（京都市下京区）

養成する人材像

現代社会が抱える諸課題に対し、心理学の教育と研究を通じて得られる対人支援や
良好な人間関係の構築に必要なコミュニケーション・スキルを身につけ
主体的かつ実践的に対応できる人材を養成する。

幅広い学びの実現

データサイエンスも取り入れた、基礎から卒業後のキャリアまで繋がる心理学教育の「3つの柱」

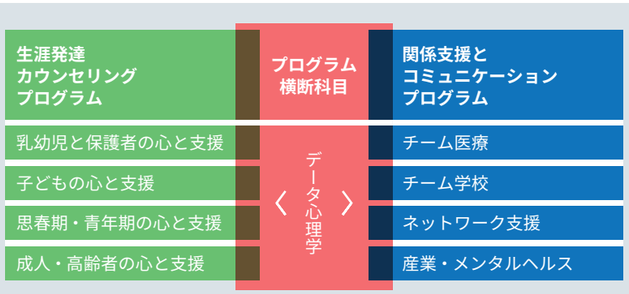
1. 心理学基礎科目
心理学の基礎となる考え方そのものを学び、どのように応用心理学と繋がるのかを理解する。

2. データサイエンス科目
心の動きや行動をデータとして統計的に処理・分析し、心のありようを科学的に捉える。

3. キャリア啓発科目
卒業後のキャリアを意識し、実社会において心理学がどのように活用されるのかを学ぶ。



専門的心理学教育の「2つのプログラム」キャリアビジョンに合わせた専門的かつ実践的な「9つの分野」



発達段階に応じた「個人の心」にアプローチする**「生涯発達カウンセリングプログラム」**と、社会で共に生きる人の繋がりにアプローチする**「関係支援とコミュニケーションプログラム」**の2つのプログラムを配置し、心理学の専門的な教育の充実を図ります。さらに、2つのプログラムを横断的に接続する分野として**「プログラム横断科目」**を開設します。

「2つのプログラム」および「プログラム横断科目」の下には、特徴的な心理実践に繋がる「9つの分野」の科目群を設定し、学生自身のキャリアビジョンに合わせて、関心のある分野の科目を自由に選択し、幅広く学ぶことができます。

取得できる資格

高等学校教諭一種免許状（公民）※1　　**公認心理師受験資格課程**※2　　**認定心理士資格**

※1：教職課程認定申請予定。ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期が変更となる可能性があります。
※2：公認心理師の受験資格を取得するためには、学部における所定科目を履修し、卒業後に大学院に進学して所定科目を履修した上で修了する必要があります。

卒業後の進路

心理学を通じて修得する知識やスキルは、対人支援の現場だけではなく、広く一般社会でも活用できるものです。
さまざまな進路において、より良い社会づくりのために貢献し活躍することが期待されます。

心理学を活かした「支援」の仕事

医療領域	病院・クリニック・リハビリテーション施設の心理職員　等
教育領域	学童保育スタッフ　学習支援員　幼稚園カウンセラー　学校カウンセラー　等
産業領域	キャリアカウンセラー　安全管理者　等
福祉領域	児童養護・高齢者・障がい者福祉施設職員　放課後等デイサービス職員　児童相談所児童心理司　等
司法領域	家庭裁判所調査官　少年院・少年鑑別所の心理職員（法務技官）　警察職員（心理員）　等
大学院進学	心理専門職（公認心理師・臨床心理士）の資格取得や専門研究を深める

心理学の学びを活かしたさまざまな仕事

コミュニケーション・スキルを活かした販売職や営業職、データサイエンスと心理学の専門性をかけ合わせた企画・開発職など、多様な業種・職種で心理学の学びを活かすことができます。

民間企業	マスコミ　商社　情報通信　IT企業　銀行・証券会社　保険会社 メーカー（自動車・電機・機器・医薬品等）　スーパー・小売業　観光・サービス業 不動産・建設業　運輸（航空・鉄道・郵便等）　電力・ガス業　教育関係　等
公務員	地方・国家公務員　警察官　消防士　公立高校教員　国公立大学事務職員

初年度学費（他大学含む）

単位（円）

大学・学部・学科・専攻	入学金	授業料	教育充実費等（諸会費は除く）	初年度学費
龍谷大学 心理学部 心理学科	260,000	1,007,000	0	1,267,000
同志社大学 心理学部 心理学科	200,000	973,000	193,000	1,366,000
立命館大学 総合心理学部 総合心理学科	200,000	1,206,600	0	1,406,600
関西大学 社会学部 心理学専攻	260,000	930,000	0	1,190,000
近畿大学 総合社会学部 総合社会学科 心理系専攻	250,000	1,085,000	20,000	1,355,000
追手門学院大学 心理学部 心理学科	160,000	850,000	155,000	1,165,000

※龍谷大学 心理学部 心理学科の学費は予定です。
※他大学における上記学費は各大学ホームページ掲載情報に基づきます（2021年10月時点）。
※その他、諸会費が必要な場合があります。

資料 6

【 省 略 】

１（書類等の題名）

資料6 近畿 2 府 4 県の 18 歳人口予測と地元残留率

２（出典）

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ リクルート進学総研 マーケットリポート

３（引用範囲）

18 歳人口・進学率・残留率の推移（近畿）
https://souken.shingakunet.com/research/2021/04/182020-f075.html

以 上

資料７

【　省　略　】

１（書類等の題名）

資料７　私立大学等入学志願動向

２（出典）

日本私立学校振興・共済事業団　「私立大学・短期大学等入学志願動向」

３（引用範囲）

入学定員、志願者、受験者、合格者、入学者、志願倍率、合格率、歩留率、入学定員及び入学定員充足率　（いずれも全体の動向及び理・工学系の動向）
https://www.shigaku.go.jp/s_center_d_shigandoukou.htm

以　上

資料８

【　省　略　】

１（書類等の題名）

資料８　私立大学 一般入学試験志願者 上位 30 大学（平成 29～令和 3 年度入試）

２（出典）

豊島継男事務所 一般入試志願状況レポート

以　上

資料９

【　省　略　】

１（書類等の題名）

資料９　進学ブランド力調査 志願度（平成 29～令和 3 年度・関西エリア）

２（出典）

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ リクルート進学総研　進学ブランド力調査

３（引用範囲）

志願度（全国及び関西エリア）
http://souken.shingakunet.com/research/2012/07/post-66a6.html

以　上

資料１０

龍谷大学 農学部食品栄養学科 3年次編入学定員設置に係る短大生アンケート調査

対象：2021年度　短大1・2年次生の皆さん

龍谷大学農学部食品栄養学科では、2023年4月に3年次編入学の定員を設けることを構想しています。本学ではこのアンケートを通して、短大生の皆様からさまざまなご意見をお伺いし、構想の参考にさせていただきたいと考えています。なお、本アンケートは匿名回答であり、個人が特定されることはございません。また、集計結果は、本学部の設置構想に係る統計資料としてのみ活用いたします。つきましては、アンケート調査へのご協力をよろしくお願いいたします。

問1　あなたが現在お住まいの府県について教えてください（あてはまるもの1つにチェック）

☐ 滋賀県　☐ 京都府　☐ 大阪府　☐ 兵庫県
☐ 奈良県　☐ 和歌山県　☐ その他（　　）

問2　あなたの性別について教えてください（あてはまるもの1つにチェック）

☐ 男　☐ 女　☐ 回答しない

問3　あなたの学年について教えてください（あてはまるもの1つにチェック）

☐ 1年次　☐ 2年次　☐ その他（　　）

問4　あなたは龍谷大学農学部食品栄養学科を受験し合格した場合、入学したいと思いますか（あてはまるもの1つにチェック）

☐ 入学したい　☐ 入学しない　☐ どちらともいえない

※問5は、問4で「入学したい」と回答された方にお尋ねします

問5　あなたが問4で「入学したい」と思った理由について教えてください（あてはまるものすべてにチェック）

☐ 興味・関心のある学問分野であるため
☐ 大学の知名度があるため
☐ 自宅から通学できるため
☐ 就職の状況がよいこと
☐ 教育研究設備（実験設備等）が充実していること
☐ キャンパスの雰囲気がよいこと

※問6は、問4で「入学しない」と回答された方にお尋ねします

問6　あなたが問4で「入学しない」と回答した理由について教えてください（あてはまるものすべてにチェック）

☐ 興味・関心のある学問分野ではないから
☐ 興味・関心のある学問分野だが、他大学への進学を希望しているから
☐ 通学距離が遠いから
☐ 学費が高いから
☐ 卒業後、進学を考えていないから

龍谷大学 農学部食品栄養学科（3年次編入学定員の設置構想）の概要等について

2023年4月編入学定員設置に向け構想中

※記載されている編入学定員、取得可能な資格は構想中のものであり、変更となる可能性があります。

農学部 食品栄養学科の概要

開設場所：龍谷大学瀬田キャンパス（〒520-2194 滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5）

入学定員

農学部	入学定員	編入学定員※	収容定員
植物生命科学科	90	8	376
資源生物科学科	134	9	554
食品栄養学科	80	4	328
食料農業システム学科	134	9	554
合計	438	30	1,812

※2023年4月編入学定員設置に向け構想中

取得学位：学士（農学）

取得可能な資格※：管理栄養士国家試験受験資格、栄養士、食品衛生管理者、食品衛生監視員　等

農学部の教育理念・目的

建学の精神に基づいて、人類が直面する「食」と「農」に関する国内外の諸問題に対して真摯に向き合い、農学の立場から正しい判断ができる力を備えた、持続可能な社会の実現に貢献しうる人の育成を目的とする。

農学部食品栄養学科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

農学部では、人類が直面する「食」と「農」に関する国内外の諸問題に対して真摯に向き合い、農学の立場から正しい判断ができる力を備えた、持続可能な社会の実現に貢献しうる人の育成を目指しています。そのため、次のような人が入学することを求めています。

1）これら「食」と「農」を支える領域への幅広い興味と、農学への強い意欲をもっている人
2）農学の教育を行うにあたって、自然科学と社会科学に関心があり、関連する実習や実験をやり遂げる意思と能力をもった人

ついては、高等学校等での学習では、農学部で教育を受ける上で基本となる高校での教科を幅広く基礎的事項についてしっかり勉強することを望みます。

＜食品栄養学科＞
本学科では、人の健康維持・増進に役立つ「食」について学びます。また、管理栄養士養成課程であることから、人々の健全な食生活をサポートするために必要な専門的科目を中心に学びます。このため、生物学、化学をはじめとする自然科学的基礎学力を習得し、コミュニケーション能力と学びに対する積極性を有している人を求めます。

3年次編入学・転入学試験における入学者受入れの方針：各学部での専門教育に必要とされる総合的な学力を有した学生や社会人を選抜することを目的としています。このような受験生を適正に選抜するために、提出書類および本学独自の筆記試験において「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を、面接において「主体性・多様性・協働性」を中心として、総合的に評価します。

学びのPoint

「食」の栄養と人の健康を学ぶ
〇「農」を理解した管理栄養士をめざすことができる
〇「食」の栄養と人の健康に関する正しい知識・技術を修得することができる
〇地域社会、福祉・医療現場での実践をとおして学びを体験する
〇地元の料理人と協力し、地域の食や伝統的な味わいについて学ぶことができる

卒業後の進路

・管理栄養士（公務員、病院、学校、保健所、福祉施設　等）
・化学、医薬品メーカー
・食品、飲料メーカー
・大学院　　等

管理栄養士とは

管理栄養士とは、厚生労働大臣の免許を受けて、管理栄養士の名称を用いて、傷病者に対する療養のため必要な栄養の指導、個人の身体の状況、栄養状態等に応じた高度の専門的知識および技術を要する健康の保持増進のための栄養の指導並びに特定多数人に対して継続的に食事を供給する施設における利用者の身体の状況、栄養状態、利用の状況等に応じた特別の配慮を必要とする給食管理及びこれらの施設に対する栄養改善上必要な指導等を行うことを業とする者をいいます。

資格取得状況（2020年度実績）

食品栄養学科では、管理栄養士国家試験対策にも力を入れています。問題集・参考書の配布、定期的な模試の実施、特別対策講座の開催など、国試対策スペシャリストの教員を中心に丁寧なサポートを行います。

管理栄養士 国家試験合格率	栄養士	食品衛生管理者・監視員
98.7%	77名	69名

充実した教育研究設備

給食経営管理実習室/オープンキッチン

給食施設における大量調理をシミュレーションできる最新の厨房施設が設置された実習室



臨床栄養学実習室

模擬病棟で栄養アセスメント・栄養指導を学び、チーム医療で活躍できる管理栄養士に成長



栄養教育実習室

最新のシステムやコンピュータを活用し
栄養教育に関する専門的な知見を身につける



調理学実習室/食品加工実習室

おいしくて美しい、そして栄養管理が行き届いた
メニューの考案や料理の提供を行う技能・感性を培う

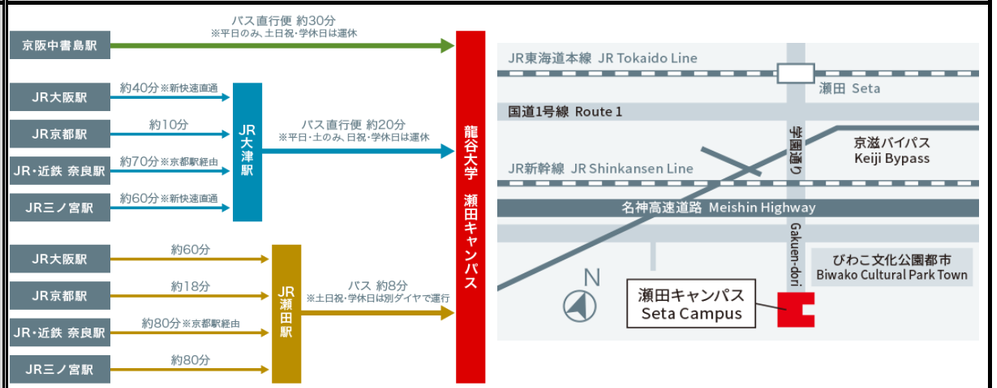


学生納付金

大学名	学部・学科	入学金	授業料	施設費	実験実習料	諸会費	左記合計
龍谷大学	農学部食品栄養学科	100,000	979,000	440,000	193,600	33,000	1,745,600
兵庫大学	健康科学部栄養ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学科	200,000	1,350,000		250,000	65,750	1,865,750
武庫川女子大学	食物栄養科学部食物栄養学科	200,000	1,035,000	350,000	50,000	14,700	1,649,700
羽衣国際大学	人間生活学部食物栄養学科	100,000	920,000	220,000	130,000	38,000	1,408,000

・上記は2022年度の学費および諸会費の金額。他大学の状況は大学ホームページ掲載、問い合わせに基づく

瀬田キャンパス 交通アクセス



農学部食品栄養学科のより詳細な内容については、以下をご参照ください。

農学部学部パンフレット：https://issuu.com/ryukoku/docs/2022_agr

農学部教員紹介：https://issuu.com/ryukoku/docs/agr_research_focus2021

農学部施設紹介：https://issuu.com/ryukoku/docs/agr_facility2021

資料１２

龍谷大学 農学部食品栄養学科 3年次編入学定員設置に係る短大生アンケート調査

■ 対 象 者：　管理栄養士養成課程を設置する2短大（大阪・滋賀）の学生（1年次・2年次）

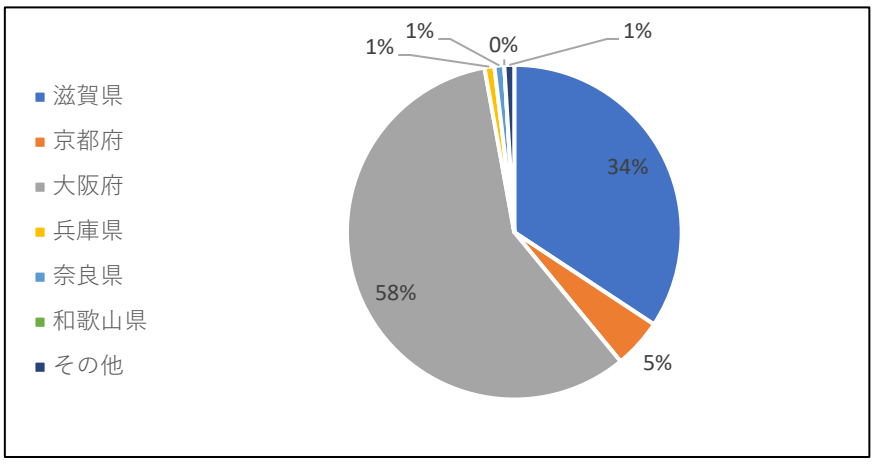
■ 回答方法：　Googleフォームにて実施

■ 回答期間：　2022年1月17日（月）8:00～1月26日（水）16:00

■ 回答者数：　１年次：55名　　２年次：50名　　合計105名

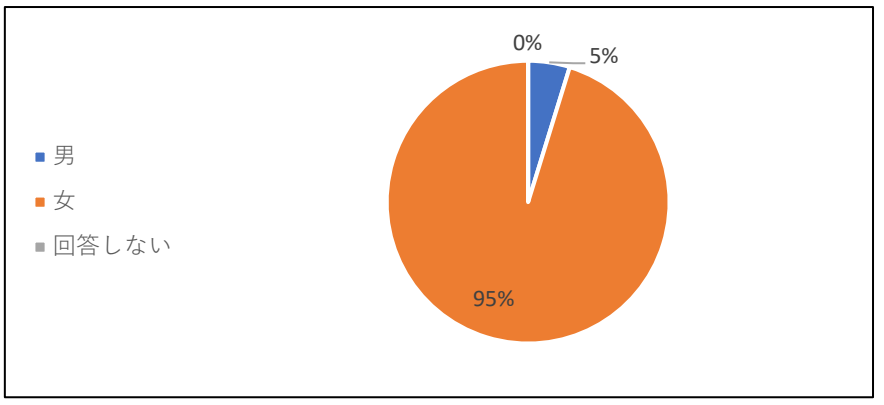
【問1】あなたが現在お住まいの府県について教えてください（あてはまるもの1つにチェック）

項目	回答数
滋賀県	36
京都府	5
大阪府	61
兵庫県	1
奈良県	1
和歌山県	0
その他	1
合計	105



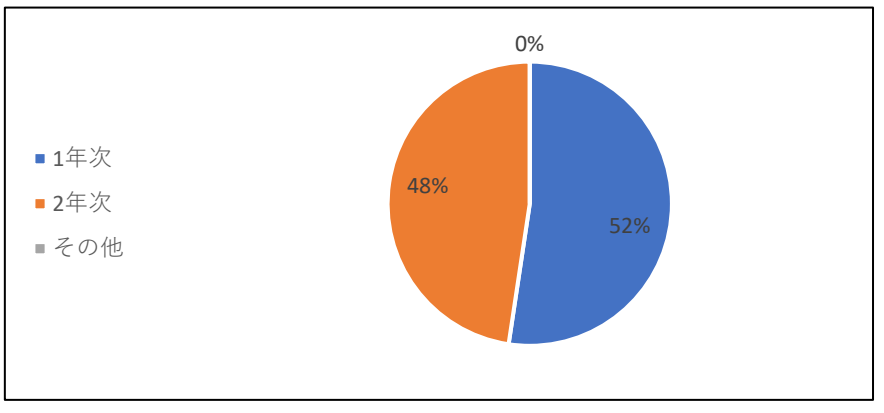
【問2】あなたの性別について教えてください（あてはまるもの1つにチェック）

項目	回答数
男	5
女	100
回答しない	0
合計	105



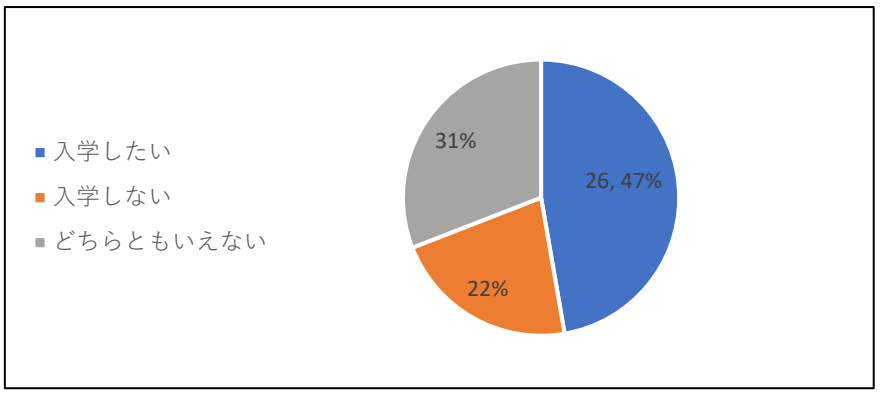
【問3】あなたの学年について教えてください（あてはまるもの1つにチェック）

項目	回答数
1年次	55
2年次	50
その他	0
合計	105



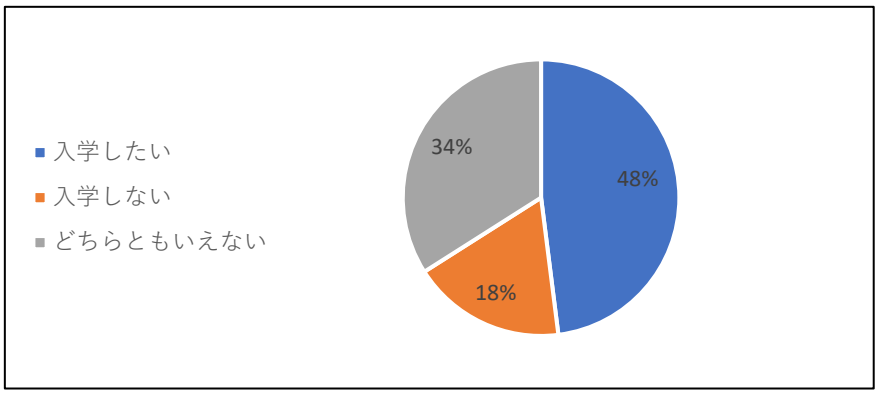
【問4-1＜1年次＞】あなたは龍谷大学農学部食品栄養学科を受験し合格した場合、入学したいと思いますか（あてはまるもの1つにチェック）

項目	回答数
入学したい	26
入学しない	12
どちらともいえない	17
合計	55



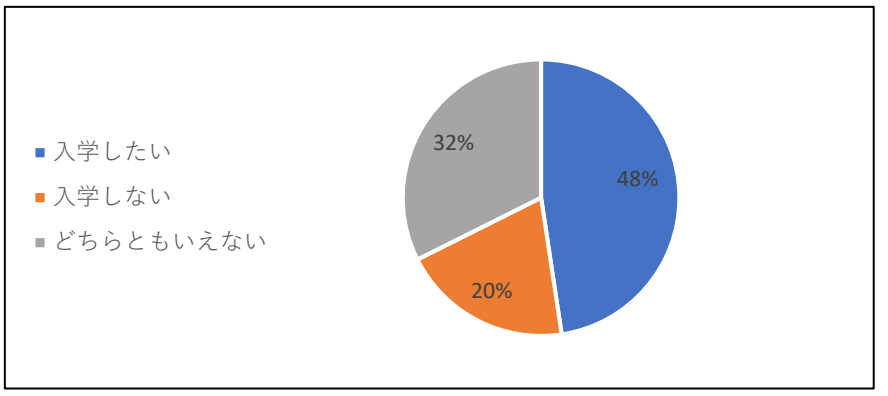
【問4-2＜2年次＞】あなたは龍谷大学農学部食品栄養学科を受験し合格した場合、入学したいと思いますか（あてはまるもの1つにチェック）

項目	回答数
入学したい	24
入学しない	9
どちらともいえない	17
合計	50



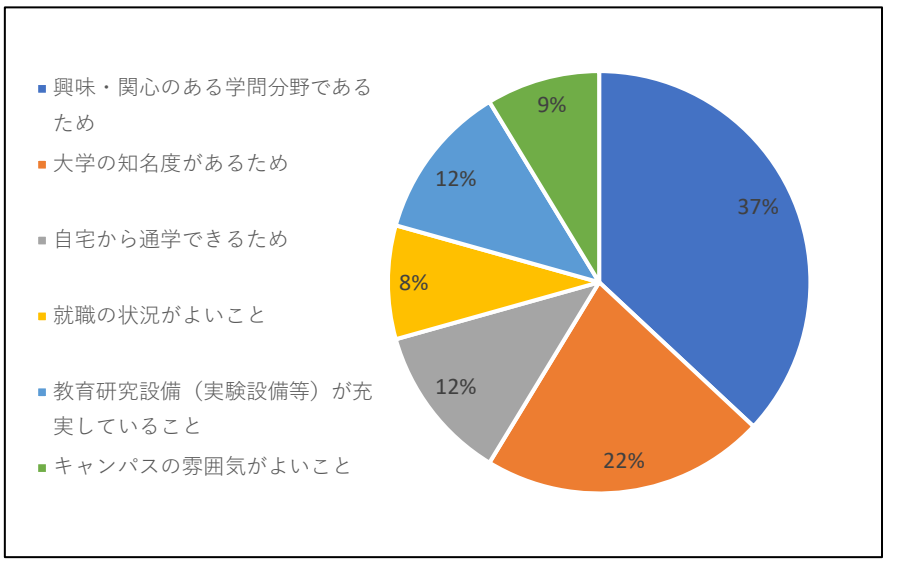
【問4-3＜1年次+2年次＞】あなたは龍谷大学農学部食品栄養学科を受験し合格した場合、入学したいと思いますか（あてはまるもの1つにチェック）

項目	回答数
入学したい	50
入学しない	21
どちらともいえない	34
合計	105



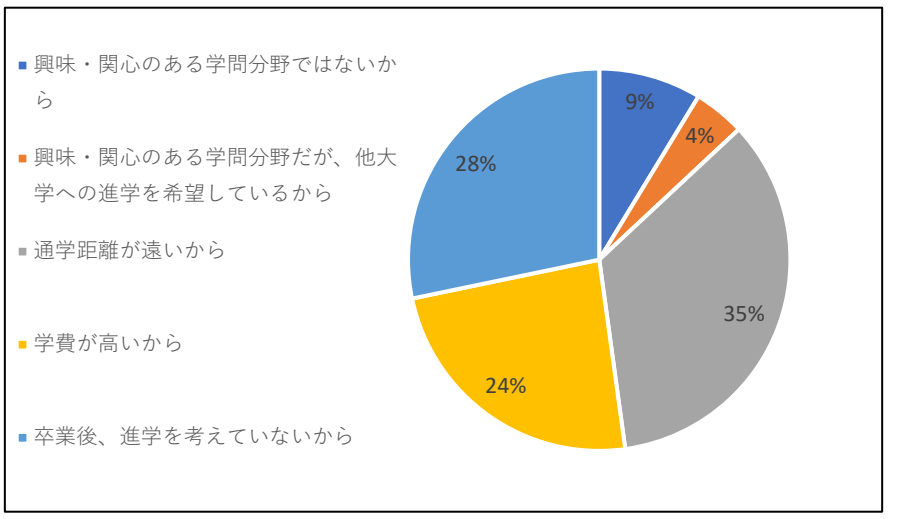
※問5は、問4で「入学したい」と回答された方にお尋ねします
【問5】あなたが問4で「入学したい」と思った理由について教えてください（あてはまるものすべてにチェック）

項目	回答数
興味・関心のある学問分野であるため	34
大学の知名度があるため	20
自宅から通学できるため	11
就職の状況がよいこと	8
教育研究設備（実験設備等）が充実していること	11
キャンパスの雰囲気がよいこと	8
合計	92



※問6は、問4で「入学しない」と回答された方にお尋ねします
【問6】あなたが問4で「入学しない」と回答した理由について教えてください（あてはまるものすべてにチェック）

項目	回答数
興味・関心のある学問分野ではないから	4
興味・関心のある学問分野だが、他大学への進学を希望しているから	2
通学距離が遠いから	16
学費が高いから	11
卒業後、進学を考えていないから	13
合計	46



資料 13

【 省 略 】

１（書類等の題名）

資料13　厚生労働省　令和2年労働安全衛生調査（実態調査）

２（出典）

厚生労働省「令和2年労働安全衛生調査（実態調査）結果の概要」

３（引用範囲）

メンタルヘルス対策に関する事項

以　上

資料 14

【 省 略 】

１（書類等の題名）

資料14　IT人材需給に関する調査（概要）

２（出典）

経済産業省「IT人材需給に関する調査（概要）」

以　上

資料１５

文学部臨床心理学科 都道府県別就職状況

本社設置 都道府県	平成28(2016)年度 卒業	平成29(2017)年度 卒業	平成30(2018)年度 卒業	令和元(2019)年度 卒業	令和2(2020)年度 卒業	令和2年度 構成比	5年間 合計
北海道		1	2			0.0%	3
山形県					1	1.9%	1
福島県		1				0.0%	1
埼玉県	1		1	1		0.0%	3
千葉県	1			1	1	1.9%	3
東京都	21	15	23	22	9	17.0%	90
神奈川県					2	3.8%	2
新潟県	1					0.0%	1
石川県		2	1	1	1	1.9%	5
福井県	2					0.0%	2
長野県					1	1.9%	1
岐阜県	1	1		2		0.0%	4
静岡県		2	2			0.0%	4
愛知県		3	3			0.0%	6
三重県					2	3.8%	2
滋賀県	5	1	4	6	3	5.7%	19
京都府	18	11	7	12	6	11.3%	54
大阪府	14	23	20	8	16	30.2%	81
兵庫県	2	4	3	1	3	5.7%	13
奈良県			1		3	5.7%	4
和歌山県	1				1	1.9%	2
近畿圏合計	40	39	35	27	32	—	173
近畿圏比率	54.1%	57.4%	49.3%	45.8%	60.4%	—	53.2%
鳥取県	1			1		0.0%	2
岡山県	1		1	1		0.0%	3
広島県		1	1	1	1	1.9%	4
徳島県				1		0.0%	1
香川県				1	1	1.9%	2
福岡県	1	3	2			0.0%	6
その他	4				2	3.8%	6
総計	74	68	71	59	53	100.0%	325

※当該年度卒業生のうち、就職決定者のみを集計

資料１６

文学部臨床心理学科　進路決定率

	平成28(2016)年度卒業	平成29(2017)年度卒業	平成30(2018)年度卒業	令和元(2019)年度卒業	令和2(2020)年度卒業	5年間平均
卒業者	97	83	99	77	91	93
就職・進学等希望者①	97	83	99	77	89	92
進路決定者数②	95	83	97	76	87	91
進路決定率対希望者②/①	97.9%	100.0%	98.0%	98.7%	97.8%	98.4%

資料１７

龍谷大学「心理学部 心理学科（仮称）」
設置に係る人材需要の見通し調査
(設置についての採用意向アンケート調査)
報告書

令和４年１月

株式会社　高等教育総合研究所

目次

1　調査の概要　2

2　全質問項目の集計結果　3

3　集計結果のポイント　14

人材需要の見通し調査結果　まとめ　18

添　付　資　料　19

資料１　採用意向アンケート用紙　20

資料２　採用意向アンケート概要　22

1　調査の概要

調　査　目　的　：	龍谷大学が、2023（令和 5）年 4 月に設置予定の「心理学部 心理学科（仮称）」（以下、本学部）について、第三者機関によるアンケート調査を用いて、人材需要の見通しを測ることを目的とする。
調　査　対　象　：	本学部が卒業後の進路に想定する業種・職種を踏まえ、関東地区１都３県及び近畿２府４県を対象に、民間企業、医療、公務、社会福祉施設等の 4,196 件の事業所に調査を依頼した。
調　査　時　期　：	2021（令和 3）年 11 月～2022（令和 4）年 1 月
調　査　内　容　：	無記名。選択肢式で全 9 問。一部記述式を含む 主な質問事項は、回答企業等の基本情報（業種・所在地など）、本学部卒業生の採用の意欲、採用可能人数、本学部に関する意見・要望など。
調　査　方　法　：	調査対象先の採用担当者あてに依頼状・アンケート調査用紙・学部概要・返送用封筒を送付。ご協力いただける場合、回答済みのアンケート調査用紙のみをご返送いただいた。
回　収　件　数　：	707 件

2　全質問項目の集計結果

※構成比はいずれも少数第２位を四捨五入した。したがって、合計は必ずしも 100.0%とは一致しない。

問１　貴社・貴団体の業種を教えてください（あてはまるもの１つにマーク）

選択項目		回答数	構成比
1	マスコミ・広告	13	1.8%
2	商社	36	5.1%
3	情報通信・ソフトウェア・IT	67	9.5%
4	金融・保険	28	4.0%
5	卸売・小売	80	11.3%
6	観光・ホテル	17	2.4%
7	建設・不動産	45	6.4%
8	運輸	48	6.8%
9	人材	5	0.7%
10	サービス	44	6.2%
11	製造	129	18.2%
12	医療・病院	20	2.8%
13	教育関係	14	2.0%
14	公務・団体	21	3.0%
15	社会福祉施設・事業所	89	12.6%
16	司法・矯正・警察・児童相談所	27	3.8%
17	その他	21	3.0%
	無回答	3	0.4%
合計		707	100.0%

問２　貴社・貴団体の所在地を教えてください（あてはまるもの１つにマーク）

選択項目		回答数	構成比
1	東京都	84	11.9%
2	神奈川県	14	2.0%
3	千葉県	10	1.4%
4	埼玉県	12	1.7%
5	滋賀県	58	8.2%
6	京都府	86	12.2%
7	大阪府	290	41.0%
8	兵庫県	103	14.6%
9	奈良県	32	4.5%
10	和歌山県	12	1.7%
11	その他	5	0.7%
	無回答	1	0.1%
合計		707	100.0%

問３　貴社・貴団体の従業員規模を教えてください（あてはまるもの１つにマーク）

選択項目		回答数	構成比
1	50 名以下	115	16.3%
2	51 名～100 名	107	15.1%
3	101 名～300 名	162	22.9%
4	301 名～500 名	82	11.6%
5	501 名以上	241	34.1%
	無回答	0	0.0%
合計		707	100.0%

問４　貴社・貴団体で新卒生を採用する際に、求める能力を教えてください（あてはまるもの全てにマーク）

※複数回答項目のため、回答数は述べ。

※回答率は、回答者 707 件のうち、各項目を挙げた者の割合

選択項目		回答数	回答率
1	コミュニケーション能力	645	91.2%
2	基礎的な学力	303	42.9%
3	専門的な知識・技能	132	18.7%
4	主体性	441	62.4%
5	実行力	324	45.8%
6	考える力	455	64.4%
7	チームで働く力	506	71.6%
8	判断力	278	39.3%
9	表現力	142	20.1%
10	多様性	155	21.9%
11	理解力	314	44.4%
12	忍耐力	302	42.7%
13	適応力	391	55.3%
14	豊富な実習経験	16	2.3%
15	語学力	32	4.5%
16	取得資格・免許（見込み含む）	133	18.8%
17	インターンシップ・ボランティア等の経験	16	2.3%
18	その他	15	2.1%
	無回答	4	0.6%

問５　龍谷大学が設置構想中の「心理学部 心理学科（仮称）」で養成する人材は社会的ニーズが高いと思われますか（あてはまるもの１つにマーク）

選択項目		回答数	構成比
1	高い	129	18.2%
2	どちらかと言えば高い	430	60.8%
3	どちらかと言えば高くない	115	16.3%
4	高くない	16	2.3%
	無回答	17	2.4%
合計		707	100.0%

問６　龍谷大学が設置構想中の「心理学部 心理学科（仮称）」の卒業生を採用したいですか（あてはまるもの1つにマーク）

選択項目		回答数	構成比
1	採用したい	242	34.2%
2	採用しない	54	7.6%
3	分からない	405	57.3%
	無回答	6	0.8%
合計		707	100.0%

問７は問６で「採用したい」と回答した 242 件が回答対象である。

問７　採用可能人数をお答えください（あてはまるもの１つにマーク）

選択項目		回答数	構成比
1	1 名	38	15.7%
2	2 名	28	11.6%
3	3 名	15	6.2%
4	4 名	1	0.4%
5	5 名以上	26	10.7%
6	人数は未定だが、最低 1 名	134	55.4%
	無回答	0	0.0%
合計		242	100.0%

問８　「採用したい」と回答いただいた理由についてご自由にお書きください。

※下記の 130 件の回答を得た。原文ママ。参考として、業種（問１の回答）を右に付記した

番号	回答	業種（問１）
1	心理学を活かし、お客様との接客を柔軟に行うことができると考えたからです。	卸売・小売
2	龍谷大学学生のレベルは高く、期待値が高いため	商社
3	龍谷大学生には学力が高いイメージがあるため	
4	コミュニケーションスキルを身に付けた人材に入社頂きたいと考えているため	サービス
5	養成する人材像が求める人物像とマッチしているため	公務・団体
6	データサイエンスでの知見、経験の活用による価値提供	製造
7	現責任者を含め、OB、OG にもご活躍頂いているため	卸売・小売
8	現在、龍谷大学の卒業生が社内で活躍しているため。	卸売・小売

9	仕事をする上で必要不可欠なコミュニケーションスキルにおいて、身につく学びをされているため。	商社
10	優秀であろうから	建設・不動産
11	営業、マーケティングの分野で購買心理にそった活動が期待されるため	製造
12	傾聴力に長けていると感じたため	製造
13	対人能力が高い人材と思うため	商社
14	当社は学部学科不問で様々な人材の確保をしたいため 新たな学部を卒業される学生さんの採用を大切にしたいと思ったためです	商社
15	統計学の科学的手法を理解していることは望ましいから	情報通信・ソフトウェア・IT
16	心理学といった定量での測定がむずかしいものをデータサイエンスでしっかりととらえ、実社会に落とし込む非常に理に叶った学部設計だと感じました。	（無回答）
17	ビジネスで必要な人間理解、コミュニケーション力が鍛えられていると感じるため	運輸
18	心理学の勉強は非常に役立つものだと考えられるため	商社
19	他学部でも優秀な学生さんが多いため	金融・保険
20	今までにないタイプの従業員がいる事は多様性が増し、組織の活性化が期待できるから。	建設・不動産
21	心理学で学んだことが、社会においてもコミュニケーションの面で発揮できると考えるため	運輸
22	当社は直接心理学が必要な企業ではありませんが、お客様の考え、要望を読み解く力として必要な知識であると考えます。	サービス
23	お客様の気持ちに寄り添った対応が必須のため	サービス
24	人間に対する心理学的見地からのコミュニケーション能力が必要な業務であるため	運輸
25	相手の立場になって考えるうえで必要な能力と考えるため	卸売・小売
26	介護職員や相談員としてのスキルが期待できる。	医療・病院
27	お客様の心に寄り添えることを期待したいと考えているため	建設・不動産
28	メンタル、心理面での理解度の高い人材が社内にいるとよいため。 採用している学部が経済、経営、商業、法学に偏っているため	卸売・小売
29	色々な知識をお持ちの方が会社にいることが大切と考えるため	サービス
30	関西で心理学部が少ないので、様々な可能性を秘めていると思うから	製造
31	メンタルヘルス対応を充実させるために、心理学の基礎知識を有する人材が必要なため。	製造

32	主体性のある人材育成を目指しているため	運輸
33	幅広く、全ての学生を公平に判断したい。	建設・不動産
34	貴重な人材である。	運輸
35	御校の卒業生が活躍しており是非採用したい。	卸売・小売
36	いろんな学部、学科を経験した学生を採用したいため	製造
37	指導する側とされる側それぞれへの教育ができる人材を求めているため	サービス
38	毎年、総合職採用の募集に苦慮しているため	サービス
39	文系（営業職）の人材で、実際に他校ではあるが、心理学部出身で活躍している者がいるため	製造
40	心理学部だけに限らず、貴学の多種多様な学部、学生同士で交流をされてきた学生であれば、問 4 で回答した能力が培われていると判断するため	商社
41	お客様と接する機会が多く、現場で役に立つと考えられるため。 従業員の悩みを解消してくれるのではないかと考えたため。	卸売・小売
42	卒業生がよく頑張っているため	卸売・小売
43	少なくとも他者が何を考えているかについて興味関心があると思うから	人材
44	人物中心の採用を行っているため	製造
45	システムエンジニアは文系も理系も関係ないので、学ぶ習慣があれば採用したいため	情報通信・ソフトウェア・IT
46	必ずではないが、人材を見極めたいため	（無回答）
47	働く上で、コミュニケーションスキルは非常に重要であると考えますので、データサイエンスや心理学は有効であると考えるため。	情報通信・ソフトウェア・IT
48	心理学は必須項目と位置づけられるため	金融・保険
49	今後採用予定がでてくると思われるため	運輸
50	心理学科卒業の方を配属したいため	社会福祉施設・事業所
51	子供服を扱う企業として子どもの心理学を実際に活かしてもらえる可能性を感じた為。 特に現代の子供の心理を研究し、よりよい商品を提供していきたい。	卸売・小売
52	多角的な視野で取り組む必要があるため	運輸
53	理由は特にありません。	サービス
54	今後の社会で相手を読みとく力、心理的なコミュニケーションが大事になってくるから。	卸売・小売
55	弊社が求めている人材であるコミュニケーション力を身に付けた学生がいると考えたため	建設・不動産

56	心理学を学ぶことで、相手のことを思いやり、チームとして目標に向かって協力することができると感じたため。	製造
57	出身の方に活躍いただいているから	情報通信・ソフトウェア・IT
58	貴学出身の方に多く活躍いただいているため。	情報通信・ソフトウェア・IT
59	これからの企業運営には、心理学的な観点を含めた、組織を俯瞰する力が求められると考えるため	商社
60	学部、学科に関係なく、当社を希望する学生であれば選考を行いたいため	教育関係
61	過去に心理学科卒の新入社員の採用実績があるため	建設・不動産
62	論理的思考力があり、向上心と最新技術対応に努力する人が必要であるため	情報通信・ソフトウェア・IT
63	当社に心理学部出身者がいないため。 龍谷大学には優秀な学生が多いため。	商社
64	多様な価値観の組合員と接する仕事となりますので、心の動きの学びを活かすことができると思っております。	卸売・小売
65	若い人たちへのコンピュータシステムの開発および設計、ノウハウの伝承のため	情報通信・ソフトウェア・IT
66	心理学の学びを活かした仕事として、コミュニケーションスキルを活かした営業職を求めているため	卸売・小売
67	専門的に心理学を学んだ人とそうでない人を採用した場合、コミュニケーション能力や成長スピードにどれくらいの違いがあるのか興味があります。	金融・保険
68	データサイエンスの知見は重要だと考えているため。	金融・保険
69	資格のいる仕事なので資格取得できれば採用したい。	
70	人とのつながりを大切にしている会社でお客様と良好なコミュニケーションをとる上で活かすことができる学びと思うから。	卸売・小売
71	障害福祉分野において社会福祉士や介護福祉士のように公認心理士の配置も重要となっているため。	社会福祉施設・事業所
72	多様性が求められる現代社会において、良好な人間関係構築のためにコミュニケーションスキルは不可欠であり、それを身に付けた学生は十分採用する意義があると考える。	建設・不動産
73	在職者に卒業生が多数活躍している為。	金融・保険
74	多様な人材を人物本位で採用します。	サービス
75	良好な人間関係の構築に必要なスキルを身に付けることで、営業で活かせると考えてます。	金融・保険

76	貴学の卒業生は何事にも真面目に積極的に取り組める人材が多く、前向きで主体性のある学生を引き続き採用したいため。	商社
77	御校の学生様はすばらしい方が多いです。	社会福祉施設・事業所
78	・人の心理について学ばれることにより、市場調査やマーケティング部門での活躍に期待できる。・人事部門における社員のフォロー担当の素養があると感じる。	情報通信・ソフトウェア・IT
79	チームワークのよい職場・企業を目指しており、心理学の造詣が深い人材に期待している。	製造
80	質の高い学生の雇用	運輸
81	毎年、事務総合職を採用しています。	医療・病院
82	心理ということで、営業などでもその対人スキルは活かされそうだから。	製造
83	幅広く活躍してもらえそうな為。	卸売・小売
84	児童養護施設で専門の知識を発揮してくれると思うから。	社会福祉施設・事業所
85	実務で役立ちそうな履修内容なので。	司法・矯正・警察・児童相談所
86	心理学に基づき、コミュニケーションスキルを学ばれた学生は、必要な人材だと考えるため。	卸売・小売
87	利用者さんのメンタルの安定を図りたいから。	社会福祉施設・事業所
88	養成する人材像に期待できる為。	金融・保険
89	自己理解や他者理解のコミュニケーションにおいて、需要な学びであり、あらゆる仕事において必要な能力が得られると思います。	製造
90	福祉施設では対人支援の仕事となるため、十分学んでこられたことを活かせるため、実際に同学科を卒業した学生の就職がある。	社会福祉施設・事業所
91	他学部の龍大卒業生が在籍している。	社会福祉施設・事業所
92	・障害者支援に役立てたい（精神・知的）職員のメンタルケアに役立てたい	社会福祉施設・事業所
93	基礎的な知識を学んでいるから。	社会福祉施設・事業所
94	高齢者介護施設では相手の気持ちを知ることが必要です。単なる技術だけではなく相手に寄り添った支援ができる人材を望んでいます。又介護施設だけ	社会福祉施設・事業所

	ではなく相談員へとステップアップする事もできるので是非採用したいと思います。	
95	職員及び保護者に対する支援	社会福祉施設・事業所
96	営業や人と接する仕事において、集団心理、消費者行動などの心理学の知識が大いに役立つから。	建設・不動産
97	本人の人柄と資格次第です。	公務・団体
98	人と接する業務を行う上で、心理学科で学習したことを活かせると思うため。	社会福祉施設・事業所
99	考える力に長けていると思う為。	運輸
100	一般的な営業職でもコミュニケーションをとりながら相手の心理を読む能力が必要だから。	商社
101	お客様との接客において、学校で身に付けた能力が活きると感じたため。	卸売・小売
102	人材不足、従業員の若返り（平均年齢を下げる）	人材
103	コミュニケーションスキルが期待できる為。	観光・ホテル
104	弊社にOG・OBが多く、いつも良いご縁を頂いております。	卸売・小売
105	対人間関係、お客様、社内とも信頼関係を築き業務を行っているため、心理の学びは活かされるものであると考えます。	卸売・小売
106	学部不問 多様な学生を採用したい	卸売・小売
107	人材の資格素質を習得してるから。	サービス
108	心理学の学習を通して身に付いたスキルが当社での業務に実践的に活かされると考えるため。	卸売・小売
109	良好な人間関係の構築に必要なコミュニケーションスキルは、営業職などお客様相手の仕事では強味になり、会社の財産となる人材だと思うから。	金融・保険
110	コミュニケーション力を身に付けた人材を育成していただけている為。	サービス
111	当社が運営しております学童・児童館施設において、心身ともに大きく成長する学童期の子どもたち１人ひとりの性格や特徴を理解し、関わっていただける学びをされると考えたから。	社会福祉施設・事業所
112	物流業界でも人との関わりはかかせないお仕事になりますので、学んでいただいたコミュニケーションスキルが活かせると思った為。	運輸
113	心理学を学ぶことにより、自身のメンタルケアもできることが、どの仕事においても求められるスキルだと考える。	商社
114	心理的な考え方について深く学習した方は、きっと対面の営業においてもその力を発揮することが出来ると感じたためです。	建設・不動産

115	コミュニケーションスキルやデータサイエンスは今後益々の需要が見込まれます。	情報通信・ソフトウェア・IT
116	貴校の学生は毎年採用したいと考えています。	情報通信・ソフトウェア・IT
117	私共の社会福祉事業者は今後増加が予測される認知症への対応が急務となっています。症状に対する医療的ケアは進みますが、携わる職員のケアが大切になって参ります。心理的な部分に長けている人材が必要と感じています。	社会福祉施設・事業所
118	高齢者施設において、高齢者の行動や考え方について専門的な知識のもと、ケアの方向性等を示せる人材を求めていきたい。	社会福祉施設・事業所
119	お客さまのニーズを見極める、あるいは相手の立場で考え行動できる人材が採用できるのではないかと思ったためです。	サービス
120	心理学を学ぶことで、他者に寄り添った関わりも持てると考えています。	社会福祉施設・事業所
121	貴学から卒業し、入社に繋がった社員は役職者としての立場を全うして下さっており、近年、弊社における受験者も人としての評価が高いため。	サービス
122	採用については、施設単位ではなく法務者として実施しているが、心理職の採用枠があり、矯正として心理職を募集しているため。	司法・矯正・警察・児童相談所
123	コミュニケーションスキルを身につけ主体的かつ実践的に対応できる人材を養成するという人物像と当社の求める人物像がマッチする所があるため。	情報通信・ソフトウェア・IT
124	龍谷大学様出身の方が弊社で活躍している為、今後も是非採用させて頂きたく思っております。	観光・ホテル
125	心理について客観的な視点で考えることができそうなので。	商社
126	コミュニケーション力がある方であれば採用したいと思います。	医療・病院
127	公認心理士が資格を活かせる人材を望んでいるため。（当法人は障害福祉事業所であり、発達の気になる児童の支援を行っている。）	社会福祉施設・事業所
128	心理学部の学生さんだけではなく、貴校の学生さんは積極的に採用したいと考えております。	製造
129	多様性のある様々な人材を採用したいと考えているため。	金融・保険
130	当庁の上部組織が採用活動を一括して行っているため、当庁に採用の権利はないことを申し添えます。	公務・団体

問９　龍谷大学が設置構想中の「心理学部 心理学科（仮称）」に対して期待される点やご要望がありましたらご自由にお書きください

※下記の２件の回答を得た。原文ママ。参考として、業種（問１の回答）を右に付記した。

番号	回答	業種（問１）
1	産業領域については、今後企業ニーズが高まってくると思っています	製造
2	特にありません	製造

3　集計結果のポイント

※構成比はいずれも少数第２位を四捨五入した。したがって、合計は必ずしも 100.0％とは一致しない。

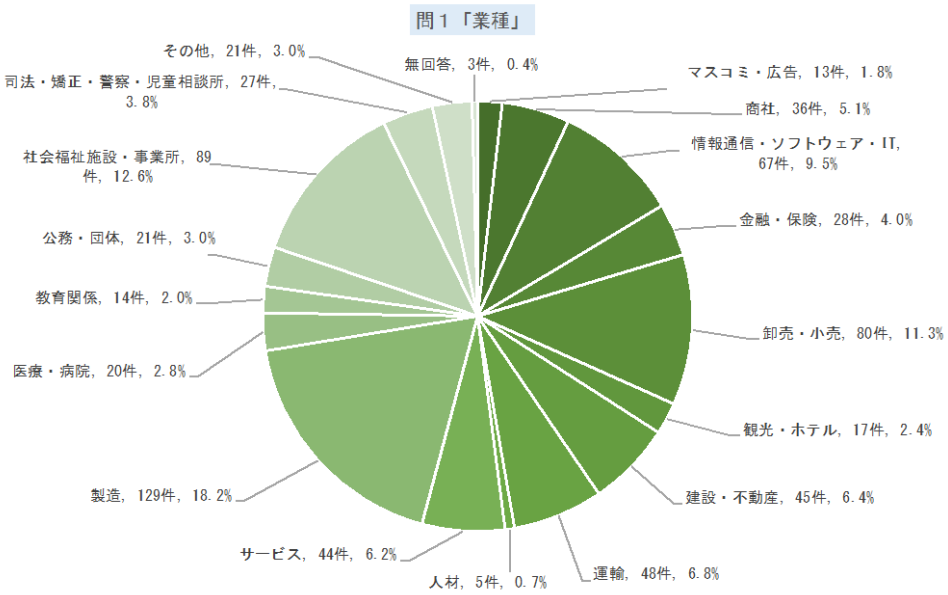
◆　回答団体の基本情報

龍谷大学が 2023（令和 5）年 4 月に設置構想中の「心理学部 心理学科（仮称）」に係る人材需要アンケート調査において、返送を得た有効回答 707 件の集計を行った。

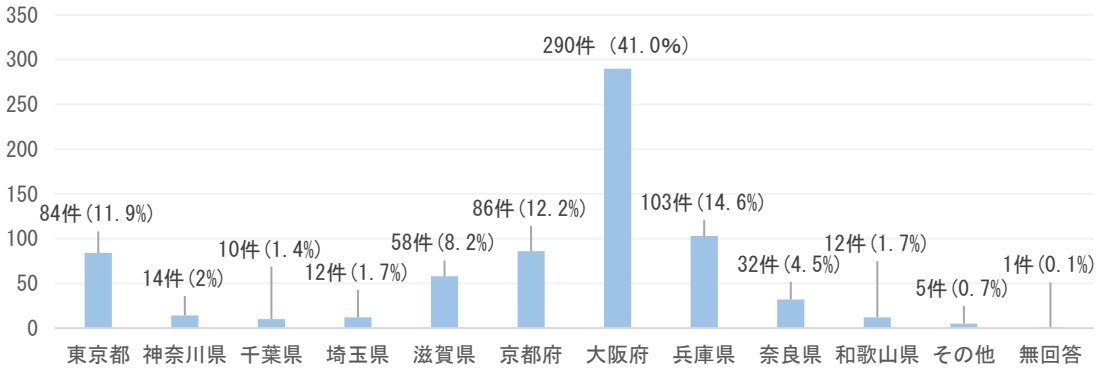
その結果、回答事業所について、業種別で見た場合、最も回答が多かったのは、「製造」で 129 件（18.2％）であった。次いで「社会福祉施設・事業所」が 89 件（12.6％）「卸売・小売」で 80 件（11.3％）の順となった。

所在地について、最も回答が多かったのが「大阪府」で 290 件（41.0％）、次に「兵庫県」で 103 件（14.6％）、「京都府」で 86 件（12.2％）であった。

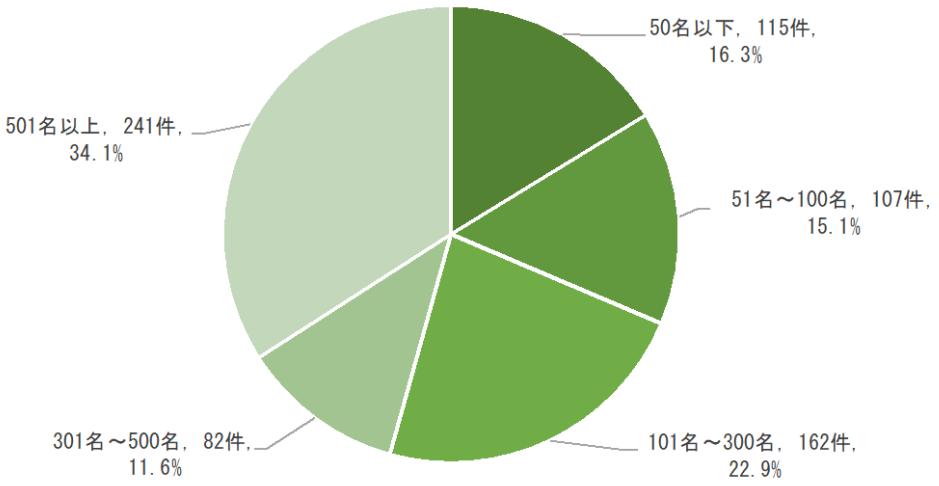
また、従業員規模について、もっとも回答が多かったのが「501 名以上」で 241 件（34.1％）、次いで「101 名～300 名」で 162 件（22.9％）、「51 名～100 名」で 107 件（15.1％）の順となった。



問２「所在地」



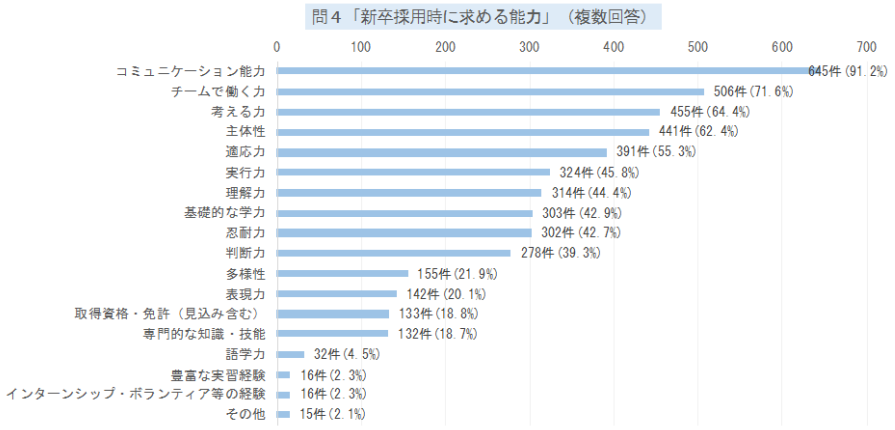
問３「従業員規模」



◆ 回答団体の 8 割以上が新卒採用時に「コミュニケーション能力」を重視

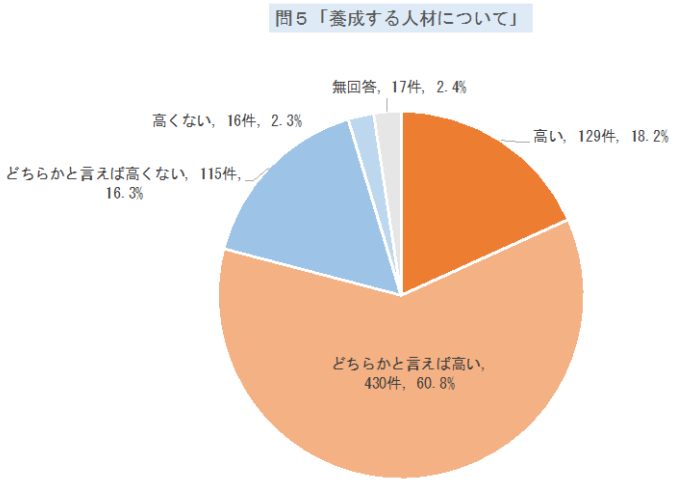
問 4 は新卒採用時に求める能力について質問をした。一番多かったのが「コミュニケーション能力」で 645 件（91.2%）、次いで「チームで働く力」が 506 件（71.6%）、「考える力」が 455 件（64.4%）、「主体性」が 441 件（62.4%）であった。

これら 4 項目は 60%を超える回答率となっている。（複数回答の結果、グラフは回答の多い順）



◆ 回答団体の 8 割近くが本学部の養成する人材について社会的ニーズがあると回答

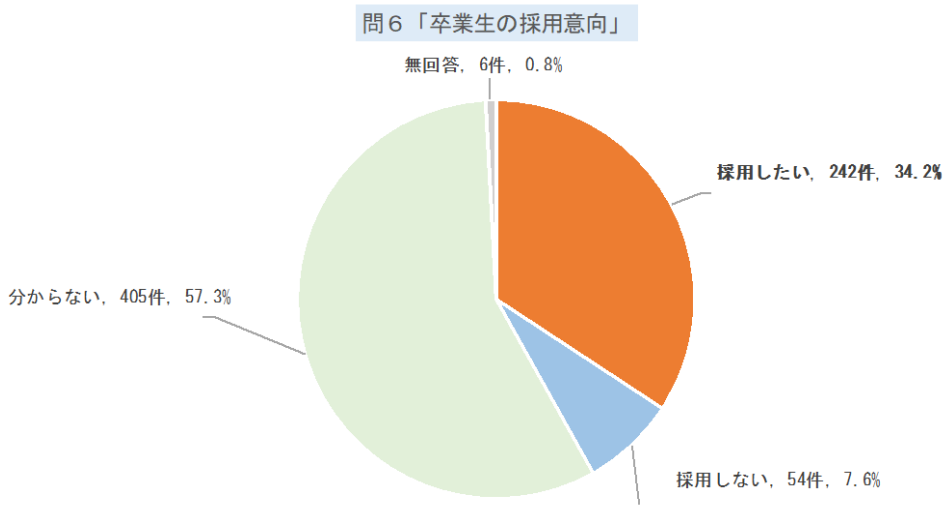
問 5 は本学部が養成する人材の社会的ニーズについて質問をした。その結果、「高い」が 129 件（18.2%）、「どちらかと言えば高い」が 430 件（60.8%）であった。合計すると 559 件（79.0%）が、本学部が養成する人材の社会的ニーズの高さを認める結果となった。



◆ 回答団体の 34.2%が採用意欲を示し、採用可能人数は 407 人

問６、問７では、「心理学部 心理学科（仮称）」を卒業する学生に対する採用意向と採用可能と思われる人数について質問をした。その結果、「採用したい」と 242 件（34.2%）の回答を得た。

また、「採用したい」と回答した 242 件に対して、採用可能と思われる人数を質問した。その結果、「人数は未定だが、最低１名」で 134 件(55.4%）が最も多く、次いで「１名」で 38 件（15.7%）の順であった。採用可能人数を合計すると、407 人であった。（※採用可能人数の計算方法は、「採用可能人数」と回答数を掛け合わせたものである。）



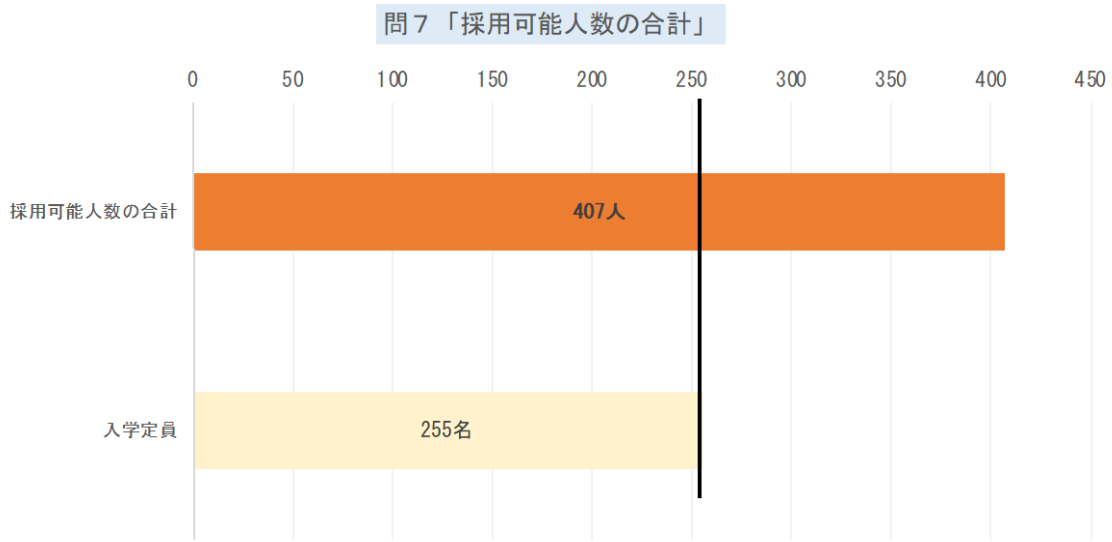
選択項目		回答数	合計人数
1	１名	38 件	38 人
2	２名	28 件	56 人
3	３名	15 件	45 人
4	４名	1 件	4 人
5	５名以上	26 件	130 人
6	人数は未定だが、最低１名	134 件	134 人
合計		242 件	407 人

人材需要の見通し調査結果　まとめ

「心理学部 心理学科（仮称）」が卒業後の進路に想定する業種・職種を踏まえ、関東地区１都３県及び近畿２府４県を対象に、民間企業、医療、公務、社会福祉施設等の4,196件の事業所に調査を依頼したところ、707件から回答を得た。

このうち、559件（79.0%）が、「心理学部 心理学科（仮称）」が養成する人材の社会的ニーズの高さを認める結果となった。また、問６で、「心理学部 心理学科（仮称）」を卒業した人材を採用したいかと質問したところ、242件が「採用したい」と採用意志を示した。さらに「採用したい」と回答した242件に対して、採用可能と思われる人数を質問したところ、合計407人となった。（※採用可能と思われる人数の合計407人の算出方法は17ページを参照。）

以上の結果から、龍谷大学が設置構想中である「心理学部 心理学科（仮称）」の入学定員255名を大幅に上回る結果となった。したがって、2023（令和5）年4月設置構想中の龍谷大学「心理学部 心理学科（仮称）」の卒業生の社会的人材需要については問題がないと判断できる。



添　付　資　料

資料１　採用意向アンケート調査・アンケート用紙
資料２　採用意向アンケート調査・アンケート概要

資料１　採用意向アンケート用紙

龍谷大学　心理学部 心理学科（仮称）設置構想中
採用意向アンケート

調査対象：人事・採用ご担当者

平素は格別のご高配を賜り誠にありがとうございます。
龍谷大学（本部：京都府京都市伏見区）は、2023年4月に心理学部 心理学科 （仮称）の開設を構想しています。 本学ではこのアンケート調査を通して、将来心理学部卒業生の採用をご検討いただく皆様から率直なご意見をお伺いし、設置構想の参考にさせていただき、教育内容の充実を図って参りたいと考えております。なお、本アンケートは匿名回答であり、事業所名が特定されることはございません。また、集計結果は、本学部の設置構想に係る統計資料としてのみ活用いたします。 つきましては、別紙「龍谷大学 心理学部 心理学科（仮称）概要リーフレット」をご覧いただいた上で、アンケート調査へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

【アンケート記入にあたっての注意事項】
・記入は必ず黒鉛のシャープペンシル、または黒鉛筆を使用してください。
・訂正する場合は、消しゴムできれいに消してください。
・解答用紙（マークシート）を汚したり、折り曲げたりしないでください。



正しい回答のように丁寧に塗りつぶしてください。誤った回答の場合、正確に読み込めず判断できない場合があります。

問１ 貴社・貴団体の業種を教えてください（あてはまるもの1つにマーク）

○ マスコミ・広告	○ 商社	○ 情報通信・ソフトウェア・IT
○ 金融・保険	○ 卸売・小売	○ 観光・ホテル
○ 建設・不動産	○ 運輸	○ 人材
○ サービス	○ 製造	○ 医療・病院
○ 教育関係	○ 公務・団体	○ 社会福祉施設・事業所
○ 司法・矯正・警察・児童相談所	○ その他 [　　]	

問２ 貴社・貴団体の所在地を教えてください（あてはまるもの1つにマーク）

○ 東京都	○ 神奈川県	○ 千葉県	○ 埼玉県	○ 滋賀県	○ 京都府	○ 大阪府
○ 兵庫県	○ 奈良県	○ 和歌山県	○ その他 [　　]			

問３ 貴社・貴団体の従業員規模を教えてください（あてはまるもの1つにマーク）

○ 50名以下　○ 51名～100名　○ 101名～300名　○ 301名～500名　○ 501名以上

アンケートは裏面に続きます。

本アンケート調査用紙に印刷されている
QRコードは集計時に使用するものです。
個人の特定を目的とするものではありません。

問４ 貴社・貴団体で新卒生を採用する際に、求める能力を教えてください（あてはまるもの全てにマーク）

- ０ コミュニケーション能力
- ０ 専門的な知識・技能
- ０ 実行力
- ０ チームで働く力
- ０ 表現力
- ０ 理解力
- ０ 適応力
- ０ 語学力
- ０ インターンシップ・ボランティア等の経験
- ０ 基礎的な学力
- ０ 主体性
- ０ 考える力
- ０ 判断力
- ０ 多様性
- ０ 忍耐力
- ０ 豊富な実習経験
- ０ 取得資格・免許（見込み含む）
- ０ その他

以下の設問は「龍谷大学 心理学部 心理学科（仮称）概要リーフレット」をご覧の上、お答えください。

問５ 龍谷大学が設置構想中の「心理学部 心理学科（仮称）」で養成する人材は社会的ニーズが高いと思われますか（あてはまるもの1つにマーク）

０ 高い　０ どちらかと言えば高い　０ どちらかと言えば高くない　０ 高くない

問６ 龍谷大学が設置構想中の「心理学部 心理学科（仮称）」の卒業生を採用したいですか（あてはまるもの１つにマーク）

０ 採用したい　０ 採用しない　０ 分からない

問７・問８は問６で「採用したい」と回答された方のみにお尋ねします。

問７ 採用可能人数をお答えください（あてはまるもの１つにマーク）

０ 1名　０ 2名　０ 3名　０ 4名　０ 5名以上　０ 人数は未定だが、最低1名

問８ 「採用したい」と回答いただいた理由についてご自由にお書きください

問９ 龍谷大学が設置構想中の「心理学部 心理学科（仮称）」に対して期待される点やご要望がありましたらご自由にお書きください

質問は以上となります。ご協力いただきありがとうございました。

本アンケート調査用紙に印刷されている
QRコードは集計時に使用するものです。
個人の特定を目的とするものではありません。

資料２　採用意向アンケート概要



龍谷大学 心理学部 心理学科（概要）

龍谷大学が構想している、心理学部 心理学科の概要です。※本内容は現時点での計画であり、今後変更する可能性があります。

学部・学科 概要

文学部 臨床心理学科を改組。
（入学定員を99名から255名に増員）

入学定員	学位	設置場所
255名	学士（心理学）	1・2年次 ：深草キャンパス（京都市伏見区） 3・4年次 ：大宮キャンパス（京都市下京区）

養成する人材像

現代社会が抱える諸課題に対し、心理学の教育と研究を通じて得られる対人支援や
良好な人間関係の構築に必要なコミュニケーション・スキルを身につけ
主体的かつ実践的に対応できる人材を養成する。

幅広い学びの実現

データサイエンスも取り入れた、基礎から卒業後のキャリアまで繋がる心理学教育の「3つの柱」

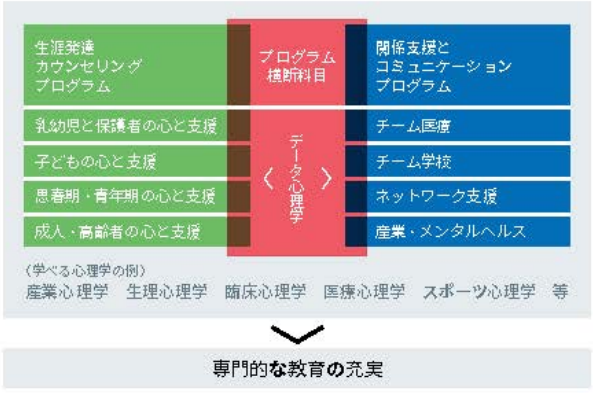
1. 心理学基礎科目
心理学の基礎となる考え方そのものを学び、どのように応用心理学と繋がるのかを理解する。

2.データサイエンス科目
心の動きや行動をデータとして統計的に処理・分析し、心のありようを科学的に捉える。

3.キャリア啓発科目
卒業後のキャリアを意識し、実社会において心理学がどのように活用されるのかを学ぶ。



専門的心理学教育の「2つのプログラム」キャリアビジョンに合わせた専門的かつ実践的な「9つの分野」



発達段階に応じた「個人の心」にアプローチする「生涯発達カウンセリングプログラム」と、社会で共に生きる人の繋がりにアプローチする「関係支援とコミュニケーションプログラム」の2つのプログラムを配置し、心理学の専門的な教育の充実を図ります。さらに、2つのプログラムを横断的に接続する分野として「プログラム横断科目」を開設します。

「2つのプログラム」および「プログラム横断科目」の下には、特徴的な心理実践に繋がる「9つの分野」の科目群を設定し、学生自身のキャリアビジョンに合わせて、関心のある分野の科目を自由に選択し、幅広く学ぶことができます。

取得できる資格

高等学校教諭一種免許状(公民)※1　　**公認心理師受験資格課程**※2　　**認定心理士資格**

※1:教職課程認定申請予定。ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期が変更となる可能性があります。
※2:公認心理師の受験資格を取得するためには、学部における所定科目を履修し、卒業後に大学院に進学して所定科目を履修した上で修了する必要があります。

卒業後の進路

心理学を通じて修得する知識やスキルは、対人支援の現場だけではなく、広く一般社会でも活用できるものです。
さまざまな進路において、より良い社会づくりのために貢献し活躍することが期待されます。

心理学を活かした「支援」の仕事

医療領域	病院・クリニック・リハビリテーション施設の心理職員　等
教育領域	学童保育スタッフ　学習支援員　幼稚園カウンセラー　学校カウンセラー　等
産業領域	キャリアカウンセラー　安全管理者　等
福祉領域	児童養護・高齢者・障がい者福祉施設職員　放課後等デイサービス職員　児童相談所児童心理司　等
司法領域	家庭裁判所調査官　少年院・少年鑑別所の心理職員(法務技官)　警察職員(心理員)　等
大学院進学	心理専門職(公認心理師・臨床心理士)の資格取得や専門研究を深める

心理学の学びを活かしたさまざまな仕事

コミュニケーション・スキルを活かした販売職や営業職、データサイエンスと心理学の専門性をかけ合わせた
企画・開発職など、多様な業種・職種で心理学の学びを活かすことができます。

民間企業	マスコミ　商社　情報通信　IT企業　銀行・証券会社　保険会社 メーカー(自動車・電機・機器・医薬品等)　スーパー・小売業　観光・サービス業 不動産・建設業　運輸(航空・鉄道・郵便等)　電力・ガス業　教育関係　等
公務員	地方・国家公務員　警察官　消防士　公立高校教員　国公立大学事務職員

初年度学費(他大学含む)

単位(円)

大学・学部・学科・専攻	入学金	授業料	教育充実費等(諸会費は除く)	初年度学費
龍谷大学 心理学部 心理学科	260,000	1,007,000	0	1,267,000
同志社大学 心理学部 心理学科	200,000	973,000	193,000	1,366,000
立命館大学 総合心理学部 総合心理学科	200,000	1,206,600	0	1,406,600
関西大学 社会学部 心理学専攻	260,000	930,000	0	1,190,000
近畿大学 総合社会学部 総合社会学科 心理系専攻	250,000	1,085,000	20,000	1,355,000
追手門学院大学 心理学部 心理学科	160,000	850,000	155,000	1,165,000

※龍谷大学 心理学部 心理学科の学費は予定です。
※他大学における上記学費は各大学ホームページ掲載情報に基づきます(2021年10月時点)。
※その他、諸会費が必要な場合があります。

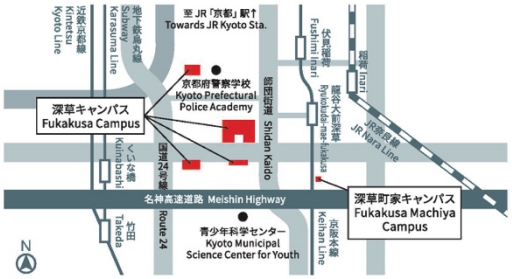
設置キャンパスの紹介

深草キャンパス（1・2年次）

〒612-8577　京都市伏見区深草塚本町67

京都駅南東、京都市伏見区にある深草キャンパスは、1960年親鸞聖人七百回忌記念として開設しました。7つの文系学部で構成され、留学生を含む多くの学生が学んでおり、さまざまな文化が混ざり合う多文化共生キャンパスです。2020年には、新たに課外活動の拠点である成就館が完成。これまでの課外活動支援に加え、地域・社会との新たな出会いの創出をめざします。





- JR奈良線「稲荷」駅下車 南西へ徒歩約８分
- 京阪本線「龍谷大前深草」駅下車 西へ徒歩約３分
- 京都市営地下鉄烏丸線「くいな橋」駅下車 東へ徒歩約７分

JR大阪駅	→	JR稲荷駅	33分
京阪京橋駅	→	京阪龍谷大前深草駅	39分
近鉄奈良駅	→	京阪龍谷大前深草駅	40分
JR三ノ宮駅	→	JR稲荷駅	55分

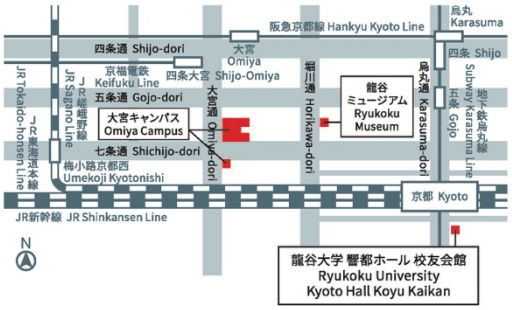
大宮キャンパス（3・4年次）

〒600-8268　京都市下京区七条通大宮東入大工町125番地の1

龍谷大学の歴史は、1639（寛永16）年、京都西本願寺に創設された学寮に始まります。その発祥の地が大宮キャンパスです。重要文化財の本館をはじめ、教室棟の南黌・北黌、正門、旧守衛所といった歴史的建造物が佇みます。豊かな蔵書を誇る大宮図書館には、国宝を含め、教育・研究に役立つ貴重資料が多く保存されています。

2025年には新たな教育研究施設が完成予定です。





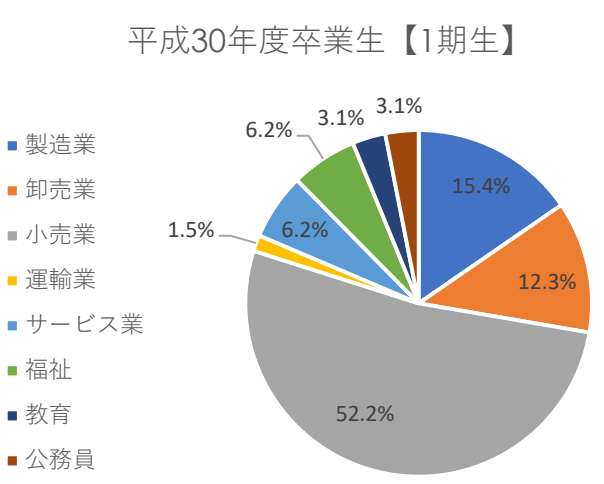
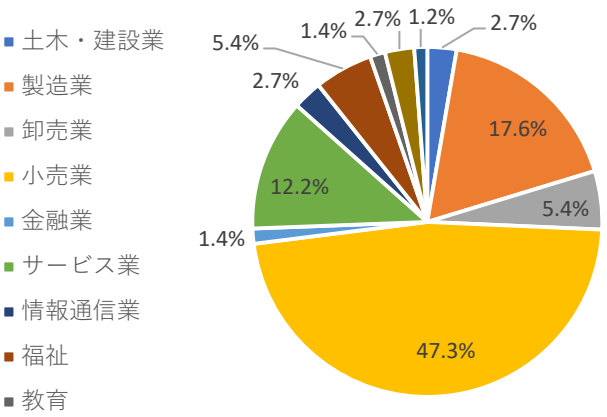
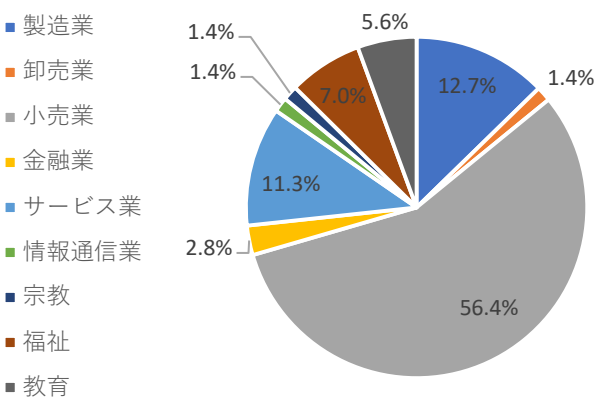
- JR東海道本線／近鉄京都線／京都市営地下鉄 烏丸線「京都」駅下車 北西へ徒歩約10分（市バス約３分）
- JR山陰本線（嵯峨野線）「梅小路京都西」駅下車 北東へ徒歩約10分
- 京阪本線「七条」駅下車 西へ徒歩約20分
- 阪急京都本線「大宮」駅下車 南へ徒歩約20分（市バス約５分）
- 最寄りのバス停：市バス七条大宮・京都水族館前

JR大阪駅	→	JR京都駅	28分
京阪京橋駅	→	JR京都駅	42分
近鉄奈良駅	→	JR京都駅	44分
JR三ノ宮駅	→	JR京都駅	50分

RYUKOKU UNIVERSITY
〔龍谷大学 心理学部設置事務室〕　〒600-8268 京都市下京区七条大宮東入大工町125番地の1　Tel 075-343-3463（平日 9:00～17:00）

資料１８

■ 龍谷大学農学部食品栄養学科の就職状況（平成30～令和2年度卒業生）

卒業年度	進路・就職決定率 （進路決定者数／就職・進学等希望者数）	主な就職先	業種内訳
平成30年度卒業生 【1期生】	96.1% （73／76）	株式会社ローソン ハウス食品株式会社 東海漬物株式会社 ウエルシアホールディングス株式会社 株式会社ジャパンビバレッジホールディングス 森下仁丹株式会社 日清医療食品株式会社 エームサービス株式会社 株式会社日本アクセス 株式会社村田製作所　野洲事業所 独立行政法人国立病院機構 滋賀県庁 京都市教育委員会　等	
令和元年度卒業生 【2期生】	100% （84／84）	丸大食品株式会社 伊藤忠食品株式会社 丸大食品株式会社 イオンベーカリー株式会社 カネテツデリカフーズ株式会社 ニプロファーマ株式会社 株式会社スギ薬局 株式会社ツムラ 京阪ホテルズ＆リゾーツ株式会社 ほけんの窓口グループ株式会社 京都大原記念病院グループ 京都府庁 滋賀県教育委員会　等	
令和2年度卒業生 【3期生】	98.7% （76／77）	日本ハム食品株式会社 マルコメ株式会社 明星食品株式会社 シダックス株式会社 株式会社クスリのアオキ タカラスタンダード株式会社 株式会社ダスキン 富士フイルムサービスクリエイティブ株式会社 静岡県労働金庫 社会医療法人誠光会　草津総合病院 社会福祉法人新緑会　みどりこども園 大阪府教育委員会　等	

別記様式第３号（その１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　　員　　名　　簿

学　　長　　の　　氏　　名　　等						
調書番号	役職名	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	現　職 （就任年月）
－	学長	ｲﾘｻﾜ　ﾀｶｼ 入澤　崇 ＜平成29年4月＞		修士 (文学) ※		龍谷大学　学長 （平成29.4.1～令和5.3.31）

（注）　高等専門学校にあっては校長について記入すること。